

通達資料

2 土地改良事業等請負工事の価格積算要領
(昭和 52 年 2 月 22 日付け開総第 195 号農地開発部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																
<p>2 土地改良事業等請負工事の価格積算要領 【省略】</p>	<p>2 土地改良事業等請負工事の価格積算要領 【省略】</p>																																																	
<p>第1 趣 旨 【省略】</p>	<p>第1 趣 旨 【省略】</p>																																																	
<p>別表1 工種区分</p>	<p>別表1 工種区分</p>																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>工種内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ 場 整 備 工 事</td> <td>農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】</td> </tr> <tr> <td>農 用 地 造 成 工 事</td> <td>農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】</td> </tr> <tr> <td>舗 装 工 事</td> <td>舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。</td> </tr> <tr> <td>道 路 改 良 工 事</td> <td>道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。</td> </tr> <tr> <td>水 路 ト ン ネ ル 工 事</td> <td>新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。</td> </tr> <tr> <td>水 路 工 事</td> <td>用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】</td> </tr> <tr> <td>排 水 路 工 事</td> <td>排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】</td> </tr> <tr> <td>河 川 工 事</td> <td>河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。</td> </tr> <tr> <td>管 水 路 工 事</td> <td>既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事、<u>管更生工事</u>、推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。</td> </tr> <tr> <td><u>管 更 生 工 事</u></td> <td><u>管水路に関する工事にあつて、次に掲げる工事。</u> <u>既設管水路の更生工法工事。</u></td> </tr> <tr> <td>畑 かん 施 設 工 事</td> <td>樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	工種内容	ほ 場 整 備 工 事	農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】	農 用 地 造 成 工 事	農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】	舗 装 工 事	舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。	道 路 改 良 工 事	道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。	水 路 ト ン ネ ル 工 事	新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。	水 路 工 事	用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】	排 水 路 工 事	排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】	河 川 工 事	河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。	管 水 路 工 事	既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事、 <u>管更生工事</u> 、推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。	<u>管 更 生 工 事</u>	<u>管水路に関する工事にあつて、次に掲げる工事。</u> <u>既設管水路の更生工法工事。</u>	畑 かん 施 設 工 事	樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種区分</th> <th>工種内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ 場 整 備 工 事</td> <td>農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】</td> </tr> <tr> <td>農 用 地 造 成 工 事</td> <td>農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】</td> </tr> <tr> <td>舗 装 工 事</td> <td>舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。</td> </tr> <tr> <td>道 路 改 良 工 事</td> <td>道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。</td> </tr> <tr> <td>水 路 ト ン ネ ル 工 事</td> <td>新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。</td> </tr> <tr> <td>水 路 工 事</td> <td>用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】</td> </tr> <tr> <td>排 水 路 工 事</td> <td>排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】</td> </tr> <tr> <td>河 川 工 事</td> <td>河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。</td> </tr> <tr> <td>管 水 路 工 事</td> <td>既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事<u>並びに</u>推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>〔追加〕</u></td> </tr> <tr> <td>畑 かん 施 設 工 事</td> <td>樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	工種内容	ほ 場 整 備 工 事	農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】	農 用 地 造 成 工 事	農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】	舗 装 工 事	舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。	道 路 改 良 工 事	道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。	水 路 ト ン ネ ル 工 事	新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。	水 路 工 事	用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】	排 水 路 工 事	排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】	河 川 工 事	河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。	管 水 路 工 事	既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事 <u>並びに</u> 推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。		<u>〔追加〕</u>	畑 かん 施 設 工 事	樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】	
工種区分	工種内容																																																	
ほ 場 整 備 工 事	農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】																																																	
農 用 地 造 成 工 事	農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】																																																	
舗 装 工 事	舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。																																																	
道 路 改 良 工 事	道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。																																																	
水 路 ト ン ネ ル 工 事	新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。																																																	
水 路 工 事	用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】																																																	
排 水 路 工 事	排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】																																																	
河 川 工 事	河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。																																																	
管 水 路 工 事	既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事、 <u>管更生工事</u> 、推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。																																																	
<u>管 更 生 工 事</u>	<u>管水路に関する工事にあつて、次に掲げる工事。</u> <u>既設管水路の更生工法工事。</u>																																																	
畑 かん 施 設 工 事	樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】																																																	
工種区分	工種内容																																																	
ほ 場 整 備 工 事	農地の区画整理（道路、用排水路施設を併せて行うもの及び暗渠排水工事、客土工事を単独で行うものを含む。）工事。 【ほ場整備整地工、層厚調整等】																																																	
農 用 地 造 成 工 事	農用地造成（道路、用排水路施設を併せて行うものを含む。）工事。 【草地造成、心土破碎、透水渠、耕起砕土、土壌改良、反転客土、石礫除去工事等】																																																	
舗 装 工 事	舗装の新設及び修繕工事にあつて、次に掲げる工事。 セメントコンクリート舗装工、アスファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事。																																																	
道 路 改 良 工 事	道路改良工事にあつて、次に掲げる工事。 土工、擁壁工、函（管）渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、標識工、防護柵工及びこれらに類する工事。																																																	
水 路 ト ン ネ ル 工 事	新設・改修及びこれに附帯する構造物工事。なお、シールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事及びこれに類する工事を含む。																																																	
水 路 工 事	用水路及び用排水兼用水路の新設・改修工事（サイホン工事、排水路の三面張水路及び既製品水路（既製品の大型フリューム等）を含む。）でこれと同時に施工される附帯構造物工事。 【現場打ちコンクリート及びコンクリート2次製品使用のフルーム水路工事】																																																	
排 水 路 工 事	排水路の工事で掘削、築堤、護岸、根固め及びこれらに類するものを行う工事。 柵渠、連節ブロック、張ブロック、鋼矢板、コンクリート矢板を用いた用水路・用排水兼用水路及び土水路で排水路に類する工事。 【柵渠、連節ブロック及び積ブロックの水路工事】																																																	
河 川 工 事	河川工事にあつて、次に掲げる工事。 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事。 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする。																																																	
管 水 路 工 事	既製管及びこれに類する既製品（既製品のボックスカルバート等）を用いる水路工事。ただし、畑かん施設工事 <u>並びに</u> 推進工法（作業員が内部で作業する推進工法）及びこれに類する工事は除く。																																																	
	<u>〔追加〕</u>																																																	
畑 かん 施 設 工 事	樹枝状・管網方式及びこれに類するパイプライン施設のパイプラインの布設及び附帯構造物工事。 【営農用水、飲雑用水等の管水路工事】																																																	
<p>【省略】</p>	<p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p>																																																

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
別表2 現場管理費率 (1) - a 【省略】 (1) - b					別表2 現場管理費率 (1) - a 【省略】 (1) - b					字句、数値の追加
対象金額		700万円以下	700万円を超え10億円以下		対象金額		700万円以下	700万円を超え10億円以下		
適用区分 工種区分		下記の率とする	下記の算定式により算出された率とする ただし、変数値は下記による		適用区分 工種区分		下記の率とする	下記の算定式により算出された率とする ただし、変数値は下記による		
			a	b				a	b	
河川工事	43.43%	1,276.7	-0.2145	14.98%	河川工事	43.43%	1,276.7	-0.2145	14.98%	
海岸工事	27.79%	113.9	-0.0895	17.82%	海岸工事	27.79%	113.9	-0.0895	17.82%	
道路改良工事	33.69%	87.0	-0.0602	24.99%	道路改良工事	33.69%	87.0	-0.0602	24.99%	
舗装工事	40.38%	668.7	-0.1781	16.69%	舗装工事	40.38%	668.7	-0.1781	16.69%	
<u>管更生工事</u>	<u>35.05%</u>	<u>204.8</u>	<u>-0.1120</u>	<u>20.11%</u>						
【省略】					【省略】					

通達資料

3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準
(昭和 52 年 2 月 22 日付け開総第 195 号農地開発部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																
<p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準 【省略】</p> <p>第1 趣 旨 【省略】</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費及び現場環境改善費の積算方法 これら当該費用は「要領」別表1の工種区分に基づき、所定の率計算による費用に積み上げ計算による費用を加算して行うものとする。</p> <p>1 率計算による算定 【省略】</p> <p>4 現場環境改善費 現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善費を行う場合は率計上とし、また、費用が巨額となり現場環境改善費率で計上することが適当でないと判断される場合は積上げ計上とする。</p> <p>(1) 積算方法 <u>ア</u> 積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。 $K = i \cdot P_i + \alpha$ ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000円未満切り捨て） i：現場環境改善費率（単位：％、小数第3位四捨五入2位止め） P_i：対象額（単位：円、直接工事費「処分費等を除く」＋支給品費） α：積上げ計上分（単位：円、1,000円未満切り捨て）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">対象額：P_i</th> <th style="text-align: center;">現場環境改善費率：i（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費</td> <td style="text-align: center;">5億円以下の場合</td> <td style="text-align: center;">$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5億円を超える場合</td> <td style="text-align: center;">0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>イ</u> <u>現場環境改善に関する費用の対象額は5億円を限度とする。</u></p> <p>(2) 適用などの詳細については、「工事における現場環境改善費の積算要領」を参照するものとする。 【省略】</p>	対象額：P _i		現場環境改善費率：i（％）	直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費	5億円以下の場合	$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$	5億円を超える場合	0.22	<p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準 【省略】</p> <p>第1 趣 旨 【省略】</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費及び現場環境改善費の積算方法 これら当該費用は「要領」別表1の工種区分に基づき、所定の率計算による費用に積み上げ計算による費用を加算して行うものとする。</p> <p>1 率計算による算定 【省略】</p> <p>4 現場環境改善費 現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善費を行う場合は率計上とし、また、費用が巨額となり現場環境改善費率で計上することが適当でないと判断される場合は積上げ計上とする。</p> <p>(1) 積算方法 積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。 $K = i \cdot P_i + \alpha$ ただし、K：現場環境改善費（単位：円、1,000円未満切り捨て） i：現場環境改善費率（単位：％、小数第3位四捨五入2位止め） P_i：対象額（単位：円、直接工事費「処分費等を除く」＋支給品費） α：積上げ計上分（単位：円、1,000円未満切り捨て）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">対象額：P_i</th> <th style="text-align: center;">現場環境改善費率：i（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費</td> <td style="text-align: center;">5億円以下の場合</td> <td style="text-align: center;">$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5億円を超える場合</td> <td style="text-align: center;">0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>イ</u> <u>現場環境改善に関する費用の対象額は5億円を限度とする。</u></p> <p>(2) 適用などの詳細については、「工事における現場環境改善費の積算要領」を参照するものとする。 【省略】</p>	対象額：P _i		現場環境改善費率：i（％）	直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費	5億円以下の場合	$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$	5億円を超える場合	0.22	<p>番号の追加</p> <p>字句の追加</p>
対象額：P _i		現場環境改善費率：i（％）																
直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費	5億円以下の場合	$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$																
	5億円を超える場合	0.22																
対象額：P _i		現場環境改善費率：i（％）																
直接工事費（処分費等を除く） ＋ 支給品費	5億円以下の場合	$i = 85.6 \cdot P_i^{-0.2987}$																
	5億円を超える場合	0.22																

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
別表1 共通仮設費率適用範囲 【省略】					別表1 共通仮設費率適用範囲 【省略】					字句の追加
別表2 共通仮設費率					別表2 共通仮設費率					
1- (1)					1- (1)					
【省略】					【省略】					
1- (2)					1- (2)					
対象金額	600万円以下	600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	対象金額	600万円以下	600万円を超え10億円以下		10億円を超えるもの	
適用区分	下記の率とする	下記の算定式により算出された率とする ただし、変数値は下記による		下記の率とする	適用区分	下記の率とする	下記の算定式により算出された率とする ただし、変数値は下記による		下記の率とする	
工種区分		a	b		工種区分		a	b		
河川工事	12.53%	238.6	-0.1888	4.77%	河川工事	12.53%	238.6	-0.1888	4.77%	
海岸工事	13.08%	407.9	-0.2204	4.24%	海岸工事	13.08%	407.9	-0.2204	4.24%	
道路改良工事	12.78%	57.0	-0.0958	7.83%	道路改良工事	12.78%	57.0	-0.0958	7.83%	
舗装工事	17.09%	435.1	-0.2074	5.92%	舗装工事	17.09%	435.1	-0.2074	5.92%	
管更生工事	10.24%	330.0	-0.2225	3.28%						
【省略】					【省略】					

新 旧 対 照 表

改 正		現 行						備 考
別表4 基本運賃表								表の追加
貨物自動車規格	機械名	規格	20 km まで (円)	50 km まで (円)	100 km まで (円)	150 km まで (円)	200 km まで (円)	200 km を 超え 20 km までを 増す毎に (円)
20t 車以上 30t 車まで	路面切削機	2.0m	62,500	76,000	98,000	120,500	142,500	8,900
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.6m						
	スタビライザ	幅 2.0m 深 1.2m						
	乳剤スタビライザ	幅 2.0m 深 0.43m						
	自走式破砕機	クラッシャー 一寸法 開 450 mm 幅 925 mm						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・ Ⅲ・Ⅳ型用						
	バックホウ(超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³						
	各種	二						
		〔追加〕						字句の追加 ” 表の追加
別表5 建設機械運搬方法								字句の追加 ” 表の追加
機械名	規 格	車 載		備 考				
		車 種	機械質量 (t)					
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m	トレーラ	28.50					
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 0.6m	トレーラ	23.00					
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 1.2m	トレーラ	24.70					
乳剤スタビライザ	幅 2.0m 深 0.43m	トレーラ	22.50					
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450 mm 幅 925 mm	トレーラ	30.00					
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	トレーラ	29.70					
バックホウ (超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³	トレーラ	22.00					
		〔追加〕						字句の追加 ”
【省略】		【省略】						

(注1) 450 kmを超える場合は別途考慮する。
 (注2) 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。

(注1) 貨物自動車による運搬を計上する。
 (注2) 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

通達資料

4 鋼橋製作架設工事価格積算要領

(昭和 61 年 3 月 6 日付け設管第 46 号農地開発部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>4 鋼橋製作架設工事価格積算要領 【省略】</p> <p>第1 適用範囲 【省略】</p> <p>第4 請負工事費の積算</p> <p>1 工場製作原価 【省略】</p> <p>2 架設工事原価</p> <p>(1) 直接工事費 直接工事費の積算は、別に定める「標準歩掛」、「単価表」によるもののほか、適正と認められる実績又は資料により算定する。</p> <p>(2) 共通仮設費 共通仮設費の積算は、<u>別表-1により算定するものとする。</u></p> <p>(3) 現場管理費 現場管理費の積算は、<u>別表-2により算定するものとする。</u></p>	<p>4 鋼橋製作架設工事価格積算要領 【省略】</p> <p>第1 適用範囲 【省略】</p> <p>第4 請負工事費の積算</p> <p>1 工場製作原価 【省略】</p> <p>2 架設工事原価</p> <p>(1) 直接工事費 直接工事費の積算は、別に定める「標準歩掛」、「単価表」によるもののほか、適正と認められる実績又は資料により算定する。</p> <p>(2) 共通仮設費 共通仮設費の積算は、<u>「土地改良事業等請負工事の価格積算要綱・要領等」に準ずるものとし、適用工種区分は「その他土木工事（1）」とする。</u></p> <p>(3) 現場管理費 現場管理費の積算は、<u>「土地改良事業等請負工事の価格積算要綱・要領等」に準ずるものとし、適用工種区分は「その他土木工事（1）」とする。</u></p>	<p></p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考												
<p><u>別表-1 共通仮設費率</u></p> <p>算定式 $Y = a \cdot X^b$</p> <p>ただし Y：共通仮設費率 (%)</p> <p>(注) Yの値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>X：対象金額 (単位：円)</p> <p>a、b：変数値であり、次表による。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">600万円以下</th> <th style="width: 33%;">600万円を超え10億円以下</th> <th style="width: 33%;">10億円を超えるもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">下記の率とする。</td> <td style="text-align: center;">下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。</td> <td style="text-align: center;">下記の率とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">38.36%</td> <td style="text-align: center;">10,668.4</td> <td style="text-align: center;">-0.3606</td> </tr> </tbody> </table>	600万円以下	600万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの	下記の率とする。	下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。	下記の率とする。		a	b	38.36%	10,668.4	-0.3606	<p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p>	<p>字句の追加</p> <p style="text-align: center;">〃</p> <p>表の追加</p>
600万円以下	600万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの												
下記の率とする。	下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。	下記の率とする。												
	a	b												
38.36%	10,668.4	-0.3606												
<p><u>別表-2 現場管理費率</u></p> <p>算定式 $Y = a \cdot X^b$</p> <p>ただし Y：現場管理費率 (%)</p> <p>(注) Yの値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。</p> <p>X：対象金額 (単位：円)</p> <p>a、b：変数値であり、次表による。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">700万円以下</th> <th style="width: 33%;">700万円を超え10億円以下</th> <th style="width: 33%;">10億円を超えるもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">下記の率とする。</td> <td style="text-align: center;">下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。</td> <td style="text-align: center;">下記の率とする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">b</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">48.24%</td> <td style="text-align: center;">303.1</td> <td style="text-align: center;">-0.1166</td> </tr> </tbody> </table>	700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの	下記の率とする。	下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。	下記の率とする。		a	b	48.24%	303.1	-0.1166	<p>_____</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p>	<p>字句の追加</p> <p style="text-align: center;">〃</p> <p>表の追加</p>
700万円以下	700万円を超え10億円以下	10億円を超えるもの												
下記の率とする。	下記の算定式により算出された率とする。ただし、変数値は下記による。	下記の率とする。												
	a	b												
48.24%	303.1	-0.1166												

通達資料

8 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準
(平成14年3月19日付け設計第1529号農政部長通知)の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>8 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準 【省略】</p> <p>(目 的) 【省略】</p> <p>(仮設材賃料の積算)</p> <p>第5 賃料で積算することができる仮設材は、次式により算定するものとする。</p> <p>(イ) 鋼矢板及びH形鋼の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ロ) 覆工板の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ハ) たて込み簡易土留機材の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ニ) 異形ブロック型枠の賃料＝市場単価×延べ使用面積</p> <p>(ホ) (イ)、(ロ)、(ハ) 又は(ニ) に掲げる仮設材以外の賃料 ＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり整備費等) ×使用数量</p> <p>2 前項(イ)、(ロ) に掲げる算式中の1 現場当たり修理費及び損耗費は、賃貸取引市場における整備及び修理に必要な経費とし、市場単価による。</p> <p><u>3 前項(ハ) に掲げる算式中の1 現場当たり修理費及び損耗費は、別表1 に掲げるところによる。</u></p> <p>4 前項(ホ) に掲げる算式中の1 現場当たり整備費等は、賃貸取引市場における簡易な整備作業等に必要な経費とし、適正に定めるものとする。</p> <p>【省略】</p>	<p>8 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準 【省略】</p> <p>(目 的) 【省略】</p> <p>(仮設材賃料の積算)</p> <p>第5 賃料で積算することができる仮設材は、次式により算定するものとする。</p> <p>(イ) 鋼矢板及びH形鋼の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ロ) 覆工板の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ハ) たて込み簡易土留機材の賃料＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり修理費及び損耗費) ×使用数量</p> <p>(ニ) 異形ブロック型枠の賃料＝市場単価×延べ使用面積</p> <p>(ホ) (イ)、(ロ)、(ハ) 又は(ニ) に掲げる仮設材以外の賃料 ＝(市場価格×供用日数+1 現場当たり整備費等) ×使用数量</p> <p>2 前項(イ)、(ロ) に掲げる算式中の1 現場当たり修理費及び損耗費は、賃貸取引市場における整備及び修理に必要な経費とし、市場単価による。</p> <hr/> <p>3 前項(ホ) に掲げる算式中の1 現場当たり整備費等は、賃貸取引市場における簡易な整備作業等に必要な経費とし、適正に定めるものとする。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加 番号の改正</p>

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

A 共通仮設

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">A 共通仮設</p> <p>A～1000 運搬費</p> <p>1 適用範囲 質量 20 t 以上で、「A～1100 重建設機械分解・組立・輸送」に示されていない建設機械器具の搬入・搬出及び仮設材の運搬に要する費用の算出に適用する。</p> <p>2 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬</p> <p><u>(1) 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用</u></p> <p>質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">$U_k = A + M + K$ (又は K')</p> <p>ただし U_k : <u>質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費</u></p> <p>A : 基本運賃料金 (円)</p> <p><u>表 2-1</u> によるものとする。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>なお、_____ 運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>また、<u>運賃は表 2-1 に掲げている基本運賃は、運搬割増 (特大品、悪路、冬期、深夜早朝、地区等) の有無にかかわらず適用できる。</u></p> <p><u>ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p style="text-align: center;">A 共通仮設</p> <p>A～1000 運搬費</p> <p>1 適用範囲 質量 20 t 以上で、「A～1100 重建設機械分解・組立・輸送」に示されていない建設機械器具の搬入・搬出及び仮設材の運搬に要する費用の算出に適用する。</p> <p>2 質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬</p> <p>_____</p> <p>質量 20 t 以上の建設機械器具の搬入、又は搬出の積算は運搬車両 1 台ごとに次式により行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">$U_k = [A_1 \cdot (1 + C_1 + C_4) + A_2 \cdot C_2 + A_3 \cdot C_3 + B] \cdot D + M + K$ (又は K')</p> <p>ただし U_k : <u>貨物自動車による運搬費</u></p> <p>A_1 : 基本運賃料金</p> <p><u>各運輸局が公示した「一般貨物運送事業の貸切り運賃」によるものとする。(北海道運輸局での運賃は「土地改良事業等単価表 一般貨物運送事業の貸切り運賃」による)</u></p> <p>なお、<u>車扱運賃料金の適用は原則として「距離制運賃料金」によるものとし、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。発地・着地で運輸局が異なる場合は、発注機関の存在する運輸局を適用する。</u></p> <p>また、<u>基本運賃料金の 10% の範囲での増減運用は一般の場合は適用しない。</u></p> <p>_____</p> <p>A_2 : <u>悪路割増区間基本運賃料金</u></p> <p><u>各運輸局が公示した「一般貨物運送事業の貸切り運賃」によるものとする。(北海道運輸局での運賃は「土地改良事業等単価表 一般貨物運送事業の貸切り運賃」による)</u></p> <p>なお、<u>車扱運賃料金の適用は原則として「距離制運賃料金」によるものとし、運搬距離は運搬基地より現場までの距離のうち、悪路区間の距離とする。</u></p> <p>A_3 : <u>冬期割増区間基本運賃料金</u></p> <p><u>各運輸局が公示した「一般貨物運送事業の貸切り運賃」によるものとする。(北海道運輸局での運賃は「土地改良事業等単価表 一般貨物運送事業の貸切り運賃」による)</u></p> <p>なお、<u>車扱運賃料金の適用は原則として「距離制運賃料金」によるものとし、運搬距離は運搬基地より現場までの距離のうち、冬期割増区間の距離とする。</u></p>	<p>字句の追加 字句の改正</p> <p>字句の改正 //</p> <p>字句の削除、追加 字句の改正 字句の削除</p> <p>字句の削除 //</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の追加 字句の削除 //</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除 //</p> <p>字句の削除</p>

新 旧 対 照 表

改正	現 行	備 考
<p>_____</p> <p>M : その他の諸料金 (円)</p> <p>1) 組立、解体に要する費用 重建設機械の組立、解体に要する費用は別途加算する。</p> <p>2) その他下記事項の料金を必要により計上する。</p> <p>a 荷役機械使用料</p> <p>b 自動車航送船使用料</p> <p>c 有料道路利用料</p> <p>d その他</p> <p>K : 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (円)</p> <p>K' : 運搬される建設機械の運搬中の損料 (円)</p> <p>運搬される建設機械（被運搬建設機械）の運搬中の賃料又は損料を計上する。 積算方法は、「(1) 運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。</p> <p>※建設機械運搬方法等は表 2-2 による。</p>	<p><u>B : 諸料金</u></p> <p><u>a 地区割増料……適用する。</u> 貨物の発地又は着地が、札幌市の場合には、「一般貨物運送事業の貸切り運賃」 の地区割増料を加算する。 ただし、貨物の発地及び着地が札幌市の場合は、発地又は着地のいずれか一方 についてのみ加算する。</p> <p><u>b 車両割増料……適用しない。</u></p> <p><u>C 1～C 4 : 運賃割増率 (表 2-1)</u></p> <p><u>C 1 : 特大品割増</u></p> <p><u>C 2 : 悪路割増</u></p> <p><u>C 3 : 冬期割増</u></p> <p><u>C 4 : 深夜早朝割増</u></p> <p><u>D : 運搬車両の台数</u> <u>1を代入する。</u></p> <p>M : その他の諸料金</p> <p>1) 組立、解体に要する費用 重建設機械の組立、解体に要する費用は別途加算する。</p> <p>2) その他下記事項の料金を必要により計上する。</p> <p>a 荷役機械使用料</p> <p>b 自動車航送船使用料</p> <p>c 有料道路利用料</p> <p>d その他</p> <p>K : 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (円)</p> <p>K' : 運搬される建設機械の運搬中の損料 (円)</p> <p>運搬される建設機械（被運搬建設機械）の運搬中の賃料又は損料を計上する。 積算方法は、「(1) 運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。</p> <p>※建設機械運搬方法等は表 2-2 による。</p>	<p>字句の削除</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																										
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <hr/> <p>(2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (K) および損料 (K')</p> <p>運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料および損料は次式により計上する。</p> <p>運搬中の賃料 = 運搬される機械の <u>供用 1</u> 日当り賃料 (円) × 運搬に要する日数 (日)</p> <p style="padding-left: 2em;">K = 運搬される建設機械の運搬中の <u>供用 1</u> 日当り賃料 (円) × L / (V × 8)</p> <p>運搬中の損料 = 運搬される機械の <u>供用 1</u> 日当り損料 (円) × 運搬に要する日数 (日)</p> <p style="padding-left: 2em;">K' = 運搬される建設機械の運搬中の <u>供用 1</u> 日当り損料 (円) × L / (V × 8)</p> <hr/> <p>L : 運搬距離 (km) 基地から現場までの片道距離とする。</p> <p>V : 輸送速度 (30 km/h)</p> <p>(注 1) 運搬に要する日数の端数処理は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位止めとする。</p> <p>(注 2) 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速 30 km/h を標準とする。</p> <p>(注 3) 分解組立を要する重建設機械の積算にあたっては、「A~1100 重建設機械分解・組立・輸送」により積算すること。</p> <p><u>(注 4) 油圧式杭圧入引抜機(鋼矢板 V L・VI L・II w・III w・IV w 型用)の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。</u></p>	<p style="text-align: center;"><u>表 2-1 運賃割増率</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">割増項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">適用範囲</th> <th style="text-align: center;">割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">特 大 品 割 増 (C 1)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">建設機械類</td> <td style="text-align: center;">使用車両の積載 t 数 15 t 未満</td> <td style="text-align: center;">6 割</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" 15 t 以上</td> <td style="text-align: center;">7 割</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">鋼橋等</td> <td style="text-align: center;">単体の長 (m)</td> <td style="text-align: center;">単体の質量 (t)</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12 ≤ L < 15</td> <td style="text-align: center;">1 ≤ G < 15</td> <td style="text-align: center;">8 割</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15 ≤ L < 20</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">10 割</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(注 3)</td> <td style="text-align: center;">20 ≤ L</td> <td style="text-align: center;">15 ≤ G</td> <td style="text-align: center;">12 割</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">悪 路 割 増 (C 2)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">悪路割増区間の運送距離に対応する基本運賃×割増率 道路法による道路及びその他の一般交通の用に供する場所 並びに自動車道以外の場所に限る。</td> <td style="text-align: center;">3 割</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">冬 期 割 増 (C 3)</th> <th style="text-align: center;">地 域</th> <th style="text-align: center;">期 間</th> <th style="text-align: center;">割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">北海道</td> <td style="text-align: center;">自 11月16日 至 4月15日</td> <td style="text-align: center;">2 割</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">深 夜 早 朝 割 増 (C 4)</th> <th style="text-align: center;">運搬時間を「22 時～5 時」に指定する場合。</th> <th style="text-align: center;">割増率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3 割</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 鋼橋の輸送については、「C~3070 鋼橋桁運搬」により別途計上するものとし、その他については上記運搬費で計上するものとする。</p> <p>(注 2) 誘導車、誘導員の費用は、特大型割増を含む。</p> <p>(注 3) 特大型割増 (C 1) で単体の長さ質量とともに該当する場合は、いずれか大きい方の率とする。</p> <p>(注 4) 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。</p> <p>(1) 運搬される建設機械の運搬中の賃料 (K) および損料 (K')</p> <p>運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料および損料は次式により計上する。</p> <p>運搬中の賃料 = 運搬される機械の _____ 日当り賃料 (円) × 運搬に要する日数 (日)</p> <p style="padding-left: 2em;">K = 運搬される建設機械の運搬中の _____ 日当り賃料 (円) × L / (V × 8)</p> <p>運搬中の損料 = 運搬される機械の _____ 日当り損料 (円) × 運搬に要する日数 (日)</p> <p style="padding-left: 2em;">K' = 運搬される建設機械の運搬中の <u>供用 1</u> 日当り損料 (円) × L / (V × 8)</p> <p style="padding-left: 2em;"><u>K : 運搬中の賃料</u></p> <p style="padding-left: 2em;"><u>K' : 運搬中の損料</u></p> <p>L : 運搬距離 (km) 基地から現場までの片道距離とする。</p> <p>V : 輸送速度 (30 km/h)</p> <p>(注 1) 運搬に要する日数の端数処理は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位止めとする。</p> <p>(注 2) 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速 30 km/h を標準とする。</p> <p>(注 3) 分解組立を要する重建設機械の積算にあたっては、「A~1100 重建設機械分解・組立・輸送」により積算すること。</p>	割増項目	適用範囲		割増率	特 大 品 割 増 (C 1)	建設機械類	使用車両の積載 t 数 15 t 未満	6 割	" 15 t 以上	7 割	鋼橋等	単体の長 (m)	単体の質量 (t)	—	12 ≤ L < 15	1 ≤ G < 15	8 割	15 ≤ L < 20	—	10 割	(注 3)	20 ≤ L	15 ≤ G	12 割	悪 路 割 増 (C 2)	悪路割増区間の運送距離に対応する基本運賃×割増率 道路法による道路及びその他の一般交通の用に供する場所 並びに自動車道以外の場所に限る。		3 割	冬 期 割 増 (C 3)	地 域	期 間	割増率		北海道	自 11月16日 至 4月15日	2 割	深 夜 早 朝 割 増 (C 4)	運搬時間を「22 時～5 時」に指定する場合。	割増率			3 割	<p>表の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の追加</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>字句の追加</p>
	割増項目	適用範囲		割増率																																								
特 大 品 割 増 (C 1)	建設機械類	使用車両の積載 t 数 15 t 未満	6 割																																									
		" 15 t 以上	7 割																																									
	鋼橋等	単体の長 (m)	単体の質量 (t)	—																																								
		12 ≤ L < 15	1 ≤ G < 15	8 割																																								
		15 ≤ L < 20	—	10 割																																								
(注 3)	20 ≤ L	15 ≤ G	12 割																																									
悪 路 割 増 (C 2)	悪路割増区間の運送距離に対応する基本運賃×割増率 道路法による道路及びその他の一般交通の用に供する場所 並びに自動車道以外の場所に限る。		3 割																																									
冬 期 割 増 (C 3)	地 域	期 間	割増率																																									
	北海道	自 11月16日 至 4月15日	2 割																																									
深 夜 早 朝 割 増 (C 4)	運搬時間を「22 時～5 時」に指定する場合。	割増率																																										
		3 割																																										

新 旧 対 照 表

改 正								現 行				備 考	
表 2-1 基本運賃表												表の追加	
貨物自動車規格 20t 車以上 30t 車まで	機械名	規格	20 km まで (円)	50 km まで (円)	100 km まで (円)	150 km まで (円)	200 km まで (円)	〔追加〕					
	路面切削機	2.0m	62,500	76,000	98,000	120,500	142,500	8,900					
	スタビライザ	幅 2.0m 深 0.6m											
	スタビライザ	幅 2.0m 深 1.2m											
	乳剤スタビライザ	幅 2.0m 深 0.43m											
	自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450 mm 幅 925 mm											
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用											
	バックホウ(超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ / 平積 0.3 m ³											
各種	二												
(注1) 450 kmを超える場合は別途考慮する。 (注2) 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。												字句の追加 〃	
表 2-2 建設機械運搬方法								表 2-2 建設機械運搬方法					
機械名	規 格			車 載		備 考	機 械 名	規 格	自 走		車 載		備 考
		—	—	車 種	機 械 質 量 (t)				速 度 (km/h)	労 務	車 種	機 械 質 量 (t)	
路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m			R	28.50		路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2.0m			R	28.50	
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 0.6m			R	23.00		スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 0.6m			R	23.00	
スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 1.2m			R	24.70		スタビライザ (路床改良用)	幅 2.0m 深 1.2m			R	24.70	
乳剤スタビライザ	幅 2.0m 深 0.43m			R	22.50		乳剤スタビライザ	幅 2.0m 深 0.43m			R	22.50	
自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450 mm 幅 925 mm			R	30.00		自走式破砕機	クラッシャー寸法 開 450 mm 幅 925 mm			R	30.00	字句の改正
油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用			R	29.70		油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用			R	29.70	
				—	—		油圧式杭圧入引抜機 (硬質地盤専用圧入機)	鋼矢板Ⅴ _L ・Ⅵ _L ・Ⅱw・Ⅲv・Ⅳw型用			R	37.90	
バックホウ (超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³			R	22.00		バックホウ (超ロングアーム型)	山積 0.4 m ³ /平積 0.3 m ³			R	22.00	
【省略】 (3) 建設機械等の輸送起算点								【省略】 (2) 建設機械等の輸送起算点				番号の改正	
【省略】								【省略】					

C 共通工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																																						
C 共 通 工	C 共 通 工																																																							
C～3070 鋼橋桁運搬	C～3070 鋼橋桁運搬																																																							
1 適用範囲 本資料は、鋼橋桁の輸送に適用する。 直接工事費に計上する。	1 適用範囲 本資料は、鋼橋桁の輸送に適用する。 直接工事費に計上する。																																																							
2 鋼橋桁運搬費 鋼橋桁運搬費の積算は、各橋種毎に次表に示す回帰式を用いて積算するものとする。	2 鋼橋桁運搬費 鋼橋桁運搬費の積算は、各橋種毎に次表に示す回帰式を用いて積算するものとする。																																																							
表 2-1 鋼橋工場製作運搬費 (1t 当り)	表 2-1 鋼橋工場製作運搬費 (1t 当り)																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>橋 種</th> <th>輸送単価 (円/t)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)</td> <td>$Y = 34.71X + 8,047$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)</td> <td>$Y = 18.44X + 12,409$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱桁 (鋼床版箱桁を除く)</td> <td>$Y = 29.31X + 8,572$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱桁 (鋼床版箱桁のみ)</td> <td>$Y = 26.38X + 13,472$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラス・アーチ・ラーメン</td> <td>$Y = 22.03X + 7,040$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 脚</td> <td>$Y = 26.12X + 8,518$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーフレーム</td> <td>$Y = 24.01X + 11,384$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋</td> <td>$Y = 55.88X + 15,778$</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	橋 種	輸送単価 (円/t)	摘 要	鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)	$Y = 34.71X + 8,047$		鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)	$Y = 18.44X + 12,409$		箱桁 (鋼床版箱桁を除く)	$Y = 29.31X + 8,572$		箱桁 (鋼床版箱桁のみ)	$Y = 26.38X + 13,472$		トラス・アーチ・ラーメン	$Y = 22.03X + 7,040$		橋 脚	$Y = 26.12X + 8,518$		アンカーフレーム	$Y = 24.01X + 11,384$		横断歩道橋	$Y = 55.88X + 15,778$		<table border="1"> <thead> <tr> <th>橋 種</th> <th>輸送単価 (円/t)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)</td> <td>$Y = 29.74X + 7,170$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)</td> <td>$Y = 18.44X + 12,409$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱桁 (鋼床版箱桁を除く)</td> <td>$Y = 24.63X + 7,791$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>箱桁 (鋼床版箱桁のみ)</td> <td>$Y = 29.37X + 8,392$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラス・アーチ・ラーメン</td> <td>$Y = 22.03X + 7,040$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 脚</td> <td>$Y = 27.82X + 7,329$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーフレーム</td> <td>$Y = 10.72X + 9,086$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋</td> <td>$Y = 55.88X + 15,778$</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	橋 種	輸送単価 (円/t)	摘 要	鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)	$Y = 29.74X + 7,170$		鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)	$Y = 18.44X + 12,409$		箱桁 (鋼床版箱桁を除く)	$Y = 24.63X + 7,791$		箱桁 (鋼床版箱桁のみ)	$Y = 29.37X + 8,392$		トラス・アーチ・ラーメン	$Y = 22.03X + 7,040$		橋 脚	$Y = 27.82X + 7,329$		アンカーフレーム	$Y = 10.72X + 9,086$		横断歩道橋	$Y = 55.88X + 15,778$		
橋 種	輸送単価 (円/t)	摘 要																																																						
鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)	$Y = 34.71X + 8,047$																																																							
鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)	$Y = 18.44X + 12,409$																																																							
箱桁 (鋼床版箱桁を除く)	$Y = 29.31X + 8,572$																																																							
箱桁 (鋼床版箱桁のみ)	$Y = 26.38X + 13,472$																																																							
トラス・アーチ・ラーメン	$Y = 22.03X + 7,040$																																																							
橋 脚	$Y = 26.12X + 8,518$																																																							
アンカーフレーム	$Y = 24.01X + 11,384$																																																							
横断歩道橋	$Y = 55.88X + 15,778$																																																							
橋 種	輸送単価 (円/t)	摘 要																																																						
鈹桁 (鋼床版鈹桁を除く)	$Y = 29.74X + 7,170$																																																							
鈹桁 (鋼床版鈹桁のみ)	$Y = 18.44X + 12,409$																																																							
箱桁 (鋼床版箱桁を除く)	$Y = 24.63X + 7,791$																																																							
箱桁 (鋼床版箱桁のみ)	$Y = 29.37X + 8,392$																																																							
トラス・アーチ・ラーメン	$Y = 22.03X + 7,040$																																																							
橋 脚	$Y = 27.82X + 7,329$																																																							
アンカーフレーム	$Y = 10.72X + 9,086$																																																							
横断歩道橋	$Y = 55.88X + 15,778$																																																							
Y : 輸送単価 (円/t) X : 運搬距離 (km)	Y : 輸送単価 (円/t) X : 運搬距離 (km)																																																							
【省略】	【省略】	表内、数値の改正																																																						

改 正	現 行	備 考																																																																																																						
<p style="text-align: center;"><u>【削除】</u></p>	<p>C～3080 P C桁の輸送</p> <p>1 適用範囲 <u>本資料は、工場製作に係わるP C桁の工場製品を、当該製作工場から現場への搬入に要する費用の積算に適用する。</u> <u>直接工事費に計上する。</u></p> <p>2 輸 送 2-1 車種の選定 <u>(1) 桁輸送に使用する車は、トラック、セミトレーラ、ポールトレーラを標準とし、諸元は下表による。</u></p> <p style="text-align: center;">表2-1 トラック・トレーラ諸元表</p> <table border="1" data-bbox="1380 661 2585 1165"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>積載質量 (t)</th> <th>荷台長 (mm)</th> <th>荷台幅 (mm)</th> <th>床 高 (mm)</th> <th>摘 要</th> <th>車両質量 (t)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ト ラ ッ ク</td> <td>6.5</td> <td>6,220</td> <td>2,220</td> <td>1,230</td> <td></td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6,820</td> <td>2,320</td> <td>1,330</td> <td></td> <td>5.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7,380</td> <td>2,330</td> <td>1,340</td> <td></td> <td>7.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">セ ミ ト レ ー ラ</td> <td>15</td> <td>7,400</td> <td>2,360</td> <td>1,080</td> <td>低床式</td> <td>10.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>11,850</td> <td>2,420</td> <td>1,460</td> <td>平床式</td> <td>10.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>7,080</td> <td>2,600</td> <td>910</td> <td>低床式</td> <td>12.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>11,850</td> <td>2,420</td> <td>1,460</td> <td>平床式</td> <td>11.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>6,400</td> <td>3,000</td> <td>900</td> <td>低床式</td> <td>16.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>11,850</td> <td>2,420</td> <td>1,590</td> <td>平床式</td> <td>14.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>6,500</td> <td>3,200</td> <td>700</td> <td>低床式</td> <td>16.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>11,850</td> <td>2,420</td> <td>1,630</td> <td>平床式</td> <td>14.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ポ ー ル ト レ ー ラ</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>2,490</td> <td>1,600</td> <td></td> <td>10.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>—</td> <td>2,490</td> <td>1,600</td> <td></td> <td>12.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(2) 車種の選定にあたっては、桁の高さ・幅・長さより荷姿を想定し、適合する規格の車種を選定する。</u> <u>(3) トラック、セミトレーラ運搬する場合の長さの限度は荷台の長さにその1割を加えたものとする。</u> <u>(4) 一台当りの積込本数は原則として</u> $\frac{\text{使用車種の荷台幅}}{\text{部材の最大幅} + 10 \text{ cm}}$ <u>以内とする。</u></p> <p>2-2 工場での積込費 <u>計上しない。</u></p> <p>2-3 現場での取卸し費 <u>現場における取卸しは、「C～3090 現場取卸費」を適用するものとする。</u> <u>なお、桁をトラッククレーンで直接架設する場合の桁の取卸し費は、原則として計上しない。</u></p> <p>3 積算方法 <u>「A～1000 運搬費」による。</u></p>	名 称	積載質量 (t)	荷台長 (mm)	荷台幅 (mm)	床 高 (mm)	摘 要	車両質量 (t)	備 考	ト ラ ッ ク	6.5	6,220	2,220	1,230		4.7		8	6,820	2,320	1,330		5.7		11	7,380	2,330	1,340		7.9		セ ミ ト レ ー ラ	15	7,400	2,360	1,080	低床式	10.7		15	11,850	2,420	1,460	平床式	10.7		20	7,080	2,600	910	低床式	12.3		20	11,850	2,420	1,460	平床式	11.6		25	6,400	3,000	900	低床式	16.9		25	11,850	2,420	1,590	平床式	14.2		30	6,500	3,200	700	低床式	16.7		30	11,850	2,420	1,630	平床式	14.6		ポ ー ル ト レ ー ラ	20	—	2,490	1,600		10.3		30	—	2,490	1,600		12.6		<p>歩掛の廃止</p>
名 称	積載質量 (t)	荷台長 (mm)	荷台幅 (mm)	床 高 (mm)	摘 要	車両質量 (t)	備 考																																																																																																	
ト ラ ッ ク	6.5	6,220	2,220	1,230		4.7																																																																																																		
	8	6,820	2,320	1,330		5.7																																																																																																		
	11	7,380	2,330	1,340		7.9																																																																																																		
セ ミ ト レ ー ラ	15	7,400	2,360	1,080	低床式	10.7																																																																																																		
	15	11,850	2,420	1,460	平床式	10.7																																																																																																		
	20	7,080	2,600	910	低床式	12.3																																																																																																		
	20	11,850	2,420	1,460	平床式	11.6																																																																																																		
	25	6,400	3,000	900	低床式	16.9																																																																																																		
	25	11,850	2,420	1,590	平床式	14.2																																																																																																		
	30	6,500	3,200	700	低床式	16.7																																																																																																		
	30	11,850	2,420	1,630	平床式	14.6																																																																																																		
ポ ー ル ト レ ー ラ	20	—	2,490	1,600		10.3																																																																																																		
	30	—	2,490	1,600		12.6																																																																																																		

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考									
<p style="text-align: center;"><u>【削除】</u></p> <p>【省略】</p>	<p>3-1 輸送起点</p> <p><u>プレキャスト製PC桁の輸送起算点は、次表を参考とする。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表3-1 プレキャスト製PC桁の輸送起算点</u></p> <table border="1" data-bbox="1430 321 2585 426"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">起算点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレキャスト製</td> <td>栗山町</td> <td>登別市</td> </tr> <tr> <td>PC桁</td> <td colspan="2">愛別町 *スラブ桁のみ可</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注1) 各市町村で示されている起算点の起算場所は、市役所又は役場所在地とする。</u></p> <p>【省略】</p>	区 分	起算点		プレキャスト製	栗山町	登別市	PC桁	愛別町 *スラブ桁のみ可		<p>歩掛の廃止</p>
区 分	起算点										
プレキャスト製	栗山町	登別市									
PC桁	愛別町 *スラブ桁のみ可										

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

E 管渠工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考			
E 管 渠 工		E 管 渠 工					
E～2000 鉄筋コンクリート管設置 (φ250～1,000 mm)		E～2000 鉄筋コンクリート管設置 (φ250～1,000 mm)					
1 適用範囲 【省略】		1 適用範囲 【省略】					
4 施工歩掛 施工歩掛は、次表を標準とする。		4 施工歩掛 施工歩掛は、次表を標準とする。					
表 4-1 鉄筋コンクリート管 (1 種管) 設置歩掛 (10m 当り)		表 4-1 鉄筋コンクリート管 (1 種管) 設置歩掛 (10m 当り)					
管 径 (mm)	管 長 (mm)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ(クレーン機能付) 運転 (h)	規 格	諸雑費率 (%)
250	1,000	0.15	0.26	0.32	—	—	7
300		0.07	0.21	0.08	1.18	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	28
350		0.09	0.26	0.10	1.43		23
400		0.10	0.31	0.12	1.68		22
450		0.12	0.37	0.14	1.93		19
500		0.14	0.42	0.17	2.18		18
600	0.17	0.52	0.21	2.68	16		
700	2,000	0.20	0.60	0.24	3.12		14
800		0.23	0.69	0.28	3.59		12
900		0.26	0.78	0.31	4.01		10
1,000		0.29	0.87	0.35	4.52		9
(注1) 本表は小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、巻きコンクリート、埋戻し、水替等は含まない。		(注1) 本表は小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、巻きコンクリート、埋戻し、水替等は含まない。					
(注2) バックホウは損料とする。		(注2) バックホウは損料とする。					
(注3) 諸雑費はワイヤロープ、レバーブロック、コンクリートカッタ運転等の費用 _____ であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。		(注3) 諸雑費はワイヤロープ、レバーブロック、コンクリートカッタ運転、 <u>コンクリート管損失分</u> の費用 <u>及びコンクリートカッタブレードの損耗費等</u> であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。		字句の削除、改正			
【省略】		【省略】					
表 4-2 鉄筋コンクリート管 (2 種管) 設置歩掛 (10m 当り)		表 4-2 鉄筋コンクリート管 (2 種管) 設置歩掛 (10m 当り)					
管 径 (mm)	管 長 (mm)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ(クレーン機能付) 運転 (h)	規 格	諸雑費率 (%)
250	1,000	0.06	0.13	0.07	0.58	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	32
300	2,000	0.08	0.17	0.09	0.85		24
350		0.09	0.19	0.10	0.90		22
400		0.09	0.20	0.11	0.95		20
450		0.10	0.22	0.12	1.00		18
500		0.11	0.23	0.12	1.05		17
600		0.12	0.26	0.14	1.15		15
700	2,500	0.14	0.31	0.17	1.36		13
800		0.16	0.35	0.19	1.54		11
900		0.18	0.40	0.22	1.74		10
1,000		0.20	0.44	0.24	1.94		9
(注1) 本表は小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、巻きコンクリート、埋戻し、水替等は含まない。		(注1) 本表は小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、巻きコンクリート、埋戻し、水替等は含まない。					
(注2) バックホウは損料とする。		(注2) バックホウは損料とする。					
(注3) 諸雑費はワイヤロープ、レバーブロック、コンクリートカッタ運転等の費用 _____ であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。		(注3) 諸雑費はワイヤロープ、レバーブロック、コンクリートカッタ運転、 <u>コンクリート管損失分</u> の費用 <u>及びコンクリートカッタブレードの損耗費等</u> であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。		字句の削除			
【省略】		【省略】					

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																									
6 継手用ゴムリング				6 継用ゴムリング				字句の改正 字句の削除																																									
表 6-1 10m当り継手用ゴムリング数量表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>管径</th> <th>1本当り管長 (mm/本)</th> <th>継手用ゴムリング数量 (個/10m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1種管</td> <td>φ 250 ~ φ 600</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>φ 700 ~ φ 1,000</td> <td>2,000</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2種管</td> <td>φ 250</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>φ 300 ~ φ <u>1000</u></td> <td>2,000</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td><u> </u></td> <td><u> </u></td> <td><u> </u></td> </tr> </tbody> </table>				管種	管径	1本当り管長 (mm/本)	継手用ゴムリング数量 (個/10m)		1種管	φ 250 ~ φ 600	1,000	10	φ 700 ~ φ 1,000	2,000	5	2種管	φ 250	1,000	10	φ 300 ~ φ <u>1000</u>	2,000	5	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	表 6-1 10m当り継手用ゴムリング数量表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>管種</th> <th>管径</th> <th>1本当り管長 (mm/本)</th> <th>継手用ゴムリング数量 (個/10m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1種管</td> <td>φ 250 ~ φ 600</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>φ 700 ~ φ 1,000</td> <td>2,000</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2種管</td> <td>φ 250</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>φ 300 ~ φ <u>800</u></td> <td>2,000</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td><u>φ 900 ~ φ 1,000</u></td> <td><u>2,500</u></td> <td><u>4</u></td> </tr> </tbody> </table>				管種	管径	1本当り管長 (mm/本)	継手用ゴムリング数量 (個/10m)	1種管	φ 250 ~ φ 600	1,000	10	φ 700 ~ φ 1,000	2,000	5	2種管	φ 250	1,000	10	φ 300 ~ φ <u>800</u>	2,000	5	<u>φ 900 ~ φ 1,000</u>	<u>2,500</u>
管種	管径	1本当り管長 (mm/本)	継手用ゴムリング数量 (個/10m)																																														
1種管	φ 250 ~ φ 600	1,000	10																																														
	φ 700 ~ φ 1,000	2,000	5																																														
2種管	φ 250	1,000	10																																														
	φ 300 ~ φ <u>1000</u>	2,000	5																																														
	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>																																														
管種	管径	1本当り管長 (mm/本)	継手用ゴムリング数量 (個/10m)																																														
1種管	φ 250 ~ φ 600	1,000	10																																														
	φ 700 ~ φ 1,000	2,000	5																																														
2種管	φ 250	1,000	10																																														
	φ 300 ~ φ <u>800</u>	2,000	5																																														
	<u>φ 900 ~ φ 1,000</u>	<u>2,500</u>	<u>4</u>																																														
【省略】				【省略】																																													

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																										
<p>E～2320 農業用ポリエチレン管布設</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛 施工歩掛は次表を標準とする。</p> <p>3-1 バット溶着工法</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 バット溶着工法布設及び継手工 (N1)</p> <table border="1" data-bbox="172 573 1329 774"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)</th> <th colspan="3">溶着工 (1 箇所当り)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>諸雑费率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 75 mmまで</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">労務費の 40%</td> </tr> <tr> <td>φ 100 mm</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>φ 150 mm</td> <td>0.06</td> <td>0.04</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>φ 200 mm</td> <td>0.12</td> <td>0.04</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 布設に伴う材料の移動時間を含む。 (注 2) 本歩掛は、メカニカル継手には適用できない。 (注 3) 諸雑費は、溶接接合に要する機械損料費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を計上する。 (注 4) 管の切断は「S～1830 ポリエチレン管切断工」による。 <u>(注 5) PE100 (材質) については適用できない。</u></p> <p>【省略】</p>	名 称	布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)	溶着工 (1 箇所当り)			特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	諸雑费率	φ 75 mmまで	0.02	0.03	0.03	労務費の 40%	φ 100 mm	0.03	0.03	0.06	φ 150 mm	0.06	0.04	0.07	φ 200 mm	0.12	0.04	0.09					<p>E～2320 農業用ポリエチレン管布設</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛 施工歩掛は次表を標準とする。</p> <p>3-1 バット溶着工法</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 バット溶着工法布設及び継手工 (N1)</p> <table border="1" data-bbox="1427 573 2585 774"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)</th> <th colspan="3">溶着工 (1 箇所当り)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>諸雑费率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>φ 75 mmまで</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">労務費の 40%</td> </tr> <tr> <td>φ 100 mm</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>φ 150 mm</td> <td>0.06</td> <td>0.04</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>φ 200 mm</td> <td>0.12</td> <td>0.04</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 布設に伴う材料の移動時間を含む。 (注 2) 本歩掛は、メカニカル継手には適用できない。 (注 3) 諸雑費は、溶接接合に要する機械損料費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を計上する。 (注 4) 管の切断は「S～1830 ポリエチレン管切断工」による。</p> <p>【省略】</p>	名 称	布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)	溶着工 (1 箇所当り)			特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	諸雑费率	φ 75 mmまで	0.02	0.03	0.03	労務費の 40%	φ 100 mm	0.03	0.03	0.06	φ 150 mm	0.06	0.04	0.07	φ 200 mm	0.12	0.04	0.09					<p>字句の追加</p>
名 称			布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)	溶着工 (1 箇所当り)																																																								
	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)		諸雑费率																																																								
φ 75 mmまで	0.02	0.03	0.03	労務費の 40%																																																								
φ 100 mm	0.03	0.03	0.06																																																									
φ 150 mm	0.06	0.04	0.07																																																									
φ 200 mm	0.12	0.04	0.09																																																									
名 称	布設工 (10m当り) 特殊作業員 (人)	溶着工 (1 箇所当り)																																																										
		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	諸雑费率																																																								
φ 75 mmまで	0.02	0.03	0.03	労務費の 40%																																																								
φ 100 mm	0.03	0.03	0.06																																																									
φ 150 mm	0.06	0.04	0.07																																																									
φ 200 mm	0.12	0.04	0.09																																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																											
<p>E～3100 営農用水管路機械掘削 (ほ場部)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、<u>畑地かんがい施設</u>工事及び営農飲雑用水施設工事の管路をバックホウにより掘削する作業に適用する。<u>なお、施工箇所が道路部分等これにより難い場合の土工積算については、運用「E 管渠工」によることとする。</u></p> <p>2 機種の選定 <u>機械・規格は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表 2-1 施工機械</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工歩掛 (1) 掘削 <u>営農用水管路機械掘削は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <p style="text-align: center;">(100 m³当り)</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 営農用水管路機械掘削歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">作 業 条 件</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="2">後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td rowspan="2">日</td> <td style="text-align: center;">標準</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">障害あり</td> <td style="text-align: center;">0.99</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) <u>障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</u></p> <p>(注2) <u>バックホウは、賃料とする。</u></p>	機 械 名	規 格	摘 要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)		機 械 名	規 格	単 位	作 業 条 件	数 量	備 考	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日	標準	0.76		障害あり	0.99		<p>E～3100 営農用水管路機械掘削 _____</p> <p>1 適用範囲 本資料は、<u>パイプライン</u>工事及び営農飲雑用水施設工事の管路をバックホウにより掘削する作業に適用する。 _____</p> <p>2 標準機種 <u>排出ガス対策型 (第1次基準値) バックホウ クローラ型山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) とする。</u></p> <p style="text-align: center;">[追加]</p> <p>3 施工歩掛 (1) 機械運転時間 <u>機械運転時間は次式による。</u> $T = T_0 \times F (h / 100 m^3)$</p> <p>① 基準作業時間 (T₀)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">T₀</td> <td style="text-align: center;">2.43 (h / 100 m³)</td> </tr> </table> <p>② 作業係数 (F)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土質名 \ 作業条件</th> <th style="text-align: center;">良 好</th> <th style="text-align: center;">普 通</th> <th style="text-align: center;">不 良</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂、砂質土</td> <td style="text-align: center;">1.35</td> <td style="text-align: center;">1.65</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> </tr> <tr> <td>粘性土、礫質土</td> <td style="text-align: center;">1.35</td> <td style="text-align: center;">1.65</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> </tr> <tr> <td>火山灰</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> <td style="text-align: center;">1.55</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> </tr> <tr> <td>泥炭</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> <td style="text-align: center;">1.55</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>作業の条件は作業現場内の障害物 (笹、埋木、転石) などの多少、標準掘削深、機械移動の多少、その他作業の難易等により制約されるが、下記の注 (1～3) を参考にして判定する。</u></p> <p>(注1) <u>掘削が容易で作業妨害がなく、連続作業の可能な条件が揃っている場合は良好をとる。</u></p> <p>(注2) <u>地山が固く連続作業が困難で作業妨害が揃っている場合は不良をとる。</u></p> <p>(注3) <u>上記条件がほぼ中位と考えられるような場合は普通をとる。</u></p> <p style="text-align: center;">[追加]</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	T ₀	2.43 (h / 100 m ³)	土質名 \ 作業条件	良 好	普 通	不 良	砂、砂質土	1.35	1.65	2.20	粘性土、礫質土	1.35	1.65	2.20	火山灰	1.25	1.55	2.00	泥炭	1.25	1.55	2.00	<p>字句の追加</p> <p>字句の改正 字句の追加</p> <p>字句の改正 "</p> <p>表の追加</p> <p>字句の改正 " 字句の削除 " 表の削除 字句の削除</p> <p>表の削除</p> <p>字句の削除 " " 字句の削除 " " 表の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p>
機 械 名	規 格	摘 要																																											
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)																																												
機 械 名	規 格	単 位	作 業 条 件	数 量	備 考																																								
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日	標準	0.76																																									
			障害あり	0.99																																									
T ₀	2.43 (h / 100 m ³)																																												
土質名 \ 作業条件	良 好	普 通	不 良																																										
砂、砂質土	1.35	1.65	2.20																																										
粘性土、礫質土	1.35	1.65	2.20																																										
火山灰	1.25	1.55	2.00																																										
泥炭	1.25	1.55	2.00																																										

新 旧 対 照 表

改 正						現 行				備 考	
(2) 床均し (100 m ² 当り)						(2) 床均し (100m当り)				字句の改正 数値の改正 表の追加	
名 称		単 位	数 量	摘 要		名 称		単 位	数 量		摘 要
普 通 作 業 員		人	2.8			普 通 作 業 員		人	0.4		
4 単価表											
<u>(1) 機械運転単価表</u> (日当り)											
機 械 名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要						
バックホウ	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00							
		軽 油	L	58	9.2L/h×T	[追加]					
		賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																				
<p>E～3110 営農用水管路機械埋戻 (ほ場部)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、<u>畑地かんがい施設</u>工事及び営農飲雑用水施設工事において耕地等の地山を掘削時に片揚げした土砂を埋戻す作業に適用する。なお、施工箇所が道路部分等これにより難い場合の<u>土工積算については、運用「E 管渠工」</u>によることとする。</p> <p>2 機種を選定 機械・規格は、<u>次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表 2-1 施工機械</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バックホウ (クローラ型)</td> <td style="text-align: center;">後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工歩掛 (1) <u>埋戻</u> 営農用水管路機械埋戻は、<u>次表を標準とする。</u></p> <hr/> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <hr/> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <hr/>	機 械 名	規 格	摘 要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)		<p>E～3110 営農用水管路機械埋戻</p> <p>1 適用範囲 本資料は、<u>パイプライン</u>工事及び営農飲雑用水施設工事において耕地等の地山を掘削時に片揚げした土砂を埋戻す作業に適用する。なお、施工箇所が道路部分等これにより難い場合は「<u>B～3010 作業土工 (埋戻工)</u>」によることとする。</p> <p>2 標準機種 <u>排出ガス対策型 (第1次基準値) 3t級ブルドーザとする。</u></p> <p style="text-align: right;">[追加]</p> <p>3 施工歩掛 (1) <u>機械運転時間</u> <u>機械運転時間は次式による。</u> $T = T_0 \times F \quad (h / 100 m^3)$ ① <u>基準作業時間 (T₀)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">T₀</th> <th style="text-align: center;">4.14 (h / 100 m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><small>(注1) 埋戻土量は全掘削土量を対象とする。(参考図 S₁+S₂+S₃)</small></td> </tr> <tr> <td colspan="2"><small>(注2) 本歩掛には残土の撒き均しを含む。</small></td> </tr> </tbody> </table> <p>② <u>作業係数 (F)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">現場条件</th> <th style="text-align: center;">良 好</th> <th style="text-align: center;">普 通</th> <th style="text-align: center;">不 良</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">土質名</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">砂、砂質土</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">粘性土、礫質土</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火山灰</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">泥 炭</td> <td style="text-align: center;">1.45</td> <td style="text-align: center;">1.55</td> <td style="text-align: center;">1.65</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>作業の条件は作業現場内の障害物 (笹、埋木、転石) などの多少、標準掘削深、機械移動の多少、その他作業の難易等により制約されるが、下記の注 (1～3) を参考にして判定する。</u> <small>(注1) 掘削が容易で作業妨害がなく、連続作業の可能な条件が揃っている場合は良好をとる。 (注2) 地山が固く連続作業が困難で作業妨害が揃っている場合は不良をとる。 (注3) 上記条件がほぼ中位と考えられるような場合は普通をとる。</small></p>	T ₀	4.14 (h / 100 m ³)	<small>(注1) 埋戻土量は全掘削土量を対象とする。(参考図 S₁+S₂+S₃)</small>		<small>(注2) 本歩掛には残土の撒き均しを含む。</small>		現場条件	良 好	普 通	不 良	土質名				砂、砂質土	1.10	1.15	1.25	粘性土、礫質土	1.10	1.15	1.25	火山灰	1.10	1.15	1.25	泥 炭	1.45	1.55	1.65	<p>字句の追加</p> <p>字句の改正 "</p> <p>字句の改正 "</p> <p>表の追加</p> <p>字句の改正 "</p> <p>字句の削除 "</p> <p>表の削除 字句の削除 "</p> <p>字句の削除</p> <p>表の削除</p> <p>字句の削除 "</p> <p>字句の削除 " "</p>
機 械 名	規 格	摘 要																																				
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)																																					
T ₀	4.14 (h / 100 m ³)																																					
<small>(注1) 埋戻土量は全掘削土量を対象とする。(参考図 S₁+S₂+S₃)</small>																																						
<small>(注2) 本歩掛には残土の撒き均しを含む。</small>																																						
現場条件	良 好	普 通	不 良																																			
土質名																																						
砂、砂質土	1.10	1.15	1.25																																			
粘性土、礫質土	1.10	1.15	1.25																																			
火山灰	1.10	1.15	1.25																																			
泥 炭	1.45	1.55	1.65																																			

新 旧 対 照 表

改 正						現 行	備 考																				
<p>4 単価表</p> <p>(1) <u>機械運転単価表</u> (日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.28 m³(平積0.2 m³)</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>40</td> <td>6.3L/h×T</td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>供用日</td> <td>1.64</td> <td>建設機械等損料表(5)/(4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>						機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ	後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.28 m ³ (平積0.2 m ³)	運転手(特殊)	人	1.0		軽油	L	40	6.3L/h×T	賃料	供用日	1.64	建設機械等損料表(5)/(4)	<p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p>	<p>表の追加</p>
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																						
バックホウ	後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.28 m ³ (平積0.2 m ³)	運転手(特殊)	人	1.0																							
		軽油	L	40	6.3L/h×T																						
		賃料	供用日	1.64	建設機械等損料表(5)/(4)																						

F 水路工

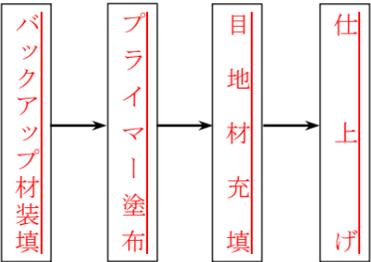
土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																																																																																		
F 水 路 工	F 水 路 工																																																																																																			
F～1140 長尺コンクリートフリユーム据付	F～1140 長尺コンクリートフリユーム据付																																																																																																			
1 適用範囲 【省略】	1 適用範囲 【省略】																																																																																																			
2 施工歩掛 長尺コンクリートフリユームの据付歩掛は次表を標準とする。	2 施工歩掛 長尺コンクリートフリユームの据付歩掛は次表を標準とする。																																																																																																			
表 2-1 長尺コンクリートフリユーム据付歩掛 (10m当り)	表 2-1 長尺コンクリートフリユーム据付歩掛 (10m当り)																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料規格 長さ (m)</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4.0 5.0</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型○ t 吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>表 2-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">8.0 以上 10.0 以下</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種 ク レ ーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型○ t 吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>表 2-2</td> </tr> </tbody> </table>	材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	4.0 5.0	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2		特 殊 作 業 員		〃	0.2		普 通 作 業 員		〃	0.6			ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.2	表 2-2	8.0 以上 10.0 以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1		特 殊 作 業 員		〃	0.1		普 通 作 業 員		〃	0.6		各 種 ク レ ーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.1	表 2-2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料規格 長さ (m)</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">4.0 5.0</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型○ t 吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>表 2-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">8.0 以上 10.0 以下</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各 種 ク レ ーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型○ t 吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>表 2-2</td> </tr> </tbody> </table>	材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	4.0 5.0	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2		特 殊 作 業 員		〃	0.2		普 通 作 業 員		〃	0.6			ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.2	表 2-2	8.0 以上 10.0 以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1		特 殊 作 業 員		〃	0.1		普 通 作 業 員		〃	0.6		各 種 ク レ ーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.1	表 2-2	
材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																															
4.0 5.0	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																																																																																
	特 殊 作 業 員		〃	0.2																																																																																																
	普 通 作 業 員		〃	0.6																																																																																																
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.2	表 2-2																																																																																															
8.0 以上 10.0 以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1																																																																																																
	特 殊 作 業 員		〃	0.1																																																																																																
	普 通 作 業 員		〃	0.6																																																																																																
	各 種 ク レ ーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.1	表 2-2																																																																																															
材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																															
4.0 5.0	土 木 一 般 世 話 役		人	0.2																																																																																																
	特 殊 作 業 員		〃	0.2																																																																																																
	普 通 作 業 員		〃	0.6																																																																																																
	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.2	表 2-2																																																																																															
8.0 以上 10.0 以下	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1																																																																																																
	特 殊 作 業 員		〃	0.1																																																																																																
	普 通 作 業 員		〃	0.6																																																																																																
	各 種 ク レ ーン	油圧伸縮ジブ型○ t 吊	日	0.1	表 2-2																																																																																															
(注 1) トラッククレーン及びラフテレーンクレーンの規格は表 2-2 による。ただし、現場条件等により、これによりがたい場合は別途考慮する。	(注 1) トラッククレーン及びラフテレーンクレーンの規格は表 2-2 による。ただし、現場条件等により、これによりがたい場合は別途考慮する。																																																																																																			
(注 2) 歩掛は運搬距離 20m 程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まない。	(注 2) 歩掛は運搬距離 20m 程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まない。																																																																																																			
(注 3) 目地は設置費のみとし、資材費は別途計上とする。ただし、目地資材に、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、設置手間についても別途計上とする。	(注 3) 目地 _____ 資材費は別途計上とする。	字句の追加																																																																																																		
(注 4) 支承等の据付は別途計上する。	(注 4) 支承等の据付は別途計上する。																																																																																																			
(注 5) トラッククレーン及びラフテレーンクレーンは賃料とする。	(注 5) トラッククレーン及びラフテレーンクレーンは賃料とする。																																																																																																			
(注 6) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の 50% とする。	(注 6) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の 50% とする。																																																																																																			
【省略】	【省略】																																																																																																			

改 正	現 行	備 考																																		
<p>F～1150 水路目地設置工</p> <p>① 目地充填工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、現場打ちコンクリート水路、コンクリート二次製品水路の目地設置のうち、目地材料を弾性シーリング材（シリコーン系、変成シリコーン系、ポリウレタン系）とした充填工法に適用する。</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>3 施工歩掛 目地充填工労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 目地充填工労務歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="172 1029 1329 1134"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 充填材、プライマー及びバックアップ材の材料費は、別途計上する。 (注2) 諸雑費は、養生テープの材料費及びシーリングガン等の損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p>4 単価表 (1) 目地充填工 100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="172 1354 1329 1522"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3-1</td> </tr> <tr> <td>目 地 材</td> <td></td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3-1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	5.3	諸 雑 費 率	%	2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 3-1	目 地 材		m	100		諸 雑 費		式	1	表 3-1	計					<p>[追加]</p>	<p>歩掛の新設</p>
名 称	単 位	数 量																																		
普通作業員	人	5.3																																		
諸 雑 費 率	%	2																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																
普通作業員		人		表 3-1																																
目 地 材		m	100																																	
諸 雑 費		式	1	表 3-1																																
計																																				

改 正	現 行	備 考																																										
<p>② 目地融着工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート二次製品に内蔵された伸縮性のある目地材を、熱融着式により接着させる目地の設置に適用する。</p> <p>2 施工歩掛 目地融着工労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 目地融着工労務歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) トラフ用目地材の材料費は、別途計上する。 (注2) 諸雑費は、融着コテ、工具類及び発動発電機等の損料・運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p>3 単価表 (1) 目地融着工 100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表 3-2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目 地 材</td> <td style="text-align: center;">熱融着式 埋込型</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">表 3-2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	単 位	数 量	特殊作業員	人	3.2	普通作業員	〃	2.2	諸 雑 費 率	%	33	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特殊作業員		人		表 3-2	普通作業員		〃		〃	目 地 材	熱融着式 埋込型	m	100		諸 雑 費		式	1	表 3-2	計					<p>[追加]</p> <p>【省略】</p>	<p>歩掛の新設</p>
名 称	単 位	数 量																																										
特殊作業員	人	3.2																																										
普通作業員	〃	2.2																																										
諸 雑 費 率	%	33																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																								
特殊作業員		人		表 3-2																																								
普通作業員		〃		〃																																								
目 地 材	熱融着式 埋込型	m	100																																									
諸 雑 費		式	1	表 3-2																																								
計																																												

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																				
<p>F～1410 小函渠工据付</p> <p>1 適用範囲 本資料は、質量が1t／個以下で長さが2m以下の小函渠工に適用する。</p> <p>2 施工歩掛 小函渠工の据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 小函渠工の据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料規格 長さ (m)</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">1.0</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.0</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は運搬距離20m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まない。 (注2) バックホウは賃料とする。 (注3) 諸雑費はレバーブロック損料、目地モルタル費用であり労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。<u>ただし、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、材料費及び設置手間を別途計上する。</u> (注4) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の50%とする。</p> <p>【省略】</p>	材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	1.0	土木一般世話役		人	0.4		特殊作業員		〃	0.4		普通作業員		〃	1.2		バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.3		諸 雑 費		%	2		2.0	土木一般世話役		人	0.2		特殊作業員		〃	0.2		普通作業員		〃	0.6		バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.2		諸 雑 費		%	1		<p>F～1410 小函渠工据付</p> <p>1 適用範囲 本資料は、質量が1t／個以下で長さが2m以下の小函渠工に適用する。</p> <p>2 施工歩掛 小函渠工の据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 小函渠工の据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料規格 長さ (m)</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">1.0</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.0</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は運搬距離20m程度までの小運搬を含む据付作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含まない。 (注2) バックホウは賃料とする。 (注3) 諸雑費はレバーブロック損料、目地モルタル費用であり労務費、機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。<u>ただし、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、材料費及び設置手間を別途計上する。</u> (注4) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の50%とする。</p> <p>【省略】</p>	材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	1.0	土木一般世話役		人	0.4		特殊作業員		〃	0.4		普通作業員		〃	1.2		バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.3		諸 雑 費		%	2		2.0	土木一般世話役		人	0.2		特殊作業員		〃	0.2		普通作業員		〃	0.6		バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.2		諸 雑 費		%	1		<p>字句の追加</p>
材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																	
1.0	土木一般世話役		人	0.4																																																																																																																		
	特殊作業員		〃	0.4																																																																																																																		
	普通作業員		〃	1.2																																																																																																																		
	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.3																																																																																																																		
	諸 雑 費		%	2																																																																																																																		
2.0	土木一般世話役		人	0.2																																																																																																																		
	特殊作業員		〃	0.2																																																																																																																		
	普通作業員		〃	0.6																																																																																																																		
	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.2																																																																																																																		
	諸 雑 費		%	1																																																																																																																		
材料規格 長さ (m)	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																	
1.0	土木一般世話役		人	0.4																																																																																																																		
	特殊作業員		〃	0.4																																																																																																																		
	普通作業員		〃	1.2																																																																																																																		
	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.3																																																																																																																		
	諸 雑 費		%	2																																																																																																																		
2.0	土木一般世話役		人	0.2																																																																																																																		
	特殊作業員		〃	0.2																																																																																																																		
	普通作業員		〃	0.6																																																																																																																		
	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	日	0.2																																																																																																																		
	諸 雑 費		%	1																																																																																																																		

G 基礎工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																						
<p>G 基礎工</p> <p>G～1010 木杭打(油圧ブレーカ打込)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、木杭つかみ装置を有する油圧ブレーカ（バックホウ装着式）による木杭（末口9cm～20cm未満、杭長2.0m～7.2m）の打込みに適用する。</p> <p>2 施工概要 本工法は、軟弱地盤において改良された油圧ブレーカ（バックホウ装着式）により、木杭を持ち上げ建込み、打込むものである。</p> <p>【省略】</p> <p>3 機種を選定 施工機械は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 施工機械</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機械名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">台 数</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th colspan="2">杭 長 (m)</th> </tr> <tr> <th>2.0以上 6.0以下</th> <th>6.0を超え 7.2以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">油圧ブレーカ</td> <td>バケツ容量0.4m³、アタッチメントのみ</td> <td>1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バケツ容量0.7m³、アタッチメントのみ</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>1</td> <td></td> <td rowspan="2">ベースマシン</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>5 単価表</p> <p>(1) 木杭打工 100 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4-1、表 4-2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 、 〃</td> </tr> <tr> <td>木 杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油 圧 プ レ ー カ 運 転</td> <td>バケツ容量〇m³</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表 3-1、表 4-2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) D：日当り施工量 (注2) 木杭は松丸太とし、加工済み（先端加工、皮削り、防腐剤塗布等）を標準とする。</p>	機械名	規 格	台 数		備 考	杭 長 (m)		2.0以上 6.0以下	6.0を超え 7.2以下	油圧ブレーカ	バケツ容量0.4m ³ 、アタッチメントのみ	1	—		バケツ容量0.7m ³ 、アタッチメントのみ		1		バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	1		ベースマシン	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		1	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表 4-1、表 4-2	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 、 〃	木 杭		本	100		油 圧 プ レ ー カ 運 転	バケツ容量〇m ³	日	1×100/D	表 3-1、表 4-2	諸 雑 費		式	1	表 4-3	計					<p>G 基礎工</p> <p>G～1010 木杭打(大型ブレーカ打込)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、木杭つかみ装置を有する大型ブレーカ（バックホウ装着式）による木杭（末口9cm～20cm、杭長2.0m～7.2m）の打込みに適用する。</p> <p>2 施工概要 本工法は、軟弱地盤において改良された大型ブレーカ（バックホウ装着式）により、木杭を持ち上げ建込み、打込むものである。</p> <p>【省略】</p> <p>3 機種を選定 施工機械は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 施工機械</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機械名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">台 数</th> <th rowspan="3">備 考</th> </tr> <tr> <th colspan="2">杭 長 (m)</th> </tr> <tr> <th>2.0以上 6.0以下</th> <th>6.0を超え 7.2以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式 600～800 kg級</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>1</td> <td></td> <td rowspan="2">ベースマシン</td> </tr> <tr> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>5 単価表</p> <p>(1) 木杭打工 100 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表 4-1、表 4-2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 、 〃</td> </tr> <tr> <td>木 杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ 運 転</td> <td>油圧式 600～800 kg</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表 3-1、表 4-2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) D：日当り施工量 (注2) 木杭は松丸太とし、加工済み（先端加工、皮削り、防腐剤塗布等）を標準とする。</p>	機械名	規 格	台 数		備 考	杭 長 (m)		2.0以上 6.0以下	6.0を超え 7.2以下	大型ブレーカ	油圧式 600～800 kg級	1	1		バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	1		ベースマシン	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		1	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表 4-1、表 4-2	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 、 〃	木 杭		本	100		大 型 プ レ ー カ 運 転	油圧式 600～800 kg	日	1×100/D	表 3-1、表 4-2	諸 雑 費		式	1	表 4-3	計					<p>字句の改正</p> <p>字句の改正 字句の追加</p> <p>字句の改正</p> <p>表内、字句の追加、 削除、改正</p> <p>字句の改正</p>
機械名			規 格	台 数		備 考																																																																																																																		
				杭 長 (m)																																																																																																																				
	2.0以上 6.0以下	6.0を超え 7.2以下																																																																																																																						
油圧ブレーカ	バケツ容量0.4m ³ 、アタッチメントのみ	1	—																																																																																																																					
	バケツ容量0.7m ³ 、アタッチメントのみ		1																																																																																																																					
バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	1		ベースマシン																																																																																																																				
	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		1																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表 4-1、表 4-2																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 、 〃																																																																																																																				
木 杭		本	100																																																																																																																					
油 圧 プ レ ー カ 運 転	バケツ容量〇m ³	日	1×100/D	表 3-1、表 4-2																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表 4-3																																																																																																																				
計																																																																																																																								
機械名	規 格	台 数		備 考																																																																																																																				
		杭 長 (m)																																																																																																																						
		2.0以上 6.0以下	6.0を超え 7.2以下																																																																																																																					
大型ブレーカ	油圧式 600～800 kg級	1	1																																																																																																																					
バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	1		ベースマシン																																																																																																																				
	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）		1																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表 4-1、表 4-2																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 、 〃																																																																																																																				
木 杭		本	100																																																																																																																					
大 型 プ レ ー カ 運 転	油圧式 600～800 kg	日	1×100/D	表 3-1、表 4-2																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表 4-3																																																																																																																				
計																																																																																																																								

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考	
(2) 機械運転単価表						(2) 機械運転単価表						表内、字句の追加及び改正	
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要		
<u>油圧</u> ブレーカ (バックホウ装着) (杭長 2.0m以上 6.0m以下)	<u>バケツ容量</u> <u>0.4 m³</u>	運転手 (特殊)	人	1.00		<u>大型</u> ブレーカ (バックホウ装着) (杭長 2.0m以上 6.0m以下) <u>油圧式</u> <u>600~800 kg</u>	<u>油圧式</u> <u>600~800 kg</u>	運転手 (特殊)	人	1.00			バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)
		軽 油	L	40				軽 油	L	40			
		機 械 賃 料 1	供用日	1.10				機 械 損 料 1	供用日	1.10			
		機 械 賃 料 2	〃	1.10	<u>油圧</u> ブレーカ (<u>バケツ容量0.4 m³</u> 、 <u>アタッチメントのみ</u>)			機 械 損 料 2	〃	1.10	<u>大型</u> ブレーカ _____		
<u>油圧</u> ブレーカ (バックホウ装着) (杭長 6.0m超え 7.2m以下)	<u>バケツ容量</u> <u>0.7 m³</u>	運転手 (特殊)	人	1.00		<u>大型</u> ブレーカ (バックホウ装着) (杭長 6.0m超え 7.2m以下) <u>油圧式</u> <u>600~800 kg</u>	<u>油圧式</u> <u>600~800 kg</u>	運転手 (特殊)	人	1.00			バックホウ 排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)
		軽 油	L	70				軽 油	L	70			
		機 械 賃 料 1	供用日	1.10				機 械 損 料 1	供用日	1.10			
		機 械 賃 料 2	〃	1.10	<u>油圧</u> ブレーカ (<u>バケツ容量0.7 m³</u> 、 <u>アタッチメントのみ</u>)			機 械 損 料 2	〃	1.10	<u>大型</u> ブレーカ _____		

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																								
<p>G～1200 鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t</td> <td>台</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3">ヤットコ使用の場合計上する</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> ラチスジブ型 50～55 t 吊</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>5 施工歩掛</p> <p>5-1 杭 10 本当り施工日数 (T d)</p> <p>【省略】</p> <p>5-3 諸雑費 諸雑費は、<u>労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費</u>の合計額に表 5-3-1、表 5-3-2 の率を乗じた金額を計上する。</p> <hr style="border: 1px solid red;"/> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p><u>(1) 鋼管杭</u> 鋼管杭打設による諸雑費は、<u>裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ、溶接機の損料、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。</u></p> <p style="text-align: center;">表 5-3-1 諸雑費率（鋼管杭） (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">34</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t	台	1	ヤットコ使用の場合計上する	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	34	継杭有り	16	<p>G～1200 鋼管・既製コンクリート杭打工（パイルハンマ工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t</td> <td>台</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3">ヤットコ使用の場合計上する</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ <u>ラチスジブ型 50～55 t 吊</u></td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>5 施工歩掛</p> <p>5-1 杭 10 本当り施工日数 (T d)</p> <p>【省略】</p> <p>5-3 諸雑費 諸雑費は、<u>電力に関する経費、ヤットコ及び溶接機の損料、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、溶接ワイヤー等の費用であり、労務費</u>の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。 <u>なお、諸雑費率はヤットコの有無及び溶接機の有無に係わらず使用できる。</u></p> <p style="text-align: center;">表 5-3 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </tbody> </table> <hr style="border: 1px solid red;"/> <p style="text-align: center;"><u>[追加]</u></p>	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t	台	1	ヤットコ使用の場合計上する	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ <u>ラチスジブ型 50～55 t 吊</u>	〃	諸雑費率	28	<p>字句の追加</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>表の削除</p> <p>字句の追加</p> <p style="text-align: center;">〃</p> <p>表の追加</p>
機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t	台	1	ヤットコ使用の場合計上する																																						
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃																																								
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> ラチスジブ型 50～55 t 吊	〃																																								
継杭の有無	諸雑費率																																									
継杭無し	34																																									
継杭有り	16																																									
機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																						
クローラ式杭打機	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇t	台	1	ヤットコ使用の場合計上する																																						
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃																																								
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ <u>ラチスジブ型 50～55 t 吊</u>	〃																																								
諸雑費率	28																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																								
<p>(2) 既製コンクリート杭</p> <p>既製コンクリート杭打設による諸雑費は、吊ワイヤー、ヤットコ、溶接機の損料、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及び溶接機の有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。</p> <p style="text-align: right;">表 5-3-2 諸雑費率（既製コンクリート杭） (%)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">諸雑費率</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">3</td> </tr> </table> <p>6 単価表</p> <p>(1) 鋼管・既製コンクリート杭打工 10 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T d × 1</td> <td>表 4-1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T d × 2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T d × 1 (2)</td> <td>〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運 転</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t</td> <td>日</td> <td>T d</td> <td>表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</td> <td>〃</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊</td> <td>〃</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 必要に応じ計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 5-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T d : 杭 10 本当り施工日数</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">クローラ式 杭 打 機</td> <td rowspan="5">油圧ハンマ 直結三点支持式</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽 油</td> <td rowspan="4">L</td> <td>85</td> <td>ラム質量 2.0 t</td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>〃 4～4.5 t</td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>〃 6.5～8 t</td> </tr> <tr> <td>160</td> <td>〃 10～12.5 t</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">クローラ クレーン</td> <td rowspan="3">油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>供用日</td> <td>1.12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	諸雑費率	3	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T d × 1	表 4-1	と び 工		〃	T d × 2	〃	溶 接 工		〃	T d × 1 (2)	〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上	杭		本	10		クローラ式杭打機 運 転	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t	日	T d	表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料	バックホウ運転	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	〃	T d	表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料	クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	〃	T d	表 3-1 必要に応じ計上 機械損料	諸 雑 費 計		式	1	表 5-3	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	クローラ式 杭 打 機	油圧ハンマ 直結三点支持式	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	85	ラム質量 2.0 t	123	〃 4～4.5 t	123	〃 6.5～8 t	160	〃 10～12.5 t	機械損料	供用日	1.75		バックホウ	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	3.8		賃 料	供用日	1.6		クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	27		機械損料	供用日	1.12		<p style="text-align: center;">[追加]</p> <p>6 単価表</p> <p>(1) 鋼管・既製コンクリート杭打工 10 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T d × 1</td> <td>表 4-1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T d × 2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T d × 1 (2)</td> <td>〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機 運 転</td> <td>油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t</td> <td>日</td> <td>T d</td> <td>表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</td> <td>〃</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊</td> <td>〃</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 必要に応じ計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 5-3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T d : 杭 10 本当り施工日数</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">クローラ式 杭 打 機</td> <td rowspan="5">油圧ハンマ 直結三点支持式</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽 油</td> <td rowspan="4">L</td> <td>85</td> <td>ラム質量 2.0 t</td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>〃 4～4.5 t</td> </tr> <tr> <td>123</td> <td>〃 6.5～8 t</td> </tr> <tr> <td>160</td> <td>〃 10～12.5 t</td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">クローラ クレーン</td> <td rowspan="3">油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊</td> <td>運転手（特殊）</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td>供用日</td> <td>1.12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T d × 1	表 4-1	と び 工		〃	T d × 2	〃	溶 接 工		〃	T d × 1 (2)	〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上	杭		本	10		クローラ式杭打機 運 転	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t	日	T d	表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料	バックホウ運転	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	〃	T d	表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料	クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	〃	T d	表 3-1 必要に応じ計上 機械損料	諸 雑 費 計		式	1	表 5-3	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	クローラ式 杭 打 機	油圧ハンマ 直結三点支持式	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	85	ラム質量 2.0 t	123	〃 4～4.5 t	123	〃 6.5～8 t	160	〃 10～12.5 t	機械損料	供用日	1.75		バックホウ	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	3.8		賃 料	供用日	1.6		クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	運転手（特殊）	人	1.00		軽 油	L	27		機械損料	供用日	1.12		<p>字句の追加</p> <p>〃</p> <p>表の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p>
諸雑費率	3																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
土木一般世話役		人	T d × 1	表 4-1																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃	T d × 2	〃																																																																																																																																																																																																						
溶 接 工		〃	T d × 1 (2)	〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上																																																																																																																																																																																																						
杭		本	10																																																																																																																																																																																																							
クローラ式杭打機 運 転	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t	日	T d	表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料																																																																																																																																																																																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	〃	T d	表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																						
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	〃	T d	表 3-1 必要に応じ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費 計		式	1	表 5-3																																																																																																																																																																																																						
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																					
クローラ式 杭 打 機	油圧ハンマ 直結三点支持式	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	85	ラム質量 2.0 t																																																																																																																																																																																																					
				123	〃 4～4.5 t																																																																																																																																																																																																					
				123	〃 6.5～8 t																																																																																																																																																																																																					
				160	〃 10～12.5 t																																																																																																																																																																																																					
機械損料	供用日	1.75																																																																																																																																																																																																								
バックホウ	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	3.8																																																																																																																																																																																																						
		賃 料	供用日	1.6																																																																																																																																																																																																						
クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	27																																																																																																																																																																																																						
		機械損料	供用日	1.12																																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
土木一般世話役		人	T d × 1	表 4-1																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃	T d × 2	〃																																																																																																																																																																																																						
溶 接 工		〃	T d × 1 (2)	〃 () 内は鋼管杭径 800 mm以上																																																																																																																																																																																																						
杭		本	10																																																																																																																																																																																																							
クローラ式杭打機 運 転	油圧ハンマ・直結三点支持式 ラム質量〇〇 t	日	T d	表 3-1、図 3-1、 図 3-2 機械損料																																																																																																																																																																																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	〃	T d	表 3-1 ヤットコ使用時計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																						
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	〃	T d	表 3-1 必要に応じ計上 機械損料																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費 計		式	1	表 5-3																																																																																																																																																																																																						
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																					
クローラ式 杭 打 機	油圧ハンマ 直結三点支持式	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	85	ラム質量 2.0 t																																																																																																																																																																																																					
				123	〃 4～4.5 t																																																																																																																																																																																																					
				123	〃 6.5～8 t																																																																																																																																																																																																					
				160	〃 10～12.5 t																																																																																																																																																																																																					
機械損料	供用日	1.75																																																																																																																																																																																																								
バックホウ	排出ガス対策型（第 2 次基準値） クローラ型 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ）	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	3.8																																																																																																																																																																																																						
		賃 料	供用日	1.6																																																																																																																																																																																																						
クローラ クレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型 <u>排出ガス対策型（第 2 次基準値）</u> 50～55 t 吊	運転手（特殊）	人	1.00																																																																																																																																																																																																						
		軽 油	L	27																																																																																																																																																																																																						
		機械損料	供用日	1.12																																																																																																																																																																																																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																				
<p>(3) <u>鋼管杭（グラウト方式）</u></p> <p>中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。</p> <p style="text-align: center;">表 5-3-3 諸雑費率（鋼管杭） (%)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">継杭の有無</th> <th style="text-align: center;">諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">継杭無し</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">継杭有り</td> <td style="text-align: center;">38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。 (注2) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。</p> <p>(4) <u>既製コンクリート杭（グラウト方式）</u></p> <p>中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。</p> <p style="text-align: center;">表 5-3-4 諸雑費率（既製コンクリート杭） (%)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">継杭の有無</th> <th style="text-align: center;">諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">継杭無し</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">継杭有り</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p>	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	52	継杭有り	38	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	36	継杭有り	33	<p style="text-align: center;">[追加]</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p>	<p>字句の追加 ”</p> <p>表の追加</p> <p>字句の追加 ”</p> <p>字句の追加 ”</p> <p>表の追加</p> <p>字句の追加</p>																																																																																								
継杭の有無	諸雑費率																																																																																																					
継杭無し	52																																																																																																					
継杭有り	38																																																																																																					
継杭の有無	諸雑費率																																																																																																					
継杭無し	36																																																																																																					
継杭有り	33																																																																																																					
<p>6 単価表</p> <p>(1) 中掘（打撃打止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込み 10 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T d×1</td> <td>表 4-1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>” 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ運</td> <td>アースオーガ中掘機</td> <td>日</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊</td> <td>”</td> <td>T d</td> <td>” 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>”</td> <td>T d</td> <td>” 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 5-3-1、表 5-3-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) T d : 杭 10 本当り施工日数 (日/10 本)</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	T d×1	表 4-1	とび工		”	T d×1	”	普通作業員		”	T d×1	”	溶接工		”	T d×1	” 必要に応じて計上	杭		本	10		クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料	クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊	”	T d	” 機械損料	バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	”	T d	” 機械損料	諸雑費計		式	1	表 5-3-1、表 5-3-2	<p>6 単価表</p> <p>(1) 中掘（打撃打止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込み 10 本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T d×1</td> <td>表 4-1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>”</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>”</td> <td>T d×1</td> <td>” 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ運</td> <td>アースオーガ中掘機</td> <td>日</td> <td>T d</td> <td>表 3-1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊</td> <td>”</td> <td>T d</td> <td>” 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>”</td> <td>T d</td> <td>” 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費計</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 5-3-1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) T d : 杭 10 本当り施工日数 (日/10 本)</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	T d×1	表 4-1	とび工		”	T d×1	”	普通作業員		”	T d×1	”	溶接工		”	T d×1	” 必要に応じて計上	杭		本	10		クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料	クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊	”	T d	” 機械損料	バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	”	T d	” 機械損料	諸雑費計		式	1	表 5-3-1	<p>字句の追加</p>
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																		
土木一般世話役		人	T d×1	表 4-1																																																																																																		
とび工		”	T d×1	”																																																																																																		
普通作業員		”	T d×1	”																																																																																																		
溶接工		”	T d×1	” 必要に応じて計上																																																																																																		
杭		本	10																																																																																																			
クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料																																																																																																		
クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊	”	T d	” 機械損料																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	”	T d	” 機械損料																																																																																																		
諸雑費計		式	1	表 5-3-1、表 5-3-2																																																																																																		
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																		
土木一般世話役		人	T d×1	表 4-1																																																																																																		
とび工		”	T d×1	”																																																																																																		
普通作業員		”	T d×1	”																																																																																																		
溶接工		”	T d×1	” 必要に応じて計上																																																																																																		
杭		本	10																																																																																																			
クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料																																																																																																		
クローラクレーン運転	排出ガス対策型（第○次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型○○t吊	”	T d	” 機械損料																																																																																																		
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	”	T d	” 機械損料																																																																																																		
諸雑費計		式	1	表 5-3-1																																																																																																		

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
(2) 中掘（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込み 10 本当り単価表					(2) 中掘（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込み 10 本当り単価表					字句の追加、改正
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
土 木 一 般 世 話 役		人	T d×1	表 4-1	土 木 一 般 世 話 役		人	T d×1	表 4-1	
と び 工		〃	T d×1	〃	と び 工		〃	T d×1	〃	
特 殊 作 業 員		〃	T d×1	〃	特 殊 作 業 員		〃	T d×1	〃	
普 通 作 業 員		〃	T d×1	〃	普 通 作 業 員		〃	T d×1	〃	
溶 接 工		〃	T d×1	〃 必要に応じて計上	溶 接 工		〃	T d×1	〃 必要に応じて計上	
杭		本	10		杭		本	10		
クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料	クローラ式アースオーガ運	アースオーガ中掘機	日	T d	表 3-1 機械損料	
クローラクレーン運	排出ガス対策型（第〇次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型〇〇 t 吊	〃	T d	〃 機械損料	クローラクレーン運	排出ガス対策型（第〇次基準値）油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型〇〇 t 吊	〃	T d	〃 機械損料	
バックホウ運	排出ガス対策型（第 2 次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	T d	〃 機械損料	バックホウ運	排出ガス対策型（第 2 次基準値）クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	T d	〃 機械損料	
諸 雑 費		式	1	表 5-3-3、表 5-3-4	諸 雑 費		式	1	表 5-3-2	
計					計					
(注 1) T d : 杭 10 本当り施工日数 (日/10 本)					(注 1) T d : 杭 10 本当り施工日数 (日/10 本)					
【省略】					【省略】					

新 旧 対 照 表

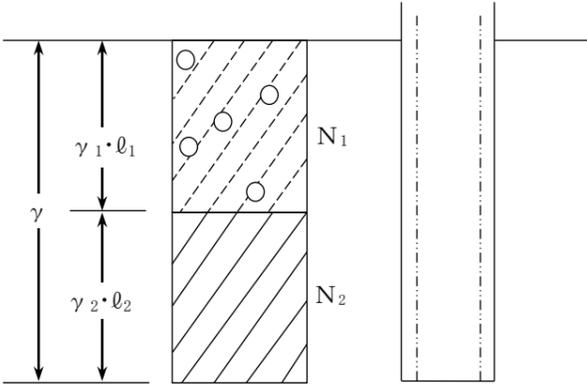
改 正	現 行	備 考
<p>G～2020 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>8 ビット等損耗費 ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、<u> </u>機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。 【省略】</p>	<p>G～2020 場所打杭工（大口径ボーリングマシン工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>8 ビット等損耗費 ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、<u>材料費</u>、機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。 【省略】</p>	<p>字句の削除</p>

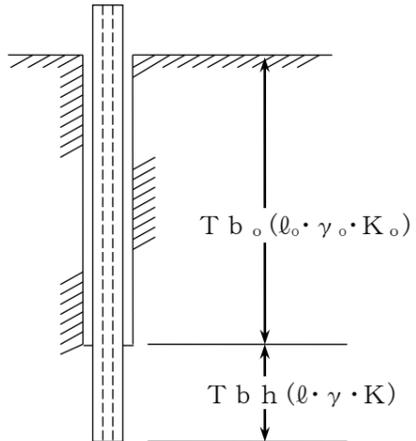
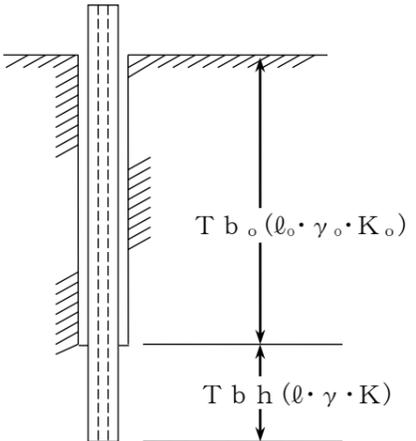
改 正	現 行	備 考								
<p>G～2100 H形鋼打込（_____プレボーリング）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、_____プレボーリング工法によるH形鋼の施工（打込み）に適用する。</p> <p>2 機種 선정 _____ _____ _____ _____</p> <p style="text-align: center;"><u>削除</u></p> <p style="text-align: center;"><u>削除</u></p>	<p>G～2100 H形鋼打込（<u>ディーゼルハンマ・プレボーリング</u>）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、<u>ディーゼルハンマ及び</u>プレボーリング工法によるH形鋼の施工（打込み）に適用する。</p> <p>2 機種 선정 <u>2-1 ディーゼルハンマの規格</u> <u>(1) 機械の種類</u> 施工機械は、土質、打込長による施工性及び騒音、振動などを考慮し、現場条件に適した機種を選定する。 <u>(2) 機械の規格</u> 機械の規格は、H形鋼のサイズ、打込長、土質などにより異なるが、一般的には次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;"><u>図 2-1 ディーゼルハンマ規格選定図</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 2-1 クローラ式杭打機標準機種</u></p> <table border="1" data-bbox="1430 1276 2585 1411"> <thead> <tr> <th><u>ディーゼルハンマ規格</u></th> <th><u>杭打機</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>ラム質量 1.3 t</u></td> <td><u>ディーゼルハンマ・ブーム式</u></td> </tr> <tr> <td><u>〃 2.5 t</u></td> <td><u>〃</u></td> </tr> <tr> <td><u>〃 3.5 t</u></td> <td><u>ディーゼルハンマ直結三点支持式</u></td> </tr> </tbody> </table>	<u>ディーゼルハンマ規格</u>	<u>杭打機</u>	<u>ラム質量 1.3 t</u>	<u>ディーゼルハンマ・ブーム式</u>	<u>〃 2.5 t</u>	<u>〃</u>	<u>〃 3.5 t</u>	<u>ディーゼルハンマ直結三点支持式</u>	<p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の削除</p> <p>〃</p> <p>選定図の削除</p> <p>表の削除</p>
<u>ディーゼルハンマ規格</u>	<u>杭打機</u>									
<u>ラム質量 1.3 t</u>	<u>ディーゼルハンマ・ブーム式</u>									
<u>〃 2.5 t</u>	<u>〃</u>									
<u>〃 3.5 t</u>	<u>ディーゼルハンマ直結三点支持式</u>									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>2-<u>1</u> アースオーガ（プレボーリング用）の規格 図 2-<u>1</u> アースオーガ規格選定図</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 2-<u>1</u>-1 クローラ式杭打機標準機種</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">アースオーガ規格</th> <th style="text-align: center;">杭打機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30kW</td> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">45kW</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 打込みを行う場合のディーゼルハンマ規格はラム質量 1.3 t を標準とする。 (注 2) 打込みを行わない場合はディーゼルハンマに替えて、モンケン（2 t）の装置を標準とする。</p> <p>(1) アースオーガ径 H形鋼サイズとアースオーガ径の関係は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-<u>1</u>-2 H形鋼サイズとアースオーガ径</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">H形鋼サイズ</th> <th style="text-align: center;">H200</th> <th style="text-align: center;">H250</th> <th style="text-align: center;">H300</th> <th style="text-align: center;">H350</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">アースオーガ径</td> <td style="text-align: center;">φ 350 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 400 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 450 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 500 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-<u>2</u> その他の機械 (1) 補助クレーン</p> <p>【省略】</p> <p>(2) バックホウ _____</p> <p>【省略】</p> <p>3 編成人員及び運転時間</p> <p>3-1 編成人員 H形鋼施工の 1 班編成は、次表を標準とする。ただし、杭打機等の運転労務は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 H形鋼施工編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">土木一般世話役</th> <th style="text-align: center;">とび工</th> <th style="text-align: center;">普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>プレボーリング</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>4 施工歩掛 H形鋼 1 本当りの打込み施工時間は、次式による。</p> <p>【省略】</p> <p>4-1 H形鋼 1 本当り準備時間 (T s) 準備時間は、足場づくり、杭打機の移動、H形鋼の吊込み、芯出し、機械の給油脂等を含む時間であり、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 H形鋼 1 本当り準備時間 (min/本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">時 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>12</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) _____ 準備時間には打込みのための時間も含む。 (注 2) _____ 打込みをしない場合は 2 分を減ずるものとする。</p>	アースオーガ規格	杭打機	30kW	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式	45kW	〃	H形鋼サイズ	H200	H250	H300	H350	アースオーガ径	φ 350 mm	φ 400 mm	φ 450 mm	φ 500 mm	工 種	職 種	土木一般世話役	とび工	普通作業員	打込み	<u>プレボーリング</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>	工 種	時 間	打込み	<u>12</u>	<p>2-<u>2</u> アースオーガ（プレボーリング用）の規格 図 2-<u>2</u> アースオーガ規格選定図</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 2-<u>2</u>-1 クローラ式杭打機標準機種</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">アースオーガ規格</th> <th style="text-align: center;">杭打機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30kW</td> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">45kW</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 打込みを行う場合のディーゼルハンマ規格はラム質量 1.3 t を標準とする。 (注 2) 打込みを行わない場合はディーゼルハンマに替えて、モンケン（2 t）の装置を標準とする。</p> <p>(1) アースオーガ径 H形鋼サイズとアースオーガ径の関係は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-<u>2</u>-2 H形鋼サイズとアースオーガ径</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">H形鋼サイズ</th> <th style="text-align: center;">H200</th> <th style="text-align: center;">H250</th> <th style="text-align: center;">H300</th> <th style="text-align: center;">H350</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">アースオーガ径</td> <td style="text-align: center;">φ 350 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 400 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 450 mm</td> <td style="text-align: center;">φ 500 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-<u>3</u> その他の機械 (1) 補助クレーン</p> <p>【省略】</p> <p>(2) バックホウ (<u>プレボーリング工法のみ適用</u>)</p> <p>【省略】</p> <p>3 編成人員及び運転時間</p> <p>3-1 編成人員 H形鋼施工の 1 班編成は、次表を標準とする。ただし、杭打機等の運転労務は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 H形鋼施工編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">土木一般世話役</th> <th style="text-align: center;">とび工</th> <th style="text-align: center;">普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>ディーゼルハンマ</u> <u>プレボーリング</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>4 施工歩掛 H形鋼 1 本当りの打込み施工時間は、次式による。</p> <p>【省略】</p> <p>4-1 H形鋼 1 本当り準備時間 (T s) 準備時間は、足場づくり、杭打機の移動、H形鋼の吊込み、芯出し、機械の給油脂等を含む時間であり、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 H形鋼 1 本当り準備時間 (min/本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">時 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>12</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) <u>プレボーリングの</u> 準備時間には打込みのための時間も含む。 (注 2) <u>プレボーリングで</u> 打込みをしない場合は 2 分を減ずるものとする。</p>	アースオーガ規格	杭打機	30kW	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式	45kW	〃	H形鋼サイズ	H200	H250	H300	H350	アースオーガ径	φ 350 mm	φ 400 mm	φ 450 mm	φ 500 mm	工 種	職 種	土木一般世話役	とび工	普通作業員	打込み	<u>ディーゼルハンマ</u> <u>プレボーリング</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>	工 種	時 間	打込み	<u>12</u>	<p>番号の改正 〃 番号の改正 番号の改正 番号の改正 番号の改正 番号の改正 字句の削除 字句、数値の削除 字句、数値の削除 字句の削除 〃</p>
アースオーガ規格	杭打機																																																													
30kW	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式																																																													
45kW	〃																																																													
H形鋼サイズ	H200	H250	H300	H350																																																										
アースオーガ径	φ 350 mm	φ 400 mm	φ 450 mm	φ 500 mm																																																										
工 種	職 種	土木一般世話役	とび工	普通作業員																																																										
	打込み	<u>プレボーリング</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>																																																									
工 種	時 間																																																													
打込み	<u>12</u>																																																													
アースオーガ規格	杭打機																																																													
30kW	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式																																																													
45kW	〃																																																													
H形鋼サイズ	H200	H250	H300	H350																																																										
アースオーガ径	φ 350 mm	φ 400 mm	φ 450 mm	φ 500 mm																																																										
工 種	職 種	土木一般世話役	とび工	普通作業員																																																										
	打込み	<u>ディーゼルハンマ</u> <u>プレボーリング</u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>																																																									
工 種	時 間																																																													
打込み	<u>12</u>																																																													

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																										
<p>4-2 H形鋼 1 本当り打込み時間 (T b)</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <hr/> <p style="text-align: center;">[削除]</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p style="text-align: center;">[削除]</p>	<p>4-2 H形鋼 1 本当り打込み時間 (T b)</p> <p>(1) <u>ディーゼルハンマ</u></p> <p><u>$T b = \gamma \times \ell \times K$ (min/本)</u></p> <p><u>γ : 打込み単位作業時間 (min/m)</u></p> <p><u>ℓ : H形鋼の根入れ長さ (m)</u></p> <p><u>K : ハンマ係数</u></p> <p style="text-align: right;">表 4-2-1 打込み単位作業時間 (γ) (min/m)</p> <table border="1" data-bbox="1430 499 2585 604"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">工 種</th> <th colspan="2">土 質</th> </tr> <tr> <th>砂質土・レキ質土 (γ_1)</th> <th>粘性土 (γ_2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>打込み</td> <td>ディーゼルハンマ</td> <td>$0.03N_1 + 0.4$</td> <td>$0.05N_2 + 0.4$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) N_1、N_2 : 各地質ごとの根入れ長に対する加重平均N値</p> <p>(注2) γの算出については、γ_1、γ_2を各々算出し次式により加重平均する。</p> $\gamma = \frac{\gamma_1 \times \ell_1 + \gamma_2 \times \ell_2}{\ell_1 + \ell_2}$ <p>γ : 施工土質に対する打込み単位作業時間 (min/m)</p> <p>γ_1 : 砂質土、レキ質土に対する単位作業時間 (min/m)</p> <p>γ_2 : 粘性土に対する単位作業時間 (min/m)</p> <p>ℓ_1 : γ_1に対する根入れ長さ (m)</p> <p>ℓ_2 : γ_2に対する根入れ長さ (m)</p> <p style="text-align: center;">図 4-2-1 施工状況 (ディーゼルハンマ)</p>  <p style="text-align: right;">表 4-2-2 H形鋼のハンマ係数 (K)</p> <table border="1" data-bbox="1430 1451 2585 1577"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">工 種</th> <th colspan="4">H形鋼規格</th> </tr> <tr> <th>H200</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>打込み</td> <td>ディーゼルハンマ</td> <td>0.90</td> <td>0.95</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table>	工 種		土 質		砂質土・レキ質土 (γ_1)	粘性土 (γ_2)	打込み	ディーゼルハンマ	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$	工 種		H形鋼規格				H200	H250	H300	H350	打込み	ディーゼルハンマ	0.90	0.95	1.00	1.05	<p>字句の削除 計算式の削除</p> <p>表の削除</p> <p>字句の削除 " 計算式の削除</p> <p>図の削除</p> <p>表の削除</p>
工 種				土 質																								
		砂質土・レキ質土 (γ_1)	粘性土 (γ_2)																									
打込み	ディーゼルハンマ	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$																									
工 種		H形鋼規格																										
		H200	H250	H300	H350																							
打込み	ディーゼルハンマ	0.90	0.95	1.00	1.05																							

改 正	現 行	備 考																																																																												
<p><u>(1)</u> プレボーリング</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">図 4-2-<u>1</u> 施工状況 (プレボーリング)</p>  <p style="text-align: center;">表 4-2-<u>1</u> 掘削・打止め単位作業時間 ($\gamma_0 \cdot \gamma$)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土 質</th> <th style="text-align: center;">砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)</th> <th style="text-align: center;">粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">アースオーガ掘削</td> <td style="text-align: center;">$0.03N_1 + 1.5$</td> <td style="text-align: center;">$0.05N_2 + 1.5$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ打止め</td> <td style="text-align: center;">$0.03N_1 + 0.4$</td> <td style="text-align: center;">$0.05N_2 + 0.4$</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 4-2-<u>2</u> H形鋼のハンマ係数 (K_0, K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">ハンマ係数</th> <th style="text-align: center;">H形鋼の規格 (掘削径)</th> <th style="text-align: center;">H200 ($\phi 350$)</th> <th style="text-align: center;">H250 ($\phi 400$)</th> <th style="text-align: center;">H300 ($\phi 450$)</th> <th style="text-align: center;">H350 ($\phi 500$)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">K_0</td> <td style="text-align: center;">アースオーガ掘削</td> <td style="text-align: center;">0.90</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K</td> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ打止め</td> <td style="text-align: center;">0.90</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 作業係数 (F)</p> <p>現場作業条件による作業係数 (F) は、表 4-3-1 の基準作業係数 (F_0) に表 4-3-2 の作業条件による補正係数を加え算出する。</p> $F = F_0 + (f_1 + f_2 + f_3)$ <p>F : 作業係数 F_0 : 基準作業係数 $f_1 \sim f_3$: 作業条件による補正係数</p> <p>(1) 基準作業係数</p> <p>機種による係数は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-3-1 基準作業係数</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">F_0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>0.80</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">プレボーリング</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	土 質	砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)	粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)	アースオーガ掘削	$0.03N_1 + 1.5$	$0.05N_2 + 1.5$	ディーゼルハンマ打止め	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$	ハンマ係数	H形鋼の規格 (掘削径)	H200 ($\phi 350$)	H250 ($\phi 400$)	H300 ($\phi 450$)	H350 ($\phi 500$)	工 種					K_0	アースオーガ掘削	0.90	0.95	1.00	1.10	K	ディーゼルハンマ打止め	0.90	0.95	1.00	1.05	工 種	F_0	打込み	<u>0.80</u>	プレボーリング	0.80	<p><u>(2)</u> プレボーリング</p> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">図 4-2-<u>2</u> 施工状況 (プレボーリング)</p>  <p style="text-align: center;">表 4-2-<u>3</u> 掘削・打止め単位作業時間 ($\gamma_0 \cdot \gamma$)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">土 質</th> <th style="text-align: center;">砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)</th> <th style="text-align: center;">粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">アースオーガ掘削</td> <td style="text-align: center;">$0.03N_1 + 1.5$</td> <td style="text-align: center;">$0.05N_2 + 1.5$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ打止め</td> <td style="text-align: center;">$0.03N_1 + 0.4$</td> <td style="text-align: center;">$0.05N_2 + 0.4$</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 4-2-<u>4</u> H形鋼のハンマ係数 (K_0, K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">ハンマ係数</th> <th style="text-align: center;">H形鋼の規格 (掘削径)</th> <th style="text-align: center;">H200 ($\phi 350$)</th> <th style="text-align: center;">H250 ($\phi 400$)</th> <th style="text-align: center;">H300 ($\phi 450$)</th> <th style="text-align: center;">H350 ($\phi 500$)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">K_0</td> <td style="text-align: center;">アースオーガ掘削</td> <td style="text-align: center;">0.90</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K</td> <td style="text-align: center;">ディーゼルハンマ打止め</td> <td style="text-align: center;">0.90</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 作業係数 (F)</p> <p>現場作業条件による作業係数 (F) は、表 4-3-1 の基準作業係数 (F_0) に表 4-3-2 の作業条件による補正係数を加え算出する。</p> $F = F_0 + (f_1 + f_2 + f_3)$ <p>F : 作業係数 F_0 : 基準作業係数 $f_1 \sim f_3$: 作業条件による補正係数</p> <p>(1) 基準作業係数</p> <p>機種による係数は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-3-1 基準作業係数</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">F_0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">打込み</td> <td style="text-align: center;"><u>0.80</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">プレボーリング</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	土 質	砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)	粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)	アースオーガ掘削	$0.03N_1 + 1.5$	$0.05N_2 + 1.5$	ディーゼルハンマ打止め	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$	ハンマ係数	H形鋼の規格 (掘削径)	H200 ($\phi 350$)	H250 ($\phi 400$)	H300 ($\phi 450$)	H350 ($\phi 500$)	工 種					K_0	アースオーガ掘削	0.90	0.95	1.00	1.10	K	ディーゼルハンマ打止め	0.90	0.95	1.00	1.05	工 種	F_0	打込み	<u>0.80</u>	プレボーリング	0.80	<p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句、数値の削除</p>
土 質	砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)	粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)																																																																												
アースオーガ掘削	$0.03N_1 + 1.5$	$0.05N_2 + 1.5$																																																																												
ディーゼルハンマ打止め	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$																																																																												
ハンマ係数	H形鋼の規格 (掘削径)	H200 ($\phi 350$)	H250 ($\phi 400$)	H300 ($\phi 450$)	H350 ($\phi 500$)																																																																									
	工 種																																																																													
K_0	アースオーガ掘削	0.90	0.95	1.00	1.10																																																																									
K	ディーゼルハンマ打止め	0.90	0.95	1.00	1.05																																																																									
工 種	F_0																																																																													
打込み	<u>0.80</u>																																																																													
プレボーリング	0.80																																																																													
土 質	砂質土・レキ質土 ($\gamma_{01} \cdot \gamma_1$)	粘性土 ($\gamma_{02} \cdot \gamma_2$)																																																																												
アースオーガ掘削	$0.03N_1 + 1.5$	$0.05N_2 + 1.5$																																																																												
ディーゼルハンマ打止め	$0.03N_1 + 0.4$	$0.05N_2 + 0.4$																																																																												
ハンマ係数	H形鋼の規格 (掘削径)	H200 ($\phi 350$)	H250 ($\phi 400$)	H300 ($\phi 450$)	H350 ($\phi 500$)																																																																									
	工 種																																																																													
K_0	アースオーガ掘削	0.90	0.95	1.00	1.10																																																																									
K	ディーゼルハンマ打止め	0.90	0.95	1.00	1.05																																																																									
工 種	F_0																																																																													
打込み	<u>0.80</u>																																																																													
プレボーリング	0.80																																																																													

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																	
<p>5 単価表</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>(1) プレボーリング工法によるH形鋼打込み 10本当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機運転</td> <td></td> <td>h</td> <td>$10 \times T_c / 60$</td> <td>本体+ハンマ 機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 0.6$</td> <td>必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 0.3$</td> <td>3-2 (3) 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4-4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) T_c : H形鋼1本当り施工時間 (min/本) T : 杭打機の運転日当り運転時間 (h/日)</p> <p>6 燃料消費量</p> <p>杭打機の1時間当り燃料消費量は、次表による。</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>(1) プレボーリング工法による場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機</td> <td></td> <td>軽油</td> <td>L</td> <td></td> <td>主燃料 $q_p + 0.5q_h$</td> </tr> </tbody> </table> <p>q_p : 杭打機の時間当りの燃料消費量 (L/h) q_h : ディーゼルハンマの時間当りの燃料消費量 (L/h)</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$		普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料	トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料	バックホウ運	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.3$	3-2 (3) 機械損料	諸雑費		式	1	表4-4	計					機種	規格	区分	単位	数量	摘要	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機		軽油	L		主燃料 $q_p + 0.5q_h$	<p>5 単価表</p> <p>(1) ディーゼルハンマによるH形鋼打込み 10本当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機運転</td> <td></td> <td>h</td> <td>$10 \times T_c / 60$</td> <td>本体+ハンマ 機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 0.6$</td> <td>必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) T_c : H形鋼1本当り施工時間 (min/本) T : ディーゼルハンマ (杭打機) の運転日当り運転時間 (h/日)</p> <p>(2) プレボーリング工法によるH形鋼打込み 10本当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機運転</td> <td></td> <td>h</td> <td>$10 \times T_c / 60$</td> <td>本体+ハンマ 機械損料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16t吊</td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 0.6$</td> <td>必要に応じて計上 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>〃</td> <td>$10 \times T_c / 60 \times 0.3$</td> <td>3-2 (3) 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4-4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) T_c : H形鋼1本当り施工時間 (min/本) T : 杭打機の運転日当り運転時間 (h/日)</p> <p>6 燃料消費量</p> <p>杭打機の1時間当り燃料消費量は、次表による。</p> <p>(1) ディーゼルハンマによる場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td></td> <td>軽油</td> <td>L</td> <td></td> <td>$q_p + (T_b / T_c) \cdot q_h$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) プレボーリング工法による場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>規格</th> <th>区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機</td> <td></td> <td>軽油</td> <td>L</td> <td></td> <td>主燃料 $q_p + 0.5q_h$</td> </tr> </tbody> </table> <p>q_p : 杭打機の時間当りの燃料消費量 (L/h) q_h : ディーゼルハンマの時間当りの燃料消費量 (L/h) T_b : H形鋼1本当り打込み時間 (min) T_c : H形鋼1本当り施工時間 (min)</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$		普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料	トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料	計					名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$		普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$		クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料	トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料	バックホウ運	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.3$	3-2 (3) 機械損料	諸雑費		式	1	表4-4	計					機種	規格	区分	単位	数量	摘要	クローラ式杭打機		軽油	L		$q_p + (T_b / T_c) \cdot q_h$	機種	規格	区分	単位	数量	摘要	ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機		軽油	L		主燃料 $q_p + 0.5q_h$	<p>字句の削除 表の削除</p> <p>字句の削除 〃</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除 表の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除 〃</p>
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$																																																																																																																																																																
普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料																																																																																																																																																															
トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																																																															
バックホウ運	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.3$	3-2 (3) 機械損料																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表4-4																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
機種	規格	区分	単位	数量	摘要																																																																																																																																																														
ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機		軽油	L		主燃料 $q_p + 0.5q_h$																																																																																																																																																														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$																																																																																																																																																																
普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料																																																																																																																																																															
トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																																															
土木一般世話役		人	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
とび工		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 2$																																																																																																																																																																
普通作業員		〃	$10 \times T_c / 60 \times 1 / T \times 1$																																																																																																																																																																
クローラ式杭打機運転		h	$10 \times T_c / 60$	本体+ハンマ 機械損料																																																																																																																																																															
トラッククレーン運	油圧伸縮ジブ型 16t吊	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.6$	必要に応じて計上 機械損料																																																																																																																																																															
バックホウ運	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	〃	$10 \times T_c / 60 \times 0.3$	3-2 (3) 機械損料																																																																																																																																																															
諸雑費		式	1	表4-4																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																			
機種	規格	区分	単位	数量	摘要																																																																																																																																																														
クローラ式杭打機		軽油	L		$q_p + (T_b / T_c) \cdot q_h$																																																																																																																																																														
機種	規格	区分	単位	数量	摘要																																																																																																																																																														
ディーゼルハンマ及びアースオーガ併用直結三点支持式杭打機		軽油	L		主燃料 $q_p + 0.5q_h$																																																																																																																																																														

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

J 道路附帯工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																
<p>J 道路附帯工</p> <p>J～1010 皿型側溝布設</p> <p>1 適用範囲 本資料は、プレキャスト製品による皿型側溝の据付作業に適用する。</p> <p>2 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである</p> <p>3 施工歩掛 皿型側溝の据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 皿型側溝据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は運搬距離10mまでの小運搬を含む標準的な据付作業であり、床掘、基礎材(基礎コンクリート)、埋戻し等は含まない。</p> <p>(注2) 諸雑費は、目地及び均しモルタル費、モルタルミキサの運転費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p>(注3) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の50%とする。</p> <p>【省略】</p>	名 称	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役	人	0.12		普 通 作 業 員	〃	0.57		諸 雑 費	%	7		<p>J 道路附帯工</p> <p>J～1010 皿型側溝布設</p> <p>1 適用範囲 本資料は、プレキャスト製品による皿型側溝の据付作業に適用する。</p> <p>2 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである なお、柵の設置、基礎コンクリートは対象としない。</p> <p>3 施工歩掛 皿型側溝の据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 皿型側溝据付歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は運搬距離10mまでの小運搬を含む標準的な据付作業であり、床掘、基礎_____、埋戻し等は含まない。</p> <p>(注2) 諸雑費は、目地及び均しモルタル費、モルタルミキサの運転費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に、上表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p>(注3) 再使用撤去歩掛は、据付歩掛の50%とする。</p> <p>【省略】</p>	名 称	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役	人	0.12		普 通 作 業 員	〃	0.57		諸 雑 費	%	7		<p>字句の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加</p>
名 称	単 位	数 量	摘 要																															
土 木 一 般 世 話 役	人	0.12																																
普 通 作 業 員	〃	0.57																																
諸 雑 費	%	7																																
名 称	単 位	数 量	摘 要																															
土 木 一 般 世 話 役	人	0.12																																
普 通 作 業 員	〃	0.57																																
諸 雑 費	%	7																																

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																														
<p>J～2300 ガードケーブル工</p> <p>I ガードケーブル工 (1) 【省略】</p> <p>II ガードケーブル工 (2) 1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 機種を選定 ガードケーブル工における機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="172 709 1329 877"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)</td> <td>ガードレール 支柱打込機</td> <td>エアブレーカ式 <u>質量700kg級</u> 打撃数 530bpm</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>端末支柱 (基礎付) 取外し再設置</td> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	施工区分	機械名	規 格	単 位	台 数	中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)	ガードレール 支柱打込機	エアブレーカ式 <u>質量700kg級</u> 打撃数 530bpm	台	1	端末支柱 (基礎付) 取外し再設置	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	1	<p>J～2300 ガードケーブル工</p> <p>I ガードケーブル工 (1) 【省略】</p> <p>II ガードケーブル工 (2) 1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 機種を選定 ガードケーブル工における機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1427 709 2585 877"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)</td> <td>ガードレール 支柱打込機</td> <td>エアブレーカ式 _____ 打撃数 530bpm</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>端末支柱 (基礎付) 取外し再設置</td> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	施工区分	機械名	規 格	単 位	台 数	中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)	ガードレール 支柱打込機	エアブレーカ式 _____ 打撃数 530bpm	台	1	端末支柱 (基礎付) 取外し再設置	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	1	<p>字句の追加</p>
施工区分	機械名	規 格	単 位	台 数																												
中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)	ガードレール 支柱打込機	エアブレーカ式 <u>質量700kg級</u> 打撃数 530bpm	台	1																												
端末支柱 (基礎付) 取外し再設置	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	1																												
施工区分	機械名	規 格	単 位	台 数																												
中 間 支 柱 打 込 (土中機械打込)	ガードレール 支柱打込機	エアブレーカ式 _____ 打撃数 530bpm	台	1																												
端末支柱 (基礎付) 取外し再設置	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	〃	1																												

K 橋梁工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">K 橋 梁 工</p> <p>K～1000 鋼橋製作工</p> <p>1 直接労務費</p> <p>【省略】</p> <p>2 製作工数</p> <p>橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。</p> <p>2-1 全体製作工数 (Y)</p> <p>【省略】</p> <p>2-7 付属物の製作工数 (Y₅)</p> $Y_5 = D \times d \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) + E \times e \times (1 + \beta) + F \times f \times (1 + \beta) + G \times g \times (1 + \alpha)$ <p>D : 伸縮継手の加工鋼材質量 d : 伸縮継手の標準工数 (表 2-10-1) E : 高欄の加工鋼材質量 e : 高欄の標準工数 (表 2-10-2) F : 橋梁用防護柵の加工鋼材質量 f : 橋梁用防護柵の標準工数 (表 2-10-3) G : 検査路の加工鋼材質量 g : 検査路の標準工数 (表 2-10-4) α : 重連による補正率 (表 2-11-1) β : 斜橋または曲線橋による補正率 (表 2-11-2、表 2-11-3)</p> <p><u>ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい補正率を採用する。</u></p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">K 橋 梁 工</p> <p>K～1000 鋼橋製作工</p> <p>1 直接労務費</p> <p>【省略】</p> <p>2 製作工数</p> <p>橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。</p> <p>2-1 全体製作工数 (Y)</p> <p>【省略】</p> <p>2-7 付属物の製作工数 (Y₅)</p> $Y_5 = D \times d \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) + E \times e \times (1 + \beta) + F \times f \times (1 + \beta) + G \times g \times (1 + \alpha)$ <p>D : 伸縮継手の加工鋼材質量 d : 伸縮継手の標準工数 (表 2-10-1) E : 高欄の加工鋼材質量 e : 高欄の標準工数 (表 2-10-2) F : 橋梁用防護柵の加工鋼材質量 f : 橋梁用防護柵の標準工数 (表 2-10-3) G : 検査路の加工鋼材質量 g : 検査路の標準工数 (表 2-10-4) α : 重連による補正率 (表 2-11-1) β : 斜橋または曲線橋による補正率 (表 2-11-2、表 2-11-3)</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p>

改 正	現 行	備 考										
<p>K～3100 鋼橋架設工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>〔削除〕</u></p>	<p>K～3100 鋼橋架設工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>17 鋼床版Uリブ現場溶接工</p> <p>17-1 適用範囲</p> <p><u>本資料は、鋼道路橋の架設に伴う鋼床版Uリブ現場溶接工のうち、下記のものに適用する。</u></p> <p><u>(1) 施工条件</u></p> <p><u>被覆アーク溶接によるUリブ現場溶接工に適用する。</u></p> <p><u>(2) Uリブ板厚</u></p> <p><u>Uリブ板厚は、t=6mm及びt=8mmに適用する。</u></p> <p>17-2 施工概要</p> <p><u>施工フローは、次図を標準とする。</u></p> <div data-bbox="1424 787 1929 1123" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <pre> graph LR A[機材搬入・準備] --> B[開先目達・ギャップ調整] B --> C[本溶接] C --> D[検査] D --> E[機材搬出・後片付け] </pre> </div> <p><u>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</u></p> <p>17-3 施工歩掛</p> <p><u>Uリブ現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表 17-3 溶接工歩掛</p> <table border="1" data-bbox="1424 1302 2582 1438"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>日当り施工量 (個/日)</th> <th>編成人員 (人/日)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">被覆アーク溶接</td> <td>D=11 (t=6mm)</td> <td rowspan="3">橋梁世話役 橋梁特殊工</td> <td rowspan="3">1 6</td> </tr> <tr> <td>D= 9 (t=8mm)</td> </tr> <tr> <td>D:1パーティ当りの1日の施工量</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注1) 労務は、1パーティの標準編成人員である。なお工期等を勘案し、工区ごとにパーティを投入することができる</u></p> <p><u>(注2) 目視検査の歩掛は、上表に含む。</u></p> <p><u>(注3) Uリブ1個の長さは400mm～600mmとする。</u></p> <p><u>(注4) 橋梁特殊工は、その工事に必要な溶接資格を得ている者とする。</u></p> <p><u>(注5) 非破壊検査 (X線又は超音波) 費用は、共通仮設費による。</u></p> <p><u>(注6) 施工管理以外のビード仕上げが必要な場合は、別途計上する。</u></p>	工 法	日当り施工量 (個/日)	編成人員 (人/日)	備 考	被覆アーク溶接	D=11 (t=6mm)	橋梁世話役 橋梁特殊工	1 6	D= 9 (t=8mm)	D:1パーティ当りの1日の施工量	<p>歩掛の廃止</p>
工 法	日当り施工量 (個/日)	編成人員 (人/日)	備 考									
被覆アーク溶接	D=11 (t=6mm)	橋梁世話役 橋梁特殊工	1 6									
	D= 9 (t=8mm)											
	D:1パーティ当りの1日の施工量											

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																					
<p>[削除]</p>	<p>17-4 使用機械器具</p> <p>Uリブ現場溶接工に使用する機械器具は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 17-4 使用機械器具</p> <table border="1" data-bbox="1430 321 2585 590"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 気 溶 接 機 (橋梁架設用)</td> <td>交流アーク溶接機 500A</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>電撃防止装置付、リモコン付</td> </tr> <tr> <td>整 流 器 (直流溶接機)</td> <td>ガウジング用 600A</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 棒 乾 燥 器 (橋梁架設用)</td> <td>乾燥量 100 kg</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工 具</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 機械器具の供用日数は、下記を標準とする。 供用日数=作業日数×1.7</p> <p>(注2) 上記Uリブ現場溶接工に使用する機械以外の設備および工具の供用日数の算出は、「13 架設用機械設備及び工具の供用日数」による。</p> <p>17-5 消耗材料</p> <p>Uリブ現場溶接工に使用する消耗材料は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 17-5 消耗材料 (11個 (t=6mm) 又は9個 (t=8mm) 当り)</p> <table border="1" data-bbox="1430 884 2585 953"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶 接 棒</td> <td>JIS Z3211、Z3214</td> <td>kg</td> <td>26</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 溶接棒の規格は、鋼床板の材質により選定すること。</p> <p>17-6 諸雑費</p> <p>諸雑費は、雑消耗材料（酸素、アセチレン及びガウジングカーボン等）、空気圧縮機、溶接工具（ファン（軸流式）、送風機、溶接用ケーブル、携帯用乾燥機等）の損料及び運転経費、電力に関する経費等の費用であり消耗材料費、労務費、機械損料の合計額に下表の率を乗じた金額を計上する。なお、商用電源を使用した場合は（ ）内の率を乗じた金額を計上する。</p> <p style="text-align: right;">表 17-6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1430 1276 2585 1316"> <tbody> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>11 (4)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 気 溶 接 機 (橋梁架設用)	交流アーク溶接機 500A	台	4	電撃防止装置付、リモコン付	整 流 器 (直流溶接機)	ガウジング用 600A	〃	1		溶 接 棒 乾 燥 器 (橋梁架設用)	乾燥量 100 kg	〃	1		溶 接 工 具		式	1		名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	溶 接 棒	JIS Z3211、Z3214	kg	26		諸雑费率	11 (4)	<p>歩掛の廃止</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																			
電 気 溶 接 機 (橋梁架設用)	交流アーク溶接機 500A	台	4	電撃防止装置付、リモコン付																																			
整 流 器 (直流溶接機)	ガウジング用 600A	〃	1																																				
溶 接 棒 乾 燥 器 (橋梁架設用)	乾燥量 100 kg	〃	1																																				
溶 接 工 具		式	1																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																			
溶 接 棒	JIS Z3211、Z3214	kg	26																																				
諸雑费率	11 (4)																																						
<p>17 単価表及び内訳表</p> <p>(1) 金属支承据付工 1 基当り単価表</p> <p>【省略】</p> <p>[削除]</p> <p>【省略】</p>	<p>18 単価表及び内訳表</p> <p>(1) 金属支承据付工 1 基当り単価表</p> <p>【省略】</p> <p>(12) 鋼床版Uリブ現場溶接工 10 個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1430 1520 2585 1755"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/D×1</td> <td>表 17-3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10/D×6</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 器 具 損 料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td>10/D×1.7</td> <td>表 17-4</td> </tr> <tr> <td>消 耗 材 料</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 17-5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表 17-6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) D：1パーティ当りの1日施工量</p> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	10/D×1	表 17-3	橋 梁 特 殊 工		〃	10/D×6	〃	機 械 器 具 損 料		供用日	10/D×1.7	表 17-4	消 耗 材 料		式	1	表 17-5	諸 雑 費		〃	1	表 17-6	計					<p>番号の改正</p> <p>字句の削除 表の削除</p> <p>字句の削除</p>		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																			
橋 梁 世 話 役		人	10/D×1	表 17-3																																			
橋 梁 特 殊 工		〃	10/D×6	〃																																			
機 械 器 具 損 料		供用日	10/D×1.7	表 17-4																																			
消 耗 材 料		式	1	表 17-5																																			
諸 雑 費		〃	1	表 17-6																																			
計																																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																								
<p>K～4000 ポストテンション桁製作工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 ポストテンション桁製作工</p> <p>ポストテンション桁製作工とはフロー図に示すとおり、門型クレーンの設置からポストテンションT桁の製作にかかる一連の作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 ポストテンション桁製作工歩掛 (コンクリート 10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>橋りょう世話役 (人)</th> <th>橋りょう特殊工 (人)</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>鉄筋工 (人)</th> <th>型わく工 (人)</th> <th>とび工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <td>1.3</td> <td>4.4</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td>5.1</td> <td>3.9</td> <td>0.6</td> <td>9.2</td> </tr> </table> <p>(注1) コンクリート打設方法は、門型クレーン打設を標準とする。 (注2) コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。 (注3) 重量台車による縦移動仮置きは、別途計上する。</p> <p>3-2 諸雑費</p> <p>諸雑費は、<u>ポストテンション桁製作工に関わる材料費(鉄筋、鋼製シース、グラウト材(超低粘性型)、グラウトホース、ビニルテープ等)、消耗品費及び電力に関する経費等</u>であり、表 3-1 の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>諸雑費率</th> <td>31</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>5 機種を選定等</p> <p>5-1 機種を選定 【省略】</p> <p>5-2 雑機械費</p> <p>雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表 5-1-1 の機械器具を除く雑機械<u>(グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機、真空ポンプ等)</u>の損料等の費用であり、表 5-1-1 の機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 5-2 雑機械費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>雑機械費率</th> <td>86</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	橋りょう世話役 (人)	橋りょう特殊工 (人)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	鉄筋工 (人)	型わく工 (人)	とび工 (人)	普通作業員 (人)	1.3	4.4	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.2	諸雑費率	31	雑機械費率	86	<p>K～4000 ポストテンション桁製作工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 ポストテンション桁製作工</p> <p>ポストテンション桁製作工とはフロー図に示すとおり、門型クレーンの設置からポストテンションT桁の製作にかかる一連の作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 ポストテンション桁製作工歩掛 (コンクリート 10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>橋りょう世話役 (人)</th> <th>橋りょう特殊工 (人)</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>鉄筋工 (人)</th> <th>型わく工 (人)</th> <th>とび工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <td>1.3</td> <td>4.5</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td>5.1</td> <td>3.9</td> <td>0.6</td> <td>9.3</td> </tr> </table> <p>(注1) コンクリート打設方法は、門型クレーン打設を標準とする。 (注2) コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。 (注3) 重量台車による縦移動仮置きは、別途計上する。</p> <p>3-2 諸雑費</p> <p>諸雑費は、<u>鉄筋、シース等の材料費、</u>ポストテンション桁製作工に関わる<u>消耗品費、電力に関する経費等</u>であり、表 3-1 の労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>諸雑費率</th> <td>33</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>5 機種を選定等</p> <p>5-1 機種を選定 【省略】</p> <p>5-2 雑機械費</p> <p>雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表 5-1-1 の機械器具を除く雑機械<u>の損料等の費用</u>であり、表 5-1-1 の機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 5-2 雑機械費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>雑機械費率</th> <td>59</td> </tr> </table> <p>【省略】</p>	橋りょう世話役 (人)	橋りょう特殊工 (人)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	鉄筋工 (人)	型わく工 (人)	とび工 (人)	普通作業員 (人)	1.3	4.5	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.3	諸雑費率	33	雑機械費率	59	<p>数値の改正</p> <p>字句の削除、追加及び改正</p> <p>数値の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>数値の改正</p>
橋りょう世話役 (人)	橋りょう特殊工 (人)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	鉄筋工 (人)	型わく工 (人)	とび工 (人)	普通作業員 (人)																																			
1.3	4.4	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.2																																			
諸雑費率	31																																									
雑機械費率	86																																									
橋りょう世話役 (人)	橋りょう特殊工 (人)	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	鉄筋工 (人)	型わく工 (人)	とび工 (人)	普通作業員 (人)																																			
1.3	4.5	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.3																																			
諸雑費率	33																																									
雑機械費率	59																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>K～4200 PC橋架設工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 トラッククレーンによる架設 3-1 適用範囲 【省略】</p> <p>3-3 重量台車による桁小運搬 製作場又は、桁仮置場から架設地点まで、軌道により重量台車で小運搬する作業に適用する。</p> <p>3-3-1 桁小運搬配置人員及び小運搬質量 【省略】</p> <p>3-3-3 電力量等消費量 【省略】</p> <p>5 横組工 横組工とは、横桁中埋コンクリート、間詰床版及び横締の一連作業で、その内訳は、次のとおりである。 【省略】</p> <p>5-1 鉄筋工 5-1-1 鉄筋加工・組立 【省略】</p> <p>5-3 PC工 5-3-1 PC工歩掛 ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、修正、グラウト注入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5-3-1 PC工歩掛 (ケーブル 100m 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁種類</th> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プレテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN (40 t) 型 (1S17.8)</td> <td rowspan="3">0.65</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td rowspan="3">1.2</td> <td rowspan="3">39</td> </tr> <tr> <td>450kN (50 t) 型 (1S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN (60 t) 型 (1S21.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ポストテンション桁</td> <td rowspan="5">シングルストランドシステム</td> <td style="border-top: 2px solid red;">390kN (40 t) 型 (1S17.8)</td> <td rowspan="5">0.67</td> <td rowspan="5">3.1</td> <td rowspan="5">1.8</td> <td rowspan="5">23</td> </tr> <tr> <td>450kN (50 t) 型 (1S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN (60 t) 型 (1S21.8)</td> </tr> <tr> <td>950kN (100 t) 型 (1S28.6)</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 2px solid red;">950kN (100 t) 型 (1S28.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 (注2) 諸雑費は、PC工にかかわる材料費(銅製シーソ、グラウト材(超低粘性型)、グラウトホース、ビニルテープ等)、機械器具費(グラウトポンプ、グラウト流量計、水槽、空気圧縮機等)及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 【省略】</p>	桁種類	種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.65	2.0	1.2	39	450kN (50 t) 型 (1S19.3)	570kN (60 t) 型 (1S21.8)	ポストテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.67	3.1	1.8	23	450kN (50 t) 型 (1S19.3)	570kN (60 t) 型 (1S21.8)	950kN (100 t) 型 (1S28.6)	950kN (100 t) 型 (1S28.6)	<p>K～4200 PC橋架設工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 トラッククレーンによる架設 3-1 適用範囲 【省略】</p> <p>3-3 重量台車による桁小運搬 製作場又は、桁仮置場から架設地点まで、軌道により重量台車で小運搬する作業に適用する。</p> <p>3-3-1 桁小運搬配置人員及び小運搬質量 【省略】</p> <p>3-3-3 電力料等消費量 【省略】</p> <p>5 横組工 横組工とは、横桁中埋コンクリート、間詰床版及び横締の一連作業で、その内訳は、次のとおりである。 【省略】</p> <p>5-1 鉄筋工 5-1-1 鉄筋加工・組立 【省略】</p> <p>5-3 PC工 5-3-1 PC工歩掛 ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、修正、グラウト注入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5-3-1 PC工歩掛 (ケーブル 100m 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁種類</th> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋りょう世話役</th> <th>橋りょう特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プレテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN (40 t) 型 (1S17.8)</td> <td rowspan="3">0.7</td> <td rowspan="3">2.2</td> <td rowspan="3">1.3</td> <td rowspan="3">15</td> </tr> <tr> <td>450kN (50 t) 型 (1S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN (60 t) 型 (1S21.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ポストテンション桁</td> <td rowspan="5">マルチワイヤシステム</td> <td style="border-top: 2px solid red;">700kN (70 t) 型 (12W7A)</td> <td rowspan="5">0.7</td> <td rowspan="5">2.6</td> <td rowspan="5">1.6</td> <td rowspan="5">14</td> </tr> <tr> <td>390kN (40 t) 型 (1S17.8)</td> </tr> <tr> <td>450kN (50 t) 型 (1S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN (60 t) 型 (1S21.8)</td> </tr> <tr> <td>950kN (100 t) 型 (1S28.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 (注2) 諸雑費は、シーソ、グラウト材、シール材料及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 【省略】</p>	桁種類	種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.7	2.2	1.3	15	450kN (50 t) 型 (1S19.3)	570kN (60 t) 型 (1S21.8)	ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN (70 t) 型 (12W7A)	0.7	2.6	1.6	14	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	450kN (50 t) 型 (1S19.3)	570kN (60 t) 型 (1S21.8)	950kN (100 t) 型 (1S28.6)	<p>字句の改正</p> <p>表内、字句の削除及び数値の削除、改正</p> <p>字句の追加、改正</p>
桁種類				種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)																																																					
	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																																											
プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.65	2.0	1.2	39																																																								
		450kN (50 t) 型 (1S19.3)																																																												
		570kN (60 t) 型 (1S21.8)																																																												
ポストテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.67	3.1	1.8	23																																																								
		450kN (50 t) 型 (1S19.3)																																																												
		570kN (60 t) 型 (1S21.8)																																																												
		950kN (100 t) 型 (1S28.6)																																																												
		950kN (100 t) 型 (1S28.6)																																																												
桁種類	種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)																																																								
			橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																																									
プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN (40 t) 型 (1S17.8)	0.7	2.2	1.3	15																																																								
		450kN (50 t) 型 (1S19.3)																																																												
		570kN (60 t) 型 (1S21.8)																																																												
ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN (70 t) 型 (12W7A)	0.7	2.6	1.6	14																																																								
		390kN (40 t) 型 (1S17.8)																																																												
		450kN (50 t) 型 (1S19.3)																																																												
		570kN (60 t) 型 (1S21.8)																																																												
		950kN (100 t) 型 (1S28.6)																																																												

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																										
<p>K～4300 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 機種を選定 【省略】</p> <p>3-1-2 施工歩掛</p> <p>コンクリート 10 m³当りの型枠（R付含む）の製作・設置・撤去、コンクリート打設、表面仕上げ、養生、円筒型枠設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>ただし、次表は早強セメントを使用した場合の施工歩掛である。 なお、次表には型枠等の資材吊り込みを含む。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1-2 コンクリート工歩掛 (コンクリート 10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 わ く 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">10.2</td> <td>(注 1)</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m³/h</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">(7) 8</td> <td>(注 4) (注 5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 生コンクリートのロス率は、+0.02として上表に含まれている。 (注 2) 円筒型枠の材料費は、別途必要量を計上する。 (注 3) コンクリートの 1 日当り打設量は 170 m³を標準とする。 (注 4) 諸雑費は、型枠用資材、コンクリート養生、フォームタイ、Pコン、鋸損料、ドリル損料、パイプレータ損料、散水機損料、資材吊込み用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 (注 5) 養生は、養生材の被覆、散水養生、被膜養生程度のものであり、保温養生等（ジェットヒータ、練炭、電気養生等）の特別な養生を必要とする場合の諸雑費率は（ ）書きの値とし、養生費を別途計上する。 (注 6) 架設支保は、「K～4400 架設支保工」により別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.9		型 わ く 工		〃	4.4		と び 工		〃	0.2		特 殊 作 業 員		〃	0.6		普 通 作 業 員		〃	3.8		生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注 1)	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m ³ /h	日	0.06		諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注 4) (注 5)	<p>K～4300 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 機種を選定 【省略】</p> <p>3-1-2 施工歩掛</p> <p>コンクリート 10 m³当りの型枠（R付含む）の製作・設置・撤去、コンクリート打設、表面仕上げ、養生、円筒型枠設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>ただし、次表は早強セメントを使用した場合の施工歩掛である。 なお、次表には型枠等の資材吊り込みを含む。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1-2 コンクリート工歩掛 (コンクリート 10 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 わ く 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">10.2</td> <td>(注 1)</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転</td> <td>トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m³/h</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">(7) 8</td> <td>(注 4) (注 5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 生コンクリートのロス分の数量は上表に含まれている。 (注 2) 円筒型枠の材料費は、別途必要量を計上する。 (注 3) コンクリートの 1 日当り打設量は 170 m³を標準とする。 (注 4) 諸雑費は、型枠用資材、コンクリート養生、フォームタイ、Pコン、鋸損料、ドリル損料、パイプレータ損料、散水機損料、資材吊込み用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 (注 5) 養生は、養生材の被覆、散水養生、被膜養生程度のものであり、保温養生等（ジェットヒータ、練炭、電気養生等）の特別な養生を必要とする場合の諸雑費率は（ ）書きの値とし、養生費を別途計上する。 (注 6) 架設支保は、「K～4400 架設支保工」により別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.9		型 わ く 工		〃	4.4		と び 工		〃	0.2		特 殊 作 業 員		〃	0.6		普 通 作 業 員		〃	3.8		生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注 1)	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m ³ /h	日	0.06		諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注 4) (注 5)	<p>字句の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.9																																																																																									
型 わ く 工		〃	4.4																																																																																									
と び 工		〃	0.2																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.6																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	3.8																																																																																									
生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注 1)																																																																																								
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m ³ /h	日	0.06																																																																																									
諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注 4) (注 5)																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	0.9																																																																																									
型 わ く 工		〃	4.4																																																																																									
と び 工		〃	0.2																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.6																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	3.8																																																																																									
生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注 1)																																																																																								
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車 運 転	トラック架装・ブーム式 圧送能力 90～110 m ³ /h	日	0.06																																																																																									
諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注 4) (注 5)																																																																																								

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																														
<p>3-6 日当り標準施工量 (参考)</p> <p>ケーブル組立、グラウト材注入、ケーブル緊張の1日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-6 1日当り標準施工量 (参考)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="text-align: center;">ケーブル規格 名 称</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">標準施工量</th> <th rowspan="3" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</th> <th style="text-align: center;">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</th> <th style="text-align: center;">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーブル組立 (m/日)</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">107</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウト材注入 (m/日)</td> <td style="text-align: center;"><u>490</u></td> <td style="text-align: center;"><u>490</u></td> <td style="text-align: center;"><u>410</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊張 (両締め) (ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊張 (片締め) (ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	ケーブル規格 名 称	標準施工量			摘 要	マルチストランドシステム			1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	ケーブル組立 (m/日)	150	145	107		グラウト材注入 (m/日)	<u>490</u>	<u>490</u>	<u>410</u>		緊張 (両締め) (ケーブル/日)	9				緊張 (片締め) (ケーブル/日)	8				<p>3-6 日当り標準施工量 (参考)</p> <p>ケーブル組立、グラウト材注入、ケーブル緊張の1日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-6 1日当り標準施工量 (参考)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="text-align: center;">ケーブル規格 名 称</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">標準施工量</th> <th rowspan="3" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</th> <th style="text-align: center;">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</th> <th style="text-align: center;">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーブル組立 (m/日)</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">107</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウト材注入 (m/日)</td> <td style="text-align: center;"><u>410</u></td> <td style="text-align: center;"><u>410</u></td> <td style="text-align: center;"><u>340</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊張 (両締め) (ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊張 (片締め) (ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	ケーブル規格 名 称	標準施工量			摘 要	マルチストランドシステム			1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	ケーブル組立 (m/日)	150	145	107		グラウト材注入 (m/日)	<u>410</u>	<u>410</u>	<u>340</u>		緊張 (両締め) (ケーブル/日)	9				緊張 (片締め) (ケーブル/日)	8				<p>数値の改正</p>
ケーブル規格 名 称		標準施工量				摘 要																																																										
		マルチストランドシステム																																																														
	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																													
ケーブル組立 (m/日)	150	145	107																																																													
グラウト材注入 (m/日)	<u>490</u>	<u>490</u>	<u>410</u>																																																													
緊張 (両締め) (ケーブル/日)	9																																																															
緊張 (片締め) (ケーブル/日)	8																																																															
ケーブル規格 名 称	標準施工量			摘 要																																																												
	マルチストランドシステム																																																															
	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																													
ケーブル組立 (m/日)	150	145	107																																																													
グラウト材注入 (m/日)	<u>410</u>	<u>410</u>	<u>340</u>																																																													
緊張 (両締め) (ケーブル/日)	9																																																															
緊張 (片締め) (ケーブル/日)	8																																																															

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>K～4400 架設支保工</p> <p>1 架設支保工法の選定 【省略】</p> <p>3 くさび結合支保工</p> <p>3-1 適用範囲 【省略】</p> <p>3-3 施工歩掛</p> <p>(1) 1セット当り施工量 (V) 【省略】</p> <p>(4) 基礎用鋼材設置・撤去歩掛</p> <p>必要に応じ、地盤の不陸や不等沈下を鋼材を敷き並べることで防止する場合の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-3-2 基礎用鋼材設置・撤去歩掛 (10 m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼材賃料</td> <td>鋼矢板Ⅱ型</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">0.61</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.09</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は設置及び撤去の合計であり、構成は設置 63%、撤去 37%である。</p> <p>(注2) 鋼材 (鋼矢板Ⅱ型) の修理費及び損耗費は、別途計上する。</p> <p>(注3) 基礎用鋼材を敷き並べる前に現場条件などや地盤の不陸により砂利等を必要とする場合は、敷均し・締固めを別途計上する。また、砂利等を撤去する場合も別途計上する。</p> <p>(注4) 鋼材賃料の1現場当り修理費及び損耗費の区分は、<u>本矢板 (補助工法 有)</u>とする。</p> <p>(注5) 鋼材 (鋼矢板Ⅱ型) が入手困難な場合は、鋼材 (鋼矢板Ⅲ型) を計上できるものとする。鋼材 (鋼矢板Ⅲ型) の数量は 0.76 t / 10 m²とし、修理費及び損耗費は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.08		特殊作業員		〃	0.40		普通作業員		〃	0.35		鋼材賃料	鋼矢板Ⅱ型	t	0.61		ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.09		<p>K～4400 架設支保工</p> <p>1 架設支保工法の選定 【省略】</p> <p>3 くさび結合支保工</p> <p>3-1 適用範囲 【省略】</p> <p>3-3 施工歩掛</p> <p>(1) 1セット当り施工量 (V) 【省略】</p> <p>(4) 基礎用鋼材設置・撤去歩掛</p> <p>必要に応じ、地盤の不陸や不等沈下を鋼材を敷き並べることで防止する場合の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-3-2 基礎用鋼材設置・撤去歩掛 (10 m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼材賃料</td> <td>鋼矢板Ⅱ型</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">0.61</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.09</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は設置及び撤去の合計であり、構成は設置 63%、撤去 37%である。</p> <p>(注2) 鋼材 (鋼矢板Ⅱ型) の修理費及び損耗費は、別途計上する。</p> <p>(注3) 基礎用鋼材を敷き並べる前に現場条件などや地盤の不陸により砂利等を必要とする場合は、敷均し・締固めを別途計上する。また、砂利等を撤去する場合も別途計上する。</p> <p>(注4) 鋼材賃料の1現場当り修理費及び損耗費の区分は、<u>「軽作業」(本矢板)</u>とする。</p> <p>(注5) 鋼材 (鋼矢板Ⅱ型) が入手困難な場合は、鋼材 (鋼矢板Ⅲ型) を計上できるものとする。鋼材 (鋼矢板Ⅲ型) の数量は 0.76 t / 10 m²とし、修理費及び損耗費は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.08		特殊作業員		〃	0.40		普通作業員		〃	0.35		鋼材賃料	鋼矢板Ⅱ型	t	0.61		ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.09		<p>字句の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
土木一般世話役		人	0.08																																																											
特殊作業員		〃	0.40																																																											
普通作業員		〃	0.35																																																											
鋼材賃料	鋼矢板Ⅱ型	t	0.61																																																											
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.09																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
土木一般世話役		人	0.08																																																											
特殊作業員		〃	0.40																																																											
普通作業員		〃	0.35																																																											
鋼材賃料	鋼矢板Ⅱ型	t	0.61																																																											
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.09																																																											

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>4 支柱支保工 4-1 適用範囲 【省略】 4-3 施工歩掛 (1) 支柱支保の施工量 (V) 【省略】 (4) 支柱受台設置・撤去歩掛 支柱支保工において、必要に応じ支柱受台 (H形鋼) を設ける場合の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-3-2 支柱受台設置・撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.34</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 材 賃 料</td> <td>H形鋼 300 型</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">0.93</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は設置及び撤去の合計であり、構成は設置 56%、撤去 44%である。 (注 2) 鋼材 (H形鋼 300 型) の修理費及び損耗費は、別途計上する。 (注 3) 支柱、支柱受台を設置する前に現場条件等や地盤の不陸によりコンクリート基礎が必要な場合は、コンクリート基礎設置・撤去費を別途計上する。 (注 4) 鋼材賃料の 1 現場当り修理費及び損耗費の区分は、<u>杭工 (補助工法 有)</u> とする。</p> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.11		特 殊 作 業 員		〃	0.34		普 通 作 業 員		〃	0.24		鋼 材 賃 料	H形鋼 300 型	t	0.93		ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.13		<p>4 支柱支保工 4-1 適用範囲 【省略】 4-3 施工歩掛 (1) 支柱支保の施工量 (V) 【省略】 (4) 支柱受台設置・撤去歩掛 支柱支保工において、必要に応じ支柱受台 (H形鋼) を設ける場合の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-3-2 支柱受台設置・撤去歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.34</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td style="text-align: center;">0.24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 材 賃 料</td> <td>H形鋼 300 型</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">0.93</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は設置及び撤去の合計であり、構成は設置 56%、撤去 44%である。 (注 2) 鋼材 (H形鋼 300 型) の修理費及び損耗費は、別途計上する。 (注 3) 支柱、支柱受台を設置する前に現場条件等や地盤の不陸によりコンクリート基礎が必要な場合は、コンクリート基礎設置・撤去費を別途計上する。 (注 4) 鋼材賃料の 1 現場当り修理費及び損耗費の区分は、<u>「軽作業」(杭に使用)</u> とする。</p> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	0.11		特 殊 作 業 員		〃	0.34		普 通 作 業 員		〃	0.24		鋼 材 賃 料	H形鋼 300 型	t	0.93		ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.13		<p>字句の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.11																																																											
特 殊 作 業 員		〃	0.34																																																											
普 通 作 業 員		〃	0.24																																																											
鋼 材 賃 料	H形鋼 300 型	t	0.93																																																											
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.13																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	0.11																																																											
特 殊 作 業 員		〃	0.34																																																											
普 通 作 業 員		〃	0.24																																																											
鋼 材 賃 料	H形鋼 300 型	t	0.93																																																											
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.13																																																											

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

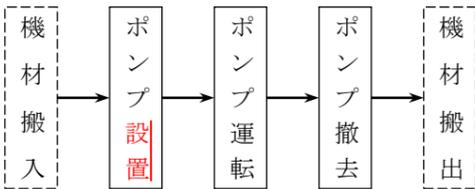
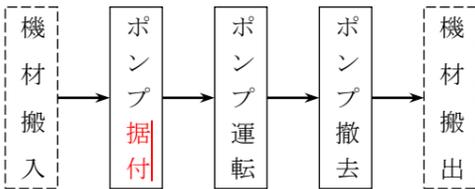
R 仮設工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

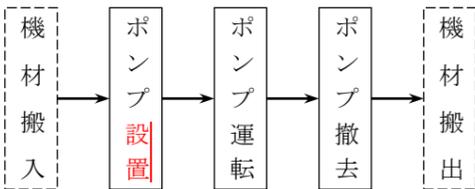
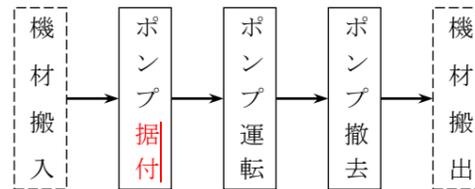
1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																								
<p style="text-align: center;">R 仮 設 工</p> <p>R～1000 水替工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、一般土木工事における水中締切又は地中締切の排水工事で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム等の大規模工事には適用しない。 なお、排水量 30 m³/h 未満かつ揚程 10m 以下の場合は「R～1010 水替工（小口径）」による。</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、次図を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工歩掛 3-1 機種を選定 【省略】</p> <p>3-3 設置・撤去歩掛 ポンプの設置・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-3 設置・撤去歩掛 (1箇所)</p> <table border="1" data-bbox="172 1333 1329 1564"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) バックホウは、賃料とする。 (注2) 歩掛及び運転日数は、1締切現場当りポンプ設置・撤去台数が1～5台が標準であり、上表により難しい場合は、別途考慮する。 (注3) 使用機械・規格については上表を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途選定できるものとする。 (注4) 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 (注5) 1工事中に数分割の締切がある場合は、1締切現場を1箇所とする。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.5	特殊作業員		〃	0.1	普通作業員		〃	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5	<p style="text-align: center;">R 仮 設 工</p> <p>R～1000 水替工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、一般土木工事の工事用水中ポンプによる水替工で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム等の大規模工事には適用しない。 なお、排水量 30 m³/h 未満かつ揚程 10m 以下の場合は「R～1010 水替工（小口径）」による。</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、次図を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工歩掛 3-1 機種を選定 【省略】</p> <p>3-3 据付・撤去歩掛 ポンプの据付・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-3 据付・撤去歩掛 (1箇所)</p> <table border="1" data-bbox="1427 1333 2585 1564"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) バックホウは、賃料とする。 (注2) 歩掛及び運転日数は、1締切現場当りポンプ据付・撤去台数が1～5台が標準であり、上表により難しい場合は、別途考慮する。 (注3) 使用機械・規格については上表を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途選定できるものとする。 (注4) 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 (注5) 1工事中に数分割の締切がある場合は、1締切現場を1箇所とする。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.5	特殊作業員		〃	0.1	普通作業員		〃	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5	<p>字句の改正</p> <p>フロー図内、字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の改正</p>
名称	規格	単位	数量																																							
土木一般世話役		人	0.5																																							
特殊作業員		〃	0.1																																							
普通作業員		〃	2.0																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5																																							
名称	規格	単位	数量																																							
土木一般世話役		人	0.5																																							
特殊作業員		〃	0.1																																							
普通作業員		〃	2.0																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5																																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																										
<p>4 単価表</p> <p>(1) 水替内訳表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポ ン プ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>(2) 単価表</td> </tr> <tr> <td>ポンプ設置・撤去</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(3) 単価表</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) ポンプ設置・撤去1箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3-3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m³（平積0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ポ ン プ 運 転		日		(2) 単価表	ポンプ設置・撤去		箇所		(3) 単価表	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3-3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）2.9t 吊	日		〃	計					<p>4 単価表</p> <p>(1) 水替内訳表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポ ン プ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>(2) 単価表</td> </tr> <tr> <td>ポンプ据付・撤去</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(3) 単価表</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) ポンプ据付・撤去1箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3-3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m³（平積0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ポ ン プ 運 転		日		(2) 単価表	ポンプ据付・撤去		箇所		(3) 単価表	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表3-3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）2.9t 吊	日		〃	計					<p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
ポ ン プ 運 転		日		(2) 単価表																																																																																								
ポンプ設置・撤去		箇所		(3) 単価表																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表3-3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）2.9t 吊	日		〃																																																																																								
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
ポ ン プ 運 転		日		(2) 単価表																																																																																								
ポンプ据付・撤去		箇所		(3) 単価表																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人		表3-3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.8 m ³ （平積0.6 m ³ ）2.9t 吊	日		〃																																																																																								
計																																																																																												

改 正	現 行	備 考																																																								
<p>R～1010 水替工（小口径）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、一般土木工事にて使用する小口径工事用水中ポンプによる水替工で、排水量 30 m³/h 未満かつ揚程が 10m 以下の場合に適用するものとし、ダム等の大規模工事には適用しない。</p> <p>2 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工歩掛</p> <p>4-1 運転歩掛</p> <p>【省略】</p> <p>4-2 設置・撤去歩掛 ポンプの設置・撤去に要する 1 箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-2-1 設置・撤去歩掛（口径 50 mm）（1 箇所当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 4-2-2 設置・撤去歩掛（口径 100 mm）（1 箇所当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クレーン機能付）</td> <td>排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) バックホウ（クレーン機能付）は賃料とする。 (注 2) バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。 (注 3) 歩掛及び運転日数は、1 締切現場当りポンプ設置・撤去台数が 1 台が標準であり、上表により難しい場合は、別途積算する。 (注 4) 機種については上表の使用機械を標準とするが、現場条件及び他の工種により持ち込まれる機種を使用することが有利な場合は、別途選定できるものとする。 (注 5) 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 (注 6) 1 工事に数分割の締切がある場合は、1 締切現場を 1 箇所とする。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.3	普通作業員		〃	0.5	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.5	普通作業員		〃	1.0	バックホウ（クレーン機能付）	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5	<p>R～1010 水替工（小口径）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、一般土木工事にて使用する小口径工事用水中ポンプによる水替工で、排水量 30 m³/h 未満かつ揚程が 10m 以下の場合に適用するものとし、ダム等の大規模工事には適用しない。</p> <p>2 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工歩掛</p> <p>4-1 運転歩掛</p> <p>【省略】</p> <p>4-2 据付・撤去歩掛 ポンプの据付・撤去に要する 1 箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-2-1 据付・撤去歩掛（口径 50 mm）（1 箇所当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 4-2-2 据付・撤去歩掛（口径 100 mm）（1 箇所当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クレーン機能付）</td> <td>排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）2.9t 吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) バックホウ（クレーン機能付）は賃料とする。 (注 2) バックホウ（クレーン仕様）は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。 (注 3) 歩掛及び運転日数は、1 締切現場当りポンプ据付・撤去台数が 1 台が標準であり、上表により難しい場合は、別途積算する。 (注 4) 機種については上表の使用機械を標準とするが、現場条件及び他の工種により持ち込まれる機種を使用することが有利な場合は、別途選定できるものとする。 (注 5) 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 (注 6) 1 工事に数分割の締切がある場合は、1 締切現場を 1 箇所とする。</p>	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.3	普通作業員		〃	0.5	名称	規格	単位	数量	土木一般世話役		人	0.5	普通作業員		〃	1.0	バックホウ（クレーン機能付）	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5	<p>フロー図内、字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>
名称	規格	単位	数量																																																							
土木一般世話役		人	0.3																																																							
普通作業員		〃	0.5																																																							
名称	規格	単位	数量																																																							
土木一般世話役		人	0.5																																																							
普通作業員		〃	1.0																																																							
バックホウ（クレーン機能付）	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5																																																							
名称	規格	単位	数量																																																							
土木一般世話役		人	0.3																																																							
普通作業員		〃	0.5																																																							
名称	規格	単位	数量																																																							
土木一般世話役		人	0.5																																																							
普通作業員		〃	1.0																																																							
バックホウ（クレーン機能付）	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）2.9t 吊	日	0.5																																																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																
<p>5 単価表</p> <p>(1) 水替排水内訳表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>(2) 単価表</td> </tr> <tr> <td>ポンプ <u>設置</u>・撤去</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(3) 単価表</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) ポンプ<u>設置</u>・撤去 1箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4-2-1 又は表4-2-2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m³(平積0.6 m³) 2.9t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4-2-2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ポンプ 運 転		日		(2) 単価表	ポンプ <u>設置</u> ・撤去		箇所		(3) 単価表	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4-2-1 又は表4-2-2	普通作業員		〃		〃	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9t 吊	日		表4-2-2	計					<p>5 単価表</p> <p>(1) 水替排水内訳表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>(2) 単価表</td> </tr> <tr> <td>ポンプ <u>据付</u>・撤去</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(3) 単価表</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(3) ポンプ<u>据付</u>・撤去 1箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4-2-1 又は表4-2-2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m³(平積0.6 m³) 2.9t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4-2-2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ポンプ 運 転		日		(2) 単価表	ポンプ <u>据付</u> ・撤去		箇所		(3) 単価表	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4-2-1 又は表4-2-2	普通作業員		〃		〃	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9t 吊	日		表4-2-2	計					<p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
ポンプ 運 転		日		(2) 単価表																																																																														
ポンプ <u>設置</u> ・撤去		箇所		(3) 単価表																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
土木一般世話役		人		表4-2-1 又は表4-2-2																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																														
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9t 吊	日		表4-2-2																																																																														
計																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
ポンプ 運 転		日		(2) 単価表																																																																														
ポンプ <u>据付</u> ・撤去		箇所		(3) 単価表																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
土木一般世話役		人		表4-2-1 又は表4-2-2																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																														
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9t 吊	日		表4-2-2																																																																														
計																																																																																		

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考
R～1210 鋼製仮橋工 1 車道仮橋賃料 本資料は、10m以下の車道用仮橋に適用する。 1-1 架設・撤去工（T-25 t、T-10 t 共通） 【省略】 1-3 使用材料及び施工機械 使用材料及び施工機械は、次表を標準とする。なお、数量のLは支間長とする。標準図は「工事数量算出要領」による。 (1) T L-25 t の場合 1) 使用材料		R～1210 鋼製仮橋工 1 車道仮橋賃料 本資料は、10m以下の車道用仮橋に適用する。 1-1 架設・撤去工（T-25 t、T-10 t 共通） 【省略】 1-3 使用材料及び施工機械 使用材料及び施工機械は、次表を標準とする。なお、数量のLは支間長とする。標準図は「工事数量算出要領」による。 (1) T L-25 t の場合 1) 使用材料		
(1 橋当り)		(1 橋当り)		
材料名	規 格	単 位	数 量	摘 要
			L=5.0m L=7.5m L=10.0m	
H 桁 鋼 賃 料	350×350×12×19	t	3.240 8.910	
H 桁 鋼 損 耗 費	350×350×12×19	〃	3.240 8.910	
(H 桁 鋼 小 計 ①)		〃	(3.240) (8.910)	
H 桁 鋼 賃 料	300×300×10×15	〃	2.604 0.930 0.930	
H 桁 鋼 損 耗 費	300×300×10×15	〃	2.604 0.930 0.930	
(H 桁 鋼 小 計 ②)		〃	(2.604) (0.930) (0.930)	
H 桁 鋼 賃 料	200×200× 8×12	〃	0.599 0.798 1.098	
H 桁 鋼 損 耗 費	200×200× 8×12	〃	0.599 0.798 1.098	
(H 桁 鋼 小 計 ③)		〃	(0.599) (0.798) (1.098)	
架 設 対 象 質 量	(①+②+③)	〃	3.203 4.968 10.938	
覆 工 板 賃 料	1000×2000×208	m ²	24.0 32.0 44.0	
覆 工 板 損 耗 費	1000×2000×208	〃	24.0 32.0 44.0	
覆工板設置対象面積		〃	24.0 32.0 44.0	
(覆工板質量小計)		t	(5.160) (6.880) (9.460)	
ボルト等付属部材		式	1 1 1	架設諸雑費に含む
基礎コンクリート	C-4	m ³	1.5 1.5 1.5	割増6%
型 枠	小型	m ²	6.6 6.6 6.6	
切込砂利（砕石）	φ80mm級	m ²	6.0 6.0 6.0	割増20%
(注1) H形鋼の1現場当り修理費及び損耗費の区分は <u>杭工（補助工法有）</u> とする。				
【省略】				
				字句の改正

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
(2) TL-10tの場合							(2) TL-10tの場合							備考
1) 使用材料							1) 使用材料							
(1橋当り)							(1橋当り)							
材料名	規 格	単 位	数 量			摘 要	材料名	規 格	単 位	数 量			摘 要	
			L=5.0m	L=7.5m	L=10.0m					L=5.0m	L=7.5m	L=10.0m		
H桁鋼賃料	350×350×12×19	t			4.455						4.455			
H桁鋼損耗費	350×350×12×19	〃			4.455						4.455			
(H桁鋼小計①)		〃			(4.455)						(4.455)			
H桁鋼賃料	300×300×10×15	〃	2.604	3.162	0.930									
H桁鋼損耗費	300×300×10×15	〃	2.604	3.162	0.930									
(H桁鋼小計②)		〃	(2.604)	(3.162)	(0.930)									
H桁鋼賃料	200×200×8×12	〃	0.599	0.798	1.098									
H桁鋼損耗費	200×200×8×12	〃	0.599	0.798	1.098									
(H桁鋼小計③)		〃	(0.599)	(0.798)	(1.098)									
架設対象質量	(①+②+③)	〃	3.203	3.960	6.483									
覆工板賃料	1000×2000×208	m ²	24.0	32.0	44.0									
覆工板損耗費	1000×2000×208	〃	24.0	32.0	44.0									
覆工板設置対象面積		〃	24.0	32.0	44.0									
(覆工板質量小計)		t	(5.160)	(6.880)	(9.460)									
ボルト等付属部材		式	1	1	1	架設諸雑費に含む								
基礎コンクリート	C-4	m ³	1.5	1.5	1.5	割増6%								
型 枠	小型	m ²	6.6	6.6	6.6									
切込砂利(砕石)	φ80m級	m ²	6.0	6.0	6.0	割増20%								
(注1) H形鋼の1現場当り修理費及び損耗費の区分は <u>杭工(補助工法有)</u> とする							(注1) H形鋼の1現場当り修理費及び損耗費の区分は <u>軽作業(杭に使用)</u> とする							
【省略】							【省略】							

新 旧 対 照 表

改 正		現 行					備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
2 歩道仮橋賃料 2-1 架設・撤去 【省略】 2-4 使用材料及び施工機械 使用材料及び施工機械は、次表を標準とする。なお、数量のLは支間長とする。標準図は「工事数量算出要領」による。 (1) 使用材料		2 歩道仮橋賃料 2-1 架設・撤去 【省略】 2-4 使用材料及び施工機械 使用材料及び施工機械は、次表を標準とする。なお、数量のLは支間長とする。標準図は「工事数量算出要領」による。 (1) 使用材料					字句の改正																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>L=5.0m</th> <th>L=10.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 桁 鋼 賃 料</td> <td>300×300×10×15</td> <td>t</td> <td>0.558</td> <td>2.634</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 損 耗 費</td> <td>300×300×10×15</td> <td>〃</td> <td>0.558</td> <td>2.634</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(H 桁 鋼 小 計 ①)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(0.558)</td> <td>(2.634)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 賃 料</td> <td>200×200× 8×12</td> <td>〃</td> <td>0.599</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 損 耗 費</td> <td>200×200× 8×12</td> <td>〃</td> <td>0.599</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(H 桁 鋼 小 計 ②)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(0.599)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溝 形 鋼 賃 料</td> <td>200×80×7.5</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溝 形 鋼 損 耗 費</td> <td>200×80×7.5</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(溝 形 鋼 小 計 ③)</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>(0.046)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>架 設 対 象 質 量</td> <td>(①+②+③)</td> <td>〃</td> <td>1.157</td> <td>2.680</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆 工 板 賃 料</td> <td>1000×2000×208</td> <td>m²</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆 工 板 損 耗 費</td> <td>1000×2000×208</td> <td>〃</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆工板設置対象面積</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(覆 工 板 質 量 小 計)</td> <td></td> <td>t</td> <td>(2.580)</td> <td>(4.730)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボルト等付属部材</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>架設諸雑費に含む</td> </tr> <tr> <td>単 管 パ イ プ</td> <td>φ48.6 L=1.80m</td> <td>本</td> <td>14</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃 L=5.00m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃 L=6.00m</td> <td>〃</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単管パイプ総延長</td> <td></td> <td>m</td> <td>61.2</td> <td>109.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単管パイプ設置対象延長</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直 線 ジ ョ イ ン ト</td> <td>φ48.6用</td> <td>個</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直 交 ク ラ ン プ</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>42</td> <td>72</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取 付 金 具</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>28</td> <td>48</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		材料名	規格	単位	数量			摘要	L=5.0m	L=10.0m	H 桁 鋼 賃 料	300×300×10×15	t	0.558	2.634		H 桁 鋼 損 耗 費	300×300×10×15	〃	0.558	2.634		(H 桁 鋼 小 計 ①)		〃	(0.558)	(2.634)		H 桁 鋼 賃 料	200×200× 8×12	〃	0.599			H 桁 鋼 損 耗 費	200×200× 8×12	〃	0.599			(H 桁 鋼 小 計 ②)		〃	(0.599)			溝 形 鋼 賃 料	200×80×7.5	〃		0.046		溝 形 鋼 損 耗 費	200×80×7.5	〃		0.046		(溝 形 鋼 小 計 ③)		〃		(0.046)		架 設 対 象 質 量	(①+②+③)	〃	1.157	2.680		覆 工 板 賃 料	1000×2000×208	m ²	12.0	22.0		覆 工 板 損 耗 費	1000×2000×208	〃	12.0	22.0		覆工板設置対象面積		〃	12.0	22.0		(覆 工 板 質 量 小 計)		t	(2.580)	(4.730)		ボルト等付属部材		式	1	1	架設諸雑費に含む	単 管 パ イ プ	φ48.6 L=1.80m	本	14	24		〃	〃 L=5.00m	〃		6		〃	〃 L=6.00m	〃	6	6		単管パイプ総延長		m	61.2	109.2		単管パイプ設置対象延長		〃	12	22		直 線 ジ ョ イ ン ト	φ48.6用	個		6		直 交 ク ラ ン プ	〃	〃	42	72		取 付 金 具	〃	〃	28	48		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>L=5.0m</th> <th>L=10.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 桁 鋼 賃 料</td> <td>300×300×10×15</td> <td>t</td> <td>0.558</td> <td>2.634</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 損 耗 費</td> <td>300×300×10×15</td> <td>〃</td> <td>0.558</td> <td>2.634</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(H 桁 鋼 小 計 ①)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(0.558)</td> <td>(2.634)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 賃 料</td> <td>200×200× 8×12</td> <td>〃</td> <td>0.599</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H 桁 鋼 損 耗 費</td> <td>200×200× 8×12</td> <td>〃</td> <td>0.599</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(H 桁 鋼 小 計 ②)</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(0.599)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溝 形 鋼 賃 料</td> <td>200×80×7.5</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溝 形 鋼 損 耗 費</td> <td>200×80×7.5</td> <td>〃</td> <td></td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(溝 形 鋼 小 計 ③)</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>(0.046)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>架 設 対 象 質 量</td> <td>(①+②+③)</td> <td>〃</td> <td>1.157</td> <td>2.680</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆 工 板 賃 料</td> <td>1000×2000×208</td> <td>m²</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆 工 板 損 耗 費</td> <td>1000×2000×208</td> <td>〃</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>覆工板設置対象面積</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12.0</td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(覆 工 板 質 量 小 計)</td> <td></td> <td>t</td> <td>(2.580)</td> <td>(4.730)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボルト等付属部材</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>架設諸雑費に含む</td> </tr> <tr> <td>単 管 パ イ プ</td> <td>φ48.6 L=1.80m</td> <td>本</td> <td>14</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃 L=5.00m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃 L=6.00m</td> <td>〃</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単管パイプ総延長</td> <td></td> <td>m</td> <td>61.2</td> <td>109.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単管パイプ設置対象延長</td> <td></td> <td>〃</td> <td>12</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直 線 ジ ョ イ ン ト</td> <td>φ48.6用</td> <td>個</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直 交 ク ラ ン プ</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>42</td> <td>72</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取 付 金 具</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>28</td> <td>48</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					材料名	規格	単位	数量		摘要	L=5.0m	L=10.0m	H 桁 鋼 賃 料	300×300×10×15	t	0.558	2.634		H 桁 鋼 損 耗 費	300×300×10×15	〃	0.558	2.634		(H 桁 鋼 小 計 ①)		〃	(0.558)	(2.634)		H 桁 鋼 賃 料	200×200× 8×12	〃	0.599			H 桁 鋼 損 耗 費	200×200× 8×12	〃	0.599			(H 桁 鋼 小 計 ②)		〃	(0.599)			溝 形 鋼 賃 料	200×80×7.5	〃		0.046		溝 形 鋼 損 耗 費	200×80×7.5	〃		0.046		(溝 形 鋼 小 計 ③)		〃		(0.046)		架 設 対 象 質 量	(①+②+③)	〃	1.157	2.680		覆 工 板 賃 料	1000×2000×208	m ²	12.0	22.0		覆 工 板 損 耗 費	1000×2000×208	〃	12.0	22.0		覆工板設置対象面積		〃	12.0	22.0		(覆 工 板 質 量 小 計)		t	(2.580)	(4.730)		ボルト等付属部材		式	1	1	架設諸雑費に含む	単 管 パ イ プ	φ48.6 L=1.80m	本	14	24		〃	〃 L=5.00m	〃		6		〃	〃 L=6.00m	〃	6	6		単管パイプ総延長		m	61.2	109.2		単管パイプ設置対象延長		〃	12	22		直 線 ジ ョ イ ン ト	φ48.6用	個		6		直 交 ク ラ ン プ	〃	〃	42	72		取 付 金 具	〃	〃	28	48	
材料名	規格				単位	数量			摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		L=5.0m	L=10.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
H 桁 鋼 賃 料	300×300×10×15	t	0.558	2.634																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
H 桁 鋼 損 耗 費	300×300×10×15	〃	0.558	2.634																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(H 桁 鋼 小 計 ①)		〃	(0.558)	(2.634)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
H 桁 鋼 賃 料	200×200× 8×12	〃	0.599																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
H 桁 鋼 損 耗 費	200×200× 8×12	〃	0.599																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
(H 桁 鋼 小 計 ②)		〃	(0.599)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
溝 形 鋼 賃 料	200×80×7.5	〃		0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
溝 形 鋼 損 耗 費	200×80×7.5	〃		0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(溝 形 鋼 小 計 ③)		〃		(0.046)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
架 設 対 象 質 量	(①+②+③)	〃	1.157	2.680																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆 工 板 賃 料	1000×2000×208	m ²	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆 工 板 損 耗 費	1000×2000×208	〃	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆工板設置対象面積		〃	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(覆 工 板 質 量 小 計)		t	(2.580)	(4.730)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ボルト等付属部材		式	1	1	架設諸雑費に含む																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
単 管 パ イ プ	φ48.6 L=1.80m	本	14	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
〃	〃 L=5.00m	〃		6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
〃	〃 L=6.00m	〃	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
単管パイプ総延長		m	61.2	109.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
単管パイプ設置対象延長		〃	12	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
直 線 ジ ョ イ ン ト	φ48.6用	個		6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
直 交 ク ラ ン プ	〃	〃	42	72																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
取 付 金 具	〃	〃	28	48																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材料名	規格	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			L=5.0m	L=10.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
H 桁 鋼 賃 料	300×300×10×15	t	0.558	2.634																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
H 桁 鋼 損 耗 費	300×300×10×15	〃	0.558	2.634																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(H 桁 鋼 小 計 ①)		〃	(0.558)	(2.634)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
H 桁 鋼 賃 料	200×200× 8×12	〃	0.599																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
H 桁 鋼 損 耗 費	200×200× 8×12	〃	0.599																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
(H 桁 鋼 小 計 ②)		〃	(0.599)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
溝 形 鋼 賃 料	200×80×7.5	〃		0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
溝 形 鋼 損 耗 費	200×80×7.5	〃		0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(溝 形 鋼 小 計 ③)		〃		(0.046)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
架 設 対 象 質 量	(①+②+③)	〃	1.157	2.680																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆 工 板 賃 料	1000×2000×208	m ²	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆 工 板 損 耗 費	1000×2000×208	〃	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
覆工板設置対象面積		〃	12.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(覆 工 板 質 量 小 計)		t	(2.580)	(4.730)																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ボルト等付属部材		式	1	1	架設諸雑費に含む																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
単 管 パ イ プ	φ48.6 L=1.80m	本	14	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
〃	〃 L=5.00m	〃		6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
〃	〃 L=6.00m	〃	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
単管パイプ総延長		m	61.2	109.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
単管パイプ設置対象延長		〃	12	22																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
直 線 ジ ョ イ ン ト	φ48.6用	個		6																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
直 交 ク ラ ン プ	〃	〃	42	72																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
取 付 金 具	〃	〃	28	48																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
(注1) H形鋼の1現場当り修理費及び損耗費の区分は <u>杭工(補助工法有)</u> とする。 【省略】		(注1) H形鋼の1現場当り修理費及び損耗費の区分は <u>軽作業(杭に使用)</u> とする。 【省略】																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>R～2500 立坑工</p> <p>I ライナープレート掘削土留 【省略】</p> <p>Ⅲ ライナープレート埋戻</p> <p>1 適用範囲 本資料は、推進工法等の立坑において、ライナープレート式土留の埋戻を行う場合に適用する。</p> <p>【省略】</p>	<p>R～2500 立坑工</p> <p>I ライナープレート掘削土留 【省略】</p> <p>Ⅲ ライナープレート埋戻</p> <p>1 適用範囲 本資料は、推進工法等の立坑において、ライナープレートを設置した場合の土留材（ライナープレート）を撤去する場合で、土砂の埋戻を行う場合に適用する。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

S 営農飲雑用水施設工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																																																																																				
<p>S 営農飲雑用水施設工</p> <p>S～1800 鋳鉄管切断工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、営農飲雑用水施設工事における鋳鉄管の切断作業に適用する。</p> <p>2 施工歩掛 施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 鋳鉄管切断（エンジンカッター使用）歩掛 (1口当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>機械損料 (日)</th> <th>諸雑費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td><td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">労務費の <u>30%</u></td></tr> <tr><td>75</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td></tr> <tr><td>100</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.04</td><td>0.08</td><td>0.04</td></tr> <tr><td>200</td><td>0.05</td><td>0.09</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>250</td><td>0.05</td><td>0.10</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>300</td><td>0.06</td><td>0.18</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>350</td><td>0.07</td><td>0.20</td><td>0.07</td></tr> <tr><td>400</td><td>0.07</td><td>0.22</td><td>0.07</td></tr> <tr><td>450</td><td>0.08</td><td>0.24</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>500</td><td>0.09</td><td>0.34</td><td>0.09</td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。 (注2) 諸雑費には、燃料、カッターの刃損耗費および塗装の補修費を含む。</p> <p>【省略】</p>	呼び径 (mm)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	機械損料 (日)	諸雑費	50	0.03	0.06	0.03	労務費の <u>30%</u>	75	0.03	0.06	0.03	100	0.03	0.06	0.03	150	0.04	0.08	0.04	200	0.05	0.09	0.05	250	0.05	0.10	0.05	300	0.06	0.18	0.06	350	0.07	0.20	0.07	400	0.07	0.22	0.07	450	0.08	0.24	0.08	500	0.09	0.34	0.09	<p>S 営農飲雑用水施設工</p> <p>S～1800 鋳鉄管切断工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、営農飲雑用水施設工事における鋳鉄管の切断作業に適用する。</p> <p>2 施工歩掛 施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 鋳鉄管切断（エンジンカッター使用）歩掛 (1口当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>機械損料 (日)</th> <th>諸雑費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td><td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">労務費の <u>5%</u></td></tr> <tr><td>75</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td></tr> <tr><td>100</td><td>0.03</td><td>0.06</td><td>0.03</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.04</td><td>0.08</td><td>0.04</td></tr> <tr><td>200</td><td>0.05</td><td>0.09</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>250</td><td>0.05</td><td>0.10</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>300</td><td>0.06</td><td>0.18</td><td>0.06</td></tr> <tr><td>350</td><td>0.07</td><td>0.20</td><td>0.07</td></tr> <tr><td>400</td><td>0.07</td><td>0.22</td><td>0.07</td></tr> <tr><td>450</td><td>0.08</td><td>0.24</td><td>0.08</td></tr> <tr><td>500</td><td>0.09</td><td>0.34</td><td>0.09</td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) 歩掛は、20m程度の現場内小運搬を含む。 (注2) 諸雑費には、燃料、カッターの刃損耗費および塗装の補修費を含む。</p> <p>【省略】</p>	呼び径 (mm)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	機械損料 (日)	諸雑費	50	0.03	0.06	0.03	労務費の <u>5%</u>	75	0.03	0.06	0.03	100	0.03	0.06	0.03	150	0.04	0.08	0.04	200	0.05	0.09	0.05	250	0.05	0.10	0.05	300	0.06	0.18	0.06	350	0.07	0.20	0.07	400	0.07	0.22	0.07	450	0.08	0.24	0.08	500	0.09	0.34	0.09	<p>数値の改正</p>
呼び径 (mm)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	機械損料 (日)	諸雑費																																																																																																		
50	0.03	0.06	0.03	労務費の <u>30%</u>																																																																																																		
75	0.03	0.06	0.03																																																																																																			
100	0.03	0.06	0.03																																																																																																			
150	0.04	0.08	0.04																																																																																																			
200	0.05	0.09	0.05																																																																																																			
250	0.05	0.10	0.05																																																																																																			
300	0.06	0.18	0.06																																																																																																			
350	0.07	0.20	0.07																																																																																																			
400	0.07	0.22	0.07																																																																																																			
450	0.08	0.24	0.08																																																																																																			
500	0.09	0.34	0.09																																																																																																			
呼び径 (mm)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	機械損料 (日)		諸雑費																																																																																																	
50	0.03	0.06	0.03	労務費の <u>5%</u>																																																																																																		
75	0.03	0.06	0.03																																																																																																			
100	0.03	0.06	0.03																																																																																																			
150	0.04	0.08	0.04																																																																																																			
200	0.05	0.09	0.05																																																																																																			
250	0.05	0.10	0.05																																																																																																			
300	0.06	0.18	0.06																																																																																																			
350	0.07	0.20	0.07																																																																																																			
400	0.07	0.22	0.07																																																																																																			
450	0.08	0.24	0.08																																																																																																			
500	0.09	0.34	0.09																																																																																																			

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																						
<p>S～2000 既設管撤去工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、営農飲雑用水施設工事における管布設替工事による撤去管（呼び径 1000 mm以下）の切断又は継手取外し、撤去管吊上げ積込みに適用する。</p> <p>2 施工歩掛</p> <p>2-1 既設管撤去切断 撤去管の切断歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 既設管撤去切断歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">撤去管</th> <th rowspan="2">補正対象歩掛</th> <th rowspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>呼び径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ダクタイル鋳鉄管 (FCD)</td> <td>350 mm以下</td> <td>「S～1800 鋳鉄管切断工」</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td>400 mm以上</td> <td>「 " 」</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>1000 mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼管 (STW290、 STW370、STW400)</td> <td>350 mm以下</td> <td>「S～1810 鋼管現場切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>400 mm以上</td> <td>「 " 」</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>鋼管 (STW400、STW400B)</td> <td>1000 mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>-</td> <td>「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>-</td> <td>「S～1830 ポリエチレン管切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 撤去管は原則として切断するものとする。切断数量は6m当り1箇所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。</p> <p><u>(注2) 補正対象歩掛の補正係数は、労務費の歩掛のみに乗じ、機械損料及び諸雑費には適用しない。</u></p> <p><u>(注3) 既設管との連絡部等における既設管切断については、本表を適用しない。</u></p> <p><u>(注4) 鋼管切断撤去の場合は、「S～1810 鋼管現場切断工」鋼管切断歩掛表の(注5)を適用しない。</u></p> <p>【省略】</p>	撤去管		補正対象歩掛	補正係数	材質	呼び径	ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350 mm以下	「S～1800 鋳鉄管切断工」	0.27	400 mm以上	「 " 」	0.46	1000 mm以下			鋼管 (STW290、 STW370、STW400)	350 mm以下	「S～1810 鋼管現場切断工」	0.25	400 mm以上	「 " 」	0.35	鋼管 (STW400、STW400B)	1000 mm以下			硬質塩化ビニル管	-	「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」	0.25	ポリエチレン管	-	「S～1830 ポリエチレン管切断工」	0.25	<p>S～2000 既設管撤去工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、営農飲雑用水施設工事における管布設替工事による撤去管（呼び径 1000 mm以下）の切断又は継手取外し、撤去管吊上げ積込みに適用する。</p> <p>2 施工歩掛</p> <p>2-1 既設管撤去切断 撤去管の切断歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 既設管撤去切断歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">撤去管</th> <th rowspan="2">補正対象歩掛</th> <th rowspan="2">補正係数</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>呼び径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ダクタイル鋳鉄管 (FCD)</td> <td>350 mm以下</td> <td>「S～1800 鋳鉄管切断工」</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td>400 mm以上</td> <td>「 " 」</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>1000 mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼管 (STW290、 STW370、STW400)</td> <td>350 mm以下</td> <td>「S～1810 鋼管現場切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>400 mm以上</td> <td>「 " 」</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>鋼管 (STW400、STW400B)</td> <td>1000 mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>-</td> <td>「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>-</td> <td>「S～1830 ポリエチレン管切断工」</td> <td>0.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 撤去管は原則として切断するものとする。切断数量は6m当り1箇所を標準とするが、現場の状況に応じて別途定めることができる。</p> <hr style="border: 1px solid red;"/> <hr style="border: 1px solid red;"/> <hr style="border: 1px solid red;"/> <p>【省略】</p>	撤去管		補正対象歩掛	補正係数	材質	呼び径	ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350 mm以下	「S～1800 鋳鉄管切断工」	0.27	400 mm以上	「 " 」	0.46	1000 mm以下			鋼管 (STW290、 STW370、STW400)	350 mm以下	「S～1810 鋼管現場切断工」	0.25	400 mm以上	「 " 」	0.35	鋼管 (STW400、STW400B)	1000 mm以下			硬質塩化ビニル管	-	「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」	0.25	ポリエチレン管	-	「S～1830 ポリエチレン管切断工」	0.25	<p>字句の追加 ” ”</p>
撤去管		補正対象歩掛			補正係数																																																																			
材質	呼び径																																																																							
ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350 mm以下	「S～1800 鋳鉄管切断工」	0.27																																																																					
	400 mm以上	「 " 」	0.46																																																																					
	1000 mm以下																																																																							
鋼管 (STW290、 STW370、STW400)	350 mm以下	「S～1810 鋼管現場切断工」	0.25																																																																					
	400 mm以上	「 " 」	0.35																																																																					
鋼管 (STW400、STW400B)	1000 mm以下																																																																							
硬質塩化ビニル管	-	「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」	0.25																																																																					
ポリエチレン管	-	「S～1830 ポリエチレン管切断工」	0.25																																																																					
撤去管		補正対象歩掛	補正係数																																																																					
材質	呼び径																																																																							
ダクタイル鋳鉄管 (FCD)	350 mm以下	「S～1800 鋳鉄管切断工」	0.27																																																																					
	400 mm以上	「 " 」	0.46																																																																					
	1000 mm以下																																																																							
鋼管 (STW290、 STW370、STW400)	350 mm以下	「S～1810 鋼管現場切断工」	0.25																																																																					
	400 mm以上	「 " 」	0.35																																																																					
鋼管 (STW400、STW400B)	1000 mm以下																																																																							
硬質塩化ビニル管	-	「S～1820 硬質塩化ビニル管切断工」	0.25																																																																					
ポリエチレン管	-	「S～1830 ポリエチレン管切断工」	0.25																																																																					

丁 冬期工事

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成17年9月29日付け事調第592号農政部長通知)の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">T 冬 期 工 事</p> <p>T～0100 冬期工事の積算について</p> <p>1 適用基準 【省略】</p> <p>2 防寒費の積算について コンクリート工事における防寒費については次の要領により処理すること。</p> <p>(1) 防寒費の対象となる工事 防寒費の対象となる工事は、コンクリート養生の工程が日平均気温 4℃を下回る構造物を有する工事とする。</p> <p>(2) 防寒費の計上 防寒費の計上は、<u>過去30</u>年間の気象データから日平均気温が 4℃を下回る日を定めた、「T～1200 1 防寒開始日早見表」により防寒開始日以降について積算すること。 【省略】</p>	<p style="text-align: center;">T 冬 期 工 事</p> <p>T～0100 冬期工事の積算について</p> <p>1 適用基準 【省略】</p> <p>2 防寒費の積算について コンクリート工事における防寒費については次の要領により処理すること。</p> <p>(1) 防寒費の対象となる工事 防寒費の対象となる工事は、コンクリート養生の工程が日平均気温 4℃を下回る構造物を有する工事とする。</p> <p>(2) 防寒費の計上 防寒費の計上は、<u>最近5</u>年間の気象データから日平均気温が 4℃を下回る日を定めた、「T～1200 1 防寒開始日早見表」により防寒開始日以降について積算すること。 【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正								現 行								備 考
T～1200 防寒開始日早見表、除雪数値表								T～1200 防寒開始日早見表、除雪数値表								表内、字句の改正
1 防寒開始日早見表								1 防寒開始日早見表								
市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	
石狩振興局・空知総合振興局								石狩振興局・空知総合振興局								
札幌市	11月 19日	新篠津村	11月 13日	美唄市	11月 12日	芦別市	11月 11日	札幌市	11月 20日	新篠津村	11月 20日	美唄市	11月 10日	芦別市	11月 10日	
恵庭市	11月 13日	当別町	11月 14日	奈井江町	11月 11日	新十津川町	11月 9日	恵庭市	11月 20日	当別町	11月 20日	奈井江町	11月 10日	新十津川町	11月 10日	
千歳市	11月 15日	月形町	11月 12日	浦臼町	11月 11日	雨竜町	11月 13日	千歳市	11月 10日	月形町	11月 20日	浦臼町	11月 10日	雨竜町	11月 10日	
江別市	11月 14日	石狩市	11月 16日	上砂川町	11月 11日	深川市	11月 10日	江別市	11月 20日	石狩市	11月 20日	上砂川町	11月 10日	深川市	11月 10日	
長沼町	11月 15日	由仁町	11月 13日	歌志内市	11月 11日	妹背牛町	11月 10日	長沼町	11月 20日	由仁町	11月 10日	歌志内市	11月 10日	妹背牛町	11月 10日	
北広島市	11月 15日	栗山町	11月 13日	砂川市	11月 10日	秩父別町	11月 10日	北広島市	11月 20日	栗山町	11月 10日	砂川市	11月 10日	秩父別町	11月 10日	
南幌町	11月 14日	夕張市	11月 9日	赤平市	11月 11日	北竜町	11月 13日	南幌町	11月 20日	夕張市	11月 10日	赤平市	11月 10日	北竜町	11月 10日	
岩見沢市	11月 15日	三笠市	11月 12日	滝川市	11月 11日	沼田町	11月 9日	岩見沢市	11月 10日	三笠市	11月 10日	滝川市	11月 10日	沼田町	11月 10日	
後志総合振興局								後志総合振興局								
小樽市	11月 19日	神恵内村	11月 23日	寿都町	11月 22日	京極町	11月 12日	小樽市	11月 20日	神恵内村	11月 30日	寿都町	11月 30日	京極町	11月 10日	
赤井川村	11月 16日	泊 村	11月 21日	黒松内町	11月 14日	喜茂別町	11月 7日	赤井川村	11月 20日	泊 村	11月 30日	黒松内町	11月 30日	喜茂別町	11月 10日	
余市町	11月 16日	共和町	11月 19日	島牧村	11月 22日	留寿都村	11月 10日	余市町	11月 20日	共和町	11月 30日	島牧村	11月 30日	留寿都村	11月 10日	
仁木町	11月 15日	岩内町	11月 16日	ニセコ町	11月 12日	真狩村	11月 8日	仁木町	11月 20日	岩内町	11月 30日	ニセコ町	11月 10日	真狩村	11月 10日	
積丹町	11月 14日	蘭越町	11月 14日	倶知安町	11月 12日	古平町	11月 18日	積丹町	11月 20日	蘭越町	11月 30日	倶知安町	11月 10日	古平町	11月 20日	
渡島総合振興局・檜山振興局								渡島総合振興局・檜山振興局								
函館市	11月 24日	上ノ国町	11月 27日	せたな町	11月 25日	七飯町	11月 20日	函館市	11月 30日	上ノ国町	11月 30日	せたな町	11月 30日	七飯町	11月 30日	
木古内町	11月 23日	江差町	12月 1日	長万部町	11月 16日	奥尻町	11月 30日	木古内町	11月 30日	江差町	11月 30日	長万部町	11月 30日	奥尻町	11月 30日	
知内町	11月 23日	厚沢部町	11月 18日	今金町	11月 17日	北斗市	11月 19日	知内町	11月 30日	厚沢部町	11月 30日	今金町	11月 30日	北斗市	11月 30日	
福島町	12月 3日	乙部町	11月 24日	森 町	11月 17日			福島町	11月 30日	乙部町	11月 30日	森 町	11月 30日			
松前町	12月 3日	八雲町	11月 22日	鹿部町	11月 20日			松前町	11月 30日	八雲町	11月 30日	鹿部町	11月 30日			
胆振総合振興局・日高振興局								胆振総合振興局・日高振興局								
えりも町	11月 29日	平取町	11月 10日	登別市	11月 16日	壮瞥町	11月 15日	えりも町	11月 30日	平取町	11月 10日	登別市	11月 30日	壮瞥町	11月 10日	
様似町	11月 23日	むかわ町	11月 12日	室蘭市	11月 26日	安平町	11月 16日	様似町	11月 10日	むかわ町	11月 10日	室蘭市	11月 30日	安平町	11月 10日	
浦河町	11月 18日	厚真町	11月 13日	伊達市	11月 14日	日高町	11月 13日	浦河町	11月 10日	厚真町	11月 10日	伊達市	11月 30日	日高町	11月 10日	
新ひだか町	11月 19日	苫小牧市	11月 19日	豊浦町	11月 16日			新ひだか町	11月 10日	苫小牧市	11月 10日	豊浦町	11月 30日			
新冠町	11月 11日	白老町	11月 15日	洞爺湖町	11月 12日			新冠町	11月 10日	白老町	11月 10日	洞爺湖町	11月 10日			
上川総合振興局								上川総合振興局								
中川町	11月 9日	剣淵町	11月 8日	当麻町	11月 7日	中富良野町	11月 9日	中川町	11月 10日	剣淵町	11月 10日	当麻町	11月 10日	中富良野町	11月 10日	
音威子府村	11月 8日	和寒町	11月 9日	旭川市	11月 8日	富良野市	11月 8日	音威子府村	11月 10日	和寒町	11月 10日	旭川市	11月 10日	富良野市	11月 10日	
美深町	11月 7日	比布町	11月 8日	東川町	11月 9日	南富良野町	11月 7日	美深町	11月 10日	比布町	11月 10日	東川町	11月 10日	南富良野町	11月 10日	
名寄市	11月 7日	愛別町	11月 7日	東神楽町	11月 8日	占冠村	11月 3日	名寄市	11月 10日	愛別町	11月 10日	東神楽町	11月 10日	占冠村	11月 10日	
下川町	11月 6日	上川町	11月 4日	美瑛町	11月 7日	幌加内町	11月 5日	下川町	11月 10日	上川町	11月 10日	美瑛町	11月 10日	幌加内町	11月 10日	
士別市	11月 8日	鷹栖町	11月 8日	上富良野町	11月 9日			士別市	11月 10日	鷹栖町	11月 10日	上富良野町	11月 10日			
留萌振興局								留萌振興局								
天塩町	11月 14日	羽幌町	11月 17日	苫前町	11月 11日	増毛町	11月 19日	天塩町	11月 20日	羽幌町	11月 20日	苫前町	11月 20日	増毛町	11月 20日	
遠別町	11月 13日	羽幌町焼尻	11月 19日	小平町	11月 11日			遠別町	11月 20日	羽幌町焼尻	11月 30日	小平町	11月 20日			
初山別村	11月 16日	羽幌町天売	11月 19日	留萌市	11月 13日			初山別村	11月 20日	羽幌町天売	11月 30日	留萌市	11月 20日			
宗谷総合振興局								宗谷総合振興局								
稚内市	11月 12日	浜頓別町	11月 10日	幌延町	11月 10日	利尻富士町	11月 15日	稚内市	11月 20日	浜頓別町	11月 20日	幌延町	11月 10日	利尻富士町	11月 20日	
豊富町	11月 11日	中頓別町	11月 7日	礼文町	11月 14日			豊富町	11月 20日	中頓別町	11月 10日	礼文町	11月 20日			
猿払村	11月 9日	枝幸町	11月 10日	利尻町	11月 15日			猿払村	11月 20日	枝幸町	11月 20日	利尻町	11月 20日			
オホーツク総合振興局								オホーツク総合振興局								
網走市	11月 15日	小清水町	11月 12日	遠軽町	11月 8日	興部町	11月 11日	網走市	11月 10日	小清水町	11月 10日	遠軽町	11月 10日	興部町	11月 10日	
大空町	11月 12日	清里町	11月 12日	佐呂間町	11月 9日	西興部村	11月 8日	大空町	11月 10日	清里町	11月 10日	佐呂間町	11月 10日	西興部村	11月 10日	
美幌町	11月 10日	北見市	11月 9日	湧別町	11月 12日	雄武町	11月 12日	美幌町	11月 10日	北見市	11月 10日	湧別町	11月 10日	雄武町	11月 20日	
津別町	11月 9日	置戸町	11月 7日	紋別市	11月 14日			津別町	11月 10日	置戸町	11月 10日	紋別市	11月 10日			
斜里町	11月 14日	訓子府町	11月 9日	滝上町	11月 8日			斜里町	11月 10日	訓子府町	11月 10日	滝上町	11月 10日			

新 旧 対 照 表

改 正								現 行								備 考
市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	市町村名	防寒開始日	表内、字句の改正
十勝総合振興局								十勝総合振興局								
帯広市	11月12日	池田町	11月10日	清水町	11月11日	更別村	11月10日	帯広市	11月10日	池田町	11月10日	清水町	11月20日	更別村	11月10日	
芽室町	11月11日	上士幌町	11月5日	足寄町	11月9日	浦幌町	11月13日	芽室町	11月20日	上士幌町	11月10日	足寄町	11月10日	浦幌町	11月10日	
幕別町	11月8日	士幌町	11月10日	本別町	11月10日	豊頃町	11月13日	幕別町	11月10日	士幌町	11月10日	本別町	11月10日	豊頃町	11月10日	
中札内村	11月9日	鹿追町	11月11日	陸別町	11月9日	広尾町	11月21日	中札内村	11月10日	鹿追町	11月10日	陸別町	11月10日	広尾町	11月10日	
音更町	11月10日	新得町	11月12日	大樹町	11月11日			音更町	11月20日	新得町	11月10日	大樹町	11月10日			
釧路総合振興局・根室振興局								釧路総合振興局・根室振興局								
釧路市	11月12日	浜中町	11月15日	別海町	11月12日	弟子屈町	11月8日	釧路市	11月20日	浜中町	11月10日	別海町	11月10日	弟子屈町	11月10日	
釧路町	11月18日	鶴居村	11月10日	中標津町	11月12日			釧路町	11月20日	鶴居村	11月10日	中標津町	11月10日			
白糠町	11月13日	標茶町	11月9日	標津町	11月15日			白糠町	11月10日	標茶町	11月10日	標津町	11月10日			
厚岸町	11月14日	根室市	11月20日	羅臼町	11月16日			厚岸町	11月10日	根室市	11月10日	羅臼町	11月10日			

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
2 除雪数値表 空知総合振興局 (cm)							2 除雪数値表 空知総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
夕張市	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(6) 7	(6) 6	(5) 7	(4) 7	夕張市	5 cm以上 20 cm未満	(4) 13	(11) 11	(11) 12	(11) 8	(9) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(8) 20	(6) 20	(7) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(1) 30	(3) 20	(3) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(1) 70	(1) 60	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	80		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	110	100	
岩見沢市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	岩見沢市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(9) 10	(11) 10	(9) 10	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(5) 20	(5) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(1) 30	(4) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 50	(2) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	70	
美唄市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(1) 8	美唄市	5 cm以上 20 cm未満	(9) 12	(14) 11	(11) 10	(11) 9	(8) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 20	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	70	
芦別市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(6) 6	(2) 7	芦別市	5 cm以上 20 cm未満	(5) 9	(11) 9	(11) 9	(10) 12	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(6) 20	(3) 10	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	70	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50	
赤平市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(6) 6	(2) 7	赤平市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(12) 10	(13) 10	(10) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(6) 20	(3) 10	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 20	(2) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	70	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	70	
三笠市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	三笠市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(11) 10	(11) 10	(10) 10	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(5) 20	(5) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(3) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70	
滝川市	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	滝川市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 8	(14) 11	(14) 10	(11) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(5) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	90	80	
砂川市	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	砂川市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 8	(14) 11	(14) 10	(11) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(5) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	90	80	
歌志内市	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	歌志内市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(11) 10	(12) 10	(10) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(5) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(2) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	70	60	
深川市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(5) 7	(4) 6	深川市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 13	(11) 10	(13) 10	(9) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(2) 30	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	70	
南幌町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	南幌町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(9) 10	(11) 10	(9) 10	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(5) 20	(5) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(1) 30	(4) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 50	(2) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	70	
奈井江町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(1) 8	奈井江町	5 cm以上 20 cm未満	(7) 11	(13) 10	(11) 10	(11) 11	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 20	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	60	
上砂川町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	上砂川町	5 cm以上 20 cm未満	(7) 11	(13) 10	(11) 10	(11) 11	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(6) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	60	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
(cm)							(cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
由仁町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(6) 7	(6) 6	(5) 7	(4) 7	由仁町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 6	(6) 10	(7) 9	(6) 9	(5) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(8) 20	(6) 20	(7) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	80		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	50	
長沼町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(6) 7	(4) 7	長沼町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 5	(5) 9	(6) 9	(7) 10	(5) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(2) 20	(4) 20	(3) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(2) 30	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	40	
栗山町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(6) 7	(6) 6	(5) 7	(4) 7	栗山町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 13	(11) 11	(11) 12	(11) 8	(9) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(8) 20	(6) 20	(7) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(1) 30	(3) 20	(3) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(1) 70	(1) 60	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	80		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	110	100	
月形町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 6	(6) 7	(4) 7	月形町	5 cm以上 20 cm未満	(8) 11	(13) 11	(12) 10	(12) 10	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(8) 10	(6) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 30	(2) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	90	110	80		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	80	100	70	
浦臼町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(1) 8	浦臼町	5 cm以上 20 cm未満	(9) 12	(14) 11	(11) 10	(11) 9	(8) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 20	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	70	
新十津川町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	新十津川町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 8	(14) 11	(14) 10	(11) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(5) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	90	80	
妹背牛町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(5) 7	(4) 6	妹背牛町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(13) 11	(14) 10	(10) 10	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(2) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	70	90	80	
秩父別町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(5) 7	(4) 6	秩父別町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 13	(11) 10	(13) 10	(9) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(2) 30	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	70	
雨竜町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 6	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(3) 7	雨竜町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 8	(14) 11	(14) 10	(11) 11	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(6) 20	(5) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	90	80	
北竜町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(5) 7	(4) 6	北竜町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(11) 11	(12) 10	(12) 12	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(3) 30	(3) 20	(3) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	120	100	
沼田町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 7	(8) 7	(5) 7	(4) 6	沼田町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 12	(11) 10	(13) 10	(11) 11	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(8) 20	(6) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 30	(3) 30	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	80	100	90	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
石狩振興局 (cm)							石狩振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
札幌市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(4) 6	(6) 7	(5) 6	(3) 7	札幌市	5 cm以上 20 cm未満	(4) 10	(8) 10	(10) 10	(10) 9	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(4) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 30	(2) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	90	80	
江別市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 6	(6) 7	(4) 7	江別市	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(9) 10	(11) 10	(10) 10	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(8) 10	(6) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(1) 30	(2) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	90	110	80		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	70	100	70	
千歳市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(1) 6	千歳市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(1) 8	(2) 7	(3) 10	(1) 12	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(1) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 20	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	10		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	30	10	
恵庭市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(6) 7	(4) 7	恵庭市	5 cm以上 20 cm未満	(1) 16	(7) 10	(14) 8	(9) 10	(7) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(2) 20	(4) 20	(3) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	70	50	
北広島市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(6) 7	(4) 7	北広島市	5 cm以上 20 cm未満	(3) 13	(8) 10	(12) 9	(10) 10	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(2) 20	(4) 20	(3) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(2) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	80	60	
石狩市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(6) 7	(7) 7	(7) 6	(2) 7	石狩市	5 cm以上 20 cm未満	(2) 11	(9) 11	(12) 9	(10) 11	(7) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(6) 10	(5) 10	(4) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(2) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	100	70	
当別町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(6) 7	(7) 7	(7) 6	(2) 7	当別町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(10) 11	(12) 10	(11) 10	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(6) 10	(5) 10	(4) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 30	(2) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	100	80	
新篠津村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 6	(6) 7	(4) 7	新篠津村	5 cm以上 20 cm未満	(6) 9	(11) 11	(12) 10	(12) 11	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(10) 20	(8) 10	(6) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(2) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 50	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	90	110	80		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	100	80	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
後志総合振興局 (cm)							後志総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
小樽市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(7) 7	(8) 7	(5) 6	(3) 7	小樽市	5 cm以上 20 cm未満	(1) 8	(9) 11	(11) 9	(9) 10	(8) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(5) 20	(3) 20	(3) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	100	80	
島牧村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(5) 7	(1) 7	島牧村	5 cm以上 20 cm未満	(4) 8	(13) 11	(13) 10	(14) 9	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(4) 10	(2) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	50	
寿都町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(5) 7	(1) 7	寿都町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(12) 11	(11) 8	(9) 9	(6) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(4) 10	(2) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30	
黒松内町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(7) 7	(7) 7	(7) 7	(3) 6	黒松内町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 8	(14) 10	(13) 12	(16) 10	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(8) 20	(7) 20	(6) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 20	(3) 30	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	80	110	80		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	110	90	
蘭越町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(8) 7	(8) 7	(6) 7	(1) 6	蘭越町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 13	(12) 11	(15) 9	(14) 8	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 10	(6) 20	(5) 20	(4) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 30	(3) 20	(1) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	100	70		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	110	90	
ニセコ町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(8) 7	(8) 7	(6) 7	(1) 6	ニセコ町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(11) 10	(12) 10	(11) 10	(9) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 10	(6) 20	(5) 20	(4) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	100	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	80	110	90	
真狩村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(4) 7	真狩村	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(12) 9	(11) 11	(11) 10	(9) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(9) 20	(7) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(3) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(2) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	110	100		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	110	100	
留寿都村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(4) 7	留寿都村	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(13) 10	(12) 10	(13) 10	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(9) 20	(7) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	110	100		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	110	110	
喜茂別町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(4) 7	喜茂別町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(15) 10	(14) 10	(14) 10	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(9) 20	(7) 10	(5) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(5) 20	(3) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	110	100		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	90	120	120	
京極町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 6	(3) 6	京極町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(12) 11	(13) 10	(12) 10	(10) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(5) 20	(12) 20	(10) 10	(8) 20	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 20	(4) 30	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(1) 20	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(2) 40	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	60	120	150	120		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	130	120	
倶知安町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 6	(3) 6	倶知安町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 9	(11) 11	(11) 11	(9) 12	(9) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(5) 20	(12) 20	(10) 10	(8) 20	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(4) 20	(4) 30	(3) 30	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(1) 20	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(3) 40	(2) 40	(1) 50	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	60	120	150	120		着工時除雪(平均積雪深)	10	50	120	150	140	
共和町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 6	(1) 6	共和町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 12	(12) 10	(13) 10	(10) 10	(8) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 20	(3) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	80	60	
岩内町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 6	(1) 6	岩内町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 13	(12) 11	(14) 10	(12) 9	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 20	(3) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	90	70	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
(cm)							(cm)							
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
泊 村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 6	(1) 6	泊 村	5 cm以上 20 cm未満	(3) 12	(12) 10	(13) 10	(10) 10	(8) 7	表内、数値の改正
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 20	(3) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	80	60	
神恵内村	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 6	(1) 6	神恵内村	5 cm以上 20 cm未満	(3) 12	(12) 10	(13) 10	(10) 10	(8) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 20	(3) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	80	60	
積丹町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 8	(9) 7	(7) 6	(3) 7	積丹町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 10	(12) 9	(14) 9	(11) 10	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(9) 10	(6) 10	(7) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 60	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	100	70	
古平町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 8	(9) 7	(7) 6	(3) 7	古平町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 10	(12) 9	(14) 9	(11) 10	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(9) 10	(6) 10	(7) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(2) 60	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	100	70	
仁木町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 8	(9) 7	(7) 6	(3) 7	仁木町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 9	(12) 11	(14) 10	(11) 10	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(9) 10	(6) 10	(7) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 20	(3) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	90	120	100	
余市町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(8) 8	(9) 7	(7) 6	(3) 7	余市町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 8	(12) 8	(14) 8	(11) 10	(12) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(9) 10	(6) 10	(7) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(4) 20	(3) 20	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 70	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	80	110	90	
赤井川村	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(9) 7	(9) 6	(6) 7	(5) 6	赤井川村	5 cm以上 20 cm未満	(8) 8	(13) 13	(18) 10	(13) 9	(12) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 10	(8) 20	(7) 20	(7) 10	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(2) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 50	(1) 40	(1) 50	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	40	80	110	100		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	100	130	130	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
渡島総合振興局 (cm)							渡島総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
函館市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(5) 7	(4) 7	(4) 7	(1) 7	函館市	5 cm以上 20 cm未満	(2) 12	(7) 10	(6) 8	(5) 10	(4) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(1) 20	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	10		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20	
北斗市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(5) 7	(4) 7	(4) 7	(1) 7	北斗市	5 cm以上 20 cm未満	(3) 12	(10) 10	(10) 9	(10) 9	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(1) 20	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	10		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30	
松前町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(2) 6	松前町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(11) 10	(14) 12	(14) 10	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(6) 20	(5) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(3) 20	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 60	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	110	90	
福島町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(2) 6	福島町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(11) 10	(14) 12	(14) 10	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(6) 20	(5) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(3) 20	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 60	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	110	90	
知内町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(2) 6	知内町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(11) 10	(14) 12	(14) 10	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(6) 20	(5) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(3) 20	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 60	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	70	110	90	
木古内町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(6) 7	(7) 7	(6) 7	(2) 6	木古内町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(13) 10	(14) 10	(14) 8	(11) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(6) 20	(5) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	90	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30	
七飯町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(5) 6	(3) 7	(3) 6	(2) 6	七飯町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(7) 9	(10) 8	(9) 7	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30	
鹿部町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(5) 6	(3) 7	(3) 6	(2) 6	鹿部町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(7) 11	(9) 10	(9) 8	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30	
森 町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(5) 7	(4) 6	(5) 7	(2) 7	森 町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 8	(6) 12	(7) 11	(9) 8	(9) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(3) 20	(4) 20	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	30	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20	
八雲町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(7) 7	(6) 7	(7) 7	(1) 6	八雲町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 6	(11) 10	(14) 11	(13) 9	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(6) 10	(5) 10	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30	
長万部町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(6) 7	(6) 7	(7) 7	(3) 7	長万部町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 9	(11) 12	(13) 10	(16) 9	(13) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(5) 10	(4) 10	(5) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(3) 20	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	70	40	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
檜山振興局 (cm)							檜山振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
江差町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(3) 7	(3) 6	(3) 7	(-) -	江差町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(13) 10	(14) 10	(14) 8	(11) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30	
上ノ国町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(3) 7	(3) 6	(3) 7	(-) -	上ノ国町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(12) 10	(14) 11	(14) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 30	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	80	60	
厚沢部町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(3) 7	(3) 6	(3) 7	(-) -	厚沢部町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(13) 10	(14) 10	(14) 8	(11) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30	
乙部町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(3) 7	(3) 6	(3) 7	(-) -	乙部町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 9	(12) 10	(14) 10	(13) 8	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30	
奥尻町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(5) 6	(6) 7	(4) 6	(-) -	奥尻町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(11) 10	(14) 10	(13) 8	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(1) 20	(1) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(2) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20	
今金町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 6	(8) 7	(1) 7	今金町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 8	(15) 10	(14) 9	(14) 9	(10) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(5) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 30	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	70	40	
せたな町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 6	(8) 7	(1) 7	せたな町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 8	(12) 10	(14) 10	(13) 9	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(5) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
胆振総合振興局 (cm)							胆振総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
室蘭市	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 7	(2) 7	(2) 6	(1) 6	室蘭市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(4) 11	(4) 9	(4) 5	(1) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	10		着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	10	
苫小牧市	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 7	(1) 7	(1) 6	(1) 6	苫小牧市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(3) 9	(4) 9	(4) 9	(2) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	10		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	20	10	
登別市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(4) 7	(5) 7	(7) 6	(3) 7	登別市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(8) 9	(6) 10	(6) 10	(7) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 10	(3) 20	(2) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	60	50	
伊達市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 6	伊達市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(6) 10	(5) 10	(5) 8	(4) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(3) 20	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	30	
豊浦町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 6	豊浦町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 9	(9) 7	(9) 11	(9) 9	(6) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(3) 20	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	40	
壮瞥町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 6	壮瞥町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(8) 8	(7) 9	(7) 9	(6) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(3) 20	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	50	
白老町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(1) 7	白老町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(5) 7	(5) 7	(3) 8	(2) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 10	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	-	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-	
厚真町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 7	(3) 7	(3) 6	(2) 6	厚真町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 7	(7) 10	(9) 10	(7) 9	(5) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(-) -	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30	
洞爺湖町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(5) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 6	洞爺湖町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 9	(10) 8	(10) 10	(10) 10	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(6) 10	(3) 20	(4) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	80	70	
安平町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 7	(3) 7	(3) 6	(2) 6	安平町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(7) 10	(9) 9	(5) 10	(6) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(-) -	(1) 20	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	40	
むかわ町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(4) 6	(6) 6	(6) 6	(3) 6	むかわ町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(7) 8	(8) 10	(5) 10	(5) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(2) 10	(2) 20	(2) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
日高振興局 (cm)							日高振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
日高町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 6	(3) 6	(3) 6	(1) 7	日高町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 8	(4) 12	(7) 9	(8) 10	(7) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(2) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 20	(2) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50	
平取町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 6	(3) 6	(3) 6	(1) 7	平取町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(7) 7	(5) 11	(4) 9	(5) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(2) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20	
新冠町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 7	(2) 6	(1) 8	新冠町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(6) 8	(5) 10	(4) 9	(4) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 10	(1) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30	
浦河町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 7	(2) 7	(1) 6	浦河町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(9) 8	(3) 7	(4) 10	(2) 12	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(-) -	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	20	10	
様似町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 7	(2) 7	(1) 6	様似町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(6) 11	(4) 11	(4) 10	(3) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 10	(1) 20	(-) -	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(-) -	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30	
えりも町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 7	(2) 7	(2) 7	(1) 7	えりも町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(3) 13	(4) 14	(4) 10	(4) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(3) 20	(3) 20	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(2) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	50	
新ひだか町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 7	(2) 6	(1) 8	新ひだか町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(7) 9	(3) 7	(4) 8	(2) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 10	(1) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	-	10	10	-		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	10	20	10	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
上川総合振興局 (cm)							上川総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
旭川市	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(7) 7	(5) 7	(6) 7	(2) 6	旭川市	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(11) 9	(12) 9	(9) 8	(9) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(7) 10	(3) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(1) 30	(-) -	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	50		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	60	50	
士別市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	士別市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 13	(13) 10	(13) 10	(12) 10	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(8) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(3) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	60	90	110	120	
名寄市	5 cm以上 10 cm未満	(6) 7	(8) 7	(10) 7	(7) 6	(4) 8	名寄市	5 cm以上 20 cm未満	(8) 11	(15) 10	(16) 9	(11) 8	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(8) 10	(6) 10	(3) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(-) -	(1) 70	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	70	90	70		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	80	
富良野市	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(7) 7	(8) 7	(7) 7	(3) 7	富良野市	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(13) 9	(11) 9	(8) 10	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(4) 20	(2) 10	(2) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	60	50	
鷹栖町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(7) 7	(5) 7	(6) 7	(2) 6	鷹栖町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 13	(11) 9	(12) 9	(11) 9	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(7) 10	(3) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(2) 30	(-) -	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	50		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	70	70	
東神楽町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(5) 7	(4) 7	(3) 6	東神楽町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 9	(11) 9	(13) 9	(9) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 10	(3) 10	(1) 10	(2) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(3) 30	(1) 30	(-) -	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	20	40	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	60	50	
当麻町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(7) 7	(5) 7	(6) 7	(2) 6	当麻町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 9	(11) 8	(13) 10	(10) 9	(12) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(7) 10	(3) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(2) 30	(-) -	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	50		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	60	70	60	
比布町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(7) 7	(5) 7	(6) 7	(2) 6	比布町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 13	(11) 9	(12) 9	(11) 9	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(7) 10	(3) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(2) 30	(-) -	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	50		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	70	70	
愛別町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(9) 7	(7) 7	(4) 6	(3) 6	愛別町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 12	(11) 8	(13) 9	(12) 10	(13) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(6) 10	(4) 10	(4) 20	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(3) 30	(1) 30	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	70	
上川町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(9) 7	(7) 7	(4) 6	(3) 6	上川町	5 cm以上 20 cm未満	(7) 8	(11) 7	(13) 10	(11) 10	(15) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(6) 10	(4) 10	(4) 20	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(1) 30	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	70	
東川町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(5) 7	(4) 7	(3) 6	東川町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 9	(11) 8	(13) 9	(10) 9	(12) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 10	(3) 10	(1) 10	(2) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(2) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	20	40	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	60	
美瑛町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(9) 7	(11) 6	(8) 7	(4) 7	美瑛町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 8	(10) 8	(13) 8	(9) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(8) 10	(4) 10	(4) 10	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	70	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50	
上富良野町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(7) 7	(8) 7	(7) 7	(3) 7	上富良野町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 11	(10) 9	(10) 8	(8) 10	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(4) 20	(2) 10	(2) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
(cm)							(cm)							
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
中富良野町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(7) 7	(8) 7	(7) 7	(3) 7	中富良野町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(12) 9	(11) 9	(9) 11	(11) 9	表内、数値の改正
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(4) 20	(2) 10	(2) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(2) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	50	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	60	50	
南富良野町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 7	(7) 7	(7) 7	(5) 6	(3) 7	南富良野町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(10) 8	(8) 9	(9) 9	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(4) 10	(2) 10	(2) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(2) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 70	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50	
占冠村	5 cm以上 10 cm未満	(4) 7	(6) 6	(5) 7	(5) 7	(3) 6	占冠村	5 cm以上 20 cm未満	(4) 9	(14) 8	(16) 8	(14) 8	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(4) 10	(4) 10	(3) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	60	
和寒町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	和寒町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 15	(11) 8	(12) 8	(12) 9	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(8) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(3) 20	(1) 20	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	80	
剣淵町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(6) 7	(6) 7	(6) 7	(2) 7	剣淵町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 15	(11) 8	(12) 8	(12) 9	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 10	(8) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(3) 20	(1) 20	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	60	80	80	
下川町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(9) 7	(6) 6	(6) 6	(3) 7	下川町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 12	(15) 10	(12) 10	(13) 9	(10) 12	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(3) 20	(3) 20	(1) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(2) 20	(2) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 40	(1) 50	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	30	60	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	70	90	100	
美深町	5 cm以上 10 cm未満	(5) 7	(7) 7	(9) 7	(5) 7	(5) 7	美深町	5 cm以上 20 cm未満	(8) 10	(14) 11	(11) 9	(12) 8	(11) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(4) 20	(11) 20	(5) 20	(3) 20	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 50	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	60	90	110	100		着工時除雪(平均積雪深)	10	60	90	110	110	
中川町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 7	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 7	中川町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(13) 11	(13) 10	(13) 10	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(7) 20	(14) 20	(11) 20	(7) 10	(4) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(2) 20	(2) 20	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	20	90	140	170	150		着工時除雪(平均積雪深)	10	60	110	130	120	
音威子府村	5 cm以上 10 cm未満	(4) 7	(7) 7	(7) 7	(6) 7	(5) 7	音威子府村	5 cm以上 20 cm未満	(8) 9	(14) 12	(11) 10	(14) 10	(10) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(7) 20	(14) 20	(11) 20	(7) 10	(4) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(4) 30	(4) 20	(2) 30	(2) 20	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(1) 30	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 50	(1) 50	(1) 40	(2) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	20	90	140	170	150		着工時除雪(平均積雪深)	10	80	140	170	160	
幌加内町	5 cm以上 10 cm未満	(4) 8	(5) 7	(7) 7	(5) 7	(5) 7	幌加内町	5 cm以上 20 cm未満	(9) 11	(12) 11	(16) 12	(11) 11	(11) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(6) 20	(14) 20	(9) 20	(7) 20	(3) 10		20 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(4) 20	(4) 20	(4) 20	(3) 30	
	31 cm以上	(1) 40	(1) 30	(-) -	(1) 40	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 50	
	着工時除雪(平均積雪深)	20	100	150	190	160		着工時除雪(平均積雪深)	10	90	140	170	170	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
留萌振興局 (cm)							留萌振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
留萌市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(5) 6	(6) 7	(6) 7	(3) 7	留萌市	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(11) 11	(12) 10	(12) 12	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(5) 10	(4) 20	(2) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(3) 30	(3) 20	(3) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	120	100	
増毛町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(5) 6	(6) 7	(6) 7	(3) 7	増毛町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(11) 11	(12) 10	(12) 12	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(5) 10	(4) 20	(2) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(3) 30	(3) 20	(3) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	90	120	100	
小平町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(5) 6	(6) 7	(6) 7	(3) 7	小平町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 11	(11) 11	(14) 10	(11) 10	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(5) 10	(4) 20	(2) 20	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 20	(3) 20	(3) 30	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	50	90	110	110	
苫前町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(7) 7	(6) 6	(7) 6	(3) 6	苫前町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 8	(11) 11	(15) 8	(11) 9	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(6) 20	(6) 20	(3) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	80	110	90	
羽幌町 (焼尻・ 天売含む)	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(8) 7	(6) 6	(5) 6	(1) 6	羽幌町 (焼尻・ 天売含む)	5 cm以上 20 cm未満	(4) 10	(9) 10	(11) 10	(8) 10	(5) 6	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(4) 20	(5) 10	(3) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	40		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	60	80	60	
初山別村	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(5) 7	(8) 7	(8) 7	(4) 6	初山別村	5 cm以上 20 cm未満	(5) 8	(14) 11	(16) 9	(11) 11	(10) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(5) 20	(6) 10	(4) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(-) -	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	70	50	
遠別町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(5) 7	(8) 7	(8) 7	(4) 6	遠別町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 10	(12) 11	(15) 10	(11) 11	(9) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(5) 20	(6) 10	(4) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(2) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	70	100	80	
天塩町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(8) 7	(8) 7	(7) 6	(4) 6	天塩町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 12	(12) 10	(16) 10	(14) 11	(10) 7	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(6) 10	(6) 10	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	70	50	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
宗谷総合振興局 (cm)							宗谷総合振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
稚内市	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(5) 7	(5) 7	(2) 7	稚内市	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(11) 10	(13) 9	(12) 8	(8) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(3) 10	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	70	50	
猿払村	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(5) 7	(7) 6	(8) 7	(3) 6	猿払村	5 cm以上 20 cm未満	(4) 8	(14) 9	(13) 9	(13) 10	(11) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(5) 20	(5) 10	(4) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 30	(3) 20	(1) 30	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	20	40	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	50	50	40	
浜頓別町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(7) 7	(7) 6	(6) 7	(4) 7	浜頓別町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 10	(12) 10	(13) 9	(12) 9	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(9) 20	(6) 20	(3) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(2) 20	(1) 20	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	80	110	90		着工時除雪(平均積雪深)	10	40	80	100	90	
中頓別町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(7) 7	(7) 6	(6) 7	(4) 7	中頓別町	5 cm以上 20 cm未満	(4) 11	(14) 11	(13) 9	(13) 9	(10) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(3) 20	(9) 20	(6) 20	(3) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(3) 20	(2) 20	(2) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 60	(1) 50	(1) 60	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	50	80	110	90		着工時除雪(平均積雪深)	-	50	100	120	120	
枝幸町	5 cm以上 10 cm未満	(3) 7	(6) 7	(8) 7	(6) 7	(3) 7	枝幸町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 9	(9) 10	(9) 9	(9) 9	(6) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(5) 20	(4) 20	(3) 10	(2) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	10	30	60	80	70	
豊富町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(8) 7	(6) 7	(3) 7	豊富町	5 cm以上 20 cm未満	(5) 9	(11) 10	(13) 9	(12) 8	(9) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(4) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(1) 20	(2) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(1) 50	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	60	80	60	
礼文町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(5) 7	(5) 7	(2) 7	礼文町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(11) 10	(13) 9	(12) 8	(8) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(3) 10	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	70	50	
利尻町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(5) 7	(5) 7	(2) 7	利尻町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(11) 10	(13) 9	(12) 8	(8) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(3) 10	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	70	50	
幌延町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(8) 7	(6) 7	(3) 7	幌延町	5 cm以上 20 cm未満	(6) 10	(12) 9	(16) 10	(11) 9	(9) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(4) 10	(4) 10	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 30	(1) 20	(1) 30	(2) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(1) 40	(1) 40	(2) 40	(1) 40	(1) 50	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	30		着工時除雪(平均積雪深)	10	60	110	120	120	
利尻富士町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(6) 7	(5) 7	(5) 7	(2) 7	利尻富士町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 7	(11) 10	(13) 9	(12) 8	(8) 8	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(3) 10	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	70	50	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行						備 考
オホーツク総合振興局 (cm)							オホーツク総合振興局 (cm)						表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	
北見市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(4) 6	(3) 6	(2) 7	北見市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(7) 11	(6) 10	(4) 10	(4) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(2) 20	(3) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 50	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
網走市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(4) 6	(3) 7	(2) 6	網走市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(7) 9	(9) 8	(6) 9	(3) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 10	(2) 20	(1) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(-) -	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 50	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
紋別市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 5	(4) 7	(4) 7	(4) 7	(2) 7	紋別市	5 cm以上 20 cm未満	(3) 8	(8) 10	(7) 10	(6) 8	(4) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(1) 10	(3) 20	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 50	(1) 40	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	70
美幌町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(2) 7	(3) 7	(2) 7	(1) 6	美幌町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(6) 11	(7) 10	(5) 9	(5) 8
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 10	(1) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 50	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	60
津別町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 8	(2) 6	(2) 6	津別町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(7) 9	(7) 9	(6) 8	(5) 8
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(3) 20	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 50	(1) 50	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	50
斜里町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(4) 6	(3) 6	斜里町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 6	(8) 8	(10) 10	(8) 8	(6) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(2) 30	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 40	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	90	80
清里町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(4) 6	(3) 6	清里町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(6) 10	(9) 10	(7) 8	(7) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	60
小清水町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 6	(5) 6	(4) 6	(3) 6	小清水町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(7) 10	(9) 10	(6) 8	(5) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	70
訓子府町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(4) 6	(3) 6	(2) 7	訓子府町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(7) 10	(7) 10	(5) 9	(5) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(2) 20	(3) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(2) 50	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
置戸町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(4) 6	(3) 6	(2) 7	置戸町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(6) 10	(6) 10	(4) 9	(5) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(2) 20	(3) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(2) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
遠軽町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(3) 7	(3) 7	(2) 8	(3) 7	遠軽町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 6	(6) 10	(6) 11	(6) 8	(4) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(3) 20	(2) 20	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(3) 40	(1) 40	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	50
湧別町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 8	(5) 7	(5) 7	(4) 7	(2) 7	湧別町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(7) 10	(6) 11	(7) 9	(5) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 10	(2) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(2) 50	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	60	70	60
滝上町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(4) 7	(4) 6	(2) 7	(2) 7	滝上町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 9	(10) 9	(9) 9	(7) 8	(5) 8
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 10	(2) 10	(2) 20	(3) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(3) 20	(2) 30	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	(1) 30		31 cm以上	(-) -	(2) 40	(1) 60	(1) 60	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	40	80	90	80

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
(cm)							(cm)							
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
佐呂間町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(4) 7	(4) 7	(3) 6	(3) 7	佐呂間町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 8	(8) 10	(6) 10	(7) 9	(6) 8	表内、数値の改正
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 10	(3) 20	(3) 20	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 50	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	60	
興部町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(4) 7	(5) 6	(3) 8	(2) 7	興部町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 10	(10) 11	(9) 10	(8) 9	(6) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(2) 20	(2) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 30	(2) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 50	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	70	
西興部村	5 cm以上 10 cm未満	(3) 6	(5) 7	(6) 7	(4) 7	(3) 7	西興部村	5 cm以上 20 cm未満	(4) 9	(9) 11	(7) 11	(6) 7	(4) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(2) 20	(2) 10	(3) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 50	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 50	(-) -	(1) 50	
	着工時除雪(平均積雪深)	10	20	40	70	60		着工時除雪(平均積雪深)	-	30	70	80	70	
大空町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(2) 7	(3) 7	(2) 7	(1) 6	大空町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(7) 9	(9) 8	(6) 9	(3) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 10	(1) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(-) -	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 50	(1) 40	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	50	60	50	
雄武町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(4) 7	(5) 6	(3) 8	(2) 7	雄武町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 11	(5) 12	(8) 8	(4) 10	(4) 12	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 10	(2) 20	(2) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 30	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行						備 考
十勝総合振興局 (cm)							十勝総合振興局 (cm)						表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	
帯広市	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(1) 8	(2) 6	(1) 8	(1) 7	帯広市	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(4) 9	(3) 11	(3) 10	(2) 14
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 70	(1) 40	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	30
音更町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(1) 8	(2) 6	(1) 8	(1) 7	音更町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 8	(5) 10	(4) 11	(4) 11	(3) 13
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 30	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(1) 40	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	40
士幌町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(3) 7	(1) 7	(2) 6	士幌町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 7	(4) 9	(4) 11	(5) 8	(5) 7
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(-) -	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(2) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	50	40
上士幌町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 6	(3) 7	(1) 7	(2) 6	上士幌町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 9	(4) 11	(5) 12	(5) 9	(6) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(-) -	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(2) 40	(1) 40	(1) 50
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
鹿追町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(2) 6	(2) 7	(3) 7	(1) 7	鹿追町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 12	(4) 10	(5) 10	(5) 11	(6) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 20	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(1) 40	(1) 50
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50
新得町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 7	(2) 6	(2) 7	(3) 7	(1) 7	新得町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 16	(4) 9	(6) 7	(6) 11	(9) 8
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(3) 10	(3) 10	(1) 10	(-) -		20 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(2) 20	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(1) 50	(1) 60
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	30	50	40
清水町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(1) 6	(4) 6	(2) 6	(2) 7	清水町	5 cm以上 20 cm未満	(3) 11	(7) 9	(8) 9	(9) 10	(8) 9
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(2) 30	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50
芽室町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(1) 6	(4) 6	(2) 6	(2) 7	芽室町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 10	(5) 10	(4) 10	(5) 12	(4) 11
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 30	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 50	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	40
中札内村	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 6	(3) 7	(1) 8	(1) 7	中札内村	5 cm以上 20 cm未満	(1) 12	(9) 8	(10) 9	(5) 11	(6) 12
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(2) 20	(2) 20	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 60	(-) -	(1) 90
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
更別村	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 7	(4) 6	(2) 7	(2) 7	更別村	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(7) 9	(8) 9	(6) 9	(4) 12
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(2) 20	(3) 20	(3) 20	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 50		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(1) 40	(1) 40	(1) 60
	着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	60	50
大樹町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(1) 6	(2) 6	(1) 6	(1) 7	大樹町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(7) 9	(10) 8	(10) 6	(5) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(3) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(2) 20	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 70	(1) 40	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	60	50		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	50	70	60
広尾町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 6	(2) 7	(2) 7	(1) 7	広尾町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(3) 13	(4) 14	(4) 10	(4) 7
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 20	(2) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(2) 30	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(2) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	-	20	40	60	50
幕別町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 8	(1) 8	(2) 6	(1) 8	(1) 7	幕別町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(4) 9	(3) 11	(3) 10	(2) 14
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 30	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 70	(-) -	(1) 40	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	-	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	-	10	40	50	30

新 旧 対 照 表

改 正							現 行						備 考	
(cm)							(cm)							
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
池田町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(2) 7</u>	<u>(2) 6</u>	<u>(1) 7</u>	池田町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(1) 3</u>	<u>(4) 6</u>	<u>(4) 9</u>	<u>(4) 8</u>	<u>(4) 7</u>	表内、数値の改正
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(-) -</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(-) -</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 50</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>10</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>30</u>	<u>30</u>	<u>20</u>	
豊頃町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(2) 7</u>	<u>(2) 6</u>	<u>(1) 7</u>	豊頃町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(5) 8</u>	<u>(7) 8</u>	<u>(7) 8</u>	<u>(5) 10</u>	
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(-) -</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(2) 20</u>	<u>(-) -</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 60</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>10</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>20</u>	<u>40</u>	<u>50</u>	<u>40</u>	
本別町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(1) 6</u>	<u>(1) 6</u>	<u>(1) 7</u>	<u>(1) 6</u>	本別町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(1) 5</u>	<u>(4) 6</u>	<u>(3) 9</u>	<u>(4) 6</u>	<u>(4) 5</u>	
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 20</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 20</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 50</u>	<u>(1) 40</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>20</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>30</u>	<u>40</u>	<u>20</u>	
足寄町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(1) 6</u>	<u>(1) 6</u>	<u>(1) 7</u>	<u>(1) 6</u>	足寄町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(1) 6</u>	<u>(5) 9</u>	<u>(5) 10</u>	<u>(4) 9</u>	<u>(5) 8</u>	
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 20</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 20</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 40</u>	<u>(1) 40</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>20</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>20</u>	<u>40</u>	<u>50</u>	<u>40</u>	
浦幌町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(2) 7</u>	<u>(2) 6</u>	<u>(1) 7</u>	浦幌町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(-) -</u>	<u>(3) 6</u>	<u>(4) 8</u>	<u>(4) 9</u>	<u>(4) 9</u>	
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(-) -</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(-) -</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 50</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>10</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>20</u>	
陸別町	5 cm以上 <u>10</u> cm未満	<u>(2) 6</u>	<u>(2) 6</u>	<u>(2) 7</u>	<u>(2) 6</u>	<u>(1) 6</u>	陸別町	5 cm以上 <u>20</u> cm未満	<u>(2) 6</u>	<u>(6) 8</u>	<u>(6) 11</u>	<u>(2) 9</u>	<u>(4) 9</u>	
	<u>10</u> cm以上 30 cm以下	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(2) 10</u>	<u>(1) 10</u>	<u>(1) 10</u>		<u>20</u> cm以上 30 cm以下	<u>(-) -</u>	<u>(3) 30</u>	<u>(1) 20</u>	<u>(1) 30</u>	<u>(1) 20</u>	
	31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>		31 cm以上	<u>(-) -</u>	<u>(1) 40</u>	<u>(1) 40</u>	<u>(-) -</u>	<u>(-) -</u>	
	着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>10</u>	<u>30</u>	<u>40</u>	<u>30</u>		着工時除雪(平均積雪深)	<u>-</u>	<u>20</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>50</u>	

新 旧 対 照 表

改 正							現 行						備 考
釧路総合振興局 (cm)							釧路総合振興局 (cm)						表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	
釧路市	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(-) -	(1) 7	(2) 7	(-) -	釧路市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(4) 7	(1) 13	(2) 12	(4) 7
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(-) -	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(-) -	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	10	20	10		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	10	10	10
釧路町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(-) -	(1) 7	(2) 7	(-) -	釧路町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(4) 10	(3) 9	(4) 10	(5) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -	(1) 10		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	10	20	10		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	30	30
厚岸町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 7	(2) 7	(2) 6	(2) 6	厚岸町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(4) 14	(5) 6	(4) 9	(4) 14
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 20	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(1) 60	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	30		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	40
浜中町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 5	(1) 7	(3) 7	(2) 6	(2) 7	浜中町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(5) 11	(6) 8	(4) 9	(5) 12
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 10	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	40	20		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	40
標茶町	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(2) 6	(2) 7	(2) 7	(1) 5	標茶町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(4) 8	(4) 8	(4) 9	(6) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 30
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(1) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	20	10		着工時除雪(平均積雪深)	=	20	30	40	40
白糠町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(1) 7	(2) 6	(2) 6	(1) 6	白糠町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(2) 11	(5) 10	(4) 10	(8) 7
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 20	(1) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 50	(-) -	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	30	30
鶴居村	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 6	(2) 7	(2) 7	(1) 7	鶴居村	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(5) 12	(3) 7	(5) 8	(6) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 20	(1) 20	(-) -
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	30	20		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	30	30
弟子屈町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(2) 7	(4) 7	(3) 7	(2) 6	弟子屈町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 7	(5) 13	(7) 11	(5) 8	(7) 8
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(3) 10	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 20	(1) 30	(1) 20
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(2) 40	(1) 40	(-) -
	着工時除雪(平均積雪深)	=	20	30	50	50		着工時除雪(平均積雪深)	=	20	60	70	70

新 旧 対 照 表

改 正							現 行							備 考
根室振興局 (cm)							根室振興局 (cm)							表内、数値の改正
市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深	12月 (回数)降雪深	1月 (回数)降雪深	2月 (回数)降雪深	3月 (回数)降雪深	
根室市	5 cm以上 10 cm未満	(-) -	(1) 7	(2) 7	(1) 7	(2) 7	根室市	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(5) 10	(5) 9	(4) 9	(6) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 10	(2) 10	(1) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(-) -	(1) 20	(-) -	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	10	20	10		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	20	30	20	
別海町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 7	(1) 7	(3) 6	(3) 8	(1) 5	別海町	5 cm以上 20 cm未満	(-) -	(6) 9	(9) 8	(4) 8	(6) 11	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(1) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 30	(1) 30	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	=	20	30	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	40	
中標津町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 8	(3) 6	(1) 7	(1) 8	中標津町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(5) 9	(9) 9	(7) 8	(7) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(-) -	(1) 20	(1) 20	(1) 20	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(-) -	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	40		着工時除雪(平均積雪深)	=	20	40	50	40	
標津町	5 cm以上 10 cm未満	(1) 6	(2) 8	(3) 6	(1) 7	(1) 8	標津町	5 cm以上 20 cm未満	(1) 5	(7) 9	(9) 9	(7) 8	(7) 10	
	10 cm以上 30 cm以下	(-) -	(2) 20	(2) 20	(2) 10	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(1) 30	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 40	(1) 40	(-) -	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	=	10	30	40	40		着工時除雪(平均積雪深)	=	20	50	60	60	
羅臼町	5 cm以上 10 cm未満	(2) 6	(7) 7	(8) 7	(4) 7	(3) 7	羅臼町	5 cm以上 20 cm未満	(2) 9	(13) 9	(9) 10	(8) 9	(8) 9	
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20	(4) 10	(4) 10	(3) 20	(2) 20		20 cm以上 30 cm以下	(-) -	(1) 20	(2) 20	(1) 30	(1) 30	
	31 cm以上	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -		31 cm以上	(-) -	(1) 60	(1) 60	(1) 40	(-) -	
	着工時除雪(平均積雪深)	=	20	40	50	40		着工時除雪(平均積雪深)	=	20	50	60	60	

凡例

市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深
美深町	5 cm以上 10 cm未満	(8) 10
	10 cm以上 30 cm以下	(1) 20
	31 cm以上	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	(10)

11月の降雪回数を表す。8回
平均降雪深を表す。10 cm
11月に平均降雪深10 cmの雪が8回降ることを表す。
平均積雪深を表す。10 cm

凡例

市町村名	除雪区分	11月 (回数)降雪深
美深町	5 cm以上 20 cm未満	(8) 10
	20 cm以上 30 cm以下	(1) 20
	31 cm以上	(1) 40
	着工時除雪(平均積雪深)	(10)

11月の降雪回数を表す。8回
平均降雪深を表す。10 cm
11月に平均降雪深10 cmの雪が8回降ることを表す。
平均積雪深を表す。10 cm

X 土木工事市場単価

・土木工事標準単価

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">X 土木工事市場単価・土木工事標準単価</p> <p>X～1100 構造物とりこわし工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-1 標準単価が適用できる範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-2 標準単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 建築物、舗装版のとりこわし作業及びブロック施工による旧橋撤去。</p> <p>(2) 「橋梁地覆補修工」に伴う「とりこわし工」。</p> <p>(3) 「構造物とりこわし工」に伴う <u>コンクリートはつり</u> 「コンクリートはつり（平均はつり厚6 cm以下）」。</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">X 土木工事市場単価・土木工事標準単価</p> <p>X～1100 構造物とりこわし工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-1 標準単価が適用できる範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-2 標準単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 建築物、舗装版のとりこわし作業及びブロック施工による旧橋撤去。</p> <p>(2) 「橋梁地覆補修工」に伴う「とりこわし工」。</p> <p>(3) 「構造物とりこわし工」に伴う <u>「石積取壊し（人力）」及び「コンクリートはつり</u> （平均はつり厚6 cm以下）」。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～2020 吹付枠工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。 【省略】</p> <p>(4) 異形棒鋼の材質はSD295₋、SD345を問わない。 【省略】</p>	<p>X～2020 吹付枠工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。 【省略】</p> <p>(4) 異形棒鋼の材質はSD295_A、SD345を問わない。 【省略】</p>	<p>字句の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3000 防護柵設置工（ガードレール）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間（機・労）の算出は、次式による。 設置手間＝{設置単価（標準の市場単価）×加算率×補正係数}－材料費※(1) ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費（標準材料費※(2)＋曲げ加工費）とする。 また、21m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額（土中建込の場合は標準材料費※(2)を40%割増、コンクリート建込の場合には標準材料費※(2)30%割増）を控除すること。 ※(2) 21m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費（m単価）を指す。</p> <p>(2) 景観色の設置費（機・労・材）の算出は、次式による。 （景観色とは、景観に配慮した塗装（景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等）を施した製品） 設置費＝{設置単価（標準市場単価）×加算率×補正係数}－材料費※(1)＋材料費（景観色）※(3) ※(3) 21m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費（景観色）に施工規模を考慮した材料費相当額（土中建込の場合は標準材料費※(2)を40%割増、コンクリート建込の場合には標準材料費※(2)を30%割増）加算すること。</p> <p>【省略】</p>	<p>X～3000 防護柵設置工（ガードレール）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 材料を含まない設置手間（機・労）の算出は、次式による。 設置手間＝{設置単価（標準の市場単価）×加算率×補正係数}－材料費※(1) ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費（標準材料費※(2)＋曲げ加工費）とする。 また、21m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額（土中建込の場合は標準材料費※(2)を40%割増、コンクリート建込の場合には標準材料費※(2)30%割増）を控除すること。 ※(2) 21m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費（m単価）を指す。</p> <p>(2) 景観色の設置手間（機・労・材）の算出は、次式による。 （景観色とは、景観に配慮した塗装（景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等）を施した製品） 設置手間＝{設置単価（標準市場単価）×加算率×補正係数}－材料費※(1)＋材料費（景観色）※(3) ※(3) 21m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費（景観色）に施工規模を考慮した材料費相当額（土中建込の場合は標準材料費※(2)を40%割増、コンクリート建込の場合には標準材料費※(2)を30%割増）加算すること。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～4020 区画線工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー 【省略】</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝（設計単価（注1）×設計数量）＋材料費（注2） （注1） 設計単価＝土木工事標準単価（機械・労務）×（K₁×K₂） （注2） 材料費＝主材料単価×使用数量×（1＋材料諸雑費率） ※主材料は塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料である。 ※材料諸雑費は、プロパンガス、希釈剤等の費用であり、材料諸雑費率は以下のとおりとする。 溶融式：0.05 ペイント式：0.03 <u>※矢印・文字・記号の設計数量は「所要材料換算長」とし、次式により算出する。</u> <u>所要材料換算長（m）＝設計数量（塗布面積（㎡））÷0.15×1.20（重複施工ロス分）</u> <u>ただし、構成する線幅が10cm未満の場合は適用できない。</u></p> <p>3 適用に当たっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 （1） 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取り扱いは、下表の通りとする。 【省略】</p> <hr/> <p><u>(6) 区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線（平行四辺形）は矢印・記号・文字を適用する。</u></p> <p><u>(7) 水性型ペイント式については、気温5℃以上、湿度85%未満での施工を標準とする。</u> また、新設舗装上に施工する場合は、養生期間を経て、路面上の水分、軽質油成分が消滅した後の施工を標準とする。</p> <p><u>(8) 北海道特殊規格の補正係数の数値</u> 【省略】</p>	<p>X～4020 区画線工 [標準単価]</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー 【省略】</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝（設計単価（注1）×設計数量）＋材料費（注2） （注1） 設計単価＝土木工事標準単価（機械・労務）×（K₁×K₂） （注2） 材料費＝主材料単価×使用数量×（1＋材料諸雑費率） ※主材料は塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料である。 ※材料諸雑費は、プロパンガス、希釈剤等の費用であり、材料諸雑費率は以下のとおりとする。 溶融式：0.05 ペイント式：0.03</p> <hr/> <hr/> <hr/> <p>3 適用に当たっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 （1） 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取り扱いは、下表の通りとする。 【省略】</p> <p><u>(6) 溶融式（手動）の矢印・文字・記号における「所要材料換算長」とは、重複施工する部分を平均20%と見込み、これを施工実施長に加えた値で、換算長の算出は次式による。</u> <u>所要材料換算長（m）＝設計数量（塗布面積（㎡））÷0.15×1.20（重複施工ロス分）</u> <u>ただし、構成する線幅が10cm未満の場合は適用できない。</u></p> <p><u>(7) 区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線（平行四辺形）は矢印・記号・文字を適用する。</u></p> <p><u>(8) 水性型ペイント式については、気温5℃以上、湿度85%未満での施工を標準とする。</u> また、新設舗装上に施工する場合は、養生期間を経て、路面上の水分、軽質油成分が消滅した後の施工を標準とする。</p> <p><u>(9) 北海道特殊規格の補正係数の数値</u> 【省略】</p>	<p>字句の追加 ” ”</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>

改 正	現 行	備 考																																												
<p>X～5000 橋梁塗装工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲</p> <p>1-1 標準単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 鋼橋の現場での新橋塗装・塗替塗装。</p> <p>(2) 高欄部の単独施工の塗替塗装。</p> <p>(3) 鋼橋架設工における新橋継手部現場塗装の素地調整、塗装。</p> <p>(4) 既設橋梁の床版補強工における新規補強鋼板現場塗装工の中塗り・上塗り塗装。</p> <p><u>(5) 塗膜剥離剤を使用した旧塗膜除去後のブラスト処理による素地調整（1種ケレン）。</u></p> <p>1-2 標準単価が適用できない範囲</p> <p>(1) _____部分塗替え塗装の場合。</p> <p>(2) <u>塗膜剥離剤による素地調整の場合。</u></p> <p><u>(3) 道路付属物（標識・防護柵等）への塗装の場合。</u></p> <p><u>(4) 静電気力を利用したスプレー塗装の場合。</u></p> <p><u>(5) 工場内における塗装前作業および塗装作業の場合。</u></p> <p><u>(6) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>2 標準単価の設定</p> <p>2-1 標準単価の構成と範囲</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>(注1) 動力工具処理による継手部素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に要する費用を含む。</p> <p>(注2) ブラスト処理による継手部素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。回収・積込に要する費用を別途計上する。</p> <p>(注3) ブラスト処理による継手部素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工（<u>板張り防護・養生シート等</u>）及び安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>(注4) 継手部素地調整は、継手部塗装面積を計上する。</p> <p>【省略】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>(注1) 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への上塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>(注2) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p>	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り	○	○	○	<p>X～5000 橋梁塗装工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲</p> <p>1-1 標準単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 鋼橋の現場での新橋塗装・塗替塗装。</p> <p>(2) 高欄部の単独施工の塗替塗装。</p> <p>(3) 鋼橋架設工における新橋継手部現場塗装の素地調整、塗装。</p> <p>(4) 既設橋梁の床版補強工における新規補強鋼板現場塗装工の中塗り・上塗り塗装。</p> <hr/> <p>1-2 標準単価が適用できない範囲</p> <p>(1) <u>既存の道路橋の鋼部材を対象とした部分塗替え塗装の場合。</u></p> <p>(2) <u>塗装部位が点在する部分塗替え塗装の場合（タッチアップ除く）。</u></p> <p><u>(3) 化学反応を利用した素地調整の場合。</u></p> <p><u>(4) 道路付属物（標識・防護柵等）への塗装の場合。</u></p> <p><u>(5) 静電気力を利用したスプレー塗装の場合。</u></p> <p><u>(6) 工場内における塗装前作業および塗装作業の場合。</u></p> <p><u>(7) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>2 標準単価の設定</p> <p>2-1 標準単価の構成と範囲</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>(注1) 動力工具処理による継手部素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に要する費用を含む。</p> <p>(注2) ブラスト処理による継手部素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。回収・積込に要する費用を必要に応じて計上する。</p> <p>(注3) ブラスト処理による継手部素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工 _____及び安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>(注4) 継手部素地調整は、継手部塗装面積を計上する。</p> <p>【省略】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>(注1) 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への上塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>(注2) はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p>	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り	○	○	○	<p>字句の追加</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>フロー図の改正</p>
工 種		標準単価																																												
	機	労	材																																											
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整	○	○	○																																											
工 種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り	○	○	○																																											
工 種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整	○	○	○																																											
工 種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
新橋継手部現場塗装 中塗り・上塗り	○	○	○																																											

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">塗替塗装</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場・防護設置</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">養生</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">清掃・水洗い</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">素地調整</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">塗装作業</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場・防護撤去</div> </div> <p>(注1) 清掃または水洗い作業は、ウエスによる粉塵、ばい煙等の除去、または水洗い作業による塩分等の除去を対象とする。</p> <p>(注2) 素地調整は、塗装面積を計上する。</p> <p>(注3) 動力工具及び手工具による素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に要する費用を含む。</p> <p>(注4) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。 <u>回収・積込に要する費用を別途計上する。</u></p> <p>(注5) ブラスト処理による素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工(板張り防護・養生シート等)、安全対策(セキユリティールーム・呼吸用保護具等)及び特別管理(鉛、PCB等有害物質への対応)に要する費用は含まない。</p> <p>(注6) 密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>(注7) はけ・ローラーまたはスプレーによる塗装作業とし、スプレー塗装に必要な養生費は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>(4) 素地調整(ケレン)工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> <th>作業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1種</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td style="color: red;">ブラスト方法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td style="text-align: center;">30以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td style="text-align: center;">15~30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。</td> <td style="color: red;">ディスクサンダー、ワイヤホイルなどの</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td style="text-align: center;">5~15</td> <td>同上</td> <td style="color: red;">動力工具と手工具の併用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td style="text-align: center;">5以下</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	塗替塗装	○	○	○	素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	作業方法	1種	-	-	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	ブラスト方法	2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。		3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイルなどの	3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上	動力工具と手工具の併用	3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">塗替塗装</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場・防護設置</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">養生</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">清掃・水洗い</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">素地調整</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">塗装作業</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場・防護撤去</div> </div> <p>(注1) 清掃または水洗い作業は、ウエスによる粉塵、ばい煙等の除去、または水洗い作業による塩分等の除去を対象とする。</p> <p>(注2) 素地調整は、塗装面積を計上する。</p> <p>(注3) 動力工具及び手工具による素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に要する費用を含む。</p> <p>(注4) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。</p> <p>(注5) <u>ブラスト処理による素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策</u>に要する費用は含まない。</p> <p>(注6) 密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>(注7) はけ・ローラーまたはスプレーによる塗装作業とし、スプレー塗装に必要な養生費は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>【省略】</p> <p>(4) 素地調整(ケレン)工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1種</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td style="text-align: center;">30以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td style="text-align: center;">15~30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。</td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td style="text-align: center;">5~15</td> <td>同上</td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td style="text-align: center;">5以下</td> <td>同上</td> <td style="border-bottom: 1px solid red;"></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	塗替塗装	○	○	○	素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容		1種	-	-	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。		2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。		3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。		3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上		3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上		<p>字句の追加 字句の改正、追加</p> <p>表内、字句の追加</p>
工 種		標準単価																																																																																		
	機	労	材																																																																																	
塗替塗装	○	○	○																																																																																	
素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	作業方法																																																																																
1種	-	-	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	ブラスト方法																																																																																
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																	
3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイルなどの																																																																																
3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上	動力工具と手工具の併用																																																																																
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上																																																																																	
工 種	標準単価																																																																																			
	機	労	材																																																																																	
塗替塗装	○	○	○																																																																																	
素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容																																																																																	
1種	-	-	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																	
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																	
3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。																																																																																	
3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上																																																																																	
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上																																																																																	

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合					2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合					表内、字句の追加
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容	作業方法	素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容		
3種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイルなどの動力工具と手工具の併用	3種 A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。		
3種 B	同上	15～30	同上		3種 B	同上	15～30	同上		
3種 C	同上	5～15	同上		3種 C	同上	5～15	同上		
4種	同上	5以下	同上		4種	同上	5以下	同上		
	白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。			白亜化・変退色の著しい場合。		粉化物・汚れ等を除去する。		
【省略】					【省略】					
(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工（ <u>板張り防護・養生シート等</u> ）、安全対策（ <u>セキュリティールーム・呼吸用保護具等</u> ）及び特別管理（ <u>鉛、PCB 等有害物質への対応</u> ）が必要な場合は、別途計上する。					(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工 <u>及び安全対策</u> _____ が必要な場合は、別途計上する。					字句の改正、追加
(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜損傷箇所の補修作業である。					(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜損傷箇所の補修作業である。					
(10) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。回収・積込に要する費用を <u>別途</u> 計上する。					(10) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に要する費用を含まない。回収・積込に要する費用を <u>必要に応じて</u> 計上する。					字句の改正
【省略】					【省略】					

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

工事積算基準等の運用

I 参考歩掛

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 589 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

改 正	現 行	備 考																																							
<p style="text-align: center;">I 参考歩掛</p> <p><u>E～3120 営農用水管路機械掘削（道路部）</u></p> <p><u>1 適用範囲</u> 本資料は、道路部分において、営農飲雑用水施設工事の管路をバックホウにより、掘削する作業に適用する。</p> <p><u>2 機種の設定</u> 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 施工機械</p> <table border="1" data-bbox="172 688 1326 873"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ（クローラ型）</td> <td>後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>3 施工歩掛</u></p> <p><u>(1) 掘削</u> 営農用水管路機械掘削は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 営農用水管路機械掘削歩掛 (100 m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="172 1066 1326 1402"> <thead> <tr> <th>掘削種別</th> <th>条件区分</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>作業条件</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">A</td> <td rowspan="2">素掘掘削 掘削勾配 90°</td> <td rowspan="4">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="4">後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td rowspan="4">日</td> <td>標準</td> <td>2.80</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td>3.64</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>2.80</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td>3.64</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td rowspan="2">素掘掘削 掘削勾配 1:0.3 以上</td> <td rowspan="4">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="4">後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td rowspan="4">日</td> <td>標準</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>障害あり</td> <td>1.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。岩塊・玉石・埋木等で掘削作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) たて込み簡易土留の掘削は、「R～2110 たて込み簡易土留工」による。</p> <p>(注3) バックホウは、賃料とする。</p> <p>(参考図)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="240 1633 507 1808"> <p style="text-align: center;">掘削種別 A 素掘掘削 (土留なし) 掘削勾配 90° 掘削深 1.50m 以下</p> </div> <div data-bbox="575 1633 842 1808"> <p style="text-align: center;">掘削種別 A 土留掘削 (矢板) 掘削深 1.51m 以上</p> </div> <div data-bbox="908 1633 1249 1808"> <p style="text-align: center;">掘削種別 B 素掘掘削 掘削勾配 1:0.3 以上</p> </div> </div>	機 械 名	規 格	摘 要	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)		後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)		掘削種別	条件区分	機 械 名	規 格	単 位	作業条件	数 量	備 考	A	素掘掘削 掘削勾配 90°	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	日	標準	2.80		障害あり	3.64	標準	2.80	障害あり	3.64	B	素掘掘削 掘削勾配 1:0.3 以上	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日	標準	0.91	障害あり	1.18	<p style="text-align: center;">I 参考歩掛</p> <p style="text-align: center;">〔追加〕</p>	<p>歩掛の新設</p>
機 械 名	規 格	摘 要																																							
バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)																																								
	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)																																								
掘削種別	条件区分	機 械 名	規 格	単 位	作業条件	数 量	備 考																																		
A	素掘掘削 掘削勾配 90°	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	日	標準	2.80																																			
					障害あり	3.64																																			
	標準				2.80																																				
	障害あり				3.64																																				
B	素掘掘削 掘削勾配 1:0.3 以上	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山 積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日	標準	0.91																																			
					障害あり	1.18																																			

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																		
<p><u>(2) 土留方式による掘削補助労務</u></p> <p><u>土留・仮締切方式により掘削作業を行う場合、土留材等に付着する土（土べら）落とし、腹起し・切梁等により機械掘削ができない箇所の人力掘削及び小規模な湧水処理等の作業のため、掘削補助として次表の普通作業員を計上する。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 3-2 掘削補助労務 (100 m³当り)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><u>土留方式</u></th> <th><u>名 称</u></th> <th><u>単 位</u></th> <th><u>数 量</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>切梁腹起方式</u></td> <td><u>普通作業員</u></td> <td><u>人</u></td> <td><u>0.9</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(3) 床均し</u></p> <p style="text-align: right;"><u>(100 m²当り)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><u>名 称</u></th> <th><u>単 位</u></th> <th><u>数 量</u></th> <th><u>摘 要</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>普通作業員</u></td> <td><u>人</u></td> <td><u>2.8</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 単価表</p> <p><u>(1) 機械運転単価表</u></p> <p style="text-align: right;"><u>(日当り)</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><u>機械名</u></th> <th><u>規 格</u></th> <th><u>区 分</u></th> <th><u>単 位</u></th> <th><u>数 量</u></th> <th><u>摘 要</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"><u>バックホウ</u></td> <td rowspan="3"><u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</u></td> <td><u>運転手（特殊）</u></td> <td><u>人</u></td> <td><u>1.0</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>軽 油</u></td> <td><u>L</u></td> <td><u>40</u></td> <td><u>6.3L/h×T</u></td> </tr> <tr> <td><u>賃 料</u></td> <td><u>供用日</u></td> <td><u>1.64</u></td> <td><u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>バックホウ</u></td> <td rowspan="3"><u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.45 m³（平積 0.35 m³）</u></td> <td><u>運転手（特殊）</u></td> <td><u>人</u></td> <td><u>1.00</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>軽 油</u></td> <td><u>L</u></td> <td><u>58</u></td> <td><u>9.2L/h×T</u></td> </tr> <tr> <td><u>賃 料</u></td> <td><u>供用日</u></td> <td><u>1.64</u></td> <td><u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u></td> </tr> </tbody> </table>	<u>土留方式</u>	<u>名 称</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>	<u>切梁腹起方式</u>	<u>普通作業員</u>	<u>人</u>	<u>0.9</u>	<u>名 称</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>	<u>摘 要</u>	<u>普通作業員</u>	<u>人</u>	<u>2.8</u>		<u>機械名</u>	<u>規 格</u>	<u>区 分</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>	<u>摘 要</u>	<u>バックホウ</u>	<u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</u>	<u>運転手（特殊）</u>	<u>人</u>	<u>1.0</u>		<u>軽 油</u>	<u>L</u>	<u>40</u>	<u>6.3L/h×T</u>	<u>賃 料</u>	<u>供用日</u>	<u>1.64</u>	<u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u>	<u>バックホウ</u>	<u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.45 m³（平積 0.35 m³）</u>	<u>運転手（特殊）</u>	<u>人</u>	<u>1.00</u>		<u>軽 油</u>	<u>L</u>	<u>58</u>	<u>9.2L/h×T</u>	<u>賃 料</u>	<u>供用日</u>	<u>1.64</u>	<u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u>	<p><u>[追加]</u></p>	<p>歩掛の新設</p>
<u>土留方式</u>	<u>名 称</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>																																																	
<u>切梁腹起方式</u>	<u>普通作業員</u>	<u>人</u>	<u>0.9</u>																																																	
<u>名 称</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>	<u>摘 要</u>																																																	
<u>普通作業員</u>	<u>人</u>	<u>2.8</u>																																																		
<u>機械名</u>	<u>規 格</u>	<u>区 分</u>	<u>単 位</u>	<u>数 量</u>	<u>摘 要</u>																																															
<u>バックホウ</u>	<u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.28 m³（平積 0.2 m³）</u>	<u>運転手（特殊）</u>	<u>人</u>	<u>1.0</u>																																																
		<u>軽 油</u>	<u>L</u>	<u>40</u>	<u>6.3L/h×T</u>																																															
		<u>賃 料</u>	<u>供用日</u>	<u>1.64</u>	<u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u>																																															
<u>バックホウ</u>	<u>後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）山積 0.45 m³（平積 0.35 m³）</u>	<u>運転手（特殊）</u>	<u>人</u>	<u>1.00</u>																																																
		<u>軽 油</u>	<u>L</u>	<u>58</u>	<u>9.2L/h×T</u>																																															
		<u>賃 料</u>	<u>供用日</u>	<u>1.64</u>	<u>建設機械等損料表 (5)/(4)</u>																																															

改 正	現 行	備 考																																																																									
<p>E～3130 営農用水管路機械埋戻し（道路部）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、道路部分の営農飲雑用水施設工事において、掘削した土砂を埋戻す作業に適用する。</p> <p>2 機種の設定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 施工機械</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 施工歩掛</p> <p>(1) 埋戻し 営農用水管路機械埋戻しは、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 営農用水管路機械埋戻し歩掛 (100 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">作 業 条 件</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">バックホウ（クローラ型）</td> <td rowspan="2">後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td rowspan="2">日</td> <td style="text-align: center;">標準</td> <td style="text-align: center;">1.25</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">障害あり</td> <td style="text-align: center;">1.63</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 障害ありとは、過湿等により地盤状態が悪い又は、転石混じり・固い地盤等により連続した作業が期待できない場合である。岩塊・玉石・埋木等で埋戻し作業ができない場合又は、断面確保ができない場合は機種変更を考慮すること。</p> <p>(注2) バックホウは、賃料とする。</p> <p>(2) 労務歩掛 管周辺部の埋戻し（参考図 S₁、S₂、S₃）については、次表の値を加算すること。 ただし、畑地かんがい用水工事（S₁）においては、「E～1000 管水路基礎」による。</p> <p style="text-align: center;">表 3-3 まき出し及び締固め歩掛（道路部） (100 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">埋戻し種別</th> <th style="text-align: center;">条件区分</th> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">B</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">最大埋戻し幅 4m以上</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">敷均し等補助労務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">振動ローラ運転</td> <td style="text-align: center;">ハンドガイド式 0.8～1.1 t</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.92</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">タンパ締固め</td> <td style="text-align: center;">60～80 kg</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">C</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">最大埋戻し幅 1m以上 4m未満</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">4.3</td> <td style="text-align: center;">敷均し等補助労務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">振動ローラ運転</td> <td style="text-align: center;">ハンドガイド式 0.8～1.1 t</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">1.35</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">タンパ締固め</td> <td style="text-align: center;">60～80 kg</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">0.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">最大埋戻し幅 1m未満</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">7.0</td> <td style="text-align: center;">敷均し等補助労務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">タンパ締固め</td> <td style="text-align: center;">60～80 kg</td> <td style="text-align: center;">日</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表には、突き棒等による管側部等の突固め作業を含む。</p> <p>(注2) 締固め密度は、「農業土木工事施工管理基準 IV 品質管理 5.道路土工」に準じ管理する。</p> <p>(注3) 振動ローラ、タンパは賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	摘 要	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)		機 械 名	規 格	単 位	作 業 条 件	数 量	備 考	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	日	標準	1.25		障害あり	1.63	埋戻し種別	条件区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	B	最大埋戻し幅 4m以上	普通作業員		人	1.7	敷均し等補助労務	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	0.92		タンパ締固め	60～80 kg	日	0.12		C	最大埋戻し幅 1m以上 4m未満	普通作業員		人	4.3	敷均し等補助労務	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	1.35		タンパ締固め	60～80 kg	日	0.30		D	最大埋戻し幅 1m未満	普通作業員		人	7.0	敷均し等補助労務	タンパ締固め	60～80 kg	日	3.0		<p>[追加]</p>	<p>歩掛の新設</p>
機 械 名	規 格	摘 要																																																																									
バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)																																																																										
機 械 名	規 格	単 位	作 業 条 件	数 量	備 考																																																																						
バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	日	標準	1.25																																																																							
			障害あり	1.63																																																																							
埋戻し種別	条件区分	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
B	最大埋戻し幅 4m以上	普通作業員		人	1.7	敷均し等補助労務																																																																					
		振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	0.92																																																																						
		タンパ締固め	60～80 kg	日	0.12																																																																						
C	最大埋戻し幅 1m以上 4m未満	普通作業員		人	4.3	敷均し等補助労務																																																																					
		振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日	1.35																																																																						
		タンパ締固め	60～80 kg	日	0.30																																																																						
D	最大埋戻し幅 1m未満	普通作業員		人	7.0	敷均し等補助労務																																																																					
		タンパ締固め	60～80 kg	日	3.0																																																																						

改 正	現 行	備 考																																																																																																																						
<p>(参考図)</p> <p> <u>S₁ : 基床～管頂まで (m³)</u> <u>S₂ : 管頂～管上 30 cm まで (m³)</u> <u>S₃ : 管上 30 cm～現地盤まで (m³)</u> <u>A : 掘削深 (m)</u> <u>C : 基床幅 (m)</u> <u>D : 基礎材埋戻し厚 (m)</u> </p> <p>4 単価表</p> <p>(1) 最大埋戻幅 4m 以上 100 m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3-3</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.8～1.1 t</td> <td>日</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60～80 kg</td> <td>//</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 最大埋戻幅 1m 以上 4m 未満 100 m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3-3</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ運転</td> <td>ハンドガイド式 0.8～1.1 t</td> <td>日</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60～80 kg</td> <td>//</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 最大埋戻幅 1m 未満 100 m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3-3</td> </tr> <tr> <td>タンパ締固め</td> <td>60～80 kg</td> <td>日</td> <td></td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: right;">(日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ</td> <td rowspan="3">後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28 m³ (平積 0.2 m³)</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>40</td> <td>6.3L/h×T</td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>供用日</td> <td>1.64</td> <td>建設機械等損料表 (5)/(4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振動ローラ</td> <td rowspan="3">ハンドガイド式 0.8～1.1 t</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>5.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>供用日</td> <td>1.44</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タンパ</td> <td rowspan="3">60～80 kg</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>L</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃料</td> <td>供用日</td> <td>1.38</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 3-3	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日		//	タンパ締固め	60～80 kg	//		//	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 3-3	振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日		//	タンパ締固め	60～80 kg	//		//	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 3-3	タンパ締固め	60～80 kg	日		//	計					機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0		軽油	L	40	6.3L/h×T	賃料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	特殊作業員	人	1.0		軽油	L	5.2		賃料	供用日	1.44		タンパ	60～80 kg	特殊作業員	人	1.0		ガソリン	L	4.5		賃料	供用日	1.38		[追加]	歩掛の新設
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																				
普通作業員		人		表 3-3																																																																																																																				
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日		//																																																																																																																				
タンパ締固め	60～80 kg	//		//																																																																																																																				
計																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																				
普通作業員		人		表 3-3																																																																																																																				
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	日		//																																																																																																																				
タンパ締固め	60～80 kg	//		//																																																																																																																				
計																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																				
普通作業員		人		表 3-3																																																																																																																				
タンパ締固め	60～80 kg	日		//																																																																																																																				
計																																																																																																																								
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																			
バックホウ	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0																																																																																																																				
		軽油	L	40	6.3L/h×T																																																																																																																			
		賃料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)																																																																																																																			
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	特殊作業員	人	1.0																																																																																																																				
		軽油	L	5.2																																																																																																																				
		賃料	供用日	1.44																																																																																																																				
タンパ	60～80 kg	特殊作業員	人	1.0																																																																																																																				
		ガソリン	L	4.5																																																																																																																				
		賃料	供用日	1.38																																																																																																																				
【省略】	【省略】																																																																																																																							

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>土地改良事業等適用施工パッケージ型積算基準の見方・留意点について</p> <p>土地改良事業等工事積算基準の標準歩掛では、工種毎に「標準歩掛」を用いる場合と「施工パッケージ型積算基準」を用いる場合を混在して掲載してある。</p> <p>施工パッケージ型積算基準の見方・留意点については以下のとおり。</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工パッケージ型積算方式標準単価表</p> <p>(1) 標準単価表</p> <p>国土交通省国土技術政策総合研究所社会資本システム研究室HPで公表している施工パッケージ型積算方式標準単価表を採用している。</p> <p>なお、北海道農政部においては施工パッケージ型積算方式標準単価表を下記のとおり読み替える。</p> <p>① 適用日</p> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>標準単価表表紙</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>令和3年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>令和3年12月21日以降の積算基準日の工事から適用</td></tr> </table> <p>② 積算単価</p> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合以外の計算例</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合の計算例【支給品費】</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(55,980円/m²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が559.8円/m²の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,598円/m²の場合、小数第1位を切り上げ。</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。</td></tr> </table> <p>③ 国土交通省→北海道農政部</p> <p>【省略】</p> <p>5 施工パッケージ型積算に使用する単価表</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">積算基準日</th> <th colspan="12">令和4年</th> </tr> <tr> <th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th> </tr> <tr><td>単価等分類</td><td colspan="12">標準単価表(令和3.4適用)</td></tr> <tr><td>標準単価表</td><td colspan="12">標準単価表(令和3.4適用)</td></tr> <tr><td>東京機械単価</td><td colspan="12">令和2年度基準(機械経費)</td></tr> <tr><td>東京労務単価</td><td colspan="12">令和2年度労務単価</td></tr> <tr><td>東京材料単価</td><td colspan="12">建設物価・積算資料(令和2年4月号)</td></tr> <tr><td>農政部機械単価</td><td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)</td></tr> <tr><td>農政部労務単価</td><td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様(道単価)</td></tr> <tr><td>農政部材料単価</td><td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様(道単価)</td></tr> <tr><td>積算基準※</td><td colspan="12">令和3年度土地改良事業等工事積算基準</td></tr> </table> <p>※ 上表に無い改正・改定を行う場合があるため、最新の内容を確認すること。</p>	適用	標準単価表表紙	国土交通省	令和3年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用	農政部	令和3年12月21日以降の積算基準日の工事から適用	適用	支給品費がある場合以外の計算例	国土交通省	※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ	農政部	※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て	適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費】	国土交通省	※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。	農政部	※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て	適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】	国土交通省	※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(55,980円/m ²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が559.8円/m ² の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,598円/m ² の場合、小数第1位を切り上げ。	農政部	※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。	積算基準日	令和4年												12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	単価等分類	標準単価表(令和3.4適用)												標準単価表	標準単価表(令和3.4適用)												東京機械単価	令和2年度基準(機械経費)												東京労務単価	令和2年度労務単価												東京材料単価	建設物価・積算資料(令和2年4月号)												農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)												農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)												農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)												積算基準※	令和3年度土地改良事業等工事積算基準												<p>土地改良事業等適用施工パッケージ型積算基準の見方・留意点について</p> <p>土地改良事業等工事積算基準の標準歩掛では、工種毎に「標準歩掛」を用いる場合と「施工パッケージ型積算基準」を用いる場合を混在して掲載してある。</p> <p>施工パッケージ型積算基準の見方・留意点については以下のとおり。</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工パッケージ型積算方式標準単価表</p> <p>(1) 標準単価表</p> <p>国土交通省国土技術政策総合研究所社会資本システム研究室HPで公表している施工パッケージ型積算方式標準単価表を採用している。</p> <p>なお、北海道農政部においては施工パッケージ型積算方式標準単価表を下記のとおり読み替える。</p> <p>① 適用日</p> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>標準単価表表紙</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>令和2年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>令和2年12月 1日以降の積算基準日の工事から適用</td></tr> </table> <p>② 積算単価</p> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合以外の計算例</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合の計算例【支給品費】</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>適用</td><td>支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】</td></tr> <tr><td>国土交通省</td><td>※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(54,660円/m²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が546.6円/m²の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,466円/m²の場合、小数第1位を切り上げ。</td></tr> <tr><td>農政部</td><td>※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。</td></tr> </table> <p>③ 国土交通省→北海道農政部</p> <p>【省略】</p> <p>5 施工パッケージ型積算に使用する単価表</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">積算基準日</th> <th colspan="11">令和3年</th> </tr> <tr> <th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th> </tr> <tr><td>単価等分類</td><td colspan="11">標準単価表(令和2.4適用)</td></tr> <tr><td>標準単価表</td><td colspan="11">標準単価表(令和2.4適用)</td></tr> <tr><td>東京機械単価</td><td colspan="11">平成31年度基準(機械経費)</td></tr> <tr><td>東京労務単価</td><td colspan="11">平成31年度労務単価</td></tr> <tr><td>東京材料単価</td><td colspan="11">建設物価・積算資料(平成31年4月号)</td></tr> <tr><td>農政部機械単価</td><td colspan="11">通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)</td></tr> <tr><td>農政部労務単価</td><td colspan="11">通常の積算に用いる単価と同様(道単価)</td></tr> <tr><td>農政部材料単価</td><td colspan="11">通常の積算に用いる単価と同様(道単価)</td></tr> <tr><td>積算基準※</td><td colspan="11">令和2年度土地改良事業等工事積算基準</td></tr> </table> <p>※ 上表に無い改正・改定を行う場合があるため、最新の内容を確認すること。</p>	適用	標準単価表表紙	国土交通省	令和2年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用	農政部	令和2年12月 1日以降の積算基準日の工事から適用	適用	支給品費がある場合以外の計算例	国土交通省	※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ	農政部	※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て	適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費】	国土交通省	※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。	農政部	※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て	適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】	国土交通省	※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(54,660円/m ²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が546.6円/m ² の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,466円/m ² の場合、小数第1位を切り上げ。	農政部	※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。	積算基準日	令和3年											12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	単価等分類	標準単価表(令和2.4適用)											標準単価表	標準単価表(令和2.4適用)											東京機械単価	平成31年度基準(機械経費)											東京労務単価	平成31年度労務単価											東京材料単価	建設物価・積算資料(平成31年4月号)											農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)											農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)											農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)											積算基準※	令和2年度土地改良事業等工事積算基準											<p>字句の改正</p> <p>”</p> <p>数値の改正</p> <p>数値の改正</p> <p>”</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>字句の改正</p>
適用	標準単価表表紙																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	令和3年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	令和3年12月21日以降の積算基準日の工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合以外の計算例																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(55,980円/m ²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が559.8円/m ² の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,598円/m ² の場合、小数第1位を切り上げ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
積算基準日	令和4年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
単価等分類	標準単価表(令和3.4適用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
標準単価表	標準単価表(令和3.4適用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京機械単価	令和2年度基準(機械経費)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京労務単価	令和2年度労務単価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京材料単価	建設物価・積算資料(令和2年4月号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
積算基準※	令和3年度土地改良事業等工事積算基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	標準単価表表紙																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	令和2年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	令和2年12月 1日以降の積算基準日の工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合以外の計算例																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※積算単価は、有効桁数4桁、5桁目以降切り上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※積算単価は、整数止めとし小数点以下切り捨て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※支給品費1,000円以上の場合、円未満切り捨て。1,000円未満の場合は小数位含め有効数字4桁とし、以降切り捨て。ただし、小数第2位までとし、3位以下は切り捨てる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※支給品費は、整数止めとし小数点以下切り捨て																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用	支給品費がある場合の計算例【支給品費が控除された積算単価】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
国土交通省	※2. 支給品費が控除された積算単価は、端数調整した場合の積算単価(54,660円/m ²)と同じ単位止め(以降切り上げ)とする。今回の計算例では、1円の位を切り上げ。 1) 端数調整した場合の単価が546.6円/m ² の場合、小数第2位を切り上げ。 2) 端数調整した場合の単価が5,466円/m ² の場合、小数第1位を切り上げ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部	※支給品費が控除された積算単価は、整数止めとし小数点以下切り上げ。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
積算基準日	令和3年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
単価等分類	標準単価表(令和2.4適用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
標準単価表	標準単価表(令和2.4適用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京機械単価	平成31年度基準(機械経費)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京労務単価	平成31年度労務単価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
東京材料単価	建設物価・積算資料(平成31年4月号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様(建設機械等損料表北海道補正版令和2年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様(道単価)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
積算基準※	令和2年度土地改良事業等工事積算基準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用 B 土工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																						
<p>B 土 工</p> <p>B～0800 土量変化率等</p> <p>1 土量の変化 【省略】</p> <p>4 土質区分の対応</p> <p>土木工事共通仕様書における土質分類と積算条件の土質区分の関係は、以下のとおりである。 なお、転石混り土とは、岩塊・玉石(7.5 cm以上)の混入率が30%を超え、50%未満のものである。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 適用土質 (1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工パッケージ 区分</th> <th>掘 削</th> <th>床掘り・埋戻し</th> <th>積込 (ルーズ)</th> <th>人力積込</th> <th>押土 (ルーズ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>礫 質 土</td> <td rowspan="3">土 砂</td> </tr> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> </tr> <tr> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>転石混り土 岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 I</td> <td rowspan="2">軟 岩</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">土 砂</td> <td>軟 岩</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 II</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>中 硬 岩</td> <td rowspan="3">硬 岩</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">破碎岩</td> <td>中硬岩</td> <td rowspan="3">破碎岩</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 I</td> <td>硬 岩</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 II</td> <td>硬 岩</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 4.2 適用土質 (2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工パッケージ 区分</th> <th>法面整形</th> <th>土砂等運搬</th> <th>人力運搬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>礫 質 土</td> <td rowspan="3">礫質土、砂・砂質土、 粘性土</td> <td rowspan="3">土 砂</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>転石混り土 岩塊・玉石</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 I</td> <td>軟岩 I</td> <td rowspan="2">軟 岩</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 II</td> <td>軟岩 II</td> </tr> <tr> <td>中 硬 岩</td> <td rowspan="2">軟岩 II、中硬岩、硬岩</td> <td rowspan="2">硬 岩</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 I</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工パッケージ 区分	掘 削	床掘り・埋戻し	積込 (ルーズ)	人力積込	押土 (ルーズ)	分類名称						礫 質 土	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	砂 ・ 砂 質 土	粘 性 土	転石混り土 岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	軟 岩 I	軟 岩	—	土 砂	軟 岩	土 砂	軟 岩 II	土 砂	中 硬 岩	硬 岩	—	破碎岩	中硬岩	破碎岩	硬 岩 I	硬 岩	硬 岩 II	硬 岩	施工パッケージ 区分	法面整形	土砂等運搬	人力運搬	分類名称				礫 質 土	礫質土、砂・砂質土、 粘性土	土 砂	土 砂	砂 ・ 砂 質 土	岩塊・玉石	粘 性 土	転石混り土 岩塊・玉石	—	—	岩塊・玉石	軟 岩 I	軟岩 I	軟 岩	—	軟 岩 II	軟岩 II	中 硬 岩	軟岩 II、中硬岩、硬岩	硬 岩	—	硬 岩 I	—	<p>B 土 工</p> <p>B～0800 土量変化率等</p> <p>1 土量の変化 【省略】</p> <p>4 土質区分の対応</p> <p>土木工事共通仕様書における土質分類と積算条件の土質区分の関係は、以下のとおりである。 なお、転石混り土とは、岩塊・玉石(7.5 cm以上)の混入率が30%を超え、50%未満のものである。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 適用土質 (1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工パッケージ 区分</th> <th>掘 削</th> <th>床掘り・埋戻し</th> <th>積込 (ルーズ)</th> <th>人力積込</th> <th>押土 (ルーズ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>礫 質 土</td> <td rowspan="3">土 砂</td> </tr> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> </tr> <tr> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>転石混り土 岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 I</td> <td rowspan="2">軟 岩</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">土 砂</td> <td>軟 岩</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 II</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>中 硬 岩</td> <td rowspan="3">硬 岩</td> <td rowspan="3">—</td> <td rowspan="3">破碎岩</td> <td>中硬岩</td> <td rowspan="3">破碎岩</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 I</td> <td>硬 岩</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 II</td> <td>硬 岩</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 4.2 適用土質 (2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工パッケージ 区分</th> <th>法面整形</th> <th>土砂等運搬</th> <th>人肩運搬 小車運搬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類名称</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>礫 質 土</td> <td rowspan="3">礫質土、砂・砂質土、 粘性土</td> <td rowspan="3">土 砂</td> <td>土 砂</td> </tr> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>粘 性 土</td> </tr> <tr> <td>転石混り土 岩塊・玉石</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 I</td> <td>軟岩 I</td> <td rowspan="2">軟 岩</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>軟 岩 II</td> <td>軟岩 II</td> </tr> <tr> <td>中 硬 岩</td> <td rowspan="2">軟岩 II、中硬岩、硬岩</td> <td rowspan="2">硬 岩</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>硬 岩 I</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工パッケージ 区分	掘 削	床掘り・埋戻し	積込 (ルーズ)	人力積込	押土 (ルーズ)	分類名称						礫 質 土	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	砂 ・ 砂 質 土	粘 性 土	転石混り土 岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	軟 岩 I	軟 岩	—	土 砂	軟 岩	土 砂	軟 岩 II	土 砂	中 硬 岩	硬 岩	—	破碎岩	中硬岩	破碎岩	硬 岩 I	硬 岩	硬 岩 II	硬 岩	施工パッケージ 区分	法面整形	土砂等運搬	人肩運搬 小車運搬	分類名称				礫 質 土	礫質土、砂・砂質土、 粘性土	土 砂	土 砂	砂 ・ 砂 質 土	岩塊・玉石	粘 性 土	転石混り土 岩塊・玉石	—	—	岩塊・玉石	軟 岩 I	軟岩 I	軟 岩	—	軟 岩 II	軟岩 II	中 硬 岩	軟岩 II、中硬岩、硬岩	硬 岩	—	硬 岩 I	—	<p>字句の改正</p>
施工パッケージ 区分	掘 削	床掘り・埋戻し	積込 (ルーズ)	人力積込	押土 (ルーズ)																																																																																																																																																			
分類名称																																																																																																																																																								
礫 質 土	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂																																																																																																																																																			
砂 ・ 砂 質 土																																																																																																																																																								
粘 性 土																																																																																																																																																								
転石混り土 岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石																																																																																																																																																			
軟 岩 I	軟 岩	—	土 砂	軟 岩	土 砂																																																																																																																																																			
軟 岩 II				土 砂																																																																																																																																																				
中 硬 岩	硬 岩	—	破碎岩	中硬岩	破碎岩																																																																																																																																																			
硬 岩 I				硬 岩																																																																																																																																																				
硬 岩 II				硬 岩																																																																																																																																																				
施工パッケージ 区分	法面整形	土砂等運搬	人力運搬																																																																																																																																																					
分類名称																																																																																																																																																								
礫 質 土	礫質土、砂・砂質土、 粘性土	土 砂	土 砂																																																																																																																																																					
砂 ・ 砂 質 土			岩塊・玉石																																																																																																																																																					
粘 性 土																																																																																																																																																								
転石混り土 岩塊・玉石	—	—	岩塊・玉石																																																																																																																																																					
軟 岩 I	軟岩 I	軟 岩	—																																																																																																																																																					
軟 岩 II	軟岩 II																																																																																																																																																							
中 硬 岩	軟岩 II、中硬岩、硬岩	硬 岩	—																																																																																																																																																					
硬 岩 I			—																																																																																																																																																					
施工パッケージ 区分	掘 削	床掘り・埋戻し	積込 (ルーズ)	人力積込	押土 (ルーズ)																																																																																																																																																			
分類名称																																																																																																																																																								
礫 質 土	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂	土 砂																																																																																																																																																			
砂 ・ 砂 質 土																																																																																																																																																								
粘 性 土																																																																																																																																																								
転石混り土 岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石																																																																																																																																																			
軟 岩 I	軟 岩	—	土 砂	軟 岩	土 砂																																																																																																																																																			
軟 岩 II				土 砂																																																																																																																																																				
中 硬 岩	硬 岩	—	破碎岩	中硬岩	破碎岩																																																																																																																																																			
硬 岩 I				硬 岩																																																																																																																																																				
硬 岩 II				硬 岩																																																																																																																																																				
施工パッケージ 区分	法面整形	土砂等運搬	人肩運搬 小車運搬																																																																																																																																																					
分類名称																																																																																																																																																								
礫 質 土	礫質土、砂・砂質土、 粘性土	土 砂	土 砂																																																																																																																																																					
砂 ・ 砂 質 土			岩塊・玉石																																																																																																																																																					
粘 性 土																																																																																																																																																								
転石混り土 岩塊・玉石	—	—	岩塊・玉石																																																																																																																																																					
軟 岩 I	軟岩 I	軟 岩	—																																																																																																																																																					
軟 岩 II	軟岩 II																																																																																																																																																							
中 硬 岩	軟岩 II、中硬岩、硬岩	硬 岩	—																																																																																																																																																					
硬 岩 I			—																																																																																																																																																					

新 旧 対 照 表

改 正		現 行										備 考
B～0820 作業土工（床掘工）												表内、字句の追加及び改正
1 適用範囲 【省略】												
3 施工パッケージ												
3-1 床掘り												
(1) 条件区分 【省略】												
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。												
表 3.3 床掘り 代表機労材規格一覧												
項 目	代表機労材規格	施工方法						備考				
		標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m超	左記以外 (小規模)	現場 制約 有り					
機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	○								賃料	
		バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型 ・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)		○								賃料
		バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)						○				
		クラムシェル[油圧ロープ式・クローラ型]平積 0.8 m ³						○				
		クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式]平積 0.4 m ³				○						
	K2	小型バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.08 m ³ (平積 0.06 m ³)			◎	○						
K3	—											
労 務	R1	運転手(特殊)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	R2	普通作業員	△	△	○	○	○	○	○	○		
	R3	特殊作業員			◎	○						
	R4	—										
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	○	○	○	○	○	○	○	○		
	Z2	—										
	Z3	—										
	Z4	—										
市場単価	S	—										
◎ 障害有りの場合、 △ 土留方式無し以外の場合												
【省略】												
B～0820 作業土工（床掘工）												
1 適用範囲 【省略】												
3 施工パッケージ												
3-1 床掘り												
(1) 条件区分 【省略】												
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。												
表 3.3 床掘り 代表機労材規格一覧												
項 目	代表機労材規格	施工方法						備考				
		標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m超	左記以外 (小規模)	現場 制約 有り					
機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ — 排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	○								—	
		バックホウ(クローラ型)[標準型 ・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)		○							—	
		バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)						○				
		クラムシェル[油圧ロープ式・クローラ型]平積 0.8 m ³						○				
		クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式]平積 0.4 m ³				○						
	K2	小型バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.08 m ³ (平積 0.06 m ³)			◎	○						
K3	—											
労 務	R1	運転手(特殊)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	R2	普通作業員	△	△	○	○	○	○	○	○		
	R3	特殊作業員			◎	○						
	R4	—										
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	○	○	○	○	○	○	○	○		
	Z2	—										
	Z3	—										
	Z4	—										
市場単価	S	—										
◎ 障害有りの場合、 △ 土留方式無し以外の場合												
【省略】												

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用

C 共通工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

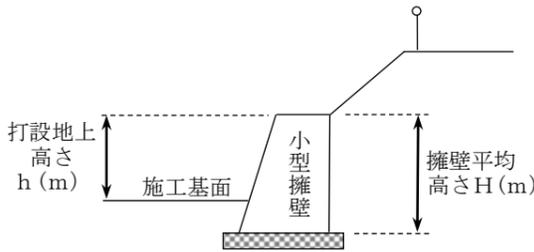
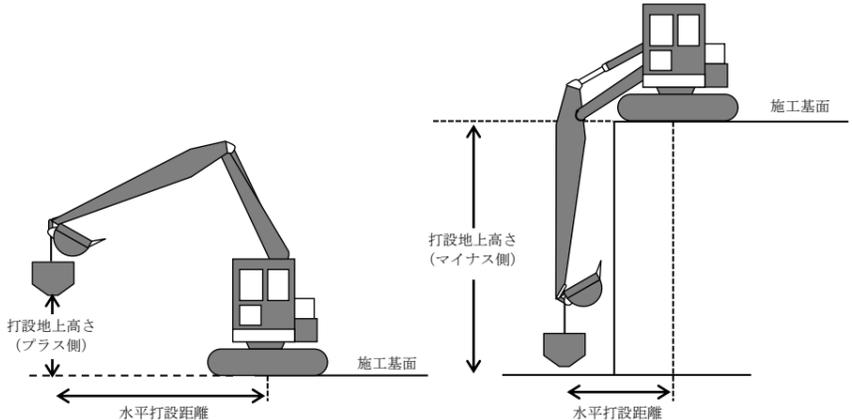
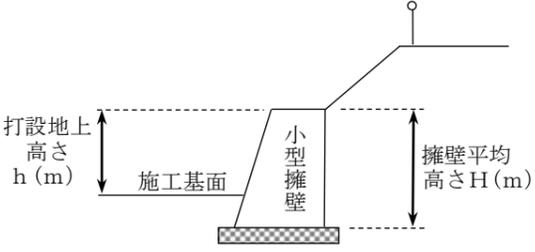
	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																														
<p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.3 コンクリートブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項 目</th> <th style="width: 10%;">機 械</th> <th style="width: 60%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td>鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2 号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 b（積算単位：m²）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">水抜きパイプの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。</p> <p>(注2) 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。</p> <p><u>(注3) 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-7 胴込・裏込材（碎石）」より計上する。</u></p> <p><u>(注4) 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</u></p> <p><u>(注5) 目地材料費は、実数量（材料ロスを含んだ数量）を別途計上する。</u></p> <p><u>(注6) 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</u> （4参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照）</p> <p>【省略】</p>	項 目	機 械	代表機労材規格	備 考		K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9 t	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	運転手（特殊）		R2	ブロック工		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材 料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		水抜きパイプの有無	有り	無し	<p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.3 コンクリートブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項 目</th> <th style="width: 10%;">機 械</th> <th style="width: 60%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td>鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2 号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 b（積算単位：m²）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">水抜きパイプの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。</p> <p>(注2) 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。</p> <p><u>(注3) 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</u></p> <p><u>(注4) 目地材料費は、実数量（材料ロスを含んだ数量）を別途計上する。</u></p> <p><u>(注5) 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</u> （4参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照）</p> <p>【省略】</p>	項 目	機 械	代表機労材規格	備 考		K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9 t	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	運転手（特殊）		R2	ブロック工		R3	普通作業員		R4	土木一般世話役		材 料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		水抜きパイプの有無	有り	無し	<p>字句の追加 番号の改正 〃 〃 〃</p>
項 目	機 械	代表機労材規格	備 考																																																																																													
	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9 t	賃料																																																																																													
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労 務	R1	運転手（特殊）																																																																																														
	R2	ブロック工																																																																																														
	R3	普通作業員																																																																																														
	R4	土木一般世話役																																																																																														
材 料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面																																																																																														
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																																																													
	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
水抜きパイプの有無																																																																																																
有り																																																																																																
無し																																																																																																
項 目	機 械	代表機労材規格	備 考																																																																																													
	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9 t	賃料																																																																																													
	K2	—																																																																																														
	K3	—																																																																																														
労 務	R1	運転手（特殊）																																																																																														
	R2	ブロック工																																																																																														
	R3	普通作業員																																																																																														
	R4	土木一般世話役																																																																																														
材 料	Z1	間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面																																																																																														
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																																																													
	Z3	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																																														
	Z4	—																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																														
水抜きパイプの有無																																																																																																
有り																																																																																																
無し																																																																																																

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>C～1400 プレキャスト集水桝</p> <p>① プレキャスト集水桝据付（質量 50 kgを超え、2,800 kg/基以下）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 プレキャスト集水桝</p> <p>(1) プレキャスト製集水桝の据付、撤去、据付・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製集水桝の質量（蓋版<u>含む</u>）が 50kg/基以上 2,800kg/基以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 プレキャスト集水桝</p> <p>(1) プレキャスト製集水桝の質量（蓋版<u>含む</u>）が 50kg/基未満及び 2,800kg/基を超える場合</p> <p>【省略】</p>	<p>C～1400 プレキャスト集水桝</p> <p>① プレキャスト集水桝据付（質量 50 kgを超え、2,800 kg/基以下）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 プレキャスト集水桝</p> <p>(1) プレキャスト製集水桝の据付、撤去、据付・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製集水桝の質量（蓋版<u>除く</u>）が 50kg/基以上 2,800kg/基以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 プレキャスト集水桝</p> <p>(1) プレキャスト製集水桝の質量（蓋版<u>除く</u>）が 50kg/基未満及び 2,800kg/基を超える場合</p> <p>【省略】</p>	<p></p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>

改 正	現 行	備 考
<p>C～2100 場所打擁壁工</p> <p>I 場所打擁壁工 (1)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設地上高さが<u>施工基面高より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下</u></p> <p>(3) <u>コンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下</u></p>   <p>(参考図) バックホウによるコンクリート打設範囲</p> <p>1-1-2 重力式擁壁 【省略】</p> <p>1-1-3 もたれ式擁壁 【省略】</p> <p>1-1-4 逆T型擁壁 【省略】</p> <p>1-1-5 L型擁壁 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 小型擁壁 【省略】</p>	<p>C～2100 場所打擁壁工</p> <p>I 場所打擁壁工 (1)</p> <p>1 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁 (A)</p> <p>(1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</p> <p>(2) <u>コンクリート打設地上高さが2m以下の場合</u></p> <p>1-1-2 小型擁壁 (B)</p> <p>(1) <u>擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</u></p> <p>(2) <u>コンクリート打設地上高さが2mを超え28m以下かつ水平打設距離20m以下(クローラクレーンの場合は水平打設距離30m以下)の場合</u></p>  <p>1-1-3 重力式擁壁 【省略】</p> <p>1-1-4 もたれ式擁壁 【省略】</p> <p>1-1-5 逆T型擁壁 【省略】</p> <p>1-1-6 L型擁壁 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 小型擁壁 (A) 及び (B) 【省略】</p>	<p>字句の削除</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の削除</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>参考図の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																							
<p><u>〔削除〕</u></p>	<p>3-2 小型擁壁 (B)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.5 小型擁壁 (B) 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均 高さ</th> <th>コンクリート 規格</th> <th>施工条件</th> <th>基礎碎石 の有無</th> <th>均しコンクリート の有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、小型擁壁 (擁壁平均高さ 0.5m以上 1.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生・特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ))、運搬バケットへのコンクリート積込作業、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等) の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注2) コンクリートの機械打設に使用するバケット容量は 0.6 m³ を標準とする。</p> <p>(注3) コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06)</p> <p>(注4) 化粧型枠については加算費用を、「D~3000 型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9 ペーラインコンクリート (材料費)」により別途計上すること。</p> <p>(注6) 足場が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>(注7) 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>(注8) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表 3.6 施工条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">施工条件</td> <td>打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下</td> </tr> <tr> <td>水平打設距離 30m以下</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均 高さ	コンクリート 規格	施工条件	基礎碎石 の有無	均しコンクリート の有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無		有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無		有り	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無		有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無		積算条件	区 分	施工条件	打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下	打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下	打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下	打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下	水平打設距離 30m以下	<p>表、字句の削除</p>
擁壁平均 高さ	コンクリート 規格	施工条件	基礎碎石 の有無	均しコンクリート の有無	養生工の種類																																				
(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																				
					特殊養生 (ジェットヒータ)																																				
				養生工無																																					
				有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																				
			特殊養生 (ジェットヒータ)																																						
			養生工無																																						
			有り	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																				
					特殊養生 (ジェットヒータ)																																				
養生工無																																									
有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																								
	特殊養生 (ジェットヒータ)																																								
養生工無																																									
積算条件	区 分																																								
施工条件	打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下																																								
	打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下																																								
	打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下																																								
	打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下																																								
	水平打設距離 30m以下																																								

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																									
<p><u>〔削除〕</u></p>	<p>(2) <u>代表機材規格</u></p> <p><u>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 3.7 小型擁壁 (B) 代表機材規格一覧</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"><u>項 目</u></th> <th style="width: 60%;"><u>代表機材規格</u></th> <th style="width: 30%;"><u>備 考</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>機 械</u></td> <td><u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊</u></td> <td><u>・打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊</u></td> <td><u>・打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</u></td> <td><u>・打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</u></td> <td><u>・打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td><u>クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50 t 吊</u></td> <td><u>・水平打設距離 30m以下の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>K2</u></td> <td><u>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)</u> <u>油種 灯油</u></td> <td><u>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u> <u>・賃料</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>K3</u></td> <td><u>—</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>労 務</u></td> <td><u>R1 普通作業員</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>R2 型わく工</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>R3 土木一般世話役</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>R4 特殊作業員</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>材 料</u></td> <td><u>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</u></td> <td><u>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u></td> </tr> <tr> <td><u>Z3 軽油 1.2号 パトロール給油</u></td> <td><u>水平打設距離 30m以下の場合</u></td> </tr> <tr> <td><u>Z4 —</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><u>市場単価</u></td> <td><u>S —</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	<u>項 目</u>	<u>代表機材規格</u>	<u>備 考</u>	<u>機 械</u>	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊</u>	<u>・打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊</u>	<u>・打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</u>	<u>・打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</u>	<u>・打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50 t 吊</u>	<u>・水平打設距離 30m以下の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>K2</u>	<u>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)</u> <u>油種 灯油</u>	<u>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u> <u>・賃料</u>	<u>K3</u>	<u>—</u>		<u>労 務</u>	<u>R1 普通作業員</u>		<u>R2 型わく工</u>		<u>R3 土木一般世話役</u>		<u>R4 特殊作業員</u>		<u>材 料</u>	<u>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</u>		<u>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</u>	<u>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u>	<u>Z3 軽油 1.2号 パトロール給油</u>	<u>水平打設距離 30m以下の場合</u>	<u>Z4 —</u>		<u>市場単価</u>	<u>S —</u>		<p>表、字句の削除</p>
<u>項 目</u>	<u>代表機材規格</u>	<u>備 考</u>																																									
<u>機 械</u>	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊</u>	<u>・打設高 17m以下・水平打設距離 17m以下の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊</u>	<u>・打設高 25m以下・水平打設距離 18m以下の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</u>	<u>・打設高 25m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</u>	<u>・打設高 28m以下・水平打設距離 20m以下の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
	<u>クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50 t 吊</u>	<u>・水平打設距離 30m以下の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
<u>K2</u>	<u>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h)</u> <u>油種 灯油</u>	<u>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u> <u>・賃料</u>																																									
<u>K3</u>	<u>—</u>																																										
<u>労 務</u>	<u>R1 普通作業員</u>																																										
	<u>R2 型わく工</u>																																										
	<u>R3 土木一般世話役</u>																																										
	<u>R4 特殊作業員</u>																																										
<u>材 料</u>	<u>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</u>																																										
	<u>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</u>	<u>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</u>																																									
	<u>Z3 軽油 1.2号 パトロール給油</u>	<u>水平打設距離 30m以下の場合</u>																																									
	<u>Z4 —</u>																																										
<u>市場単価</u>	<u>S —</u>																																										

新 旧 対 照 表

改 正		現 行						備 考
3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。		3-3 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。						番号の改正
表 3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)		表 3.8 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)						番号の改正
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類		圧送管延長距離区分		
1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				養生工無				
			有り	一般養生				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				養生工無				
		有り	無し	一般養生				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				養生工無				
			有り	一般養生				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				養生工無				
2.0m以上 5.0m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				仮囲い内ジェットヒータ養生				
			有り	養生工無				
				一般養生				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
		有り	無し	仮囲い内ジェットヒータ養生				
				養生工無				
				一般養生				
			有り	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)				
				仮囲い内ジェットヒータ養生				
				養生工無				

(注1) 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ 1.0mを超え 5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが 2m未満の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが 2m以上の場合）、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料等、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。

【省略】

表 3.6 圧送管延長距離区分

積算条件	区 分
圧送管延長距離区分	延長無し
	90m未満
	90m以上 180m未満
	180m以上 280m以下

【省略】

表 3.9 圧送管延長距離区分

積算条件	区 分
圧送管延長距離区分	延長無し
	90m未満
	90m以上 180m未満
	180m以上 280m以下

字句の追加

番号の改正

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考			
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.7 重力式擁壁 代表機材規格一覧				(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.10 重力式擁壁 代表機材規格一覧				番号の改正			
擁壁平均 高さ	項 目	代表機材規格		備 考	擁壁平均 高さ	項 目	代表機材規格		備 考		
1mを超え 2m未満	機 械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h			1mを超え 2m未満	機 械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h		
		K2	—					K2	—		
		K3	—					K3	—		
	労 務	R1	普通作業員			労 務	R1	普通作業員			
		R2	型わく工				R2	型わく工			
		R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役			
		R4	特殊作業員				R4	特殊作業員			
	材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%			材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%			
		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			
		Z3	—				Z3	—			
Z4		—			Z4		—				
市場単価	S	—			市場単価	S	—				
2m以上 5m以下	機 械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h			機 械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h			
		K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油		・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料		K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油		・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	
		K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA		仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA		仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	
	労 務	R1	普通作業員			労 務	R1	普通作業員			
		R2	型わく工				R2	型わく工			
		R3	土木一般世話役				R3	土木一般世話役			
		R4	とび工 特殊作業員		一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		R4	とび工 特殊作業員		一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	
	材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%			材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%			
		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			
		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー		仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー		仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	
Z4		—			Z4		—				
市場単価	S	—			市場単価	S	—				
【省略】				【省略】							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																				
<p>3-3 もたれ式擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3.8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="172 367 1329 972"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は、もたれ式擁壁 (擁壁平均高さ 3.0m以上 8.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生・特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等) の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注 2) コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)</p> <p>(注 3) 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注 4) 化粧型枠については加算費用を、「D~3000 型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注 5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8 ペーラインコンクリート (材料費)」により別途計上すること。</p> <p>(注 6) 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注 7) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注 8) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T~1110 防寒囲い工」により別途計上する。</p>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	有り	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	養生工無	<p>3-4 もたれ式擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3.11 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="1427 367 2585 972"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は、もたれ式擁壁 (擁壁平均高さ 3.0m以上 8.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生・特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等) の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注 2) コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)</p> <p>(注 3) 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注 4) 化粧型枠については加算費用を、「D~3000 型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注 5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9 ペーラインコンクリート (材料費)」により別途計上すること。</p> <p>(注 6) 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注 7) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注 8) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T~1110 防寒囲い工」により別途計上する。</p>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	有り	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	養生工無	<p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>番号の改正</p>
コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																		
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																			
		養生工無																																																				
		有り	一般養生																																																			
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
	有り	無し	養生工無																																																			
			一般養生																																																			
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
		有り	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																			
			養生工無																																																			
養生工無																																																						
コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																		
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																		
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																			
		養生工無																																																				
		有り	一般養生																																																			
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
	有り	無し	養生工無																																																			
			一般養生																																																			
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																			
		有り	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																			
			養生工無																																																			
養生工無																																																						

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.9 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.12 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧			番号の改正
項目	代表機材規格		項目	代表機材規格		
機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h		K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	
	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・ 熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・ 熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労 務	R1	普通作業員		R1	普通作業員	
	R2	型わく工		R2	型わく工	
	R3	土木一般世話役		R3	土木一般世話役	
	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	軽油 1.2号 パトロール給油	
	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
	Z4	—		Z4	—	
市場単価	S	—		市場単価	S	—

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																								
<p>3-4 逆T型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表 3.11)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、逆T型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注2) コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。</p> <p>(注3) 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注4) 化粧型枠については加算費用を、「D～3000型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。</p> <p>(注6) ガス圧接が必要な場合は、「X～1010鉄筋工（ガス圧接）」により別途計上する。</p> <p>(注7) 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注8) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注9) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T～1110防寒囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.11 鉄筋量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">鉄筋量</td> <td>0.04 t / m³以上 0.06 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.06 t / m³以上 0.08 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.08 t / m³以上 0.10 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.10 t / m³以上 0.12 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.12 t / m³以上 0.14 t / m³未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない数量とする。</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	積算条件	区 分	鉄筋量	0.04 t / m ³ 以上 0.06 t / m ³ 未満	0.06 t / m ³ 以上 0.08 t / m ³ 未満	0.08 t / m ³ 以上 0.10 t / m ³ 未満	0.10 t / m ³ 以上 0.12 t / m ³ 未満	0.12 t / m ³ 以上 0.14 t / m ³ 未満	<p>3-5 逆T型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.13 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表 3.14)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、逆T型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注2) コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。</p> <p>(注3) 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注4) 化粧型枠については加算費用を、「D～3000型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。</p> <p>(注6) ガス圧接が必要な場合は、「X～1010鉄筋工（ガス圧接）」により別途計上する。</p> <p>(注7) 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注8) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注9) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T～1110防寒囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14 鉄筋量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">鉄筋量</td> <td>0.04 t / m³以上 0.06 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.06 t / m³以上 0.08 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.08 t / m³以上 0.10 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.10 t / m³以上 0.12 t / m³未満</td> </tr> <tr> <td>0.12 t / m³以上 0.14 t / m³未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない数量とする。</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	積算条件	区 分	鉄筋量	0.04 t / m ³ 以上 0.06 t / m ³ 未満	0.06 t / m ³ 以上 0.08 t / m ³ 未満	0.08 t / m ³ 以上 0.10 t / m ³ 未満	0.10 t / m ³ 以上 0.12 t / m ³ 未満	0.12 t / m ³ 以上 0.14 t / m ³ 未満	<p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																					
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
			有り	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
	有り	無し	無し	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
			有り	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
積算条件	区 分																																																																									
鉄筋量	0.04 t / m ³ 以上 0.06 t / m ³ 未満																																																																									
	0.06 t / m ³ 以上 0.08 t / m ³ 未満																																																																									
	0.08 t / m ³ 以上 0.10 t / m ³ 未満																																																																									
	0.10 t / m ³ 以上 0.12 t / m ³ 未満																																																																									
	0.12 t / m ³ 以上 0.14 t / m ³ 未満																																																																									
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																					
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
			有り	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
	有り	無し	無し	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
			有り	一般養生																																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																						
積算条件	区 分																																																																									
鉄筋量	0.04 t / m ³ 以上 0.06 t / m ³ 未満																																																																									
	0.06 t / m ³ 以上 0.08 t / m ³ 未満																																																																									
	0.08 t / m ³ 以上 0.10 t / m ³ 未満																																																																									
	0.10 t / m ³ 以上 0.12 t / m ³ 未満																																																																									
	0.12 t / m ³ 以上 0.14 t / m ³ 未満																																																																									

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.12 逆T型擁壁 代表機材規格一覧			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.15 逆T型擁壁 代表機材規格一覧			番号の改正
項目	代表機材規格	備 考	項目	代表機材規格	備 考	
機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h		K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h	
	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・ 熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・ 熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労 務	R1	普通作業員		R1	普通作業員	
	R2	型わく工		R2	型わく工	
	R3	土木一般世話役		R3	土木一般世話役	
	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%	
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油		
Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																								
<p>3-5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表 3.11)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ））、仮囲い内ジェットヒータ養生、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注2) コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。</p> <p>(注3) 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注4) 化粧型枠については加算費用を、「D～3000型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。</p> <p>(注6) ガス圧接が必要な場合は、「X～1010鉄筋工（ガス圧接）」により別途計上する。</p> <p>(注7) 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注8) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注9) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T～1110防寒囲い工」により別途計上する。</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>3-6 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.16 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表 3.14)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ））、仮囲い内ジェットヒータ養生、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>(注2) コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。</p> <p>(注3) 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>(注4) 化粧型枠については加算費用を、「D～3000型枠工 化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>(注5) ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。</p> <p>(注6) ガス圧接が必要な場合は、「X～1010鉄筋工（ガス圧接）」により別途計上する。</p> <p>(注7) 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>(注8) 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>(注9) 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「T～1110防寒囲い工」により別途計上する。</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>番号の改正</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																					
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	無し	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																					
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	無し	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																																																																																																																									
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.14 L型擁壁 代表機材規格一覧			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3.17 L型擁壁 代表機材規格一覧			番号の改正																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th colspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m³/h</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td colspan="2">・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td colspan="2">仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> <td colspan="2">一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材 料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.04t/m³以上 0.06t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.06t/m³以上 0.08t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.08t/m³以上 0.10t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.10t/m³以上 0.12t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.12t/m³以上 0.14t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td colspan="2">仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			項 目	代表機材規格			備 考		機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h			K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料		K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		労 務	R1	普通作業員			R2	型わく工			R3	土木一般世話役			R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		材 料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%			Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th colspan="2">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m³/h</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td colspan="2">・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td colspan="2">仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> <td colspan="2">一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材 料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.04t/m³以上 0.06t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.06t/m³以上 0.08t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.08t/m³以上 0.10t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.10t/m³以上 0.12t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td colspan="2">鉄筋量が 0.12t/m³以上 0.14t/m³未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td colspan="2">仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>			項 目	代表機材規格		備 考		機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h			K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料		K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		労 務	R1	普通作業員			R2	型わく工			R3	土木一般世話役			R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		材 料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%			Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合		Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																																																																												
機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h																																																																																																																																													
	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																																																												
	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																												
労 務	R1	普通作業員																																																																																																																																													
	R2	型わく工																																																																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																													
	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																												
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																																																													
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																													
Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																													
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																																																																													
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																																																																												
機 械	K1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110 m ³ /h																																																																																																																																													
	K2	業務用可搬型ヒータ[ジェットヒータ][油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																																																																												
	K3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																												
労 務	R1	普通作業員																																																																																																																																													
	R2	型わく工																																																																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																													
	R4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																												
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																																																																													
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																																																																																												
	Z3	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																																																																													
Z4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																																																																													
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																																																																													
3-6 化粧型枠 「D~3000 型枠工 化粧型枠」による。			3-7 化粧型枠 「D~3000 型枠工 化粧型枠」による。			番号の改正																																																																																																																																									
3-7 化粧型枠 (材料費) 「D~3000 型枠工 化粧型枠 (材料費)」による。			3-8 化粧型枠 (材料費) 「D~3000 型枠工 化粧型枠 (材料費)」による。			番号の改正																																																																																																																																									

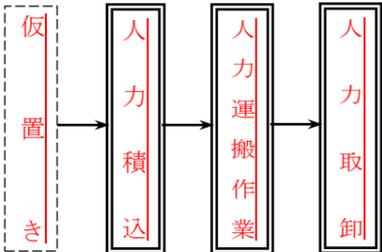
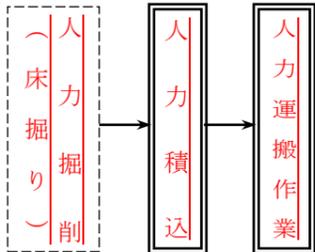
新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																
<p>3-8 ペーラインコンクリート（材料費）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.15 ペーラインコンクリート（材料費） 積算条件区分一覧 （積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工費は、場所打擁壁工（1）の各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。 (注2) 上表は、場所打擁壁工におけるペーラインコンクリートの材料費（ロス等含む）を含む。 (注3) ペーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.16 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材 料</th> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ペーラインコンクリート</td> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-9 止水板設置</p> <p>止水板が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-10 裏込砕石</p> <p>裏込砕石が必要な場合は、「C～1000 基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 【省略】</p>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材 料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<p>3-9 ペーラインコンクリート（材料費）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.18 ペーラインコンクリート（材料費） 積算条件区分一覧 （積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工費は、場所打擁壁工（1）の各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。 (注2) 上表は、場所打擁壁工におけるペーラインコンクリートの材料費（ロス等含む）を含む。 (注3) ペーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.19 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材 料</th> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ペーラインコンクリート</td> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-10 止水板設置</p> <p>止水板が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-11 裏込砕石</p> <p>裏込砕石が必要な場合は、「C～1000 基礎・裏込砕石工」により別途計上する。 【省略】</p>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材 料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
擁壁種類	コンクリート規格																																	
小型擁壁	(表 3.3)																																	
重力式・もたれ式擁壁																																		
逆T型・L型擁壁																																		
材 料	擁壁種類	ロス率																																
ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																																
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																																
	逆T型・L型擁壁	+0.02																																
擁壁種類	コンクリート規格																																	
小型擁壁	(表 3.3)																																	
重力式・もたれ式擁壁																																		
逆T型・L型擁壁																																		
材 料	擁壁種類	ロス率																																
ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																																
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																																
	逆T型・L型擁壁	+0.02																																

改 正	現 行	備 考														
<p>C～2500 吸出し防止材設置工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、吸出し防止材を設置する作業に適用する。<u>なお、施工方法は表 1.1 を標準とする。</u></p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 吸出し防止材を<u>施工場所全面</u>に設置する場合 1-2 適用できない範囲 (1) 他工種の歩掛や施工パッケージに吸出し防止材設置が含まれている場合 <u>(2) 吸出し防止材を点在で設置する場合</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 1.1 施工方法の定義</u></p> <table border="1" data-bbox="172 640 1329 777"> <thead> <tr> <th>施工方法</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面</td> <td>ロール状の吸出し防止材を斜面や平面に全面で設置する。</td> </tr> <tr> <td>点在</td> <td>吸出し防止材を構造物の形状に合わせ、切り出し・整形し、吸出し防止する箇所に貼り付け等を行うもの。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="184 903 460 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">材 料 搬 入</td> <td style="padding: 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">現 場 内 小 運 搬</td> <td style="padding: 5px;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">吸 出 し 防 止 材 設 置</td> </tr> </table> </div> <p><u>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</u></p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 吸出し防止材設置 (1) 条件区分 <u>吸出し防止材設置における積算条件区分はない。</u> <u>積算単位は、㎡とする。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>(注1) _____ 吸出し防止材の設置、<u>現場内小運搬</u>等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (注2) _____ 重ね合せ等による吸出し防止材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、<u>+0.08</u>）</p>	施工方法	摘 要	全面	ロール状の吸出し防止材を斜面や平面に全面で設置する。	点在	吸出し防止材を構造物の形状に合わせ、切り出し・整形し、吸出し防止する箇所に貼り付け等を行うもの。	材 料 搬 入	→	現 場 内 小 運 搬	→	吸 出 し 防 止 材 設 置	<p>C～2500 吸出し防止材設置工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、吸出し防止材を設置する作業に適用する。_____</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 吸出し防止材を設置する場合 1-2 適用できない範囲 (1) 他工種の歩掛や施工パッケージに吸出し防止材設置が含まれている場合</p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;"><u>[追加]</u></p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;"><u>[追加]</u></p> <p>2 施工パッケージ</p> <p>2-1 吸出し防止材設置 (1) 条件区分 <u>条件区分は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">_____</p> <p style="text-align: center;"><u>表 2.1 吸出し防止材設置 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</u></p> <table border="1" data-bbox="1430 1501 2588 1606" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>設置条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面</td> </tr> <tr> <td>点在</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) <u>上表は</u>、吸出し防止材の設置 _____ 等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (注2) <u>全面に設置する場合</u>、重ね合せ等による吸出し防止材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、<u>+0.07</u>） <u>(注3) 点在で設置する場合、吸出し防止材の材料ロスは含まない。</u></p>	設置条件	全面	点在	<p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加 表の追加</p> <p>施工概要及び、フロー図の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>番号の改正 ”</p> <p>字句の改正 字句の追加 表の削除</p> <p>字句の削除、追加</p> <p>数値の改正、字句の削除</p>
施工方法	摘 要															
全面	ロール状の吸出し防止材を斜面や平面に全面で設置する。															
点在	吸出し防止材を構造物の形状に合わせ、切り出し・整形し、吸出し防止する箇所に貼り付け等を行うもの。															
材 料 搬 入	→	現 場 内 小 運 搬	→	吸 出 し 防 止 材 設 置												
設置条件																
全面																
点在																

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 吸出し防止材設置 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">機 械</th> <th style="width: 15%;">K1</th> <th style="width: 15%;">K2</th> <th style="width: 15%;">K3</th> <th style="width: 15%;">R1</th> <th style="width: 15%;">R2</th> <th style="width: 15%;">R3</th> <th style="width: 15%;">R4</th> <th style="width: 15%;">Z1</th> <th style="width: 15%;">Z2</th> <th style="width: 15%;">Z3</th> <th style="width: 15%;">Z4</th> <th style="width: 15%;">市場単価</th> <th style="width: 15%;">S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>普通作業員</td> <td>一般土木世話役</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	機 械	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	市場単価	S			—	—	—	普通作業員	一般土木世話役	—	—	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	—	—	—	—	—	<p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.2 吸出し防止材設置 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">機 械</th> <th style="width: 15%;">K1</th> <th style="width: 15%;">K2</th> <th style="width: 15%;">K3</th> <th style="width: 15%;">R1</th> <th style="width: 15%;">R2</th> <th style="width: 15%;">R3</th> <th style="width: 15%;">R4</th> <th style="width: 15%;">Z1</th> <th style="width: 15%;">Z2</th> <th style="width: 15%;">Z3</th> <th style="width: 15%;">Z4</th> <th style="width: 15%;">市場単価</th> <th style="width: 15%;">S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	機 械	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	市場単価	S			—	—	—	普通作業員	—	—	—	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	—	—	—	—	—	<p>番号の改正</p> <p>字句の追加</p>
項 目	機 械	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	市場単価	S																																																
		—	—	—	普通作業員	一般土木世話役	—	—	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	—	—	—	—	—																																																
項 目	機 械	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	市場単価	S																																																
		—	—	—	普通作業員	—	—	—	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	—	—	—	—	—																																																

改 正	現 行	備 考
<p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 人力運搬（積み込み～運搬～取卸し）</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(2) 人力運搬（運搬～取卸し）</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;"><u>〔追加〕</u></p>	<p>施工概要及び、フロー図の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																		
<p>3 施工パッケージ</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p>	<p>2 施工パッケージ</p> <p>2-1 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石 積算条件区分一覧（積算単位：m³）</p> <table border="1" data-bbox="1430 411 2585 548"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 砂</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>栗石・クラッシュラン</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされた土砂等の積込み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</p> <p>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</p> $L = H + h \times 6$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p style="text-align: center;">表 2.2 換算距離</p> <table border="1" data-bbox="1430 869 2585 1241"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">換算距離</td><td>20m以下</td></tr> <tr><td>40m以下</td></tr> <tr><td>60m以下</td></tr> <tr><td>80m以下</td></tr> <tr><td>100m以下</td></tr> <tr><td>120m以下</td></tr> <tr><td>140m以下</td></tr> <tr><td>160m以下</td></tr> <tr><td>180m以下</td></tr> <tr><td>200m以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.3 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1430 1396 2585 1835"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	土 質	換算距離	土 砂	(表 2.2)	岩塊・玉石	栗石・クラッシュラン	積算条件	区 分	換算距離	20m以下	40m以下	60m以下	80m以下	100m以下	120m以下	140m以下	160m以下	180m以下	200m以下	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>番号の改正 表、字句の削除</p>
土 質	換算距離																																																			
土 砂	(表 2.2)																																																			
岩塊・玉石																																																				
栗石・クラッシュラン																																																				
積算条件	区 分																																																			
換算距離	20m以下																																																			
	40m以下																																																			
	60m以下																																																			
	80m以下																																																			
	100m以下																																																			
	120m以下																																																			
	140m以下																																																			
	160m以下																																																			
	180m以下																																																			
	200m以下																																																			
項 目	代表機労材規格	備 考																																																		
機 械	K1	—																																																		
	K2	—																																																		
	K3	—																																																		
労 務	R1	普通作業員																																																		
	R2	—																																																		
	R3	—																																																		
	R4	—																																																		
材 料	Z1	—																																																		
	Z2	—																																																		
	Z3	—																																																		
	Z4	—																																																		
市場単価	S	—																																																		

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																	
<p><u>[削除]</u></p>	<p>2-2 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.4 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等 積算条件区分一覧 （積算単位：t）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の積込み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</p> <p>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</p> $L = H + h \times 6$ <p style="margin-left: 20px;">L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.5 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">代 表 機 労 材 規 格</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td style="text-align: center;"><u>K1</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>K2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>K3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td style="text-align: center;"><u>R1</u></td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R4</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;"><u>Z1</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z4</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;"><u>S</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	換算距離	(表 2.2)	項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考	機 械	<u>K1</u>	—	<u>K2</u>	—	<u>K3</u>	—	労 務	<u>R1</u>	普通作業員	<u>R2</u>	—	<u>R3</u>	—	<u>R4</u>	—	材 料	<u>Z1</u>	—	<u>Z2</u>	—	<u>Z3</u>	—	<u>Z4</u>	—	市場単価	<u>S</u>	—	<p>表、字句の削除</p>
換算距離																																			
(表 2.2)																																			
項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考																																	
機 械	<u>K1</u>	—																																	
	<u>K2</u>	—																																	
	<u>K3</u>	—																																	
労 務	<u>R1</u>	普通作業員																																	
	<u>R2</u>	—																																	
	<u>R3</u>	—																																	
	<u>R4</u>	—																																	
材 料	<u>Z1</u>	—																																	
	<u>Z2</u>	—																																	
	<u>Z3</u>	—																																	
	<u>Z4</u>	—																																	
市場単価	<u>S</u>	—																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																	
<p><u>[削除]</u></p>	<p>2-3 人肩運搬（積み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 2.6 人肩運搬（積み～運搬～取卸し）積ブロック類 積算条件区分一覧（積算単位：㎡）</p> <table border="1" data-bbox="1433 367 2585 436"> <thead> <tr> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表 2.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされた積ブロック類（控 35 cm）の積み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモック代等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</p> <p>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</p> $L = H + h \times 6$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表 2.7 人肩運搬（積み～運搬～取卸し）積ブロック類 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1433 869 2585 1310"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>＝</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>＝</td> </tr> </tbody> </table>	換算距離	(表 2.2)	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	＝	K2	＝	K3	＝	労 務	R1	普通作業員	R2	＝	R3	＝	R4	＝	材 料	Z1	＝	Z2	＝	Z3	＝	Z4	＝	市場単価	S	＝	<p>表、字句の削除</p>
換算距離																																			
(表 2.2)																																			
項 目	代表機労材規格	備 考																																	
機 械	K1	＝																																	
	K2	＝																																	
	K3	＝																																	
労 務	R1	普通作業員																																	
	R2	＝																																	
	R3	＝																																	
	R4	＝																																	
材 料	Z1	＝																																	
	Z2	＝																																	
	Z3	＝																																	
	Z4	＝																																	
市場単価	S	＝																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																						
<p><u>[削除]</u></p>	<p>2-4 人肩運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.8 人肩運搬（運搬～取卸し） 積算条件区分一覧 （積算単位：m³）</p> <table border="1" data-bbox="1430 367 2585 537"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>掘削（床掘り）の有無</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土 砂</td> <td>無し</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、人力掘削（床掘り）から人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積み込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 6$ $L : \text{換算距離 (m)}$ $H : \text{水平距離 (m)}$ $h : \text{高低差 (m)}$</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.9 人肩運搬（運搬～取卸し） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1430 972 2585 1409"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土 質	掘削（床掘り）の有無	換算距離	土 砂	無し	(表 2.2)	有り	岩塊・玉石	無し	有り	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	—		R3	—		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>表、字句の削除</p>
土 質	掘削（床掘り）の有無	換算距離																																																						
土 砂	無し	(表 2.2)																																																						
	有り																																																							
岩塊・玉石	無し																																																							
	有り																																																							
項 目	代表機労材規格		備 考																																																					
機 械	K1	—																																																						
	K2	—																																																						
	K3	—																																																						
労 務	R1	普通作業員																																																						
	R2	—																																																						
	R3	—																																																						
	R4	—																																																						
材 料	Z1	—																																																						
	Z2	—																																																						
	Z3	—																																																						
	Z4	—																																																						
市場単価	S	—																																																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																					
<p>3-1 人力運搬（積込み～運搬～取卸し）_____</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 人力運搬（積込み～運搬～取卸し）_____ 積算条件区分一覧（積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="text-align: center;">換算距離</td> </tr> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされた土砂等の積込み～人力運搬～取卸しの一連作業の他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) _____ _____地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。<u>また、複数個所で積込み（または取卸し）をする場合は、その中心を起点（または終点）として水平距離を算出する。</u></p> $L = H + h \times 8$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p style="text-align: center;">表 3.2 換算距離</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">積算条件</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">換算距離</td> <td style="text-align: center;">20m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">40m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">80m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">120m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">140m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">160m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">200m以下</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.3 人力運搬（積込み～運搬～取卸し）_____ 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">代表機労材規格</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>		換算距離		(表 3.2)	積算条件	区 分	換算距離	20m以下	40m以下	60m以下	80m以下	100m以下	120m以下	140m以下	160m以下	180m以下	200m以下	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>2-5 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.10 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石 積算条件区分一覧（積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">土 質</td> <td style="text-align: center;">換算距離</td> </tr> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">土 砂</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">栗石・クラッシュラン</td> </tr> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされた土砂等の積込み～小車運搬～取卸しの一連作業の他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) <u>運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</u> <u>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</u> _____</p> $L = H + h \times 8$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p style="text-align: center;">[追加]</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.11 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">代表機労材規格</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	土 質	換算距離	土 砂	(表 2.2)	岩塊・玉石	栗石・クラッシュラン	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>字句の削除及び改正</p> <p>表内、字句の削除及び改正</p> <p>字句の追加及び改正 字句の削除 字句の削除及び追加</p> <p>表の追加</p> <p>字句の削除及び改正</p>
	換算距離																																																																																						
	(表 3.2)																																																																																						
積算条件	区 分																																																																																						
換算距離	20m以下																																																																																						
	40m以下																																																																																						
	60m以下																																																																																						
	80m以下																																																																																						
	100m以下																																																																																						
	120m以下																																																																																						
	140m以下																																																																																						
	160m以下																																																																																						
	180m以下																																																																																						
	200m以下																																																																																						
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																					
機 械	K1	—																																																																																					
	K2	—																																																																																					
	K3	—																																																																																					
労 務	R1	普通作業員																																																																																					
	R2	—																																																																																					
	R3	—																																																																																					
	R4	—																																																																																					
材 料	Z1	—																																																																																					
	Z2	—																																																																																					
	Z3	—																																																																																					
	Z4	—																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																					
土 質	換算距離																																																																																						
土 砂	(表 2.2)																																																																																						
岩塊・玉石																																																																																							
栗石・クラッシュラン																																																																																							
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																					
機 械	K1	—																																																																																					
	K2	—																																																																																					
	K3	—																																																																																					
労 務	R1	普通作業員																																																																																					
	R2	—																																																																																					
	R3	—																																																																																					
	R4	—																																																																																					
材 料	Z1	—																																																																																					
	Z2	—																																																																																					
	Z3	—																																																																																					
	Z4	—																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																					

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																	
<p><u>[削除]</u></p>	<p>2-6 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.12 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等 積算条件区分一覧 （積算単位：t）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の積込み～小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</p> <p>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</p> $L = H + h \times 8$ <p style="margin-left: 20px;">L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.13 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">代 表 機 労 材 規 格</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td style="text-align: center;"><u>K1</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>K2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>K3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td style="text-align: center;"><u>R1</u></td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>R4</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;"><u>Z1</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z2</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z3</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>Z4</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;"><u>S</u></td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	換算距離	(表 2.2)	項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考	機 械	<u>K1</u>	—	<u>K2</u>	—	<u>K3</u>	—	労 務	<u>R1</u>	普通作業員	<u>R2</u>	—	<u>R3</u>	—	<u>R4</u>	—	材 料	<u>Z1</u>	—	<u>Z2</u>	—	<u>Z3</u>	—	<u>Z4</u>	—	市場単価	<u>S</u>	—	<p>表、字句の削除</p>
換算距離																																			
(表 2.2)																																			
項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考																																	
機 械	<u>K1</u>	—																																	
	<u>K2</u>	—																																	
	<u>K3</u>	—																																	
労 務	<u>R1</u>	普通作業員																																	
	<u>R2</u>	—																																	
	<u>R3</u>	—																																	
	<u>R4</u>	—																																	
材 料	<u>Z1</u>	—																																	
	<u>Z2</u>	—																																	
	<u>Z3</u>	—																																	
	<u>Z4</u>	—																																	
市場単価	<u>S</u>	—																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																														
<p><u>[削除]</u></p>	<p>2-7 小車運搬（積み込み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 2.14 小車運搬（積み込み～運搬～取卸し）積ブロック類 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" data-bbox="1430 367 2585 436"> <thead> <tr> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表 2.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、仮置きされた積ブロック類（控 35 cm）の積み込み～小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 運搬距離とは、積み込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</p> <p>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</p> $L = H + h \times 8$ <p>L：換算距離 (m) H：水平距離 (m) h：高低差 (m)</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表 2.15 小車運搬（積み込み～運搬～取卸し）積ブロック類 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="1430 869 2585 1310"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代 表 機 労 材 規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>＝</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	換算距離	(表 2.2)	項 目	代 表 機 労 材 規 格		備 考	機 械	K1	＝		K2	＝		K3	＝		労 務	R1	普通作業員		R2	＝		R3	＝		R4	＝		材 料	Z1	＝		Z2	＝		Z3	＝		Z4	＝		市場単価	S	＝		<p>表、字句の削除</p>
換算距離																																																
(表 2.2)																																																
項 目	代 表 機 労 材 規 格		備 考																																													
機 械	K1	＝																																														
	K2	＝																																														
	K3	＝																																														
労 務	R1	普通作業員																																														
	R2	＝																																														
	R3	＝																																														
	R4	＝																																														
材 料	Z1	＝																																														
	Z2	＝																																														
	Z3	＝																																														
	Z4	＝																																														
市場単価	S	＝																																														

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																						
<p>3-2 人力運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 人力運搬（運搬～取卸し）積算条件区分一覧 （積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;"></th> <th style="width: 33%;"></th> <th style="width: 33%; text-align: center;">換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、人力掘削（床掘り）から人力運搬～取卸しの一連作業の他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) <u>地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。また、複数個所で積込み（または取卸し）をする場合は、その中心を起点（または終点）として水平距離を算出する。</u></p> $L = H + h \times 8$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.5 人力運搬（運搬～取卸し） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項 目</th> <th style="width: 70%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>			換算距離	—	—	(表 3.2)	—	—	—	—	—	—	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>2-8 小車運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.16 小車運搬（運搬～取卸し）積算条件区分一覧 （積算単位：m³）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;"></th> <th style="width: 33%; text-align: center;">掘削（床掘り）の有無</th> <th style="width: 33%; text-align: center;">換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">土 質</td> <td style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">土 砂</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">岩塊・玉石</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、人力掘削（床掘り）から小車運搬～取卸しの一連作業の他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注3) <u>運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。</u> <u>なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。</u></p> $L = H + h \times 8$ <p>L：換算距離（m） H：水平距離（m） h：高低差（m）</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.17 小車運搬（運搬～取卸し） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項 目</th> <th style="width: 70%;">代表機労材規格</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		掘削（床掘り）の有無	換算距離	土 質	無し	(表 2.2)	土 砂	有り	岩塊・玉石	無し	岩塊・玉石	有り	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>字句、番号の改正</p> <p>表内、字句の削除及び改正</p> <p>字句の追加及び改正</p> <p>字句の削除、追加</p> <p>字句、番号の改正</p>
		換算距離																																																																																						
—	—	(表 3.2)																																																																																						
—	—																																																																																							
—	—																																																																																							
—	—																																																																																							
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																						
	K2	—																																																																																						
	K3	—																																																																																						
労 務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材 料	Z1	—																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
	掘削（床掘り）の有無	換算距離																																																																																						
土 質	無し	(表 2.2)																																																																																						
土 砂	有り																																																																																							
岩塊・玉石	無し																																																																																							
岩塊・玉石	有り																																																																																							
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																						
	K2	—																																																																																						
	K3	—																																																																																						
労 務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材 料	Z1	—																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>C～5000 殻運搬</p> <p>1 適用範囲 本資料は、構造物撤去工における殻運搬に適用する。なお、ブロック施工による旧橋の撤去については、別途旧橋撤去工による。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>(1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合</p> <p>(2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(3) バックホウを用いて行う平均施工幅 1m未満の舗装版破碎（舗装厚 5cm以内）により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(5) 現場内で発生した殻（鉄筋・無筋）「C～5100 コンクリート 2次製品撤去工（廃棄）」の運搬の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>(3) 運搬距離が 60 kmを超える場合</p> <p><u>(4) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</u></p>	<p>C～5000 殻運搬</p> <p>1 適用範囲 本資料は、構造物撤去工における殻運搬に適用する。なお、ブロック施工による旧橋の撤去については、別途旧橋撤去工による。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>(1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合</p> <p>(2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(3) バックホウを用いて行う平均施工幅 1m未満の舗装版破碎（舗装厚 5cm以内）により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合</p> <p>(5) 現場内で発生した殻（鉄筋・無筋）「C～5100 コンクリート 2次製品撤去工（廃棄）」の運搬の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>(3) 運搬距離が 60 kmを超える場合</p>	<p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																																																												
<p>2 施工パッケージ</p> <p>2-1 殻運搬</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="25">コンクリート (無筋)</td><td rowspan="25">機械積込</td><td rowspan="12">無し</td><td>1.6 km以下</td></tr> <tr><td>3.3 km以下</td></tr> <tr><td>5.7 km以下</td></tr> <tr><td>8.0 km以下</td></tr> <tr><td>10.9 km以下</td></tr> <tr><td>14.4 km以下</td></tr> <tr><td>18.5 km以下</td></tr> <tr><td>23.2 km以下</td></tr> <tr><td>28.4 km以下</td></tr> <tr><td>34.3 km以下</td></tr> <tr><td>41.3 km以下</td></tr> <tr><td>49.4 km以下</td></tr> <tr><td>58.8 km以下</td></tr> <tr><td>60.0 km以下</td></tr> <tr><td rowspan="13">有り</td><td>1.6 km以下</td></tr> <tr><td>3.3 km以下</td></tr> <tr><td>5.7 km以下</td></tr> <tr><td>8.0 km以下</td></tr> <tr><td>10.9 km以下</td></tr> <tr><td>14.4 km以下</td></tr> <tr><td>18.5 km以下</td></tr> <tr><td>23.2 km以下</td></tr> <tr><td>28.4 km以下</td></tr> <tr><td>34.3 km以下</td></tr> <tr><td>41.3 km以下</td></tr> <tr><td>49.4 km以下</td></tr> <tr><td>58.8 km以下</td></tr> <tr><td>60.0 km以下</td></tr> </tbody> </table>				殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋)	機械積込	無し	1.6 km以下	3.3 km以下	5.7 km以下	8.0 km以下	10.9 km以下	14.4 km以下	18.5 km以下	23.2 km以下	28.4 km以下	34.3 km以下	41.3 km以下	49.4 km以下	58.8 km以下	60.0 km以下	有り	1.6 km以下	3.3 km以下	5.7 km以下	8.0 km以下	10.9 km以下	14.4 km以下	18.5 km以下	23.2 km以下	28.4 km以下	34.3 km以下	41.3 km以下	49.4 km以下	58.8 km以下	60.0 km以下	<p>2 施工パッケージ</p> <p>2-1 殻運搬</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="32">コンクリート (無筋・鉄筋)</td><td rowspan="32">機械積込</td><td rowspan="16">無し</td><td>0.3 km以下</td></tr> <tr><td>0.5 km以下</td></tr> <tr><td>1.0 km以下</td></tr> <tr><td>1.5 km以下</td></tr> <tr><td>2.0 km以下</td></tr> <tr><td>3.0 km以下</td></tr> <tr><td>4.0 km以下</td></tr> <tr><td>5.5 km以下</td></tr> <tr><td>6.5 km以下</td></tr> <tr><td>7.5 km以下</td></tr> <tr><td>9.5 km以下</td></tr> <tr><td>11.5 km以下</td></tr> <tr><td>15.5 km以下</td></tr> <tr><td>22.5 km以下</td></tr> <tr><td>49.5 km以下</td></tr> <tr><td>60.0 km以下</td></tr> <tr><td rowspan="16">有り</td><td>0.3 km以下</td></tr> <tr><td>0.5 km以下</td></tr> <tr><td>1.0 km以下</td></tr> <tr><td>1.5 km以下</td></tr> <tr><td>2.0 km以下</td></tr> <tr><td>3.0 km以下</td></tr> <tr><td>3.5 km以下</td></tr> <tr><td>5.0 km以下</td></tr> <tr><td>6.0 km以下</td></tr> <tr><td>7.0 km以下</td></tr> <tr><td>8.5 km以下</td></tr> <tr><td>11.0 km以下</td></tr> <tr><td>14.0 km以下</td></tr> <tr><td>19.5 km以下</td></tr> <tr><td>31.5 km以下</td></tr> <tr><td>60.0 km以下</td></tr> </tbody> </table>				殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋・鉄筋)	機械積込	無し	0.3 km以下	0.5 km以下	1.0 km以下	1.5 km以下	2.0 km以下	3.0 km以下	4.0 km以下	5.5 km以下	6.5 km以下	7.5 km以下	9.5 km以下	11.5 km以下	15.5 km以下	22.5 km以下	49.5 km以下	60.0 km以下	有り	0.3 km以下	0.5 km以下	1.0 km以下	1.5 km以下	2.0 km以下	3.0 km以下	3.5 km以下	5.0 km以下	6.0 km以下	7.0 km以下	8.5 km以下	11.0 km以下	14.0 km以下	19.5 km以下	31.5 km以下	60.0 km以下	<p>表内、字句の削除及び改正</p>
殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																																																	
コンクリート (無筋)	機械積込	無し	1.6 km以下																																																																																	
			3.3 km以下																																																																																	
			5.7 km以下																																																																																	
			8.0 km以下																																																																																	
			10.9 km以下																																																																																	
			14.4 km以下																																																																																	
			18.5 km以下																																																																																	
			23.2 km以下																																																																																	
			28.4 km以下																																																																																	
			34.3 km以下																																																																																	
			41.3 km以下																																																																																	
			49.4 km以下																																																																																	
		58.8 km以下																																																																																		
		60.0 km以下																																																																																		
		有り	1.6 km以下																																																																																	
			3.3 km以下																																																																																	
			5.7 km以下																																																																																	
			8.0 km以下																																																																																	
			10.9 km以下																																																																																	
			14.4 km以下																																																																																	
			18.5 km以下																																																																																	
			23.2 km以下																																																																																	
			28.4 km以下																																																																																	
			34.3 km以下																																																																																	
			41.3 km以下																																																																																	
49.4 km以下																																																																																				
58.8 km以下																																																																																				
60.0 km以下																																																																																				
殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																																																	
コンクリート (無筋・鉄筋)	機械積込	無し	0.3 km以下																																																																																	
			0.5 km以下																																																																																	
			1.0 km以下																																																																																	
			1.5 km以下																																																																																	
			2.0 km以下																																																																																	
			3.0 km以下																																																																																	
			4.0 km以下																																																																																	
			5.5 km以下																																																																																	
			6.5 km以下																																																																																	
			7.5 km以下																																																																																	
			9.5 km以下																																																																																	
			11.5 km以下																																																																																	
			15.5 km以下																																																																																	
			22.5 km以下																																																																																	
			49.5 km以下																																																																																	
			60.0 km以下																																																																																	
		有り	0.3 km以下																																																																																	
			0.5 km以下																																																																																	
			1.0 km以下																																																																																	
			1.5 km以下																																																																																	
			2.0 km以下																																																																																	
			3.0 km以下																																																																																	
			3.5 km以下																																																																																	
			5.0 km以下																																																																																	
			6.0 km以下																																																																																	
			7.0 km以下																																																																																	
			8.5 km以下																																																																																	
			11.0 km以下																																																																																	
			14.0 km以下																																																																																	
			19.5 km以下																																																																																	
			31.5 km以下																																																																																	
			60.0 km以下																																																																																	

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考
発生作業 コンクリート (鉄筋) 構造物とりこわし	積込工法区分	無し	1.6 km以下	発生作業	積込工法区分	無し	0.3 km以下	表内、字句の改正
			3.3 km以下				0.5 km以下	
			5.7 km以下				1.5 km以下	
			8.0 km以下				2.0 km以下	
			10.9 km以下				2.5 km以下	
			14.4 km以下				3.0 km以下	
			18.5 km以下				4.0 km以下	
			23.2 km以下				5.0 km以下	
			28.4 km以下				6.5 km以下	
			34.3 km以下				8.5 km以下	
			41.3 km以下				11.0 km以下	
			49.4 km以下				16.0 km以下	
			58.8 km以下				27.5 km以下	
			60.0 km以下				60.0 km以下	
		有り	1.6 km以下	発生作業	積込工法区分	有り	0.3 km以下	
			3.3 km以下				0.5 km以下	
			5.7 km以下				1.0 km以下	
			8.0 km以下				1.5 km以下	
			10.9 km以下				2.0 km以下	
			14.4 km以下				2.5 km以下	
			18.5 km以下				3.5 km以下	
			23.2 km以下				4.5 km以下	
			28.4 km以下				6.0 km以下	
			34.3 km以下				8.0 km以下	
			41.3 km以下				10.5 km以下	
			49.4 km以下				14.5 km以下	
			58.8 km以下				23.0 km以下	
			60.0 km以下				60.0 km以下	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行				備 考
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>【省略】</p>	<p>舗装版破碎</p>	<p>人力積込</p>	<p>無し</p>	<p>運搬距離</p>	<p>表の削除</p>
				<p><u>0.3 km以下</u></p>	
				<p><u>0.5 km以下</u></p>	
				<p><u>1.5 km以下</u></p>	
				<p><u>2.0 km以下</u></p>	
				<p><u>2.5 km以下</u></p>	
				<p><u>3.0 km以下</u></p>	
				<p><u>4.0 km以下</u></p>	
				<p><u>5.0 km以下</u></p>	
				<p><u>6.5 km以下</u></p>	
				<p><u>8.5 km以下</u></p>	
				<p><u>11.0 km以下</u></p>	
				<p><u>16.0 km以下</u></p>	
				<p><u>27.5 km以下</u></p>	
			<p><u>60.0 km以下</u></p>		
			<p>有り</p>	<p><u>0.3 km以下</u></p>	
				<p><u>0.5 km以下</u></p>	
				<p><u>1.0 km以下</u></p>	
				<p><u>1.5 km以下</u></p>	
				<p><u>2.0 km以下</u></p>	
				<p><u>2.5 km以下</u></p>	
				<p><u>3.5 km以下</u></p>	
				<p><u>4.5 km以下</u></p>	
				<p><u>6.0 km以下</u></p>	
				<p><u>8.0 km以下</u></p>	
				<p><u>10.5 km以下</u></p>	
				<p><u>14.5 km以下</u></p>	
				<p><u>23.0 km以下</u></p>	
<p><u>60.0 km以下</u></p>					
<p>【省略】</p>	<p>【省略】</p>				

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考	
吹付法面とりこわし (モルタル)	機械積込	無し	0.5 km以下	吹付法面とりこわし (モルタル)	機械積込	無し	0.5 km以下	字句の追加	
			1.0 km以下				0.5 km以下		
			1.5 km以下				1.0 km以下		
			2.0 km以下				1.5 km以下		
			2.5 km以下				2.0 km以下		
			3.5 km以下				2.5 km以下		
			4.5 km以下				3.5 km以下		
			6.0 km以下				4.5 km以下		
			7.0 km以下				6.0 km以下		
			8.5 km以下				7.0 km以下		
			9.0 km以下				8.5 km以下		
			10.5 km以下				9.0 km以下		
			13.5 km以下				10.5 km以下		
			18.0 km以下				13.5 km以下		
		27.5 km以下	18.0 km以下						
		60.0 km以下	27.5 km以下						
				有り	0.5 km以下		有り		0.5 km以下
		1.0 km以下	1.0 km以下						
		1.5 km以下	1.5 km以下						
		2.0 km以下	2.0 km以下						
		2.5 km以下	2.5 km以下						
		3.5 km以下	3.5 km以下						
		4.0 km以下	4.0 km以下						
		5.0 km以下	5.0 km以下						
		6.0 km以下	6.0 km以下						
		7.0 km以下	7.0 km以下						
		8.0 km以下	8.0 km以下						
		9.0 km以下	9.0 km以下						
12.0 km以下	12.0 km以下								
16.0 km以下	16.0 km以下								
23.0 km以下	23.0 km以下								
43.0 km以下	43.0 km以下								
60.0 km以下	60.0 km以下								
(注1) 上表は、既設構造物等のとりこわし、舗装版の破砕によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻、 <u>モルタルの吹付法面のとりこわしによって発生した殻</u> の運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお、積込作業は含まない。				(注1) 上表は、既設構造物等のとりこわし、舗装版の破砕によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻、 <u>モルタルの吹付法面のとりこわしによって発生した殻</u> の運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお、積込作業は含まない。					
(注2) 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に係る費用を含む。				(注2) 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に係る費用を含む。					
(注3) タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。				(注3) タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。					
(注4) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。				(注4) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。					
(注5) 有料道路を利用する場合には、別途考慮する。				(注5) 有料道路を利用する場合には、別途考慮する。					
(注6) DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。				(注6) DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。					
(注7) 運搬距離が60 kmを超える場合は、別途考慮する。				(注7) 運搬距離が60 kmを超える場合は、別途考慮する。					
(注8) 設計数量は、構造物をとりこわす前の体積とする。				(注8) 設計数量は、構造物をとりこわす前の体積とする。					

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																																																					
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 2.2 殻運搬 代表機労材規格一覧			(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 2.2 殻運搬 代表機労材規格一覧			字句の削除																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級</td> <td>・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・積込工法区分が <u> </u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級</td> <td>・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>運転手（一般）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2 号 パトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級		・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込工法区分が <u> </u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合	K2	—		K3	—		労 務	R1	運転手（一般）	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	軽油 1.2 号 パトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級</td> <td>・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・積込工法区分が <u>人力積込及び</u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級</td> <td>・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>運転手（一般）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2 号 パトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込工法区分が <u>人力積込及び</u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合	K2	—		K3	—		労 務	R1	運転手（一般）	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	軽油 1.2 号 パトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																									
機 械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																									
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込工法区分が <u> </u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																									
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合																																																																									
K2	—																																																																										
K3	—																																																																										
労 務	R1	運転手（一般）																																																																									
	R2	—																																																																									
	R3	—																																																																									
	R4	—																																																																									
材 料	Z1	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																									
	Z2	—																																																																									
	Z3	—																																																																									
	Z4	—																																																																									
市場単価	S	—																																																																									
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																									
機 械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																									
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込工法区分が <u>人力積込及び</u> 機械積込（小規模土工）の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費（良好）を含む																																																																									
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し（モルタル）の場合																																																																									
K2	—																																																																										
K3	—																																																																										
労 務	R1	運転手（一般）																																																																									
	R2	—																																																																									
	R3	—																																																																									
	R4	—																																																																									
材 料	Z1	軽油 1.2 号 パトロール給油																																																																									
	Z2	—																																																																									
	Z3	—																																																																									
	Z4	—																																																																									
市場単価	S	—																																																																									
【省略】			【省略】																																																																								

新 旧 对 照 表

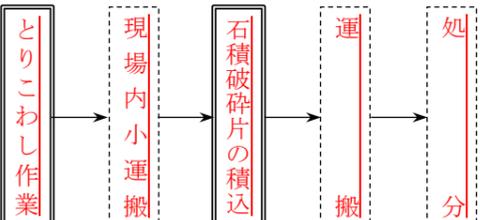
改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用

D コンクリート工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">D コンクリート工</p> <p>D～2020 構造物とりこわし工（コンクリートはつり工）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、河川、海岸、砂防、道路工事の石積とりこわし及び既設コンクリート構造物のはつり作業及びとりこわしコンクリート殻積込に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <hr/> <p>1-1-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 平均はつり厚が6 cm以下の場合</p> <p>1-1-2 積込み(コンクリート殻)</p> <p>(1) コンクリートはつりにより生じた破砕片の積込み</p> <hr/> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p><u>1-2-1 石積とりこわし</u></p> <p><u>(1) 石積のとりこわしの場合</u></p> <p>1-2-2 コンクリートはつり</p> <p>(1) 沓座拡幅工等のように、はつり（チップング）作業が含まれている場合</p> <p>(2) 建築物及び舗装版のとりこわしの場合</p> <p>(3) ブロック施工による旧橋の撤去の場合</p> <p>(4) 平均はつり厚が6 cmを超える場合</p> <p>(5) 橋梁補修工、道路維持修繕工等で標準歩掛が設定されている工種の場合</p> <p>(6) 上方、水平方向に対するはつり作業の場合</p> <p>1-2-3 積込（コンクリート殻）</p> <p>(1) 代表機械より小型の機械を使用する場合</p> <p>2 施工概要</p> <hr/> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <hr/> <p>2-1 コンクリートはつり</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">D コンクリート工</p> <p>D～2020 構造物とりこわし工（コンクリートはつり工）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、河川、海岸、砂防、道路工事の石積とりこわし及び既設コンクリート構造物のはつり作業及びとりこわしコンクリート殻積込に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p><u>1-1-1 石積とりこわし（人力）</u></p> <p><u>(1) 人力による石積のとりこわしの場合</u></p> <p>1-1-2 コンクリートはつり</p> <p>(1) 平均はつり厚が6 cm以下の場合</p> <p>1-1-3 積込み(コンクリート殻)</p> <p>(1) コンクリートはつりにより生じた破砕片の積込み</p> <p><u>(2) 石積破砕片の積込み</u></p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <hr/> <p>1-2-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 沓座拡幅工等のように、はつり（チップング）作業が含まれている場合</p> <p>(2) 建築物及び舗装版のとりこわしの場合</p> <p>(3) ブロック施工による旧橋の撤去の場合</p> <p>(4) 平均はつり厚が6 cmを超える場合</p> <p>(5) 橋梁補修工、道路維持修繕工等で標準歩掛が設定されている工種の場合</p> <p>(6) 上方、水平方向に対するはつり作業の場合</p> <p>1-2-2 積込（コンクリート殻）</p> <p>(1) 代表機械より小型の機械を使用する場合</p> <p>2 施工概要</p> <p><u>2-1 石積とりこわし（人力）</u></p> <p><u>施工フローは、下記を標準とする。</u></p>  <p><u>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</u></p> <p>2-2 コンクリートはつり</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の削除</p> <p>”</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加</p> <p>”</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>字句の削除</p> <p>”</p> <p>フロー図の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>番号の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																										
<p>3 施工パッケージ</p> <p style="text-align: center;"><u>〔削除〕</u></p> <p>3-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 コンクリートはつり 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">平均はつり厚</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3 cm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3 cmを超え 6 cm以下</td></tr> </table> <p>(注1) 上表は、既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、コンクリートブレーカの賃料、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) コンクリート殻の運搬車への積込み、運搬は含まない。</p>	平均はつり厚	3 cm以下	3 cmを超え 6 cm以下	<p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 石積とりこわし（人力）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 石積とりこわし（人力） 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">形 状</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">練積 控え 35 cm以上 45 cm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">空積 控え 45 cm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">空積 控え 45 cm以上 60 cm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">空積 控え 60 cm以上 90 cm未満</td></tr> </table> <p>(注1) 上表は、人力による石積とりこわし作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 石積破砕片の積込み、運搬及び人力運搬車等による現場内小運搬を必要とする場合は別途計上する。</p> <p>(注3) 施工数量は、石積とりこわし前の面積とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3.2 石積とりこわし（人力） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">代 表 機 労 材 規 格</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 コンクリートはつり</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.3 コンクリートはつり 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">平均はつり厚</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3 cm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3 cmを超え 6 cm以下</td></tr> </table> <p>(注1) 上表は、既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、コンクリートブレーカの賃料、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) コンクリート殻の運搬車への積込み、運搬は含まない。</p>	形 状	練積 控え 35 cm以上 45 cm未満	空積 控え 45 cm未満	空積 控え 45 cm以上 60 cm未満	空積 控え 60 cm以上 90 cm未満	項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	特殊作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	平均はつり厚	3 cm以下	3 cmを超え 6 cm以下	<p>表、字句の削除</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
平均はつり厚																																												
3 cm以下																																												
3 cmを超え 6 cm以下																																												
形 状																																												
練積 控え 35 cm以上 45 cm未満																																												
空積 控え 45 cm未満																																												
空積 控え 45 cm以上 60 cm未満																																												
空積 控え 60 cm以上 90 cm未満																																												
項 目	代 表 機 労 材 規 格	備 考																																										
機 械	K1	—																																										
	K2	—																																										
	K3	—																																										
労 務	R1	特殊作業員																																										
	R2	—																																										
	R3	—																																										
	R4	—																																										
材 料	Z1	—																																										
	Z2	—																																										
	Z3	—																																										
	Z4	—																																										
市場単価	S	—																																										
平均はつり厚																																												
3 cm以下																																												
3 cmを超え 6 cm以下																																												

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																																																																				
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.2 コンクリートはつり 代表機労材規格一覧			(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.4 コンクリートはつり 代表機労材規格一覧			番号の改正																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械		K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m ³ /min	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m³/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m ³ /min	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m ³ /min	賃料																																																																																							
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	特殊作業員																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	土木一般世話役																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0 m ³ /min	賃料																																																																																							
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	特殊作業員																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	土木一般世話役																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
3-2 積込み (コンクリート殻) (1) 条件区分 積込み (コンクリート殻) の積算条件区分はない。 積算単位は、m ³ とする。 (注1) 構造物とりこわして生じたとりこわし殻等の積込費用等、その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 (注2) 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 (注3) 表 3.5 の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 (注4) 殻運搬については、「C~5000 殻運搬」により、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.3 積込 (コンクリート殻) 代表機労材規格一覧			3-3 積込み (コンクリート殻) (1) 条件区分 積込み (コンクリート殻) の積算条件区分はない。 積算単位は、m ³ とする。 (注1) 構造物とりこわして生じたとりこわし殻等の積込費用等、その施工に必要な機械・労務・材料を含む。 (注2) 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。 (注3) 表 3.5 の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。 (注4) 殻運搬については、「C~5000 殻運搬」により、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.5 積込 (コンクリート殻) 代表機労材規格一覧			番号の改正																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械		K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	—		R4	—		材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	—		R4	—		材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	運転手 (特殊)																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	運転手 (特殊)																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								

改 正	現 行	備 考																																		
<p>D～2030 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 削孔機械における適用削孔径及び削孔深が表 1.1 及び図 1-1 に該当する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表 1.1 削孔機械別適用範囲</caption> <thead> <tr> <th>削孔機械</th> <th>削孔径</th> <th>削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動ハンマドリル</td> <td>10 mm以上 30 mm未満</td> <td>30 mm以上 400 mm以下</td> </tr> <tr> <td>さく岩機（ハンドドリル）</td> <td>30 mm以上 60 mm未満</td> <td>100 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）</td> <td>60 mm以上 100 mm未満</td> <td>50 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> <tr> <td>100 mm以上 200 mm以下</td> <td>50 mm以上 400 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">図 1-1 削孔機械の選定</p> <p>1-2 適用できない範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル 40 mm）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表 3.1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u> </u>） 積算条件区分一覧 （積算単位：孔）</caption> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 mm以上 200 mm未満</td> </tr> <tr> <td>200 mm以上 400 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 電動ハンマドリル <u> </u> によるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (注2) 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 (注3) 足場が必要な場合は、別途計上する。 (注4) 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p>	削孔機械	削孔径	削孔深	電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm以下	さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1,100 mm以下	コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1,100 mm以下	100 mm以上 200 mm以下	50 mm以上 400 mm以下	削孔深さ	30 mm以上 200 mm未満	200 mm以上 400 mm以下	<p>D～2030 コンクリート削孔工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 削孔機械における適用削孔径及び削孔深が表 1.1 及び図 1-1 に該当する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表 1.1 削孔機械別適用範囲</caption> <thead> <tr> <th>削孔機械</th> <th>削孔径</th> <th>削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動ハンマドリル</td> <td>10 mm以上 30 mm未満</td> <td>30 mm以上 400 mm以下</td> </tr> <tr> <td>さく岩機（ハンドドリル）</td> <td>30 mm以上 60 mm未満</td> <td>100 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）</td> <td>60 mm以上 100 mm未満</td> <td>50 mm以上 1,100 mm以下</td> </tr> <tr> <td>100 mm以上 200 mm以下</td> <td>50 mm以上 400 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">図 1-1 削孔機械の選定</p> <p>1-2 適用できない範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル 40 mm）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表 3.1 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u>40 mm</u>） 積算条件区分一覧 （積算単位：孔）</caption> <thead> <tr> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 mm以上 200 mm未満</td> </tr> <tr> <td>200 mm以上 400 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 電動ハンマドリル <u>40 mm</u> によるコンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業の他、ビットの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (注2) 不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし、不達孔の補修にかかる費用は含まないため、必要に応じて別途考慮する。 (注3) 足場が必要な場合は、別途計上する。 (注4) 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p>	削孔機械	削孔径	削孔深	電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm以下	さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1,100 mm以下	コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1,100 mm以下	100 mm以上 200 mm以下	50 mm以上 400 mm以下	削孔深さ	30 mm以上 200 mm未満	200 mm以上 400 mm以下	<p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p>
削孔機械	削孔径	削孔深																																		
電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm以下																																		
さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1,100 mm以下																																		
コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1,100 mm以下																																		
	100 mm以上 200 mm以下	50 mm以上 400 mm以下																																		
削孔深さ																																				
30 mm以上 200 mm未満																																				
200 mm以上 400 mm以下																																				
削孔機械	削孔径	削孔深																																		
電動ハンマドリル	10 mm以上 30 mm未満	30 mm以上 400 mm以下																																		
さく岩機（ハンドドリル）	30 mm以上 60 mm未満	100 mm以上 1,100 mm以下																																		
コンクリート穿孔機 （電動式コアボーリングマシン）	60 mm以上 100 mm未満	50 mm以上 1,100 mm以下																																		
	100 mm以上 200 mm以下	50 mm以上 400 mm以下																																		
削孔深さ																																				
30 mm以上 200 mm未満																																				
200 mm以上 400 mm以下																																				

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																																																																							
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.2 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u> </u> ） 代表機労材規格一覧				(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3.2 コンクリート削孔（電動ハンマドリル <u>40 mm</u> ） 代表機労材規格一覧				字句の削除 字句の追加																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th></th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u>38</u>~40 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項 目		代表機労材規格	備 考		機 械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u>38</u> ~40 mm		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th></th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u> </u>40 mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項 目		代表機労材規格	備 考	機 械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u> </u> 40 mm		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—
項 目		代表機労材規格	備 考																																																																																												
機 械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料																																																																																												
	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u>38</u> ~40 mm																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労 務	R1	特殊作業員																																																																																													
	R2	普通作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材 料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
項 目		代表機労材規格	備 考																																																																																												
機 械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料																																																																																												
	K2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u> </u> 40 mm																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労 務	R1	特殊作業員																																																																																													
	R2	普通作業員																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	—																																																																																													
材 料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																													
	Z2	—																																																																																													
	Z3	—																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
【省略】				【省略】																																																																																											

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用

I 道路工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">I 道 路 工</p> <p>I ~2300 安定処理工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、地盤改良工における安定処理に適用する。</p> <p>(1) スタビライザ混合</p> <p>現位置での路上混合作業で、混合深さ 1m まで、かつ 1 層までの混合に適用する。</p> <p>なお、1 層の混合深さが 1m を超える場合や 2 層以上混合する場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) バックホウ混合</p> <p>現場条件によりスタビライザにより施工出来ない路床改良工事のうち 1 層の混合深さが路床 1 m 以下における現位置での混合作業、又は構造物基礎の地盤改良工事で 1 層の混合深さが 2m 以下における現位置での混合作業に適用する。</p> <p>なお、固化材はセメント系のみとし、路床改良における適用可能な現場条件とは次のいずれかに該当する箇所とする。</p> <p>① 施工現場が狭隘な場合</p> <p>② 転石がある場合</p> <p>③ 移設出来ない埋設物がある場合</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">I 道 路 工</p> <p>I ~2300 安定処理工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、地盤改良工における安定処理に適用する。</p> <p>(1) スタビライザ混合</p> <p>現位置での路上混合作業で、混合深さ 1m まで、かつ 1 層までの混合に適用する。</p> <p>なお、1 層の混合深さが 1m を超える場合や 2 層以上混合する場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) バックホウ混合</p> <p>現場条件によりスタビライザにより施工出来ない路床改良工事、及び構造物基礎の地盤改良工事で、1 層の混合厚さが路床 1m 以下・構造物基礎 2m 以下における現位置での混合作業に適用する。</p> <p>なお、固化材はセメント系のみとし、路床改良における適用可能な現場条件とは次のいずれかに該当する箇所とする。</p> <p>① 施工現場が狭隘な場合</p> <p>② 転石がある場合</p> <p>③ 移設出来ない埋設物がある場合</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考				
3 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				3 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。				表内、字句の改正				
表 3.2 安定処理 代表機材規格一覧				表 3.2 安定処理 代表機材規格一覧								
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	使用機種	施工箇所	項目		代表機材規格	備考		
スタビライザ	—	機 械	K1	スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合	スタビライザ	—		機 械	K1	スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合
			K2	スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合					K2	スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合
			K3	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³) 吊能力 2.9t</u>	賃料					K3	<u>ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t 級</u>	賃料
		労 務	R1	運転手 (特殊)			労 務		R1	運転手 (特殊)		
			R2	普通作業員					R2	普通作業員		
			R3	土木一般世話役					R3	土木一般世話役		
			R4	—					R4	—		
		材 料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用 ・フレコン・1トンパック			材 料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用 ・フレコン・1トンパック			
			Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			
			Z3	—				Z3	—			
Z4	—				Z4	—						
市場単価	S	—			市場単価	S	—					
【省略】				【省略】								

令和3年12月21日以降 積算基準日の工事から適用

Q 海岸保全

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行
(平成29年9月25日付け事調第598号農政部長通知)の一部改正

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和3年12月21日以降	令和4年2月22日以降

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">Q 海岸保全</p> <p>Q～1200 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、根固め工における陸上からの根固めブロック撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>(1) ブロック質量が <u>8.0 t</u> 以下（実質量とする）の場合</p> <p>(2) 撤去・仮置きの場合（撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合）</p> <p>(3) 撤去・据付けの場合（既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに据え直す場合）</p> <p>(4) 撤去・積込みの場合（撤去したブロックを直接トレーラ等に積込む場合）</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(注2) <u>堆砂撤去</u>の有無にかかわらず適用できる。</p> <p><u>(注3) 連結金具撤去の有無にかかわらず適用できる。</u></p>	<p style="text-align: center;">Q 海岸保全</p> <p>Q～1200 消波根固めブロック工（ブロック撤去工） <u>(0.25 t 以上 35.5 t 以下)</u></p> <p>1 適用範囲 本資料は、根固め工における陸上からの根固めブロック撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>(1) ブロック質量が <u>0.25 t 以上 35.5 t</u> 以下（実質量とする）の場合</p> <p>(2) 撤去・仮置きの場合（撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合）</p> <p>(3) 撤去・据付けの場合（既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに据え直す場合）</p> <p>(4) 撤去・積込みの場合（撤去したブロックを直接トレーラ等に積込む場合）</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(注2) <u>撤去は連結金具</u>の撤去の有無にかかわらず適用できる。</p>	<p>字句の削除</p> <p>字句の改正</p> <p>フロー図の改正</p> <p>字句の改正 字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																		
<p>3 施工パッケージ 3-1 根固めブロック撤去 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 根固めブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">作業区分</th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">堆砂の有無</th> <th style="width: 40%;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">撤去・仮置き</td> <td>_____</td> <td>無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け (乱積)</td> <td>_____</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け (層積)</td> <td>_____</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・積込み</td> <td>_____</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)～(注2)</p> <p>【省略】</p> <p>(注3) 上表は、下記の費用を含む。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 撤去・仮置きの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・仮置きその他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (2) 撤去・据付け (乱積) の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・据付け (乱積) の他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (3) 撤去・据付け (層積) の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・据付け (層積) の他、ワイヤーロープ等、<u>レンチ、スコップ</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (4) 撤去・積込みの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・積込みその他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 <p>(注4) 堆砂の有無の「有り」は、根固めブロック上に砂が堆積している場合に適用する。</p> <p><u>(注5) 堆砂がある場合とは、土砂を撤去しなければ玉掛ができない場合のことを指す。ただし、人力以外で土砂撤去が必要な場合は、その土砂撤去分は別途考慮する。</u></p>	作業区分		堆砂の有無	クレーン機種	撤去・仮置き	_____	無し	(表 3.2)	_____	有り	_____	_____	_____	_____	撤去・据付け (乱積)	_____	無し	_____	有り	_____	_____	_____	_____	撤去・据付け (層積)	_____	無し	_____	有り	_____	_____	_____	_____	撤去・積込み	_____	無し	_____	有り	_____	_____	_____	_____	<p>3 施工パッケージ 3-1 根固めブロック撤去 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 根固めブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">作業区分</th> <th style="width: 20%;">ブロック質量</th> <th style="width: 20%;">堆砂の有無</th> <th style="width: 40%;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">撤去・仮置き</td> <td><u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td><u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td><u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>35.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け (乱積)</td> <td><u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td><u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>35.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け (層積)</td> <td><u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td><u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>35.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・積込み</td> <td><u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td><u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u></td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td><u>35.5 t 以下</u></td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1)～(注2)</p> <p>【省略】</p> <p>(注3) 上表は、下記の費用を含む。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 撤去・仮置きの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・仮置きその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (2) 撤去・据付け (乱積) の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・据付け (乱積) の他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (3) 撤去・据付け (層積) の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・据付け (層積) の他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 (4) 撤去・積込みの場合 <ul style="list-style-type: none"> ・消波根固めブロックの撤去・積込みその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 <p>(注4) 堆砂の有無の「有り」は、根固めブロック上に砂が堆積している場合に適用する。</p>	作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種	撤去・仮置き	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し	(表 3.2)	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し	<u>35.5 t 以下</u>	有り	撤去・据付け (乱積)	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し	<u>35.5 t 以下</u>	有り	撤去・据付け (層積)	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し	<u>35.5 t 以下</u>	有り	撤去・積込み	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し	<u>35.5 t 以下</u>	有り	<p>表内、字句の削除</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p>
作業区分		堆砂の有無	クレーン機種																																																																																	
撤去・仮置き	_____	無し	(表 3.2)																																																																																	
	_____	有り																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
撤去・据付け (乱積)	_____	無し																																																																																		
	_____	有り																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
撤去・据付け (層積)	_____	無し																																																																																		
	_____	有り																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
撤去・積込み	_____	無し																																																																																		
	_____	有り																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
	_____	_____																																																																																		
作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種																																																																																	
撤去・仮置き	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し	(表 3.2)																																																																																	
	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>35.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
撤去・据付け (乱積)	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>35.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
撤去・据付け (層積)	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>35.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
撤去・積込み	<u>0.25 t 以上</u> <u>6.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>6.5 t を超え</u> <u>12.5 t 以下</u>	有り																																																																																		
	<u>12.5 t を超え</u> <u>35.5 t 以下</u>	無し																																																																																		
	<u>35.5 t 以下</u>	有り																																																																																		

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考
表 3.2 クレーン機種		表 3.2 クレーン機種		表内、字句の削除
積算条件	区 分	積算条件	区 分	
クレーン機種	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊	クレーン機種	<u>ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊</u>	
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊		ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊	
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊		ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊	
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊		ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊	
			ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊	
			<u>クローラクレーン (機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35~40 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45~50 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30~35 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40~45 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t 吊</u>	
			<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60~65 t 吊</u>	
	<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</u>			
	<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</u>			
	<u>クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</u>			

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考		
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。			(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。			表内、字句の削除、追加、改正		
表 3.3 根固めブロック撤去 代表機労材規格一覧			表 3.3 根固めブロック撤去 代表機労材規格一覧					
項目	代表機労材規格	備考	項目	代表機労材規格	備考			
機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25 t 吊	賃料	機 械	K1		<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・<u>低騒音対策型</u>・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20 t 吊</u>	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 35 t 吊	賃料				ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45 t 吊	賃料				ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 50 t 吊	賃料				ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45 t 吊	賃料
							ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 50 t 吊	賃料
							<u>クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 35~40 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 45~50 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 30~35 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 40~45 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 50~55 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 60~65 t 吊</u>	
							<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊</u>	
		<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊</u>						
		<u>クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊</u>						
労 務	R1 R2 R3 R4	土木一般世話役		労 務	R1 R2 R3 R4	土木一般世話役		
		特殊作業員				特殊作業員		
		普通作業員				普通作業員		
						<u>運転手 (特殊)</u>	<u>クローラクレーンの場合</u>	
材 料	Z1 Z2 Z3 Z4			材 料	Z1 Z2 Z3 Z4	<u>軽油 1.2 号 パトロール給油</u>	<u>クローラクレーンの場合</u>	
市場単価	S		市場単価	S				
【省略】			【省略】					

工事積算基準等の運用

Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 589 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

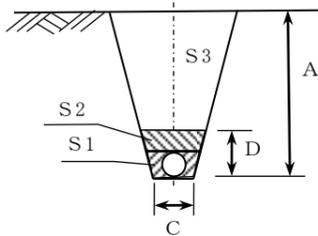
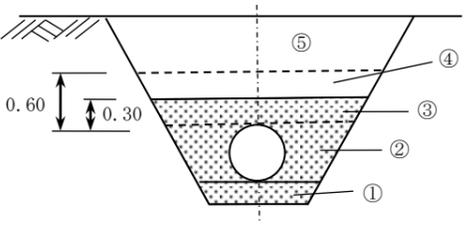
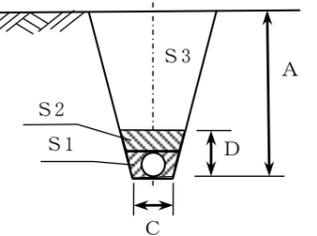
	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>2 土地改良事業等請負工事の価格積算要領の運用事項</p> <p>第3 工種区分 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>〔削除〕</u></p>	<p style="text-align: center;">Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>2 土地改良事業等請負工事の価格積算要領の運用事項</p> <p>第3 工種区分 【省略】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="color: red; text-align: center;">新技術等における管更正工法（巻き込み鋼管による PIP 工法、インシチュフォーム工法、ダンビー工法、パイプインパイプ工法、SPR 工法）の適用工種は如何に。</p> </div> <p style="color: red; text-align: center;"><u>管水路工事を適用する。</u></p>	<p style="text-align: center;">運用の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準の運用事項</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費等の積算方法</p> <p>1 共通仮設費率の算定</p> <p>【省略】</p> <p>3 積上げ計算による算定</p> <p>重建設機械の運搬費</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重建設機械の運搬費について、「重建設機械分解・組立・輸送」歩掛と貨物自動車による運搬方法の適用範囲とその内容を示されたい。</p> </div> <p>① 重建設機械分解組立運搬歩掛において適用される建設機械は、「土地改良事業等適用標準歩掛A～1100 重建設機械分解・組立・輸送」に示されているとおりである。</p> <p>② 上記適用建設機械未満（質量20t未満）の規格は共通仮設費の率に含まれており、分解費・組立費・運搬費及び、機械損料又は機械賃料を別途計上する必要はない。また、重建設機械の分解・組立及び輸送の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～50t吊）、ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～70t吊）についても同様とする。</p> <p>③ 建設機械の自走による運搬の中で、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t吊以上は、共通仮設費の率の対象外のため、積上げによるものとする。</p> <p>④ 上記「重建設機械分解・組立・輸送」の適用建設機械以上の規格又は、質量が20t以上、かつ適用建設機械に示されていない機械については、分解・組立費用と運搬車両台数は見積りにより決定し、運搬費は「土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準」の別紙「質量20t以上の建設機械の貨物自動車による運搬」で計上する。</p> <hr style="border: 0.5px solid red;"/> <p>【省略】</p>	<p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準の運用事項</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費等の積算方法</p> <p>1 共通仮設費率の算定</p> <p>【省略】</p> <p>3 積上げ計算による算定</p> <p>重建設機械の運搬費</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重建設機械の運搬費について、「重建設機械分解・組立・輸送」歩掛と貨物自動車による運搬方法の適用範囲とその内容を示されたい。</p> </div> <p>① 重建設機械分解組立運搬歩掛において適用される建設機械は、「土地改良事業等適用標準歩掛A～1100 重建設機械分解・組立・輸送」に示されているとおりである。</p> <p>② 上記適用建設機械未満（質量20t未満）の規格は共通仮設費の率に含まれており、分解費・組立費・運搬費及び、機械損料又は機械賃料を別途計上する必要はない。また、重建設機械の分解・組立及び輸送の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型20～50t吊）、ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型20～70t吊）についても同様とする。</p> <p>③ 建設機械の自走による運搬の中で、トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t吊以上は、共通仮設費の率の対象外のため、積上げによるものとする。</p> <p>④ 上記「重建設機械分解・組立・輸送」の適用建設機械以上の規格又は、質量が20t以上、かつ適用建設機械に示されていない機械については、分解・組立費用と運搬車両台数は見積りにより決定し、運搬費は「土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準」の別紙「質量20t以上の建設機械の貨物自動車による運搬」で計上する。</p> <p><u>⑤ 特大品割増の使用車両の積載t数の区分は、建設機械を分解した後の単位質量で区分する。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>字句の削除</p>

改 正			現 行			備 考
〔E 管渠工〕			〔E 管渠工〕			
管水路土工の積算について示されたい。			管水路土工の積算について示されたい。			
<p>営農用水、飲雑用水施設</p> 	用途	<p>パイプライン・畑地かんがい施設</p> 	用途	<p>パイプライン・畑地かんがい施設</p> 		
<ul style="list-style-type: none"> ・営農飲雑用水施設設計指針(案) 農政部 ・営農飲雑用水計画必携 農政部 ・水道施設設計指針 (一社)日本水道協会 	主な技術書	<ul style="list-style-type: none"> ・用排水路設計指針 農政部 ・土地改良事業計画設計基準 設計 パイプライン 農林水産省農村振興局 	主な技術書	<ul style="list-style-type: none"> ・用排水路設計指針 農政部 ・土地改良事業計画設計基準 設計 パイプライン 農林水産省農村振興局 		
耕地等において掘削及び片揚げした土砂を埋戻す場合【ケース1】			耕地等において掘削及び片揚げした土砂を埋戻す場合【ケース1】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ E～3100 営農用水管路機械掘削 <u>(ほ場部)</u> 	床掘作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～0820 作業土工(床掘工) ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3100 営農用水管路機械掘削 <u>(ほ場部)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ E～3100 営農用水管路機械掘削 _____ 	床掘作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～0820 作業土工(床掘工) ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3100 営農用水管路機械掘削 _____ 	
<p>(S1部分 基床を設ける場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	基床部埋戻し	<p>(①部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～1000 管水路基礎 	<p>(S1部分 基床を設ける場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	基床部埋戻し	<p>(①部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～1000 管水路基礎 	
<p>(S1部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	基側部埋戻し (管頂まで)	<p>(②部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～1000 管水路基礎 	<p>(S1部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	基側部埋戻し (管頂まで)	<p>(②部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～1000 管水路基礎 	
<p>(S2部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	管上埋戻し (30 cmまで)	<p>(③部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別D ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	<p>(S2部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	管上埋戻し (30 cmまで)	<p>(③部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別D ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	
<p>(S3部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	管上埋戻し (60 cmまで)	<p>(④部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	<p>(S3部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	管上埋戻し (60 cmまで)	<p>(④部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	
<p>(S3部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	機械埋戻し (現地盤まで)	<p>(⑤部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 <u>(ほ場部)</u> 	<p>(S3部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	機械埋戻し (現地盤まで)	<p>(⑤部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [パイプライン] ・ B～3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか ・ [畑地かんがい施設] ・ E～3110 営農用水管路機械埋戻 _____ 	

表内、字句の追加

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>営農用水、飲雑用水施設</th> <th>用途</th> <th>パイプライン・畑地かんがい施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】</td> </tr> <tr> <td>・(I 参考歩掛) E~3120 営農用水管路機械掘削(道路部)</td> <td>床掘作業</td> <td>・B~0820 作業土工(床掘工)</td> </tr> <tr> <td>(S1部分 基床を設ける場合) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D</td> <td>基床部埋戻し</td> <td>(①部分) ・E~1000 管水路基礎</td> </tr> <tr> <td>(S1部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D</td> <td>基側部埋戻し(管頂まで)</td> <td>(②部分) ・E~1000 管水路基礎</td> </tr> <tr> <td>(S2部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D</td> <td>管上埋戻し(30cmまで)</td> <td>(③部分) ・B~3010 埋戻種別D</td> </tr> <tr> <td>(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか</td> <td>管上埋戻し(60cmまで)</td> <td>(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか</td> </tr> <tr> <td>(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか</td> <td>機械埋戻し(現地盤まで)</td> <td>(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか</td> </tr> </tbody> </table>	営農用水、飲雑用水施設	用途	パイプライン・畑地かんがい施設	道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】			・(I 参考歩掛) E~3120 営農用水管路機械掘削(道路部)	床掘作業	・B~0820 作業土工(床掘工)	(S1部分 基床を設ける場合) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	基床部埋戻し	(①部分) ・E~1000 管水路基礎	(S1部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	基側部埋戻し(管頂まで)	(②部分) ・E~1000 管水路基礎	(S2部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	管上埋戻し(30cmまで)	(③部分) ・B~3010 埋戻種別D	(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか	管上埋戻し(60cmまで)	(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか	(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか	機械埋戻し(現地盤まで)	(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか			<table border="1"> <thead> <tr> <th>営農用水、飲雑用水施設</th> <th>用途</th> <th>パイプライン・畑地かんがい施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】</td> </tr> <tr> <td>・B~0820 作業土工(床掘工)</td> <td>床掘作業</td> <td>・B~0820 作業土工(床掘工)</td> </tr> <tr> <td>(S1部分 基床を設ける場合) ・B~3010 埋戻種別D</td> <td>基床部埋戻し</td> <td>(①部分) ・E~1000 管水路基礎</td> </tr> <tr> <td>(S1部分) ・B~3010 埋戻種別D</td> <td>基側部埋戻し(管頂まで)</td> <td>(②部分) ・E~1000 管水路基礎</td> </tr> <tr> <td>(S2部分) ・B~3010 埋戻種別D</td> <td>管上埋戻し(30cmまで)</td> <td>(③部分) ・B~3010 埋戻種別D</td> </tr> <tr> <td>(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか</td> <td>管上埋戻し(60cmまで)</td> <td>(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか</td> </tr> <tr> <td>(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか</td> <td>機械埋戻し(現地盤まで)</td> <td>(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか</td> </tr> </tbody> </table>	営農用水、飲雑用水施設	用途	パイプライン・畑地かんがい施設	道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】			・B~0820 作業土工(床掘工)	床掘作業	・B~0820 作業土工(床掘工)	(S1部分 基床を設ける場合) ・B~3010 埋戻種別D	基床部埋戻し	(①部分) ・E~1000 管水路基礎	(S1部分) ・B~3010 埋戻種別D	基側部埋戻し(管頂まで)	(②部分) ・E~1000 管水路基礎	(S2部分) ・B~3010 埋戻種別D	管上埋戻し(30cmまで)	(③部分) ・B~3010 埋戻種別D	(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか	管上埋戻し(60cmまで)	(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか	(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか	機械埋戻し(現地盤まで)	(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか	表内、字句の削除及び改正
営農用水、飲雑用水施設	用途	パイプライン・畑地かんがい施設																																																		
道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】																																																				
・(I 参考歩掛) E~3120 営農用水管路機械掘削(道路部)	床掘作業	・B~0820 作業土工(床掘工)																																																		
(S1部分 基床を設ける場合) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	基床部埋戻し	(①部分) ・E~1000 管水路基礎																																																		
(S1部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	基側部埋戻し(管頂まで)	(②部分) ・E~1000 管水路基礎																																																		
(S2部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別D	管上埋戻し(30cmまで)	(③部分) ・B~3010 埋戻種別D																																																		
(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか	管上埋戻し(60cmまで)	(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか																																																		
(S3部分) ・(I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部) 埋戻種別 B、C、Dのいずれか	機械埋戻し(現地盤まで)	(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか																																																		
営農用水、飲雑用水施設	用途	パイプライン・畑地かんがい施設																																																		
道路部分等において土砂を掘削及び埋戻す場合【ケース2】																																																				
・B~0820 作業土工(床掘工)	床掘作業	・B~0820 作業土工(床掘工)																																																		
(S1部分 基床を設ける場合) ・B~3010 埋戻種別D	基床部埋戻し	(①部分) ・E~1000 管水路基礎																																																		
(S1部分) ・B~3010 埋戻種別D	基側部埋戻し(管頂まで)	(②部分) ・E~1000 管水路基礎																																																		
(S2部分) ・B~3010 埋戻種別D	管上埋戻し(30cmまで)	(③部分) ・B~3010 埋戻種別D																																																		
(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか	管上埋戻し(60cmまで)	(④部分) ・B~3010 埋戻種別B、C、Dのいずれか																																																		
(S3部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか	機械埋戻し(現地盤まで)	(⑤部分) ・B~3010 埋戻種別A、B、C、Dのいずれか																																																		
【省略】			【省略】																																																	
E~3110 営農用水管路機械埋戻			E~3110 営農用水管路機械埋戻																																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 施工箇所が道路部分等で営農用水管路機械埋戻歩掛が適用できない場合の積算について示された。 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 施工箇所が道路部分等で営農用水管路機械埋戻歩掛が適用できない場合の積算について示された。 </div>																																																	
(1) 営農用水、飲雑用水管路 (I 参考歩掛) E~3130 営農用水管路機械埋戻(道路部)による。ただし、管上30cm(参考図S ₁ 、S ₂)までは埋戻し種別Dとする。			(1) 営農用水、飲雑用水管路 B~3010による。ただし、管上30cm(参考図S ₁ 、S ₂)までは埋戻し種別Dとする。	字句の改正																																																
(2) 畑地かんがい用水 管頂(参考図S ₁)まではE~1000とし、その上部はB~3010による。ただし、管上30cm(参考図S ₂)までは埋戻し種別Dとする。			(2) 畑地かんがい用水 管頂(参考図S ₁)まではE~1000とし、その上部はB~3010による。ただし、管上30cm(参考図S ₂)までは埋戻し種別Dとする。																																																	
【省略】			【省略】																																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>〔X 土木工事市場単価・土木工事標準単価〕</p> <p>X～7000 水路構造物工</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土木工事標準単価による下記のコンクリート二次製品の据付において、目地材が合成樹脂系目地の場合の適用方法を示されたい。</p> <p>U・V型側溝</p> </div> <p>目地材が合成樹脂系目地の場合は、材料費のみ別途計上する。</p> <p><u>ただし、シーリング、熱融着式接合材を使用する場合は、材料費及び設置手間を別途計上する。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>〔X 土木工事市場単価・土木工事標準単価〕</p> <p>X～7000 水路構造物工</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土木工事標準単価による下記のコンクリート二次製品の据付において、目地材が合成樹脂系目地の場合の適用方法を示されたい。</p> <p>U・V型側溝</p> </div> <p>目地材が合成樹脂系目地の場合は、材料費のみ別途計上する。</p> <hr style="border: 0.5px solid red;"/> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>10 施設機械設備等価格積算要領・標準歩掛及びその運用の運用事項</p> <p>1 共 通 【省略】</p> <p>5 電 気 (労務単価) 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>〔削除〕</u></p>	<p>10 施設機械設備等価格積算要領・標準歩掛及びその運用の運用事項</p> <p>1 共 通 【省略】</p> <p>5 電 気 (労務単価) 【省略】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>電気通信工事の一部に支給品や製作のみ行う機器が含まれる場合の機器管理費補正係数は、どのように算出するのか。</p> </div> <p>1 機器管理費率の補正の考え方 機器管理費は機器単体費を対象額として率計上するが、計上する機器には以下の3区分が考えられる。 <u>(1) 製作・据付する機器</u> <u>(2) 製作は行い据付を行わない機器</u> <u>(3) 支給して据付のみを行わせる機器</u> <u>土地改良事業等請負工事積算基準（施設機械）第5電気通信工事（以下、「積算基準」という。）には、上記（1）、（2）、（3）の複合的な発注を行った場合の機器管理費の計算方法は定められていないため、2の算定方法により機器管理費率を求める。</u></p> <p>2 機器管理費率の算定方法 前述 1（1）、（2）、（3）の複合的な発注を行った場合の機器管理費率（補正後の機器管理費率：L'）は、以下の計算式により求める。 <u>$L' = L \cdot h$（%）</u>（L'、L、hともに小数点第3位を四捨五入、2位止め） <u>L'：補正後の機器管理費率（%）</u> <u>L：対象額（機器単体費の合計）に対する機器管理費率（%）（補正前の機器管理費率）</u> <u>$L = A \cdot E^b$（%）</u> <u>E：対象額（機器単体費の合計）（円）</u> <u>$E = E1 + E2 + E3$</u> <u>E1：製作・据付する機器の機器単体費計</u> <u>E2：製作は行い据付を行わない機器の機器単体費計</u> <u>E3：支給して据付のみを行わせる機器の機器単体費相当額計</u> <u>A：変数（積算基準 第5 3 3-2 表-5・2参照）</u> <u>b：変数（積算基準 第5 3 3-2 表-5・2参照）</u> <u>h：補正係数</u> <u>$h = \frac{E1 + (E2 + E3) \times 0.5}{E}$</u></p>	<p>運用の削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p>	<p>3 <u>機器管理費の算出方法</u></p> <p><u>前述 1 (1)、(2)、(3) の複合的な発注を行った場合の機器管理費は、前述 2 により求めた補正後の機器管理费率 (L') を機器管理費の対象額全体に乗じて算出する。</u></p> <p><u>機器管理費 = E・L' (円)</u></p> <p><u>(平成 24 年 3 月 30 日付事務連絡 (農林水産省) 農村振興局整備部設計課施工企画調整室長)</u></p>	<p>運用の削除</p>

工事積算基準等の運用

Ⅲ 資料

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 589 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 3 年 12 月 21 日以降	令和 4 年 2 月 22 日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																													
<p>Ⅲ 資 料</p> <p>1 作業日当り標準作業量 【省略】</p> <p>B～0810 土工 【省略】</p> <p>C～2100 場所打擁壁工 場所打擁壁工 (1) ① 場所打擁壁</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 40%;">作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小型擁壁 _____</td> <td>0.5m以上 0.6m未満</td> <td style="text-align: center;"><u>1.2</u></td> </tr> <tr> <td>0.6m以上 0.8m未満</td> <td style="text-align: center;"><u>1.5</u></td> </tr> <tr> <td>0.8m以上 1.0m以下</td> <td style="text-align: center;"><u>1.6</u></td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td style="text-align: center;">_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td style="text-align: center;">_____</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重力式擁壁</td> <td>1m超え 2m未満</td> <td style="text-align: center;">5.7</td> </tr> <tr> <td>2m以上 5m以下</td> <td style="text-align: center;">7.8 (7.5)</td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>3mから 8mまで</td> <td style="text-align: center;">6.3 (6.3)</td> </tr> <tr> <td>逆T型擁壁</td> <td>3mから 10mまで</td> <td style="text-align: center;">5.2 (5.0)</td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>3mから 7mまで</td> <td style="text-align: center;">4.2 (4.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(注2) 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式（枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場）、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、（ ）書きの数値を適用する。</p> <p><u>(注3) コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。</u></p> <p><u>(注4) 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。</u></p> <p>【省略】</p> <p>C～2500 吸出し防止材設置工 ① 吸出し防止材設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">作業日当り標準作業量</td> <td style="width: 40%; text-align: center;"><u>474 m²/日</u></td> </tr> </table>	区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	小型擁壁 _____	0.5m以上 0.6m未満	<u>1.2</u>	0.6m以上 0.8m未満	<u>1.5</u>	0.8m以上 1.0m以下	<u>1.6</u>	_____	_____	_____	_____	重力式擁壁	1m超え 2m未満	5.7	2m以上 5m以下	7.8 (7.5)	もたれ式擁壁	3mから 8mまで	6.3 (6.3)	逆T型擁壁	3mから 10mまで	5.2 (5.0)	L型擁壁	3mから 7mまで	4.2 (4.0)	作業日当り標準作業量	<u>474 m²/日</u>	<p>Ⅲ 資 料</p> <p>1 作業日当り標準作業量 【省略】</p> <p>B～0810 土工 【省略】</p> <p>C～2100 場所打擁壁工 場所打擁壁工 (1) ① 場所打擁壁</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 40%;">作業日当り標準作業量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小型擁壁 (A)</td> <td>0.5m以上 0.6m未満</td> <td style="text-align: center;"><u>0.8</u></td> </tr> <tr> <td>0.6m以上 0.8m未満</td> <td style="text-align: center;"><u>1.0</u></td> </tr> <tr> <td>0.8m以上 1.0m以下</td> <td style="text-align: center;"><u>1.1</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小型擁壁 (B)</td> <td><u>0.5m以上 0.6m未満</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.8</u></td> </tr> <tr> <td><u>0.6m以上 0.8m未満</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.9</u></td> </tr> <tr> <td><u>0.8m以上 1.0m以下</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.0</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重力式擁壁</td> <td>1m超え 2m未満</td> <td style="text-align: center;">5.7</td> </tr> <tr> <td>2m以上 5m以下</td> <td style="text-align: center;">7.8 (7.5)</td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>3mから 8mまで</td> <td style="text-align: center;">6.3 (6.3)</td> </tr> <tr> <td>逆T型擁壁</td> <td>3mから 10mまで</td> <td style="text-align: center;">5.2 (5.0)</td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>3mから 7mまで</td> <td style="text-align: center;">4.2 (4.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>(注2) 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式（枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場）、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、（ ）書きの数値を適用する。</p> <p><u>(注3) 小型擁壁の場合、小型擁壁 (A)、(B) を問わず適用できる。</u></p> <p><u>(注4) コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。</u></p> <p><u>(注5) 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。</u></p> <p>【省略】</p> <p>C～2500 吸出し防止材設置工 ① 吸出し防止材設置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">作業日当り標準作業量</td> <td style="width: 40%; text-align: center;"><u>167 m²/日</u></td> </tr> </table> <p><u>(注1) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。</u></p>	区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)	小型擁壁 (A)	0.5m以上 0.6m未満	<u>0.8</u>	0.6m以上 0.8m未満	<u>1.0</u>	0.8m以上 1.0m以下	<u>1.1</u>	小型擁壁 (B)	<u>0.5m以上 0.6m未満</u>	<u>0.8</u>	<u>0.6m以上 0.8m未満</u>	<u>0.9</u>	<u>0.8m以上 1.0m以下</u>	<u>1.0</u>	重力式擁壁	1m超え 2m未満	5.7	2m以上 5m以下	7.8 (7.5)	もたれ式擁壁	3mから 8mまで	6.3 (6.3)	逆T型擁壁	3mから 10mまで	5.2 (5.0)	L型擁壁	3mから 7mまで	4.2 (4.0)	作業日当り標準作業量	<u>167 m²/日</u>	<p>表内、字句の削除及び数値の改正</p> <p>字句の削除番号の改正</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>数値の改正 字句の削除</p>
区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																														
小型擁壁 _____	0.5m以上 0.6m未満	<u>1.2</u>																																																													
	0.6m以上 0.8m未満	<u>1.5</u>																																																													
	0.8m以上 1.0m以下	<u>1.6</u>																																																													
_____	_____																																																														
_____	_____																																																														
重力式擁壁	1m超え 2m未満	5.7																																																													
	2m以上 5m以下	7.8 (7.5)																																																													
もたれ式擁壁	3mから 8mまで	6.3 (6.3)																																																													
逆T型擁壁	3mから 10mまで	5.2 (5.0)																																																													
L型擁壁	3mから 7mまで	4.2 (4.0)																																																													
作業日当り標準作業量	<u>474 m²/日</u>																																																														
区分	作業日当り標準作業量 (m ³ /日)																																																														
小型擁壁 (A)	0.5m以上 0.6m未満	<u>0.8</u>																																																													
	0.6m以上 0.8m未満	<u>1.0</u>																																																													
	0.8m以上 1.0m以下	<u>1.1</u>																																																													
小型擁壁 (B)	<u>0.5m以上 0.6m未満</u>	<u>0.8</u>																																																													
	<u>0.6m以上 0.8m未満</u>	<u>0.9</u>																																																													
	<u>0.8m以上 1.0m以下</u>	<u>1.0</u>																																																													
重力式擁壁	1m超え 2m未満	5.7																																																													
	2m以上 5m以下	7.8 (7.5)																																																													
もたれ式擁壁	3mから 8mまで	6.3 (6.3)																																																													
逆T型擁壁	3mから 10mまで	5.2 (5.0)																																																													
L型擁壁	3mから 7mまで	4.2 (4.0)																																																													
作業日当り標準作業量	<u>167 m²/日</u>																																																														

新 旧 対 照 表

改 正		現 行					備 考	
C～3000 人力運搬工		C～3000 人力運搬工					字句の改正 表内、項目及び数値 の削除、改正 表、字句の削除 表、字句の削除	
① 人力運搬		① 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）						
換算距離	作業日当り標準作業量		作業日当り標準作業量					
	土砂、岩塊・玉石		土・石					
	人力運搬 (積込み～運搬～取卸し)	人力運搬 (運搬～取卸し)	土砂	岩塊・玉石	栗石・クラッシュ	セメント等		積ブロック類
	普通作業員	普通作業員						
20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日	4.8 m ³ /日	3.2 m ³ /日	3.8 m ³ /日	9.1 t/日		14 m ² /日
40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日	3.8 m ³ /日	2.6 m ³ /日	3.0 m ³ /日	7.1 t/日		11 m ² /日
60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日	3.1 m ³ /日	2.3 m ³ /日	2.6 m ³ /日	5.9 t/日		9.1 m ² /日
80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日	2.7 m ³ /日	1.9 m ³ /日	2.2 m ³ /日	4.8 t/日		7.7 m ² /日
100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日	2.3 m ³ /日	1.7 m ³ /日	2.0 m ³ /日	4.2 t/日	6.7 m ² /日	
120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日	2.0 m ³ /日	1.5 m ³ /日	1.8 m ³ /日	3.7 t/日	5.6 m ² /日	
140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日	1.9 m ³ /日	1.4 m ³ /日	1.6 m ³ /日	3.2 t/日	5.3 m ² /日	
160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日	1.7 m ³ /日	1.3 m ³ /日	1.4 m ³ /日	2.9 t/日	4.8 m ² /日	
180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日	1.5 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.3 m ³ /日	2.7 t/日	4.3 m ² /日	
200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日	1.4 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.2 m ³ /日	2.4 t/日	4.0 m ² /日	
(注1) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。		(注1) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。						
[削除]		② 人肩運搬（運搬～取卸し）						
換算距離	作業日当り標準作業量							
	土砂		岩塊・玉石					
	掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り	掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り				
20m以下	13 m ³ /日	2.0 m ³ /日	8.3 m ³ /日	1.4 m ³ /日				
40m以下	7.7 m ³ /日	1.8 m ³ /日	5.3 m ³ /日	1.3 m ³ /日				
60m以下	5.3 m ³ /日	1.6 m ³ /日	4.0 m ³ /日	1.2 m ³ /日				
80m以下	4.2 m ³ /日	1.5 m ³ /日	3.0 m ³ /日	1.1 m ³ /日				
100m以下	3.3 m ³ /日	1.4 m ³ /日	2.5 m ³ /日	1.0 m ³ /日				
120m以下	2.8 m ³ /日	1.3 m ³ /日	2.1 m ³ /日	0.93 m ³ /日				
140m以下	2.4 m ³ /日	1.2 m ³ /日	1.9 m ³ /日	0.88 m ³ /日				
160m以下	2.1 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.6 m ³ /日	0.83 m ³ /日				
180m以下	1.9 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.5 m ³ /日	0.78 m ³ /日				
200m以下	1.7 m ³ /日	1.0 m ³ /日	1.4 m ³ /日	0.75 m ³ /日				
(注1) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。								
[削除]		③ 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）						
換算距離	作業日当り標準作業量							
	土・石			セメント等	積ブロック類			
	土砂	岩塊・玉石	栗石・クラッシュ					
20m以下	7.1 m ³ /日	4.5 m ³ /日	5.3 m ³ /日	11 t/日	20 m ² /日			
40m以下	6.3 m ³ /日	4.0 m ³ /日	4.8 m ³ /日	10 t/日	20 m ² /日			
60m以下	5.0 m ³ /日	3.2 m ³ /日	4.0 m ³ /日	8.3 t/日	14 m ² /日			
80m以下	4.0 m ³ /日	2.8 m ³ /日	3.2 m ³ /日	6.7 t/日	11 m ² /日			
100m以下	3.3 m ³ /日	2.4 m ³ /日	2.8 m ³ /日	5.6 t/日	10 m ² /日			
120m以下	2.9 m ³ /日	2.0 m ³ /日	2.3 m ³ /日	4.8 t/日	7.7 m ² /日			
140m以下	2.4 m ³ /日	1.8 m ³ /日	2.1 m ³ /日	4.2 t/日	6.7 m ² /日			
160m以下	2.2 m ³ /日	1.6 m ³ /日	1.9 m ³ /日	3.8 t/日	6.3 m ² /日			
180m以下	1.9 m ³ /日	1.4 m ³ /日	1.6 m ³ /日	3.3 t/日	5.6 m ² /日			
200m以下	1.7 m ³ /日	1.3 m ³ /日	1.5 m ³ /日	3.0 t/日	5.3 m ² /日			
(注1) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。								

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																															
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>【省略】</p>	<p>④ <u>小車運搬（運搬～取卸し）</u></p> <table border="1" data-bbox="1430 258 2585 730"> <thead> <tr> <th rowspan="3">換算距離</th> <th colspan="4">作業日当り標準作業量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">土砂</th> <th colspan="2">岩塊・玉石</th> </tr> <tr> <th>掘削（床掘り） 無し</th> <th>掘削（床掘り） 有り</th> <th>掘削（床掘り） 無し</th> <th>掘削（床掘り） 有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20m以下</td> <td>100 m³/日</td> <td>2.3 m³/日</td> <td>33 m³/日</td> <td>1.6 m³/日</td> </tr> <tr> <td>40m以下</td> <td>33 m³/日</td> <td>2.2 m³/日</td> <td>17 m³/日</td> <td>1.5 m³/日</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td> <td>14 m³/日</td> <td>2.0 m³/日</td> <td>8.3 m³/日</td> <td>1.4 m³/日</td> </tr> <tr> <td>80m以下</td> <td>8.3 m³/日</td> <td>1.9 m³/日</td> <td>5.9 m³/日</td> <td>1.3 m³/日</td> </tr> <tr> <td>100m以下</td> <td>5.9 m³/日</td> <td>1.7 m³/日</td> <td>4.3 m³/日</td> <td>1.2 m³/日</td> </tr> <tr> <td>120m以下</td> <td>4.5 m³/日</td> <td>1.6 m³/日</td> <td>3.3 m³/日</td> <td>1.1 m³/日</td> </tr> <tr> <td>140m以下</td> <td>3.6 m³/日</td> <td>1.4 m³/日</td> <td>2.7 m³/日</td> <td>1.0 m³/日</td> </tr> <tr> <td>160m以下</td> <td>3.0 m³/日</td> <td>1.3 m³/日</td> <td>2.3 m³/日</td> <td>0.96 m³/日</td> </tr> <tr> <td>180m以下</td> <td>2.6 m³/日</td> <td>1.2 m³/日</td> <td>2.0 m³/日</td> <td>0.90 m³/日</td> </tr> <tr> <td>200m以下</td> <td>2.2 m³/日</td> <td>1.1 m³/日</td> <td>1.7 m³/日</td> <td>0.84 m³/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) <u>作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。</u></p> <p>【省略】</p>	換算距離	作業日当り標準作業量				土砂		岩塊・玉石		掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り	掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り	20m以下	100 m ³ /日	2.3 m ³ /日	33 m ³ /日	1.6 m ³ /日	40m以下	33 m ³ /日	2.2 m ³ /日	17 m ³ /日	1.5 m ³ /日	60m以下	14 m ³ /日	2.0 m ³ /日	8.3 m ³ /日	1.4 m ³ /日	80m以下	8.3 m ³ /日	1.9 m ³ /日	5.9 m ³ /日	1.3 m ³ /日	100m以下	5.9 m ³ /日	1.7 m ³ /日	4.3 m ³ /日	1.2 m ³ /日	120m以下	4.5 m ³ /日	1.6 m ³ /日	3.3 m ³ /日	1.1 m ³ /日	140m以下	3.6 m ³ /日	1.4 m ³ /日	2.7 m ³ /日	1.0 m ³ /日	160m以下	3.0 m ³ /日	1.3 m ³ /日	2.3 m ³ /日	0.96 m ³ /日	180m以下	2.6 m ³ /日	1.2 m ³ /日	2.0 m ³ /日	0.90 m ³ /日	200m以下	2.2 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.7 m ³ /日	0.84 m ³ /日	<p>表、字句の削除</p>
換算距離	作業日当り標準作業量																																																																
	土砂		岩塊・玉石																																																														
	掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り	掘削（床掘り） 無し	掘削（床掘り） 有り																																																													
20m以下	100 m ³ /日	2.3 m ³ /日	33 m ³ /日	1.6 m ³ /日																																																													
40m以下	33 m ³ /日	2.2 m ³ /日	17 m ³ /日	1.5 m ³ /日																																																													
60m以下	14 m ³ /日	2.0 m ³ /日	8.3 m ³ /日	1.4 m ³ /日																																																													
80m以下	8.3 m ³ /日	1.9 m ³ /日	5.9 m ³ /日	1.3 m ³ /日																																																													
100m以下	5.9 m ³ /日	1.7 m ³ /日	4.3 m ³ /日	1.2 m ³ /日																																																													
120m以下	4.5 m ³ /日	1.6 m ³ /日	3.3 m ³ /日	1.1 m ³ /日																																																													
140m以下	3.6 m ³ /日	1.4 m ³ /日	2.7 m ³ /日	1.0 m ³ /日																																																													
160m以下	3.0 m ³ /日	1.3 m ³ /日	2.3 m ³ /日	0.96 m ³ /日																																																													
180m以下	2.6 m ³ /日	1.2 m ³ /日	2.0 m ³ /日	0.90 m ³ /日																																																													
200m以下	2.2 m ³ /日	1.1 m ³ /日	1.7 m ³ /日	0.84 m ³ /日																																																													

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考		
C~5000 殻運搬					C~5000 殻運搬					表内、字句の削除 数値の削除、改正		
① 殻運搬					① 殻運搬							
殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	作業日当り標準作業量	殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	作業日当り標準作業量			
コンクリート (無筋___) 構造物 とりこわし	機械積込	無し	_____	_____	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物 とりこわし	機械積込	無し	<u>0.3km以下</u>	<u>118 m³/日</u>			
			_____	_____				<u>0.5km以下</u>	<u>103 m³/日</u>			
			<u>1.6km以下</u>	<u>56 m³/日</u>				<u>1.0km以下</u>	<u>90 m³/日</u>			
			<u>3.3km以下</u>	<u>48 m³/日</u>				<u>1.5km以下</u>	<u>81 m³/日</u>			
			<u>5.7km以下</u>	<u>40 m³/日</u>				<u>2.0km以下</u>	<u>70 m³/日</u>			
			<u>8.0km以下</u>	<u>34 m³/日</u>				<u>3.0km以下</u>	<u>59 m³/日</u>			
			<u>10.9km以下</u>	<u>29 m³/日</u>				<u>4.0km以下</u>	<u>51 m³/日</u>			
			<u>14.4km以下</u>	<u>25 m³/日</u>				<u>5.5km以下</u>	<u>43 m³/日</u>			
			<u>18.5km以下</u>	<u>21 m³/日</u>				<u>6.5km以下</u>	<u>37 m³/日</u>			
			<u>23.2km以下</u>	<u>18 m³/日</u>				<u>7.5km以下</u>	<u>32 m³/日</u>			
			<u>28.4km以下</u>	<u>16 m³/日</u>				<u>9.5km以下</u>	<u>28 m³/日</u>			
			<u>34.3km以下</u>	<u>14 m³/日</u>				<u>11.5km以下</u>	<u>25 m³/日</u>			
			<u>41.3km以下</u>	<u>12 m³/日</u>				<u>15.5km以下</u>	<u>20 m³/日</u>			
			<u>49.4km以下</u>	<u>10 m³/日</u>				<u>22.5km以下</u>	<u>16 m³/日</u>			
		<u>58.8km以下</u>	<u>8.6 m³/日</u>	<u>49.5km以下</u>			<u>12 m³/日</u>					
		<u>60.0km以下</u>	<u>8.3 m³/日</u>	<u>60.0km以下</u>			<u>8 m³/日</u>					
		有り	有り	_____			_____	有り	有り		<u>0.3km以下</u>	<u>118 m³/日</u>
				_____			_____				<u>0.5km以下</u>	<u>103 m³/日</u>
				<u>1.6km以下</u>			<u>48 m³/日</u>				<u>1.0km以下</u>	<u>90 m³/日</u>
				<u>3.3km以下</u>			<u>42 m³/日</u>				<u>1.5km以下</u>	<u>81 m³/日</u>
				<u>5.7km以下</u>			<u>34 m³/日</u>				<u>2.0km以下</u>	<u>70 m³/日</u>
				<u>8.0km以下</u>			<u>30 m³/日</u>				<u>3.0km以下</u>	<u>59 m³/日</u>
<u>10.9km以下</u>	<u>26 m³/日</u>			<u>3.5km以下</u>	<u>51 m³/日</u>							
<u>14.4km以下</u>	<u>22 m³/日</u>			<u>5.0km以下</u>	<u>43 m³/日</u>							
<u>18.5km以下</u>	<u>19 m³/日</u>			<u>6.0km以下</u>	<u>37 m³/日</u>							
<u>23.2km以下</u>	<u>16 m³/日</u>			<u>7.0km以下</u>	<u>32 m³/日</u>							
<u>28.4km以下</u>	<u>14 m³/日</u>			<u>8.5km以下</u>	<u>28 m³/日</u>							
<u>34.3km以下</u>	<u>12 m³/日</u>			<u>11.0km以下</u>	<u>25 m³/日</u>							
<u>41.3km以下</u>	<u>10 m³/日</u>			<u>14.0km以下</u>	<u>20 m³/日</u>							
<u>49.4km以下</u>	<u>8.7 m³/日</u>			<u>19.5km以下</u>	<u>16 m³/日</u>							
<u>58.8km以下</u>	<u>7.5 m³/日</u>	<u>31.5km以下</u>	<u>12 m³/日</u>									
<u>60.0km以下</u>	<u>7.2 m³/日</u>	<u>60.0km以下</u>	<u>8 m³/日</u>									
【省略】					【省略】							

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
殻発生作業 (____鉄筋) 構造物 とりこわし	積込工法区分 人力積込	DID 区間の有無 無し	運搬距離	作業日当り標準作業量	殻発生作業 (無筋・鉄筋) 構造物 とりこわし	積込工法区分 人力積込	DID 区間の有無 無し	運搬距離	作業日当り標準作業量	表内、字句の削除 及び数値の改正
			<u>1.6km以下</u>	<u>45 m³/日</u>				<u>0.3 km以下</u>	<u>15 m³/日</u>	
			<u>3.3 km以下</u>	<u>39 m³/日</u>				<u>0.5 km以下</u>	<u>14 m³/日</u>	
			<u>5.7 km以下</u>	<u>33 m³/日</u>				<u>1.5 km以下</u>	<u>13 m³/日</u>	
			<u>8.0 km以下</u>	<u>28 m³/日</u>				<u>2.0 km以下</u>	<u>11 m³/日</u>	
			<u>10.9 km以下</u>	<u>24 m³/日</u>				<u>2.5 km以下</u>	<u>10 m³/日</u>	
			<u>14.4 km以下</u>	<u>20 m³/日</u>				<u>3.0 km以下</u>	<u>9 m³/日</u>	
			<u>18.5 km以下</u>	<u>17 m³/日</u>				<u>4.0 km以下</u>	<u>8 m³/日</u>	
			<u>23.2 km以下</u>	<u>15 m³/日</u>				<u>5.0 km以下</u>	<u>7 m³/日</u>	
			<u>28.4 km以下</u>	<u>13 m³/日</u>				<u>6.5 km以下</u>	<u>6 m³/日</u>	
			<u>34.3 km以下</u>	<u>11 m³/日</u>				<u>8.5 km以下</u>	<u>5 m³/日</u>	
			<u>41.3 km以下</u>	<u>9.5 m³/日</u>				<u>11.0 km以下</u>	<u>4 m³/日</u>	
			<u>49.4 km以下</u>	<u>8.1 m³/日</u>				<u>16.0 km以下</u>	<u>3 m³/日</u>	
			<u>58.8 km以下</u>	<u>7.0 m³/日</u>				<u>27.5 km以下</u>	<u>3 m³/日</u>	
		<u>60.0 km以下</u>	<u>6.8 m³/日</u>	<u>60.0 km以下</u>	<u>2 m³/日</u>					
		有り	<u>1.6km以下</u>	<u>39 m³/日</u>	<u>0.3 km以下</u>	<u>15 m³/日</u>				
			<u>3.3 km以下</u>	<u>34 m³/日</u>	<u>0.5 km以下</u>	<u>14 m³/日</u>				
			<u>5.7 km以下</u>	<u>28 m³/日</u>	<u>1.0 km以下</u>	<u>13 m³/日</u>				
			<u>8.0 km以下</u>	<u>25 m³/日</u>	<u>1.5 km以下</u>	<u>11 m³/日</u>				
			<u>10.9 km以下</u>	<u>21 m³/日</u>	<u>2.0 km以下</u>	<u>10 m³/日</u>				
			<u>14.4 km以下</u>	<u>18 m³/日</u>	<u>2.5 km以下</u>	<u>9 m³/日</u>				
			<u>18.5 km以下</u>	<u>15 m³/日</u>	<u>3.5 km以下</u>	<u>8 m³/日</u>				
			<u>23.2 km以下</u>	<u>13 m³/日</u>	<u>4.5 km以下</u>	<u>7 m³/日</u>				
			<u>28.4 km以下</u>	<u>11 m³/日</u>	<u>6.0 km以下</u>	<u>6 m³/日</u>				
			<u>34.3 km以下</u>	<u>9.6 m³/日</u>	<u>8.0 km以下</u>	<u>5 m³/日</u>				
			<u>41.3 km以下</u>	<u>8.2 m³/日</u>	<u>10.5 km以下</u>	<u>4 m³/日</u>				
			<u>49.4 km以下</u>	<u>7.1 m³/日</u>	<u>14.5 km以下</u>	<u>3 m³/日</u>				
			<u>58.8 km以下</u>	<u>6.1 m³/日</u>	<u>23.0 km以下</u>	<u>3 m³/日</u>				
<u>60.0 km以下</u>	<u>5.9 m³/日</u>		<u>60.0 km以下</u>	<u>2 m³/日</u>						
【省略】					【省略】					

新 旧 対 照 表

改 正	現 行					備 考
<p style="text-align: center;">〔削除〕</p> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">舗装版破碎</p>	<p style="text-align: center;">人力積込</p>	<p style="text-align: center;">無し</p>	<p style="text-align: center;">0.3 km以下</p>	<p style="text-align: center;">15 m³/日</p>	<p>表の削除</p>
				<p style="text-align: center;">0.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">14 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">1.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">13 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">2.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">11 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">2.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">10 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">3.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">9 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">4.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">8 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">5.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">7 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">6.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">6 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">8.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">5 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">11.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">4 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">16.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">3 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">27.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">3 m³/日</p>	
				<p style="text-align: center;">60.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">2 m³/日</p>	
			<p style="text-align: center;">有り</p>	<p style="text-align: center;">0.3 km以下</p>	<p style="text-align: center;">15 m³/日</p>	
			<p style="text-align: center;">0.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">14 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">1.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">13 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">1.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">11 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">2.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">10 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">2.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">9 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">3.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">8 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">4.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">7 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">6.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">6 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">8.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">5 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">10.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">4 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">14.5 km以下</p>	<p style="text-align: center;">3 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">23.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">3 m³/日</p>		
			<p style="text-align: center;">60.0 km以下</p>	<p style="text-align: center;">2 m³/日</p>		
<p>【省略】</p>						

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考
吹付法面 <u>とりこわし</u> (モルタル)	機械積込	無し	0.5 km以下	63 m ³ /日	無し	機械積込	0.5 km以下	63 m ³ /日	字句の改正	
			1.0 km以下	48 m ³ /日			1.0 km以下	48 m ³ /日		
			1.5 km以下	42 m ³ /日			1.5 km以下	42 m ³ /日		
			2.0 km以下	36 m ³ /日			2.0 km以下	36 m ³ /日		
			2.5 km以下	32 m ³ /日			2.5 km以下	32 m ³ /日		
			3.5 km以下	29 m ³ /日			3.5 km以下	29 m ³ /日		
			4.5 km以下	23 m ³ /日			4.5 km以下	23 m ³ /日		
			6.0 km以下	20 m ³ /日			6.0 km以下	20 m ³ /日		
			7.0 km以下	18 m ³ /日			7.0 km以下	18 m ³ /日		
			8.5 km以下	16 m ³ /日			8.5 km以下	16 m ³ /日		
			9.0 km以下	14 m ³ /日			9.0 km以下	14 m ³ /日		
			10.5 km以下	13 m ³ /日			10.5 km以下	13 m ³ /日		
			13.5 km以下	11 m ³ /日			13.5 km以下	11 m ³ /日		
			18.0 km以下	9 m ³ /日			18.0 km以下	9 m ³ /日		
		27.5 km以下	7 m ³ /日	27.5 km以下	7 m ³ /日					
		60.0 km以下	5 m ³ /日	60.0 km以下	5 m ³ /日					
		有り	0.5 km以下	59 m ³ /日	有り	0.5 km以下	59 m ³ /日			
			1.0 km以下	48 m ³ /日		1.0 km以下	48 m ³ /日			
			1.5 km以下	42 m ³ /日		1.5 km以下	42 m ³ /日			
			2.0 km以下	36 m ³ /日		2.0 km以下	36 m ³ /日			
			2.5 km以下	30 m ³ /日		2.5 km以下	30 m ³ /日			
			3.5 km以下	27 m ³ /日		3.5 km以下	27 m ³ /日			
			4.0 km以下	23 m ³ /日		4.0 km以下	23 m ³ /日			
			5.0 km以下	22 m ³ /日		5.0 km以下	22 m ³ /日			
			6.0 km以下	18 m ³ /日		6.0 km以下	18 m ³ /日			
			7.0 km以下	16 m ³ /日		7.0 km以下	16 m ³ /日			
			8.0 km以下	14 m ³ /日		8.0 km以下	14 m ³ /日			
			9.0 km以下	13 m ³ /日		9.0 km以下	13 m ³ /日			
12.0 km以下	11 m ³ /日		12.0 km以下	11 m ³ /日						
16.0 km以下	9 m ³ /日		16.0 km以下	9 m ³ /日						
23.0 km以下	7 m ³ /日	23.0 km以下	7 m ³ /日							
43.0 km以下	5 m ³ /日	43.0 km以下	5 m ³ /日							
60.0 km以下	4 m ³ /日	60.0 km以下	4 m ³ /日							
【省略】				【省略】						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																												
<p>K~3100 鋼橋架設工</p> <p>① 支承工、地組工、本締め工 … 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。</p> <p>【省略】</p> <p>⑥ 鋼床版現場溶接工 … 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。</p> <hr/> <p>⑦ 足場工、防護工及び登り栈橋工</p> <p>【省略】</p> <p>⑧ 合成床版架設工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td style="text-align: center;">66.7 m²/日</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>K~4200 PC橋架設工</p> <p>① トラッククレーンによる架設 … 該当工種の基準内に記載。</p> <p>② 架設桁による架設</p> <p>(1) 桁架設、架設設備据付・解体、架設機械移動、軌道設置・撤去 … 該当工種の基準内に記載。</p> <p>(2) アンカー工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td style="text-align: center;">3.3 箇所/日</td> </tr> </table> <p>③ PC橋架設工（横組工、PCコンポ橋）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業日当り標準作業量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート工</td> <td style="text-align: center;">40 m³/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td style="text-align: center;">1.1 t/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PC工</td> <td style="text-align: center;">プレテンション桁</td> <td style="text-align: center;"><u>155m/日</u></td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ポストテンション桁</td> <td style="text-align: center;"><u>157m/日</u></td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>緊張工</td> <td style="text-align: center;">27 ケーブル/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>PC板支承工</td> <td style="text-align: center;">250m/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>PC板仮置工</td> <td style="text-align: center;">120 枚/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>PC板敷設工</td> <td style="text-align: center;">50 枚/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>継目工</td> <td style="text-align: center;">1,000m/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>型枠工</td> <td style="text-align: center;">8 m²/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表の作業日当り標準作業量は、PC橋架設工の一連作業における各作業に適用する。</p> <p>【省略】</p>	作業日当り標準作業量	66.7 m ² /日	作業日当り標準作業量	3.3 箇所/日	作業種別	作業日当り標準作業量	摘要	コンクリート工	40 m ³ /日	横組工	鉄筋工	1.1 t/日	横組工	PC工	プレテンション桁	<u>155m/日</u>	横組工	ポストテンション桁	<u>157m/日</u>	横組工	緊張工	27 ケーブル/日	横組工	PC板支承工	250m/日	PCコンポ橋用	PC板仮置工	120 枚/日	PCコンポ橋用	PC板敷設工	50 枚/日	PCコンポ橋用	継目工	1,000m/日	PCコンポ橋用	型枠工	8 m ² /日	PCコンポ橋用	<p>K~3100 鋼橋架設工</p> <p>① 支承工、地組工、本締め工 … 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。</p> <p>【省略】</p> <p>⑥ 鋼床版現場溶接工 … 該当工種の計算式（日当り施工量）を参照。</p> <p><u>⑦ 鋼床版Uリブ現場溶接工 … 該当工種の基準内に記載。</u></p> <p>⑧ 足場工、防護工及び登り栈橋工</p> <p>【省略】</p> <p>⑨ 合成床版架設工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td style="text-align: center;">66.7 m²/日</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>K~4200 PC橋架設工</p> <p>① トラッククレーンによる架設 … 該当工種の基準内に記載。</p> <p>② 架設桁による架設</p> <p>(1) 桁架設、架設設備据付・解体、架設機械移動、軌道設置・撤去 … 該当工種の基準内に記載。</p> <p>(2) アンカー工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td style="text-align: center;">3.3 箇所/日</td> </tr> </table> <p>③ PC橋架設工（横組工、PCコンポ橋）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業日当り標準作業量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート工</td> <td style="text-align: center;">40 m³/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td style="text-align: center;">1.1 t/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PC工</td> <td style="text-align: center;">プレテンション桁</td> <td style="text-align: center;"><u>148m/日</u></td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ポストテンション桁</td> <td style="text-align: center;"><u>150m/日</u></td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>緊張工</td> <td style="text-align: center;">27 ケーブル/日</td> <td>横組工</td> </tr> <tr> <td>PC板支承工</td> <td style="text-align: center;">250m/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>PC板仮置工</td> <td style="text-align: center;">120 枚/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>PC板敷設工</td> <td style="text-align: center;">50 枚/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>継目工</td> <td style="text-align: center;">1,000m/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> <tr> <td>型枠工</td> <td style="text-align: center;">8 m²/日</td> <td>PCコンポ橋用</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表の作業日当り標準作業量は、PC橋架設工の一連作業における各作業に適用する。</p> <p>【省略】</p>	作業日当り標準作業量	66.7 m ² /日	作業日当り標準作業量	3.3 箇所/日	作業種別	作業日当り標準作業量	摘要	コンクリート工	40 m ³ /日	横組工	鉄筋工	1.1 t/日	横組工	PC工	プレテンション桁	<u>148m/日</u>	横組工	ポストテンション桁	<u>150m/日</u>	横組工	緊張工	27 ケーブル/日	横組工	PC板支承工	250m/日	PCコンポ橋用	PC板仮置工	120 枚/日	PCコンポ橋用	PC板敷設工	50 枚/日	PCコンポ橋用	継目工	1,000m/日	PCコンポ橋用	型枠工	8 m ² /日	PCコンポ橋用	<p>字句の削除 番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>数値の改正 ”</p>
作業日当り標準作業量	66.7 m ² /日																																																																													
作業日当り標準作業量	3.3 箇所/日																																																																													
作業種別	作業日当り標準作業量	摘要																																																																												
コンクリート工	40 m ³ /日	横組工																																																																												
鉄筋工	1.1 t/日	横組工																																																																												
PC工	プレテンション桁	<u>155m/日</u>	横組工																																																																											
	ポストテンション桁	<u>157m/日</u>	横組工																																																																											
緊張工	27 ケーブル/日	横組工																																																																												
PC板支承工	250m/日	PCコンポ橋用																																																																												
PC板仮置工	120 枚/日	PCコンポ橋用																																																																												
PC板敷設工	50 枚/日	PCコンポ橋用																																																																												
継目工	1,000m/日	PCコンポ橋用																																																																												
型枠工	8 m ² /日	PCコンポ橋用																																																																												
作業日当り標準作業量	66.7 m ² /日																																																																													
作業日当り標準作業量	3.3 箇所/日																																																																													
作業種別	作業日当り標準作業量	摘要																																																																												
コンクリート工	40 m ³ /日	横組工																																																																												
鉄筋工	1.1 t/日	横組工																																																																												
PC工	プレテンション桁	<u>148m/日</u>	横組工																																																																											
	ポストテンション桁	<u>150m/日</u>	横組工																																																																											
緊張工	27 ケーブル/日	横組工																																																																												
PC板支承工	250m/日	PCコンポ橋用																																																																												
PC板仮置工	120 枚/日	PCコンポ橋用																																																																												
PC板敷設工	50 枚/日	PCコンポ橋用																																																																												
継目工	1,000m/日	PCコンポ橋用																																																																												
型枠工	8 m ² /日	PCコンポ橋用																																																																												

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考
Q～1200 消波根固めブロック工（ブロック撤去工）				Q～1200 消波根固めブロック工（ブロック撤去工） <u>(0.25 t 以上 35.5 t 以下)</u>				字句の削除 表内、字句の削除 数値の削除、改正 数値の改正 数値の改正
① 根固めブロック撤去				① 根固めブロック撤去				
作業区分		作業日当り標準作業量		作業区分		作業日当り標準作業量		
撤去・仮置き		49(36)個/日		撤去・仮置き		84(67)個/日		
撤去・ 据付け	乱積	75(60)個/日		撤去・ 据付け	乱積	75(60)個/日		
	層積	53(42)個/日			層積	53(42)個/日		
撤去・積込み		73(58)個/日		撤去・積込み		73(58)個/日		
【省略】				【省略】				
2 市場単価の1日当り標準施工量				2 市場単価の1日当り標準施工量				
【省略】				【省略】				
X～4000 道路標識設置工				X～4000 道路標識設置工				
表1 標識柱設置（路側式〔単柱式〕）				表1 標識柱設置（路側式〔単柱式〕）				
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量	
路側式 単柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径 φ 60.5	4基	路側式 単柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径 φ 60.5	20基	
		φ 76.3				φ 76.3		
		φ 89.1				φ 89.1		
		φ 101.6				φ 101.6		
	下地亜鉛メッキ+静電紛体塗装	柱径 φ 60.5			柱径 φ 60.5			
		φ 76.3			φ 76.3			
		φ 89.1			φ 89.1			
		φ 101.6			φ 101.6			
	静電紛体塗装	柱径 φ 60.5			柱径 φ 60.5			
		φ 76.3			φ 76.3			
		φ 89.1			φ 89.1			
		φ 101.6			φ 101.6			
表2 標識柱設置（路側式〔複柱式〕）				表2 標識柱設置（路側式〔複柱式〕）				
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量	
路側式 複柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径 φ 60.5	2基	路側式 複柱式 基礎含む 標識板 設置除く	メッキ品	柱径 φ 60.5	15基	
		φ 76.3				φ 76.3		
		φ 89.1				φ 89.1		
		φ 101.6				φ 101.6		
	下地亜鉛メッキ+静電紛体塗装	柱径 φ 60.5			柱径 φ 60.5			
		φ 76.3			φ 76.3			
		φ 89.1			φ 89.1			
		φ 101.6			φ 101.6			
	静電紛体塗装	柱径 φ 60.5			柱径 φ 60.5			
		φ 76.3			φ 76.3			
		φ 89.1			φ 89.1			
		φ 101.6			φ 101.6			

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考		
表 3 標識柱設置 (片持式)				表 3 標識柱設置 (片持式)				数値の改正 〃		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
標識柱設置片持式 基礎別途	1 基当り総質量	400 kg未満	4 基	標識柱設置片持式 基礎別途	1 基当り総質量	400 kg未満	6 基			
		400 kg以上	3 基			400 kg以上	4 基			
表 4 標識柱設置 (門型式)				表 4 標識柱設置 (門型式)				数値の改正 〃		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
標識柱設置門型式 基礎別途	1 スパンの長さ	10m未満	1 基	標識柱設置門型式 基礎別途	1 スパンの長さ	10m未満	1 基			
		10m以上 20m未満				10m以上 20m未満				
		20m以上				20m以上				
表 5 標識板設置 (案内標識 [路線番号除く])				表 5 標識板設置 (案内標識 [路線番号除く])				数値の改正		
区 分	規格・仕様			施工数量	区 分	規格・仕様			施工数量	
標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式 板取付金具 (クランプ型ブ ラケットを除く) を含む	広角プリズム	1 枚 当 り 面 積	2.0 m ² 未満	20 m ²	路側式 片持式 門型式 添架式 板取付金具 (クランプ型ブ ラケットを除く) を含む	広角プリズム	1 枚 当 り 面 積	2.0 m ² 未満	25 m ²
				2.0 m ² 以上					2.0 m ² 以上	
		カプセルプリズム カプセルレンズ	2.0 m ² 未満	カプセルプリズム カプセルレンズ		1 枚 当 り 面 積	2.0 m ² 未満			
			2.0 m ² 以上				2.0 m ² 以上			
		封入プリズム・ 封入レンズ	2.0 m ² 未満	封入プリズム・ 封入レンズ		1 枚 当 り 面 積	2.0 m ² 未満			
			2.0 m ² 以上				2.0 m ² 以上			
表 6 標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)				表 6 標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)				数値の改正		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
標識板設置	警戒・規制・指示・路線番号標識	板の枚数, 補助板の有無を問わず	20 基	標識板設置	警戒・規制・指示・路線番号標識	板の枚数, 補助板の有無を問わず	30 基			
表 7 添架式標識板取付金具設置				表 7 添架式標識板取付金具設置				数値の改正 〃 〃		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
添架式標識板 取付金具設置	信号アーム部に取付		10 組	添架式標識板 取付金具設置	信号アーム部に取付		20 組			
	照明柱・既設標識柱に取付		10 組		照明柱・既設標識柱に取付		20 組			
	歩道橋に取付		2 組		歩道橋に取付		3 組			
表 8 標識基礎設置 (片持式・門型式)				表 8 標識基礎設置 (片持式・門型式)				表内、数値の改正		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
基礎設置 コンクリート基礎 アンカーボルトの設置含む	標識柱 1 基当りの基 礎コンクリート容量	4.0 m ³ 未満	2 基	基礎設置 コンクリート基礎 アンカーボルトの設置含む	標識柱 1 基当りの基 礎コンクリート容量	4.0 m ³ 未満	8 日/基			
		4.0 m ³ 以上 6.0 m ³ 未満	1 基			4.0 m ³ 以上 6.0 m ³ 未満				
		6.0 m ³ 以上	1 基			6.0 m ³ 以上				
表 9 標識柱・基礎撤去 (路側式 [単柱式・複柱式])				表 9 標識柱・基礎撤去 (路側式 [単柱式・複柱式])				数値の改正 〃		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
路側式	単柱式(基礎含む)	柱径 φ 60.5, φ 76.3, φ 89.1, φ 101.6	8 基	路側式	単柱式(基礎含む)	柱径 φ 60.5, φ 76.3, φ 89.1, φ 101.6	40 基			
	複柱式(基礎含む)	柱径 φ 60.5, φ 76.3, φ 89.1, φ 101.6	4 基		複柱式(基礎含む)	柱径 φ 60.5, φ 76.3, φ 89.1, φ 101.6	30 基			
表 10 標識柱撤去 (片持式・門型式)				表 10 標識柱撤去 (片持式・門型式)				数値の改正 〃 〃		
区 分	規格・仕様		施工数量	区 分	規格・仕様		施工数量			
片持式	1 基当り総質量 (支柱のみ)	400 kg未満	6 基	片持式	1 基当り総質量 (支柱のみ)	400 kg未満	12 基			
		400 kg以上	4 基			400 kg以上	9 基			
門型式	1 スパン当りの長さ (支柱のみ)	10m未満	1 基	門型式	1 スパン当りの長さ (支柱のみ)	10m未満	2 基			
		10m以上 20m未満				10m以上 20m未満				
		20m以上				20m以上				

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																															
<p>表 11 標識板撤去（路側式，片持式・門型式）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標識板撤去 (添架式は除く)</td> <td>案内標識以外</td> <td>路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）</td> <td>30 基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">案内標識 (片持式・門型式)</td> <td>1 枚当りの面積</td> <td>2.0 m²未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.0 m²以上</td> <td>25 m²</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）	30 基	案内標識 (片持式・門型式)	1 枚当りの面積	2.0 m ² 未満		2.0 m ² 以上	25 m ²	<p>表 11 標識板撤去（路側式，片持式・門型式）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標識板撤去 (添架式は除く)</td> <td>案内標識以外</td> <td>路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）</td> <td>60 基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">案内標識 (片持式・門型式)</td> <td>1 枚当りの面積</td> <td>2.0 m²未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.0 m²以上</td> <td>50.0 m²</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）	60 基	案内標識 (片持式・門型式)	1 枚当りの面積	2.0 m ² 未満		2.0 m ² 以上	50.0 m ²	表内、数値の改正			
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）	30 基																																				
	案内標識 (片持式・門型式)	1 枚当りの面積	2.0 m ² 未満																																				
		2.0 m ² 以上	25 m ²																																				
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式（警戒・規制・指示・路線番号標識）	60 基																																				
	案内標識 (片持式・門型式)	1 枚当りの面積	2.0 m ² 未満																																				
		2.0 m ² 以上	50.0 m ²																																				
<p>表 12 標識板撤去（添架式標識板）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識板撤去</td> <td colspan="2">信号アーム部</td> <td>10 組</td> </tr> <tr> <td>添架式標識板</td> <td colspan="2">照明柱・既製標識柱</td> <td>10 組</td> </tr> <tr> <td>取付金具撤去含む</td> <td colspan="2">歩道橋</td> <td>2 組</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	標識板撤去	信号アーム部		10 組	添架式標識板	照明柱・既製標識柱		10 組	取付金具撤去含む	歩道橋		2 組	<p>表 12 標識板撤去（添架式標識板）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識板撤去</td> <td colspan="2">信号アーム部</td> <td rowspan="2">20 組</td> </tr> <tr> <td>添架式標識板</td> <td colspan="2">照明柱・既製標識柱</td> </tr> <tr> <td>取付金具撤去含む</td> <td colspan="2">歩道橋</td> <td>3 組</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	標識板撤去	信号アーム部		20 組	添架式標識板	照明柱・既製標識柱		取付金具撤去含む	歩道橋		3 組	表内、数値の改正
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
標識板撤去	信号アーム部		10 組																																				
添架式標識板	照明柱・既製標識柱		10 組																																				
取付金具撤去含む	歩道橋		2 組																																				
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
標識板撤去	信号アーム部		20 組																																				
添架式標識板	照明柱・既製標識柱																																						
取付金具撤去含む	歩道橋		3 組																																				
<p>表 13 基礎（コンクリート基礎）撤去</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎撤去</td> <td colspan="2">コンクリート基礎</td> <td>1 基</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	基礎撤去	コンクリート基礎		1 基	<p>表 13 基礎（コンクリート基礎）撤去</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎撤去</td> <td colspan="2">コンクリート基礎</td> <td>2 日/基</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	規格・仕様		施工数量	基礎撤去	コンクリート基礎		2 日/基	数値の改正															
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
基礎撤去	コンクリート基礎		1 基																																				
区 分	規格・仕様		施工数量																																				
基礎撤去	コンクリート基礎		2 日/基																																				
【省略】				【省略】																																			
4 職種区分表				4 職種区分表																																			
【省略】				【省略】																																			
職 種		定義・作業内容		職 種		定義・作業内容																																	
15 運転手（一般）		<p>道路交通法第 84 条に規定する運転免許（大型免許、中型免許、普通免許等）を有し、主として機械を運転または操作して行う次に掲げる作業について主体的業務を行うもの</p> <p>a. 資機材の運搬のための貨物自動車の運転</p> <p>b. もっぱら路上を通行して作業を行う散水車、ガードレール清掃車等の運転</p> <p>c. 機械重量 3 t 未満のトラクタ（ホイール型）・トラクタショベル（ホイール型）・バックホウ（ホイール型）等を運転または操作して行う土砂等の掘削、積込みまたは運搬</p> <p>d. 吊上げ重量 1 t 未満のホイールクレーン・クレーン装置付トラック等を運転または操作して行う資材等の運搬</p> <p>e. アスファルトディストリビュータを運転または操作して行う乳剤の散布</p> <p>f. 路面清掃車（<u>ブラシ式フロントリフトダンプ以外</u>）、<u>除雪車（除雪トラック・凍結防止剤散布車・ロータリ除雪車（30KW 級ホイール））</u>等の運転または操作</p>		15 運転手（一般）		<p>道路交通法第 84 条に規定する運転免許（大型免許、中型免許、普通免許等）を有し、主として機械を運転または操作して行う次に掲げる作業について主体的業務を行うもの</p> <p>a. 資機材の運搬のための貨物自動車の運転</p> <p>b. もっぱら路上を通行して作業を行う散水車、ガードレール清掃車等の運転</p> <p>c. 機械重量 3 t 未満のトラクタ（ホイール型）・トラクタショベル（ホイール型）・バックホウ（ホイール型）等を運転または操作して行う土砂等の掘削、積込みまたは運搬</p> <p>d. 吊上げ重量 1 t 未満のホイールクレーン・クレーン装置付トラック等を運転または操作して行う資材等の運搬</p> <p>e. アスファルトディストリビュータを運転または操作して行う乳剤の散布</p> <p>f. 路面清掃車（<u>4 輪式</u>）の運転または操作</p>		字句の改正																															
【省略】				【省略】																																			
19 トンネル特殊工		<p><u>トンネル</u>坑内における作業について相当程度の技能および高度の肉体的条件を有し、トンネル等の坑内における主として次に掲げる作業について主体的業務を行うもの</p> <p>a. <u>爆薬</u>およびさく岩機を使用する爆破掘削</p> <p>b. 支保工の建込、維持、点検等</p> <p>c. アーチ部、側壁部およびインバートのコンクリート打設等</p> <p>d. ずり積込機、<u>バッテリーカー</u>、機関車等の運転等</p> <p>e. アーチ部および側壁部型わくの組立、取付け、除去等</p> <p>f. シールド工事（圧気を除く）における各種作業</p>		19 トンネル特殊工		<p><u>トンネル</u>坑内における作業について相当程度の技能および高度の肉体的条件を有し、トンネル等の坑内における主として次に掲げる作業について主体的業務を行うもの</p> <p>a. <u>ダイナマイト</u>およびさく岩機を使用する爆破掘削</p> <p>b. 支保工の建込、維持、点検等</p> <p>c. アーチ部、側壁部およびインバートのコンクリート打設等</p> <p>d. ずり積込機、<u>バッテリーカー</u>、機関車等の運転等</p> <p>e. アーチ部および側壁部型わくの組立、取付け、除去等</p> <p>f. シールド工事（圧気を除く）における各種作業</p>		字句の追加																															
20 トンネル作業員		<p><u>トンネル</u>坑内における作業について普通の技能および肉体的条件を有し、トンネル等の坑内における主として人力による次に掲げる作業を行うもの</p> <p>a. 各種作業についての補助的業務</p> <p>b. 人力による資材運搬等</p> <p>c. シールド工事（圧気を除く）における各種作業についての補助的業務</p>		20 トンネル作業員		<p><u>トンネル</u>坑内における作業について普通の技能および肉体的条件を有し、トンネル等の坑内における主として人力による次に掲げる作業を行うもの</p> <p>a. 各種作業についての補助的業務</p> <p>b. 人力による資材運搬等</p> <p>c. シールド工事（圧気を除く）における各種作業についての補助的業務</p>		字句の追加																															
【省略】				【省略】																																			

新 旧 对 照 表

改 正	現 行	備 考
-----	-----	-----